アリマス、ダカラシテ言葉ノ上デアルナラバ、又ソレ相當答辯ハ出來ルノデアル、サウ云フ言葉ノ爭ハ一掃シテシマッテ、精神ト實體トヲ考ヘテ見マスルナラバ、今日政府ノ執ラントスルトコロノ手段ハ、是ハ反對黨ト政府黨トニ拘ラズ、皆雙手ヲ擧ゲテ贊成スベキ事柄デアルノデアリマス、唯其金額ガ少ナイト云フ點ヲ又攻撃セラレマスケレドモ、此借替ニ依ッテ爲ストコロノ在外正貨ノ減少額ハ不十分デアリマセウケレドモ、政府ハ更ニ其手段ヲ用キルト云フコトヲ明言致シテ居リマス、此點ニ付テ私ガ質問致シマシタ時ニ大藏大臣ハ答ヘラレマシタガ、併シ事柄ガ外交ニ關係ヲスルガ故ニ暫ク明言ヲ控ヘルト云フコトデアリマシタ、私ハ其意ヲ諒トシテ更ニ追窮ハシナカッタノデアリマス、其邊ノ言葉ノ奥ニ潜ンデアル或ル意味ガアルト云フコトハ賢明ナル諸君ガ御推察ガ出來ルコト、信ズルノデアリマス、サウ云フ方法ヲ以テ在外正貨ノ處分ヲ圓滿ニ行フコトガ出來マスルナラバ、何ヲ苦ンデ此場合ニ非募債ト云フヤウナ、言語ノ上ノ爭ニ拘泥スルノ必要アランヤト信ズルノデアリマス、要スルニ斯ノ如キ理由ニ依ッテ此與ヘラレタル原案ハ愼重ニ審査シ、十分眞面目ニ調査致シタ結果、是ハ協贊ヲ與フベキモノト信ズルノデアリマス

岡陸軍大臣ノ辯明

此機會ニ於テ一言辯明ヲ致シマスルガ、殊ニ長島君ノ御辯論ニ對シテ辯明ヲ致シタイト存ジマス、先ヅ重大ナルコトハ小山松壽君モ御注意ガゴザイマシタ、此兵器ヲ檢査ヲ受ケル時ニ、卽チ檢査院ノ檢査官ガ來テ檢査ヲスル場合ニ、胡麻化シテ甲ノ庫カラ乙ノ庫ニ移スト云フ、胡麻化シヲヤッタト云フ長島君ノ御演說ガアッタヤウニ覺エテ居リマスガ、長島君ノ如キ會計法規ニ精通セラレテ居ル人ノ口カラ出ル兵器ヲ檢査スルト云フ事柄其モノガ、長島君ノ如キ會計法規ニ精通セラレテ居ル人ノ口カラ出タコトニ付テ、私ハ不思議ニ思フ、何故ナレバ戰用品ト云フモノハ陸軍大臣ガ責任ヲ以テ檢査ヲスルト云フコトニ付テ法律ヲ以テ規定セラレテアルカラシテ其證人ト云フモノガ甚ダ私ハ聽氣デアルト思ヒマス、不幸ニシテ長島君ガ居ラレマセヌカラ、居ラレマセヌナリデ御答ヲ致シマス、ソレカラモウ一ツハ長島君ノ申サレタノハ、砲兵工廠ノ作業會計ノ收入ヲシタモノト、ソレカラ一般ノ廢兵器ヲ賣リマシタモノトノ收入トガ混同ガアルヤウニ存ジマス、海軍ノ方デ賣リマシタノハ、是ハ作業會計ニ依テ賣ッタノデハアリマセヌ、卽チ陸軍デ恰モ羅紗ヲ賣リ、若クハ俗ニ申シマスル廢兵器ヲ賣リマシタ場合ニ於キマシテハ、國庫ニ其儘金ヲ納メマシテ、サウシテ要スル場合ニアッテハ兵器補充費トシテ陸軍ニ於テ要求シテ居リマス、是ハ數年來ノ豫算ヲ御覽ニナッタラバ、兵器補充費ト云フ題目ノ下ニ要求シテ貰ッテ居リマス、是ハ廢兵器ニ屬スル分デアリマス、砲兵工廠ノ製作ヲシタトコロノモノハ、ソレハ砲兵工廠ノ作業會計ノ法規ニ從ッテ收支シテ居ルノデアリマス、是ハ作業會計デ收支スルノハ當然ト信ジマス、其點ハ少シク誤解ガアッタヤウニ存ジマス、柏原君ノ御質問モゴザイマシタガ、是モ序ニ申シテ置キマスガ、同ジ三十年式ノ單價モ、高イノモアレバ安イノモアル、斯ウ云フ御說デゴザイマスガ、是ハ畢竟加工補修ノ程度ニ依リマシテ高イノモアレバ安イノモアル、大口徑ト申シマシテモ、大口徑ニハイロ〳〵ノ種類ガアリマシテ、其種類ニ依ッテ値段ノ違フト云フコトハ當然ナコトデゴザイマス、先ヅ重立チマシタコトニ付テ辯明ヲ致シテ置キマス

討論終局シ表決ニ及ヒ森田小六郎君ハ表決方法ニ關スル希望ヲ述ヘ院議六案ヲ一括シテ原案ヲ可決シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月一日(一)乃至(五)ノ五案ヲ、同月十二日(六)案ヲ可決奏上シタリ而シテ前五案ハ二月八日(六)案ハ同月二十四日ヲ以テ公布セラル

七 (第二號)大正五年度歲入歲出總豫算追加案

豫算

第一條　大正五年度歲入歲出追加額ヲ各五百八拾六萬千九百五拾圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

第二條　別冊乙號所揭ノ費途ハ其ノ規畫スル所ニ隨ヒ大正五年度以降ノ繼續費ト爲ス

甲號　歳入經常部　金五百七拾六萬七千八百參拾參圓

第三款　官業及官有財產收入　金九萬四千百拾七圓

歳入臨時部

第十一款　前年度繰入金　金五百七拾六萬七千八百參拾參圓

歳入總計金五百八拾六萬千九百五拾圓

歳出臨時部

農商務省所管

第二款　製鐵所擴張費　金五百八拾六萬千九百五拾圓

乙號　農商務省所管

製鐵所擴張費

總額　金參千四百五拾壹萬五千四百五拾圓

年額

大正五年度　金六拾參萬參千圓

大正六年度　金參千參百八拾八萬貳千四百五拾圓

款　製鐵所擴張費　金五百八拾六萬千九百五拾圓

項　事務費　金拾萬九千五百圓

項　工場費　金五百七拾五萬貳千四百五拾圓

大正七年度　金五百八拾八萬貳千七百拾圓

款　製鐵所擴張費　金拾萬千七百拾圓

項　事務費　金五百七拾八萬千圓

項　工場費

大正八年度　金四百五拾九萬九千九百圓

款　製鐵所擴張費　金九萬六千九百圓

項　事務費　金四百五拾萬參千圓

項　工場費

大正九年度　金五百七拾萬貳千八百九拾圓

款　製鐵所擴張費　金拾萬六千八百九拾圓

項　事務費　金五百五拾九萬六千圓

項　工場費

大正九年度

金六百四拾五萬四千貳百參拾圓
金拾壹萬九千貳百參拾圓
金六百參拾參萬五千圓
大正十年度
金六百壹萬參千七百七拾圓
金九萬八千七百七拾圓
金五百九拾壹萬五千圓

說明（略）

五年二月一日提出ス豫算委員會ハ審査ノ末同月十日原案ヲ可決シ希望事項ヲ付シ報告書ヲ議長ニ提出セリ
同月十二日本案ヲ院議ニ付シ豫算委員長片岡直溫君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

豫算委員會ニ於テ議決シタル希望事項

一本擴張計畫ハ成ルヘク五箇年以内ニ完成セラレムコトヲ望ム
一製鐵所ハ成ルヘク多ク民間鐵工業者ニ半製品ヲ供給スルノ目的ヲ以テ本擴張費中製品工場及雜工費ニ割當テタル經費ノ幾分ヲ減少シ之ヲ以テ製銑工場及製鋼工場ノ經費ヲ增加セムコトヲ望ム
一製鐵所ハ操業上成ルヘク民間鐵工業者ニ半製品ヲ供給シ以テ斯業ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム
一帝國鐵ノ自給ニ關シテハ官營製鐵所ノ擴張ノミヲ以テ足レリトスヘカラス政府ハ速ニ之ニ對スル根本政策ヲ樹テ積極的ニ斯業ノ發展ヲ促進スルノ手段ヲ執ラレムコトヲ望ム

款　製鐵所擴張費
項　事務費
項　工場費

款　製鐵所擴張費
項　事務費
項　工場費

第二號大正五年度歲入歲出總豫算追加案、卽チ枝光製鐵所擴張ニ關スル豫算ノ委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案提出ノ要旨ハ一昨年七月歐洲大戰ノ勃發以來輸入ハ段々ニ障害ヲ被リマシテ、軍事上或ハ造船其他鐵工業者ノ甚シキ苦痛ヲ感ジテ來タノデアリマス、而シテ近來ニ至リ全ク輸入ハ杜絕致シタト云フ狀態ニ陷ッタノデアリマシテ、是ガ爲メニ軍事上其他鐵ヲ需用スル向キニアッテハ困迫ノ程度ハ其極ニ達シタト云フ有樣デアリマス、或ハ國防上ノ將來ニ於テノ懸念ヲ生ズルト云フ有樣デアリマス、而シテ枝光製鐵所ノ鐵ノ產額ハ第二擴張工事ノ完成ヲ俟ッタ曉ニ於テモ三十一萬噸乃至三十五萬噸ニ過ギナイ、一方民間ノ需用景況ハ既ニ百萬噸乃至百二十萬噸ニ達シテ居ルト云フ有樣デアル、我國ニ於ケル需用ノ三四分ノ一ヲ充タスコトスラモ出來得ナイ、故ニ今日ニ於テ更ニ鐵ノ產額ヲ增加スルノ計畫ヲ立テルト云フコトハ、此時機ニ於テ極メテ必要急ヲ要スルコトヲ信ズル、而シテ其產額ヲ增加セシメントスル計畫ハ、第三擴張ノ順序ヲ立テヽ是ガ落成ノ曉更ニ三十萬噸ヲ增サントスルノデアル、之ニ要スル經費ノ總額ハ三千四百五十一萬五千四百五十圓デアル、之ヲ大正十年迄ノ間ニ年度割ニシテ此費用ヲ求メルト云フノニアルノデアル、其內容竝ニ設備ノ順序ノ概要ヲ申シテ見マスレバ、大正五年度ニ於テ第二擴張工事モ落成スルサウデアリマスガ、大正五年度ニ更ニ要求スル金額ノ中ニハ最モ急ヲ要スル其最モ急ヲ要スルモノヽ部分ヲ申シテ見マスレバ、小銃ノ銃身之ニ附帶シタ鋼及ビ砲彈等陸軍ニ要スルトコロノ費用ガ約二百萬圓ヲ含ンデ居ル、其他ノ費用ハ一般ニ通ジテ民間ニ必要トスルトコロノモノヲ生產セント欲スルニアルノデアリマス、是ハ成ベク製品ヲ早ク仕上ゲルト云フコトノ目的ニ於テ大正六年ニ於テハ五萬噸、大正七年ニ於テハ十萬噸、大正八年ニ於テハ十五萬噸、大正九年ニ於テハ二十萬噸、大正十年ニ於テハ二十五萬噸、大正十一年ニハ卽チ此第三擴張ノ仕上ッタ曉ニ於テ三十萬噸ヲ產出スルヤウニ致ス、卽チ擴張工事ヲ爲ス中ニ於テモ、是ダケノモノヲ生產シテ行ク方法ヲ執ルト云フノニアルノデアリマス、而シテ其設備ノ順序等ヲ申シテ見マスト最モ急ヲ要スルモノハ鋼デアル、加フルニ今缺乏ヲ告ゲテ最モ苦痛ヲ感ジテ居ルトコロノ造船材料、建築材料、橋梁ノ材料、斯ノ如キモノ及ビ鐵道ノ貨車ヲ造ルニ要スルモノ等ヲ第一ニスル、現ニ是等ノ生產品ヲ揃ヘマスルニハ現在ノ工場ニ於テ唯一ノ工場ヲ持ッテ居ル、之ヲ更ニ補足シ且廣メル斯ウ云フ意味ヲ以テ計畫サレテアルヤウデアリマス、卽チ從來ノ枝光製鐵所ニ對シテ是ガ補足ヲナシ、補足ノ設備ヲ計畫スル、サスレバ品物ガ多量ニ產出サレ而シ

テ尚且品質ヲ良クスルコトガ出來ル、又我國ニ於テハ「ブリキ」ノ製造ハ出來ナイ、產出ハナイノデアリマス、之ヲ今度ハ拵ヘルコトニ致ス、從來薄板ノ製造ヲヤッテ居ルノデアルガ之ヲ尚最モ多量ニ造ルト云フ設備モ致ス、是ガ爲ニ溶鑛爐ヲ一臺設ケル、是等ノ機械ヲ働カシメントスルニハ給水ノコト、或ハ運輸ノコト若クハ倉庫ノコト等ノ是等ノモノヲモ同時ニ考慮シテ、是ガ完成ヲ計ルコトニシナケレバナラヌ、而シテ之ヲ造ル原料ハ漢冶萍公司ト契約ヲ致シテ居ル所ノモノニ基イテ、更ニ其契約ニ依ッテ多量ノモノヲ買入レテ是ダケノモノヲ仕上ゲルト云フニアルノデアリマス、大體本案提出ノ說明ハ極ク概括的ニ申シテ見レバ斯樣ナコトデアリマス、而シテ是等ノ年度割ヲ申シテ見マスレバ、五年度ニ於テ五百八十八萬圓、六年度ニ於テ四百五十九萬圓、八年度ニ於テ五百七十萬圓、十年度ニ於テ六百四十五萬圓、而シテ此工事ヲ致ス爲ニ要スル費用ノ財源ハ枝光製鐵所ノ收入利益ヲ以テ之ニ充ッル、此算出ノ基礎ヲ尋ネテ見マスレバ鐵ノ製品ニ對スル價、大正元年ヨリ大正三年マデ三年間ヲ平均シタモノヲ——二割增シニシタモノヲ土臺トシテ收入アルモノト見テアルノデアリマス、大正五年度ノ方ハ元ハソレデアリマスガ、更ニ大正六年ニ至リマシテハ此大正五年度ノ基礎ニ置キマシタモノヨリ七分位ハ鐵ノ値段ガ下ガルデアラウト云フコトヲ豫期シテ、サウシテ六年度ノ利益ヲ見積ル、七年度ニ於テハ大正五年度ニ定メマシタ基礎ヨリ更ニ一割ヲ減ズルモノ、卽チ價格ハ一割下ルト斯ウ見タモノヲ以テ收入利益ヲ生ズルモノト、斯ウ見タモノヲ以テ收入利益ヲ生ズルモノトシテ此計畫ニ對シマシテ大體何ノ案提出ノ大要ハ斯ノ如シデアリマスガ、委員會ニ於キマシテハ此計畫ニ對シマシテ大體何レモ渴望スル、更ニ異議ノアルトコロヲ認メナカッタノデアリマスルガ、今日鐵ノ缺乏ヲ來スト云フコトハ今日初メテ分ルニアラズシテ、既ニ歐洲大戰勃發以來分ル筈デアル、之ヲ今追加豫算トシテ出スノハ頗ル手遲レデアル、加之ソレガ仕上ッタトコロガ製鐵所デ生產スル高ハ僅ニ六十萬噸乃至六十五萬噸ニ過ギナイ、一方現ニ今日日本ニ於テ鐵ノ需要ハ百二十萬噸ト云フ程度ニ達シテ居ル、此擴張工事ノ完成スル大正十年ニナレバ更ニ一層需要ノ程度ハ進ム筈デアル、其進ム時ノ狀況ニ依リ考ヘテ見レバ、此擴張ハ未ダ以テ滿足セラルヽト云フコトニ不滿ヲ抱ク質問ガ各方面ヨリ出タノデアリマス、何レモ質問ノ趣意ハ變ッテ居リマスルガ、歸著點ハ此處ニアルト委員長ハ認メタノデアリマスルガ、之ニ對シテ農商務大臣ノ答辯ハ、鐵ノ缺乏ヲ致スト云フコトノ趨勢ハ同樣ニ見テ居タノデアル、又今日突如トシテ此本案ヲ出スニアラズシテ、既ニ豫算總會ニ於テ曩ニ總豫算ノ時ニ於テモ製鐵所ノ擴張ニ關スル方法ハ追テ此議會ノ協贊ヲ求ムル趣意ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ言明致シテ置イタノデアル、決シテ怠ッテ居ッタト云フ譯デハナイト云フ趣旨ヲ敷衍シテ說明ヲサレタノデアリマス、殊ニ委員會ニ於テ質問ノ多クゴザイマシタノハ、我國ニ於ケル鐵ノ原料ノ產額、又將來我國ノ要スル鐵ヲ拵ヘル上ニ於ケル原料ヲ何レノ地ニ於テ何レノ手段ヲ以テ求メルカト云フコトニ對スル政府ノ所信ヲ確メムト欲スルノ質問ハ多々アッタノデアリマス、而シテ政府ノ之ニ對スル答辯ハ、是等ニ對シテハ政府自ラ民間工業者ト今怠ラズ是等ニ對シテ調査ヲ進メツヽアル、何分相手ノアル事柄デアッテ此ニ明カニ御答ヲスルト云フ運ビニ立至ッテ居ラヌ、斯ウ云フ意味ニ於ケル答辯デアリマシテ、其質問應答數十回繰返シマシタガ、何分委員ノ期待スルトコロノ政府ノ答辯サレルトコロト一致點ヲ十分ニ認メナイトコロヨリ、更ニ非公式ニ懇談會的ノ組織ヲ致シマシテ、委員中ヨリ各派ヲ通ジテ代表者ヲ選ンデ、政府當局者ト極ク隔意ナキ意見ノ交換ヲ致シマシタ末ニ、政府ノ意思ノ存スルトコロモ了解シ、又委員ノ希望スルトコロモ政府ノ諒トスル所トナッタ點ヲ見出シタノデアリマス、殊ニ委員會ニ於テ批難的質問ノ起リマシタ所ノモノヽ中ニ、民間ニ於テハ原料ヲ得難イインデアル、製鐵工事ハ愈〻益〻熾ニナルデアラウ、又政府ハ官營トシテ餘リニ數種類ノ細カナル所ノモノマデモ製造セントスルガ如キハ委員等ノ意思ト相反スルノデアル、相成ルベクハ製鐵所ハ民間ノ當業者ニ是ヨリ設備ヲ擴張シ民間ノ需要ニ應ズルヤウニ之ニ對シテ原料ヲ頒——拂下ゲルト云フ途ヲ執ッテ欲シイト云フコトガ一致ノ希望デアッタノデアリマスガ、之ニ對シテモ政府ハ其意ヲ諒トシタノデアリマス、今之ヲ纏リマシタ所ノ希望ノ條項ヲ申上ゲマスレバ其內容ガ御了解下サル事ヲ完成スルト云フコトハ出來ナイ、五年ナラバ出來ヌコトガ出來ヤウト存ジマス、卽チ六年間ニ仕上ゲント欲スルコトガ非常ニ手緩ルイ、遲イ、三年若クハ成ルベクナラバ二年、少シデモ早ク仕上ゲテ民間ノ需要ヲ充タスヤウニシテ欲シイト云フコトニ對スル政府ノ答ハ、到底二年三年ニシテ此工事ヲ完成スルト云フコトハ出來ナイ、五年ナラバ出來ヌコトハナイガ、財政上ノ都合ヲ以テ今五年ノ豫算ヲ仕組ムト云フコトハ困難ナリト云フコトデアリマスガ、此事ニ對シテハ委員會ノ希望ハ本擴張計畫ハ成ルベク五箇年以內ニ完成セラレムコトヲ望

ム、斯ウ云フコトニ一致致シタノデアリマス、此ノ一ルト云フコトニ對シテハ同感デアル、且又收入ノ今日ノ現況ヲ見レバ、本豫算ヲ組ンダ時ヨリ收入ハ多イ狀況デアルガ故ニ、唯今豫算ノ修正ハ出來ヤウト信ズニ副フヤウナ計畫ハ立テルコトハ出來ヤウト信ズアリマス、次ニ製鐵所ハ成ルベク民間鐵工業者ニ牛場及雜工場ニ割當テタル經費ノ幾分ヲ減少シ、之ヲコトヲ望ム、卽チ成ルベク牛製品ヲ餘計拵ヘテ民間於テハ相當ノ設備ヲシテ、民間ノ需要ヲ充タスコトガ其費用ヲ其牛製品ヲ造ル方ヘ重キヲ置イテ、サウシテ製品ヲ多ク仕上ゲルト云フコトニ對スル力ヲ減ジテデモ、其方ヲ殖シテ欲シイト云フコトノ希望ハ同意ガ出來ナイノデアル、併ナガラ牛製品ヲ民間用ヲ進メテ往クト云フコトニ對スル御希望ニ付テハ、成ルベク其希望ヲ充タスヤウナ方針ヲ執ル、且又費用ノ如キモノモ篤ト熟慮ノ上ニ於テ爲シ得ル限リノ間ニ於テ、成ルベク御希望ニ副フヤウナ方針ヲ執ル斯ウ云フ意味ヲ答ヘラレタノデアリマス、次ニ製鐵所ハ操業上成ルベク民間鐵工業者ニ牛製品ヲ供給シ、以テ斯業ノ發達ヲ促進セラレンコトヲ望ムト云フ此事項ニ對シテハ、前申上ゲマシタ通リノ趣旨ヲモウ一ツ明ニシテ、此希望ニ副フヤウニ一ツ帝國鐵ノ自給ニ關シテハ官營製鐵所ノ擴張ノミヲ以テ足レリトスベカラズ、政府ハ速ニ之ニ對スル根本政策ヲ樹テ積極的ニ斯業ノ發展ヲ促進スルノ手段ヲ執ラレンコトヲ望ム、此希望ノ決議ニ對シテハ、政府ハ趣旨ニ於テ同感デアル、併ナガラ之ヲ提出スルトキニ述ベラレタ言語ノ中ニ、政府ハ製鐵ニ關スル方針ハ全ク無キガ如キヤウナ意味ヲモ示サレタノデアルガ、政府ハ製鐵ニ對スル主義方法ハ所謂自給ノ希望ト其方針ヲ以テ今日迄來ッテ居ルノデアル、然レドモ鐵ヲ作ルニハ自カラ原料ガ元デアル、其原料ヲ確メズシテ其方法ヲ先ニスルト云フコトハ到底出來ナイノデアル、其原料ヲ得其製品ヲ增スノ方法ニ付テハ民間ノ當業者ヲシテ之ヲ爲サシメ、或ハ之ニ援助ノ出來ル部分ハ援助スルト云フ其方法ハ執ッテ居ッタ、決シテ之ニ對シテ無方針ノ如キ趣旨ハ持ッテ居ラヌ、卽チ全ク同樣ノ意見ヲ持ッテ居ルト云フ意味ヲ表明サレタノデアル、此外ニ今日ノ枝光製鐵所ヲ牛官牛民ニスルカ、若クハ

民營ニスルカ、目下調査中ニ屬スル、調査機關ヲシテ速ニ其決定ヲ促ストコロノ希望條項ガ提出サレタノデアリマス、之ニ對シテハ反對ト明ニ意見ヲ極メテ表明セラレタ方ハ無カッタト認メマス、併ナガラ今既ニ政府ハ民營ニ移スカ否ヤニ付テノ調査機關ヲ設ケテ調査中デアル、此際ニ當ッテ直ニ目的ヲ定メル牛官牛民若クハ民營ニ移スノ目的ヲ以テ、目的ヲフコトハ實ハ熟慮ヲ要スル、此豫算ニ附帶シテ之ヲ決議シナクテモ宜イコト、思フガ故ニ、是ハ熟慮ヲ致スト云フコトヲ心中ニ保留スル必要ガアルガ故ニ、今直ニ此場合ニ提出サレタルトコロニ對シテハ同意思ヲ表シ難シ、斯ウ云フ意思ガ多カッタノデアリマス、結局是ハ採決ニ當リマシテ極メテ少數デ以テ否決ヲ致シタノデアリマス、委員會ニ於テ希望條項トシテ決議ヲ見マシタノハ、唯今報告ヲ致シマシタトコロノ通リデアリマス、此希望ノ下ニ於テ本案ニ對シテハ少シノ修正ヲ加ヘル必要モ見ズ滿場一致ヲ以テ歲入歲出共ニ原案ニ可決ヲシタ次第デアリマス、此段御報告致シマス

質疑、應答ノ後吉植庄一郎君、鈴木梅四郎君及岡崎久次郎君ハ孰レモ原案ニ贊成ノ演說ヲ爲シタリ

吉植庄一郎君ノ演說

本員ハ此追加豫算ニ關シテ贊成ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、併シ甚ダ遺憾ノ次第デアリマスルガ本員ノ贊成ハ甚ダ不本意デ、萬已ムヲ得ズ贊成スルノデアル、卽チ此豫算ノ否決セラレ若クハ豫算ノ不成立ナルコトヲ懸念シテ、此案ニ幾多ノ修正ヲ加ヘントスル意見モアッタノデアリマスケレドモ、有ハ無ヨリモ宜シイ、此意味ニ於テ、無イヨリモ有ル方ガ宜シイト云フ極メテ輕微ナル贊成ノ意味ニナッテ來ルノデアリマス、而シテ本案ニ對シテ卽チ非常ナ不滿足ヲ持ッテ居ル者デアル、此不滿足ハ獨リ本員ノミナラズ、豫算委員總會ニ於ケル質問應答ノ狀況ヲ見マシテモ、亦唯今委員長ヨリ報告セラレタル所ノ第一、第二、第三、第四ノ希望ヲ決議シタ此趨勢ニ對シテ見マシテモ、殆ド委員ノ全部ガ本案ニ對シテハ甚ダ不滿足デアッテ、頗ル遺憾ヲ感ジテ居ルト云フコトハ、本員ト同感デアッタト記憶スルノデアリマス、私ハ一箇年ニ百三十萬噸內外ノ鐵ノ需用ニ對シテ、政府ノ官營製鐵所ガ僅ニ一年ニ三十萬噸內外ノ產出力ヲ有シ、輸入ハ昨年十一月以來殆ド絕對ニ止テ居リ外國ヨリ鐵ノ一片ヲモ取寄セルコトガ出來ナイ、此狀況ニ於テ卽チ我國ガ大正五年卽チ現在ニ於テ、一箇年ニ八十萬噸乃至九十萬噸ノ鐵ノ不足ヲ生ジテ居ル、此狀況ニ對シテ政府ハ玆ニ提案サレタ所ノ製鐵所ノ擴張案ナルモノハ、何等此鐵ノ窮乏ニ對シテ當面ノ效果ヲ擧ゲルコトノ計畫ガ、少シモ此中ニ含マレテ居ラナカッタコトヲ先ヅ第一ニ遺憾トスルノデア

ル、何トナレバ本案ニ於テハ鐵ノ產出ハ大正六年度ヨリ僅ニ五萬噸增加スルト云フ計畫ガ、此中ニ含マレテ居ラヌノデアル、卽チ現下ニ橫ッテ居ル此年度ヨリ一噸ノ鐵モ增加スルト云フ計畫ガ、此中ニ含マレテ居ラヌノデアル、卽チ現下ニ橫ッテ居ル此鐵ノ缺乏ニ對シテハ、本案ハ全ク沒交涉デアルノデアル、何等得ル處ガナイノデアル、此意味ニ於テ本案ハ現下ノ當面ニ橫ッテ居ル問題ヲ解決スルタメノ案デナイト云フコトヲ言ヒ得ルノデアル、然ラバ此當面ノ問題ハ解決シ得ザルモノトシテモ、長ク將來ニ亙ッテ、我帝國ガ鐵材ノ自給ヲ圖ル云フ根本ノ方針ニ於テ觸レテ居ルモノガアリ、此經綸ノ政策ノ上ニ於テ此案ガ立ッタモノデアルカト云フコトヲ仔細ニ吟味シテ見ルト、是モ亦無イ、何トナレバ我國ノ鐵ノ需要ハ明治初年以來年々ノ統計ヲ調ベテ見ルト、政府ノ答辯ニ依レバ一箇年ノ需要增加率ハ約一割デアルト云ヒ、民間當業者ノ調査シタモノヲ聞クト約二割五分ト云フ、此間ニ一割五分ノ懸隔ハ甚シイノデアリマスガ、此眞中ヲ取ッテモ約一割二分五厘ト言ヒ得ルノデアル、今日百三十萬噸ノ需要ノ增加率ハ約二十萬噸ニ近イモノデアル、十五萬噸內外ノ鐵ヲ年々需要シテ居ル、サウスルト一箇年ノ需要ノニ示ス所デアル、一箇年ノ需要ノ增加ガ十五萬噸カラ二十萬噸ノ間ニアルト云フコトハ、算數ノ明カ計畫ナルモノハ大正六年度ニ於テ五萬噸、大正七年度ニ於テ八萬噸、大正九年度ニ於テ十萬噸ト云フガ如キ、而シテ之ヲ合計シテ最後ノ大正十一年度ニ於テ僅ニ三十萬噸ヲ增加スルト云フノデアル、其大正十一年ニナッタナラバ、此一割二分五厘ノ增加ヲ以テシテモ、既ニ其時ニ二百萬噸以上ノ需要ガアルノデアル、サウ致シマスト、此政府ノ二十萬噸增加ノ計畫ナルモノハ、現在年々需要ノ增加スル此增加率ヲ補フニモ足ラヌト云フ結果ニナルノデモ有ッタ方ガ宜シイノデアル、併ナガラ若シ國家ガ此鐵ト云フ極メテ最小ノ限度ニ於テ斯ンナモノデモ有ッタ方ガ宜シイノデアル、併ナガラ若シ國家ガ此鐵ノ問題ニ付テ政策ヲ定メ經綸ヲ定メテ以テ進マナケレバナラヌト云フコトガ前提トナルナラバ、本員ハ決シテ此政策ニ觸レテ居ラヌト云フコトヲ言ヒ得ルノデアル、此永久ノ政策——當面ノ救濟策、此二方面ヨリ觀察致シマシテ、此案ガ此何レニモ觸レテ居ラヌト云フコトハ、獨リ本員ノ遺憾トシタ所デアルノミナラズ、與黨多數ノ諸君ニ於テモ非常ニ之ヲ遺憾トセラレタコトヲ「吾ミハ看取スルノデアル、此故ニ議會ニ於テハ小林韮三郎君等ヨリ鐵ノ擴張建議案ガ出テ居リマシテ、淺野陽吉君其他ノ與黨ノ一部ヨリハ牛官牛民ノ經營ニシナケレバナラヌト云フ建議案ガ出テ居ル、而シテ豫算委員總會ニ於ケル岡崎久次郎君ノ痛烈ナル政府ニ對スル彈劾的ノ質問ノ如キ、若クハ守屋此助君ノ現內閣ノ鐵ノ政策ニ對スル絕對非難ノ御議論ヲ聽クニ及ンデハ、殆ド此鐵ノ政策ニ對スル內閣ノ政策ヲ非難スル聲ハ滿天下ニ滿チテ居ルト私ハ信ズルノデアル、諸君「吾ミハ何故ニ現內閣ガ斯ノ如ク國民ノ要望アルニ拘ラス、此要望ヲ充スコトニ勇斷デナカッタカト云フコトヲ疑フノデアリマス、既ニ民間ノ當業者ニ於テハ造船學會其他ノ博士學士ノ最モ斯道ニ經驗アル人ミハ、早ク既ニ此鐵ノ缺乏ニ對シテ政府ト十分ニ交涉ヲシ研究ヲシテ以テ應急ノ策ヲ立テンコトニ於テハ熱心ナル會合ヲ催シテ居ッタデハアリマセヌカ、然ルニ政府ハ此專門家技術家ノ最モ鐵ノコトニ精通シテ居ル民間ノ人ミノ意見ニ少シモ耳ヲ傾ケナイノミナラズ、却テ此會合ノ進言ニ向ッテハ斷然拒絕ノ方針ヲ執ッテ居ッタノデハアリマセヌカ、近ク東京商業會議所ノ如キハ愈〻政府ノ緩慢ナルニ奬勵スルノ決議ヲ數日前ニ當局ニ進言シテ居ルデハアリマセヌカ、是等ノ趨勢ハ政府ニ於テ眞ニ此絕好ノ機會ヲ捉ヘ外ニ向ッテハ我國ノ鐵ノ競爭國タル獨逸ハ戰爭ノ結果少シモ鐵ヲ出サズ、英國亦然リ、米國ハ本國ニ鑛山ヲ持チナガラ我國ニ輸出ヲシナイ、此獨逸ハ戰爭ニ於テ我國ノ鐵ノ自給ヲ圖ルト云フコトハ最モ好イ機會デアル、而シテ政府ノ與黨ノ人ガ之ニ信ヲ措カズ全國多數ノ技術家當業者ハ熱心ニ之ヲ唱道スル、內外ノ形勢此國策ヲ立ルニ絕好ノ機會デアルニ拘ラズ、此機會ヲ逸シテ六箇年ニ二十萬噸ノ計畫ヲ立テ、以テ當面ヲ糊塗セントスルニ至ッテハ、私ハ之ヲ默過スルコトガ出來ナイ、政府ハ曰ク趣意ハ同感デアル、吾等モ亦擴張ニ異論ハナイ、併ナガラ財源無キヲ奈何、諸君財源果シテ無キカ、成程政府ハ絕對ノ問題デナイ、鐵ハ官營ニセザルベカラズト云フ絕對ノ方針デハナイ、若シ此絕好ノ機會ニ於テ國民ト共ニ政府ガ其政策ヲ立テント欲スルナラバ、財源ハ或ハ公債ノ形式ニ依リ、或ハ官民合同ノ形式ニ依リ、或ハ民營ノ方針ニ依リ、資本ハ今ヤ日本ニ鬱積シテ適當ナル放資ヲ待チツヽアルノデアル、此日本ノ財界ノ趨勢ニ鑑ミテモ、眞ニ此計畫ヲ立テント欲スルナラバ、財源無キニ口ヲ藉ルコトヲ吾ミハ許スコトガ出來ヌ、又曰ク鐵ノ原料足ラズ、併ナガラ之ニ付テ豫算委員總會等ニ於ケル數次ノ質問ニ依ッテ段々之ヲ追究スルニ及ンデハ、政府ガ絕對ニ鐵ノ原料ガ無イト云フコトノ言明ハ全ク雲散霧消致シタコトヲ吾ミハ喜ブノデアル、成程現在ノ唯今迄ハ足ラナイヤウナ形ニナッテ居ル、ソレハ此鐵ヲ

製造スル製鐵所ガ少クテ、十分ニ石ヲ出シテ買人ガナケレバ土ノ中ニ埋ンデ居ル、併ナガラ日本ノ國内及朝鮮滿洲其他ノ方面ニ於テ最善ノ努力ヲ盡スニ於テハ、鐵ノ原料ノ缺乏セザルコトハ政府ノ明言シタ所デアル、又サウナケレバナラヌト私共ハ信ズルノデアル、然ラバ資本ノ缺乏ニアラズ、原料ノ缺乏ニアラズ、然ラバ技術上是ハ出來ナイコトデアルカ、是モ政府ガ製鐵所ト云フ一ノ範圍ノ内ニ於テノ計畫ニスルナラバ、成程五年デナケレバ出來ナイ、是ハ技術上當然デアリマセウ、併ナガラ若シ此鐵ノ當面ノ需用及永久ノ政策ニ思ヒ及ボシテ完全ナル計畫ヲ立テルニ於テハ、民間ノ斯道ノ專門家モ或ハ此樣ニ長キ歲月ヲ要セズトモ出來得ルモノデアルト云フコトハ明言シテ居ル、現ニ斯道ノ大家ガ意見書ヲ公ニシテ、政府ガ六箇年間ニ費ス三千何百萬圓ノ製鐵所ノ擴張費ダケデアッテモ鐵ノ產額ハ五十萬噸以上ニシテ、尙短キ年限ニ於テ爲シ得ルト云フ、意見書ヲ吾ミ議員ニ配付シテ居ルデハアリマセヌカ、唯現政府ノ爲ス所ハ加工品ニ力ヲ多ク用キ、而シテ收益ノ勘定ニ重キヲ置イテ、製鐵所ソレ自身ガ多クノ利益ヲ擧ゲント欲スル考ヨリシテ、鐵ノ產額ヲ增加スルノ方法ニ出デズシテ、其僅ナル鐵ヲキ案ガ成立ツノデアル、故ニ一箇ノ製鐵所トシテ之ヲ考ヘルトキニハ、此案ハ多ク非難スル所ガナイト私共ハ思フ、何トナレバ製鐵所ガ特別會計ノ範圍内ニ於テ自己ノ經營ヲ全ウスルダケノ見地ヨリ之ヲ見レバ、製鐵所ハ此國民ノ租稅ニ依ッテ成ッタ資本金ニ對シテ、成ルベク多クノ利益ヲ擧ゲテ行キタイコトハ當然ノコトデアルケレドモ、政府トシテ此鐵ノ政策及ビ鐵ノ現在ニ於ケル當面ノ問題ノ解決ニ付テ、政策ヲ定ムル見地ヨリシテ之ヲ見ルトキハ、此擴張案ナルモノハ僅ニ製鐵所ダケノ利益デアッテ、何等大政策ニ觸ルヽ所ナク、當面ノ問題ニ何等ノ效ガナイト云フコトハ如何ニモ殘念千萬デアリマセヌカ、吾ミハ此意味ニ於テ二箇條ノ希望條件ヲ提出シタノデアル、其希望條件ハ委員長ノ報告ニ依ッテ既ニ諸君ノ御承知ノ通リ、併シ此希望條件ナルモノハ議員ノアレガ最上ノ希望デハナイ、最高ノ注文デハナカッタ、唯此豫算ノ成立ニ妨ゲナク此仕事ノ進行ニ妨ゲナイ範圍ニ於テ、已ムヲ得ザル最小限度ニ於ケル希望デアリ注文デアッタ、此故ニ此點カラ申シマシテモ議員一同ノ意向ノ何レニ在ルカ分ル、況ヤ此最小ノ希望トシテ述ベタトコロノ鐵ノ自給ニ關シテハ、獨リ官營製鐵所ノミニ依ッテ足レリトセズ、鐵ノ根本ノ政策ヲ定メテ以テ速ニ此計畫ヲ進ムベシト云フノ希望ナルモノハ、是ハ吾ミノ最モ熱心ニ主張シタル又贊成シタルトコロノモノデアル此點ニ於キマシテ政府ガ縱令過去ニ於テ誤ッタリト雖モ、此議員ノ勸告ニ對シテ此希望ニ對シテ滿腹ノ誠意ヲ以テ、今後其方針ヲ必ズ遂行致シマスト云フコトノ言明ヲ與ヘルニ於テハ、吾ミ多言ヲ要セヌノデアル、此言明ヲ爲スナラバ吾ミハ此壇上ニ立ツヲ要サヌノデアル、然ルニ此希望ニ對シテ守屋此助君ガ最モ熱烈ナル贊成ヲ表サレテアルガ、政府當局大臣ハ怫然トシテ色ヲ作シ之ニ向ッテ答ヘラレタ、決シテ政府ハ無方針デモナケレバ無政策デモナイ、甚ダ今ノヤウナ發言ハ穩カデナイノデアッテ、決シテ政府ハサウ云フ譯デナイト云フコトヲ大ニ辯ゼラレタ、其結果デアルカナイカ存ジマセヌガ、遺憾ナガラ吾ミト同論者デアル所ノ同志會多數ノ諸君ノ中ニモ大分同論者ガアッタト思フタメニ、河野農商務大臣ノ此態度ニ依テカ否ヤハ存ジマセヌガ、豫算總會ノ步調ハ同志會ノ一角ヨリ崩レタコトヲ甚ダ遺憾トスル、此ニ於テ私ハ此壇上ニ立タナケレバナラヌ、政府ガ此根本ノ政策ヲ立ツルコトニ付テ躊躇シ若クハ之ヲ立ツルコトニ於テ政府ハ最善ノ努力ヲ盡シタ上デアルナラバ、何故ニ斯ノ如キ愚劣ナル局小ナル姑息ナル、時局ニ何等ノ影響モナイヤウナ此案デ滿足ナサルノデアル、政府ノ能力ハ是レ以上ニ爲スコトガ出來ナイノデアリマスカ、政府ノ爲スベキ手段ハ此上ニ無イノデアルカ、否々多々アルノデアル、多々アルノデアルトコロノ手段ヲ取ラズ、最善ノ努力ヲ盡サズ、僅ニ製鐵所ノ儲ケタ金ヲ以テ、サウシテ製鐵所ノ儲ケタ金ノ範圍ニ於テ、製鐵所ノ自力獨力ヲ以テ此擴張計畫ヲ立テタノデアッテ、政府ニ於テハ何等心配サレタコトナク、何等民間ノ斯術ノ大家ト研究シテ此智識ヲ與ヘタコトモナケレバ、何等知ル所ヲ以テ援助ヲ與ヘタモノモナクシテ、唯ダ製鐵所ニ於テ自ラ立ッタノデ、政府ハ全ク此問題ニ付テハ門外漢ノ如キ形ニナッテ居ルト云フコトヲ以テモ證セラルヽ、議員ガ此問題ニ付テ質問スレバ常ニ製鐵所長官若クハ製鐵所ノ委員デナケレバ、政府當局ノ中デ議員ノ質問ニ對シテ明確ナル答辯スラ與ヘナカッタデハアリマセヌカ、斯ノ如ク一モ二モ製鐵所ノ人ノミトナッテ居ッテ、製鐵所ダケヲ本位トシテ立案シタモノデアル、此故ニ私ハ豫算總會ニ於テ言ウタ半面カラ言ヘバ、卽チ政府ハ全ク鐵ニ對シテハ無政策、無經綸トモ云フコトニナルデハナイカ、此以外ニ計畫ガナイト云フナラバ無經綸デハナイカ、無政策デハナイカト云フコトヲ私ハ質問シタノデアル、私ハ必ズシモ政府ヲ責メントスルノデハナイ、此重大ナル現下ノ問題、將來ノ問題ニ付テハ十二分ノ反省ヲ求メテ之ヲ黨派ノ問題トセズ、之ニ對

スル國是ヲ定メテ進ムコトハ最モ大切ナル問題デアルト思フカラデアル、然ルニ政府ハ此點ニ付テ顧慮スルコトナク、議員ノ此勸告ニ付キ希望ニ對シテ胸襟ヲ披イテ容レルカト思ヒノ外、與黨ノ贊成者ニ對シテスラモ叱言ヲ言フヤウナ狀態デ、遂ニ與黨ノ諸君ノ意見マデヲ動カシタト云フコトハ、全ク此問題ニ付テ政府ガ誠意ヲ缺ク故デアルト私ハ甚ダ殘念ニ思フノデアル、殊ニ最モ私ノ遺憾ニ感ズルノハ、本年ノ此豫算ニ出シテ來タトコロノ財源ハ、總テ製鐵所ノ純益ヨリ出シテ來タ、第二期擴張ノ財源竝ニ今回ノ第三期擴張ノ財源ヲ合セレバ、一千八十餘萬圓デアル、之ニ政府ノ國庫ニ收メアルベキ、千三四百萬圓ノ純益ヲ擧ゲルニ、是マデ入レタ資本金ハ四千五、六百萬圓——五千萬圓ニモ達シテ居リマス、其五千萬圓ベカリノ資本ニ對シテ純益一千四、五百萬圓ニ近キモノヲ今日既ニ擧ゲテ居ル、而シテ將來ノ財源トナッテ居ルモノハ唯今此壇上デ說明セラレタ通リデアル、之ヲ資本ニ割當テルト二割以上、私ノチヨト計算シタルトコロデハ二割七步ベカリニナッテ居ル、此ニ於テ私ハ政府ニ質問シタノデアル、政府ハ當面ニ於テ鐵ノ分量ヲ增加シ鐵ノ製產額ヲ增加シテ、此國內ノ鐵ノ需用ニ充タスコトガ此以外ニナイトスルナラバ、製鋼所ハ此鐵ノ分配又此鐵ノ價格ノ昂騰ニ對スル調節、此等ノ問題ハ政府者トシテ當然ニ攻究シ且手段ヲ執ラナケレバナラヌ筈デアル、鐵ノ工業ニ最大最要ナル原料デアルト云フコトハ言フマデモナイコトデ、工業奬勵ヲ以テ最モ政策ノ一トシテ居ラルヽ、現內閣ガ、鐵ノ價格暴騰ハ二倍ニモ三倍以上ニモナッテ尙停止スルトコロヲ知ラズ、卽チ其需要ニ對スル三分ノ二ノ品物ハ賣ルコトガ出來ナイト云フ窮困ノ事情ニアル以上ハ、之ニ對シテ調節ノ工夫ヲナシ價格ノ暴騰ヲ制シ、若クハ其分配ヲ各階級、各方面ニ按分比例ヲ以テ分配スルガ如キ、何等カノ之ニ處スル方法最善ノ努力ヲ盡サナケレバナラヌ筈デアル、現在交戰國ニ於テ獨逸モ英吉利モ鐵若クハ食料若クハ軍需品其他ノ問題ニ付テハ官民聯合ノ委員會ヲ組織シテ、種々ナル手段ニ依ッテ此等ノ調節ヲ努メッヽアルコトハ吾等ノ聞ク所デアル、其當面ノ問題ニ付テ政府ハ何等カ顧慮スル所ガナイノハ如何ナル譯デアルカ、政府ハ製鐵所ノ官營ニ付テ利益サヘ擧ゲレバ宜イト云フ方針デアルカ、或ル程度マデニ達スレバ之ヲ調節スルノ考デアルカ否ヤト云フコトノ私ノ質問ニ對シテ、政府ハサウ云フ考ハ持タナイ、是ハ政府ガ廉ク賣ッタト云フテモ更ニ買ッタモノガ民間ニ廉ク賣ルト云フモノデナイカラ、時價ガ騰

レバ當然政府ハ其値段デ賣ル外ハナイ、詞ヲ換ヘテ言ヘバ調節ニ付テハ何等考ヘテ居ラヌ、而シテ之ニ付テ制限ヲ與ヘルハ少シモナイ、而シテ其儲カッテ來テ其利益ハドウスル考カト言ヘバ、河野農商務大臣ハ是ガ段々儲カッテ來レバ之ヲ以テ減稅ノ資金ニ供スルト仰セラレタノデアル、實ニ吾ヾハ空谷ノ跫音ヲ聞クガ如キ考デ殆ド意外ノ感ニ打タレタノデアル、而シテ鐵ノ價額ノ暴騰ハ政府ノ經營シテ居ルトコロノ製鐵所ヲシテ際限ナク利益ヲ收メシメ、鐵ノ價額暴騰ニ對シテ何等顧慮シナイト云フコトハ半面ヨリ言ヘバ政府ノ收益ヲ圖ランガ爲メニ國民ニ重稅ヲ課スルト同ジ結果ニナルノデアリマス、ナゼナレバ鐵ノ需用ハ單リ民間工業者バカリデナク、國民一般ニ行キ亙ッテ使ハレテ居ル、一枚ノ鐵鍋、皿ヲ買フニシテモ三倍四倍ニ價額ガ昂ッテ來ル、其鍵ヲ握ッテ居ルモノハ政府デアル、百三十萬噸ノ需要ニ對シテ三十萬噸以上ノモノヲ產出セズ、海外ヨリモ來ナケレバ此三十萬噸以上ヲ有スル政府ノ調節上ノ方針如何、卽チ此鐵ノ値段ヲ左右スル此政府ノ握ッテ居ル鍵ニ於テ調節セザル以上ニ於テ、鐵ノ價格ノ膨脹シテ底止スル所ナイト云フコトハ當然デアル、是卽チ國家ノ經營スル官營ノ製鐵所ノ利益ヲ增進スル爲ニ、其結果國民ニ一種ノ重稅ヲ課スルト同ジ結果ニナルノデアリマス、是ハ實ニ考慮セネバナラヌ問題デハアルマイカト思フ、然ルニ斯ウ云フ問題ニ付テ政府ハ何等考慮シテ居ラナイ、現在鐵ノ缺乏ニ對スル問題バカリデアル、乃チドノ點カラ考ヘテモ政府ガ此鐵ニ對シテ居ラナイノデアルカラ、此政府ノ氣附カザル所ノ點ニ向ッテ、議會ハ決議ヲ以テ希望ト致シテ根本ノ政策ニ付テ努力セラレンコトヲ望ンダノニ、政府ガ之ヲ容レヽニ吝ナル所以ハ何デアルカ、吾ヾハ政府ノ眞意ノ在ル所ヲ知ルニ苦シムノデアル、是ニ於テ私ハ遺憾ナガラ政府ニ對シテ是ト聯關シタル所ノ希望ト忠告トヲ發セザルヲ得ナイ、元來今回ノ戰亂勃發以來歐洲大亂ノ影響ヲ受ケテ、我國ノ經濟界產業界ガ非常ナル影響ヲ受ケテ居ルコトハ政府モ認ムル所デアルト思フ、然ルニ大正五年度ニ於ケル政府ノ總豫算案ニ於テモ、何等時局ニ對シテ施設スル所ガ無イ、斯ウ申シタナラバ言フデアリマセウ、現ニ染料ノ暴騰シタル爲メニ染料會社ニ保護金ヲ與ヘテ速ニ染料ノ缺乏ヲ補ヒ、藥品ノ暴騰ヲ防グガ爲ニ藥品會社ニ保護ヲ與ヘルコトヲシタノデハナイカト仰セラレルカモ知レナイ、併ナガラ此染料會社ナルモノハ染料ノ缺乏ハ戰爭勃發直ニ起ッタ問題デアルノニ、爾來一年有半、會社ヲ拵ヘテモ

今拂込ヲ了ッタバカリデアッテ仕事ハ何時スルノデアルカ分ラナイ、會社關係ノ人ハ株ノ暴騰ニ依テ權利株ガ非常ニ暴騰シタト云フコトデ大變利益ヲシテ居ルカ如ラナイガ會社自體ハ時局ニ對シテハ殆ド沒交渉ニナッテ居ル、單ニ株券ヲ募集シタノミデ荏苒日ヲ送ッテ居ル、此會社ガ出來上ッテ相當製品ヲ出スト云フ時ニハ、此問題ハ過去ノ問題トナッテシマフノデハアリマセヌカ、此ノ如キ緩慢ナル狀態デ何デ時局ニ對スル救濟ニナルカ、此鐵ノ問題ニ於テモ其通リ、鐵ノ問題ノ將來ニ付テ何等考慮スル所ガ無イ、是デモ時局ニ對シテ政府ハ考慮スル所アルト言ヒ得ルノデアリマセウカ、又近クハ紙ノ暴騰、紙ノ原料タル「パルプ」ノ輸入ノ杜絕セラレタル爲メ、紙ノ價格ガ非常ニ暴騰シ來ッテ、教科書ガ二割ノ値上ヲシテ居ル教科書ノ二割ノ値上ハ國民ニ對スル一ノ稅デアリマス、是ハ高クナッタカラト云ッテ節減スルコトノ出來ナイモノデ、ドウアッテモ負擔セネバナラヌ性質ノモノデアルガ、紙ノ暴騰ノ爲メニ小學校ノ教科書ガ二割暴騰シテ、而シテ書籍新聞雜誌ノ如キ文明普及ノ利器ハ、此紙ノ暴騰ノ爲ニ如何ナル打撃ヲ被ッテ居ルカト云フコトヲ御存ジデアルカ、是等ノ問題ニ付テハ國家ガ關稅ノ政策ニ依テ我國ノ紙ノ工業ヲ保護スル爲メニ外國ノ紙ニ對シテ關稅ヲ課シテ國家ガ長イ間助力シテ發達セシメタ所ノモノデアリマス、ケレドモ此紙ノ日本ニ於ケル製造ガ今日我國內ニ於テ、此ノ如ク暴騰シテモ海外ニ紙一枚輸出シナイデ居レバ兎モ角既ニ昨年ノ十二月前マデハ、一箇月ニ五十萬噸七十萬噸シカ輸出シナカッタ紙ガ、十二月ニハ二百五十萬噸海外ニ輸出シテ居ル、關稅ヲ保護シタ我ガ製紙工業ハ此利益ヲ得ル樣會ニ於テ盛ニ海外輸出ヲ增加シテ居ル、斯ウ云フコトモ雲煙過眼ニ見遊シテ居ル、教科書ノ値上ノ問題ノ如キハ實ニ重大ナル問題デアルニ拘ラズ、是等ノ問題ヲ御研究ニナリ調節ノ方法ヲ御執リニナッタト云フコトハ吾ヾハ聞カヌ、是ハ一例トシテ申上ゲルノデアリマスガ、此戰局ニ付テハ船價ノ暴騰トナリ、運賃ノ暴騰トナリ、是ガ日本ノ物價ニ重大ノ影響ヲ及ボシテ來テ、農商務省大藏省、卽チ政府トシテハ當然、官民ノ智識ヲ集メテ調査研究シ刻々ニ生ジ來ル、此變動ニ對スル政策ヲ定メルノガ最モ必要デアルト考ヘル然ルニ是等ノ問題ニ付テ何等觸ルヽナク茫然トシテ唯官營ノ製鐵所案卽チ自分ノ儲ケタ金デ自分ノ力ノアラン限リノ範圍ニ於テ之ヲ增シタイト云フ案ヲ提ヘ來ッテ僅ニ之ヲ以テ當面ヲ糊塗セントスルニ至ッテハ、吾ヾ政府ノ誠意ヲ疑ハザルヲ得ヌノデアル、現ニ政府ハ官營事業ヲ成ルベク民業ニ移スノ方針ナリト云フコトハ屢ヾ聲明セラレ、而シテ此方針

ハ疾クニ決定シテ居ルベキ筈デアルノニ、驚クベシ官營ヲ民業ニ移スト云ヒナガラ、今日ハ保險官營ノ法案ヲ出シテ來ルデハナイカ、而シテ滿洲日支ノ銀行等ノ事柄ニ於テ半官半民ノ官僚的ノ銀行ヲ拵ヘルト云フ法案ヲ出シテ來テ居ルデハナイカ、政府ハ官業ヲ整理シテ民業ニ移スト言ッタ、其方針其聲言ハ果シテ何レノ日ニ實行スルノデアルカ、吾ヾハ此ノ如キ政府ノ施設ガ支離滅裂ニシテ何等ノ政策ナク何等ノ經綸ナク、此千載一遇ノ時機ヲアダニ看過スルト云フコトハ國民ノ忍ブ能ハザル所デアルト思フ、此意味ニ於テ吾ヾハ現內閣ニ速ニ最後ノ忠告條件タル鐵ノ根本政策ヲ立テ、卽チ國是ヲ立テ、以テ此當面ノ急ヲ救ヒ永遠ノ計ヲ爲サレンコトヲ熱烈ニ勸告シテ此壇ヲ下ル者デアリマス

鈴木梅四郎君ノ演說

私ハ本案ヲヤハリ贊成致シマス、一人デゴザイマス、サリナガラ贊成致シマスルニ付テ私共ノ提出シマシタ希望條件ガ不幸ニシテ少數デ否決サレマシタノデアリマス、ソコデ贊成ハ致シマスルガ吾ヾノ本案ヲ贊成致シマスル趣意ハ此ニ在ルト云フコトヲ一言附加ヘル必要ガアッテ此壇ニ登リマシタ、鐵ノ今日ノ狀況ニ關シマシテ御話ニナリマシタノデゴザイマスカラ、私ハ此ニ蛇足ヲ添ヘマセヌ、サリナガラ吾ヾガ此希望條件ノ中ニ製鐵所ハ半官半民又ハ民營ニ移スノ目的ヲ以テ、官業整理ノ調査ヲ迅速ニ進行センコトヲ望ムト云フコトヲ最モ力ヲ籠メテ主張シマシタ譯ハ此鐵ノ今日非常ニ缺乏ノ時代ニ方ッテ、國策一定ハ政友會ノ諸君アタリカラ盛デゴザイマシテ、是モ御尤デゴザイマス、併ナガラ此一ノ官營ノ製鐵所ヲ如何ニ擴張發展セシメ如何ニ擴張致シマシテモ、此帝國ノ駸々トシテ進ンデ行キマスルトコロノ國運ニ伴フトコロノ鐵ノ需要ト云フモノヲドウシテモ充スコトガ出來マセウカ、之ヲ充サウト思ヒマスルニハドウシテモ民間ノ事業ヲ盛ニシテ行カナクテハナラヌ、卽チ海外ノ先進國ト同樣ニ此民業ノ發達ヲ盛ニセシメナケレバ、此日々ニ進ンデ行クトコロノ鐵ノ需要ニ應ズルダケノ鐵工業ハ出來ナイト云フコトハ、モウ三尺ノ童子モ能ク諒トスルトコロデアルト私ハ信ズル、然レバ此場合ニ當ッテ我國デハ大ナル製鐵所ハゴザイマスケレドモ、世界的ニ觀察ヲシテ見マスレバ實ニ一微々タル製鐵所デゴザイマスカラ、此製鐵所ノ擴張ヲ六年掛ッテヤル

位ノコトヲ致シテ、今日ノ急ニ應ズルコトハ出來ヌト云フコトハ、モウ論辯ノ必要モ無ケレバ熟慮ノ必要モ無イノデアル、ソレ故ニ此事業ヲ盛ニシマスルト云フニハ、ドウシテモ民業ヲ盛ニスルト云フコトガモウ第一ノ必要條件デアル、此民業ヲ盛ニスルト云フ所ト云フモノハ頗ル妨害ニナルノデアリマス、何故ニ妨害ニナルカ、此官營ノ問題ニ付キマシテハ先日私ハ豫算委員會ノ時分ニ四箇條ノ此官營ニ對スル根本的ノ不利ナル理由ヲ申シテ置キマシタノデ此ニ其四箇條ヲ盡クハ申シマセヌガ、製鐵事業ヲ起サウト致シマシテモ、是ガ邪魔ニナッテナカ〳〵起ルモノデハナイノデアリマス、又是ハ算數ヲ知リマスル者ハ如何ナル人デモ直ニ考ヘ及ブコトデ、偉大ナル所ノ國家ノ力ヲ以テヤルトコロノ此ニ製鐵所ガ一ツアル以上ハ今日ノ如ク鐵ノ缺乏ヲ來シテ如何ナル製品デモドン〳〵盛ニ賣捌キ得ル時代ニハソレハ宜シイケレドモ、此商業界ノコトハ浮沈常ナキモノデゴザイマシテ、盛業ノ後ニハ沈衰ガ來ルト云フノハ當然ノコトデゴザイマスカラシテ、此盛ナルトキト沈衰シタトキトヲ考ヘ、長イ間ノ平均ヲ取ッテ事業ノ計畫ヲシテ行カナクテハナラヌノデゴザイマスカラシテ、此邪魔物ガアリマス以上ハ如何ニ奬勵致シマシテモ私ハ盛ナル製鐵事業ノ起ルコトハムヅカシイト考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ製鐵事業ヲ盛ニシマスニハ先ヅ斯樣ナ特權ヲ持タトコロノ官營ノ製鐵所ト云フノハ吾〻ノ全體ノ希望デハアリマセヌガ、民營ニ致シ、併シ半官半民デモ尙宜シイ、斯ウ云フ意味ヲ以テ此箇條ヲ附加ヘタノデゴザイマスノデ、是ハ此上ニ進ンデ申シマセヌデモ諸君ノ御了解ニナル所ト思ヒマス、更ニ今一ッ四箇條ノ中ノ御話ヲシナクテモ活動ノ自由ヲ束縛サレテ居ル、是ガ頗ル此事業ノ發達ヲ害シテ居ルノデアリマス、今日ノ如ク製鐵

ノ需要ト云フモノガ盛デアル、價ガ非常ニ騰貴シテ居ルト云フヤウナ場合ニ、民間ノ事業デゴザイマシテアノ位ノ工場ヲ持ッテ居ルトコロノ製造事業デゴザイマスレバ、疾クノ昔ニ擴張計畫ヲスル、增資若クハ社債ヲ以テ盛ニ十分ナルトコロノ擴張計畫ヲセズシテ直ニ實行シ得ラレルダケノコトヲヤッテ盛ニヤルコトガ出來ル、然ルニ官營ナルガタメニナカ〳〵ソレガ出來ナイ、斯樣ニモウ殆ド價ハ何倍ト云フ程ニナッテ居ルノヲ見ナガラ、先ヅ帝國議會ノ協贊ヲ得ナクテハナラヌ、帝國議會ノ協贊ヲ得ルト云フニハ非常ニ此處ニ難關ガアル、現ニ製鐵所長官ガ豫算委員會ニ於テ自狀シテ居ル通リ、製鐵所ハ昨年以來非常ニ此擴張ヲ希望シテ居ッタ屢〻閣議ニモ之ヲ出シタ、出シタケレドモ財政ノ都合上カラ容レラレナイデ遂ニ昨年此豫算ヲ出ス時分ニハ計畫ヲスルコトガ出來ナカッタ、年ガ改ッテ始メテ此製鐵所ノ利益ガ澤山アルト云フコトヲ證明シテ、自分ノ稼イダ範圍デヤルナラバト云フノデ、始メテ此案ガ出來タト云フモノハ速ニ是ハ官民合同若クハ民營ニ移シ、サウシテ國ノ資本家ヲ誘ウテ此有利ナルトコロノ仕事、而モ帝國ノ重砲彈丸軍艦其他軍器ノ獨立ノ上カラ申シマシテモ、亦他ノ一般ノ航海業其他工業總テノ事業ノ最大要素トナリマスルトコロノ此鐵ノ需要ト云フモノヲ、十分ニ滿足ニ供給セシムルニハドウシテモ此邪魔物ヲ早ク取ッテ民營ヲ盛ニシナケレバナラヌトシテモ此附帶決議ヲ切ニ希望シタノデアリマス、併シ論ト致シマシテハ政友會ノ諸君並ニ同志會ノ諸君モ是ハ全ク反對サレナカッタ、併ナガラ反對ヲシテ何故ニ吾〻ノ此條件ニ御同意ガナカッタカト云ヘバ、是ハ全ク私共ハ政略ノ爲メト考ヘル、唯今片岡委員長ノ現ニ此官業整理デ製鐵所ノ問題モ審議シテ居ル場合デアルカラ、民營ニ移スノ目的ヲ以テト云フコトニ付テハ、政府モ同意ガシカラシテ、是ハ多數ノ贊成ヲ得ルニ至ラナカッタト云フ御說明デゴザイマシタガ、實ハ私共カラ見レバ兼ルカラシテ、此問題ニ付キマシテハ個人々々ニ至ラテ居ラレル時節デハナイノデ、殊ニ政友會ノ諸君ハ全然吾〻トマスルト左樣ナ緩慢ナコトヲ今日申シテ居ラレルノデアリマス、今日ノ如ク製鐵事業ニ對スル臨トシマシテハ同志會ノ諸君政友會ノ諸君モ皆御贊成デゴザイマス、殊ニ前ノ四箇條ノ附帶決議ト云フモノハ、唯臨時應急ノコトヽシテ——此製鐵事業ニ對スル臨時應急

ノコトヽシテ賛成シタノデ、一番力ヲ籠メテ居リマスルノハ私ノ唯今申シマシタ所謂民營ニ移スノ目的ヲ以テ云々ト云フノガ吾ヽノ主要問題デゴザイマスカラ、之ヲ一言添ヘテ置キマス次第デゴザイマス

岡崎久次郎君ノ演說

諸君、唯今鈴木君カラ警告ノ否認サレタル一點、卽チ製鐵所ノ速ニ民營又ハ半官半民ノ事業ニ移スノ目的ヲ以テ調査ヲ進行シロト云フ此點ニ付テ段々ト御述ベニナリマシタカラ、先ヅ此點カラ申上ゲテ見タイト思ヒマス、私ハ委員長報告ニ贊成ヲ表スルノデアリマス、而シテ半官半民ト云フコトニ付テ鈴木君ハ政略ノ爲メニ吾ヽハ反對シタノデハナイ、鈴木君ガ述ベラレタル第一ノ要點ハ枝光製鐵所ハ大ナル利權ト大ナル特權ヲ有ッテ居ル、官營デアルカラ是レガアルト云フト民業ガ起ラヌ、是ガ先ヅ第一ノ論點デアル、第二ハ官業ナルガ故ニ事業敏ナラズ、ソレ故ニ速ニ民業ニ移スベシ、此二點デアリマスガ、ナルホド實業界ノ仕事ト云フモノハ其理想トシテハ民營ヲ尊ブノデアル、是ハ言フマデモナイ、併ナガラ理想ト實行トハ必シモ伴ハヌ、殊ニ我ガ帝國ノ鐵業ノ如ク一種ノ變態ヲ以テ起ッタルトコロノ事業、民業デ起ルベキモノガ官業ヲ以テ起ッタ此變態ニ起ッタ、事業ニ對シテハ自ラ又順序次第方法ヲ以テ此變態ニ處スル途ヲ講ジ、而シテ後ニ民業ニ移サナケレバナラヌノデアル、此枝光製鐵所ガ今日直ニ民間ニ移サレマシタ時ニハ、却テ民業勃興ノ阻碍ニナルカモ知レス、何故ト言ヘバ製鐵事業ノ如キモノハ第一ニ礦石デアル、第二ニハ大ナル資力、第三ニハ石炭、斯ノ如キ種々ノ材料ガ要ルノデアル、然ルニ枝光製鐵所ノヤウナ此大ナル利權、礦石ニ於ケル便宜、石炭ニ於ケル便宜、資本ハ官營デアルガ故ニ無利息、斯ウ云フモノガアルカラ民間ニ起ラヌト云フガ、斯ノ如キ便宜アルトコロノ總テノ特權ノ一大會社ヲ民間ニ起シ、民間ノ民營トシサウシテ之ニ大ナル又民間ノ資本ヲ追加シテ起シタラバ、他ノ民業ハ却テ阻碍サレルカモ知レス、必シモ私ハ阻碍サレルトハ言ハヌ、阻碍サレルカモ知レヌ、況ヤ各地ニ民業ハ起リツヽアル、唯今現時ニ起ッテ居ルモノハ御承知ノ通リ釜石モアレバ三菱ノ兼二浦モアル、又本溪湖ノ製鐵所モアル、是ハ既ニ既設ノモノ、將ニ起ラントスル所ノモノハ久原ノ鐵工所モアルト聞イテ居ル、又更ニ一大民間ノ製鐵所ガ今ヤ計畫ニナリツヽアルモノガアル、斯ク各方面ニ於テ計畫ガ進メラレツヽアル際ニ於テ、此枝光製鐵所ヲ突如トシテ民營ニ移シ之ニ更ニ大ナル資本ヲ加ヘタラバ、却テ將ニ起ラントスル所ノ他ノ製鐵所ノ促進ヲ促スニアラズシテ、或種ノ恐怖阻碍ヲ來シヤシナイカ、是等製鐵ノ如キ五年七年經ッテ初メテ其事業ニ著手セントスル場合ニ當ッテハ、既ニ枝光ノ如キ收益ノ上ルモノガ民營ニナルトスレバ、其處ニ資本ノ集中スルノハ極リ切ッタ話、斯クセバ新タニ起ラントスル所ノモノノ氣勢ヲ殺グ形ニナルカモ知レヌ、此點ガ吾ヽノ憂慮シタル所デアル、又此點カラ云フト官業ガ誠ニ遲々トシテ官業ガ甚ダ活動ガ鈍イト云フ所ノ點モ亦妙味ガアル、官業ハ甚ダ活動ガ鈍イカラ、吾ヽガ一ツアレナラバ競爭ガ出來ル、彼ハ有利ナル財源ヲ有ッテ居ルガ、アレナラバ驚ク所ガ無イト云ッテ民間ニ仕事ガ起ルカモ知ラヌ、是等ノ點ハ頗ル考慮ヲ要スル點デ必シモ反對トハ言ハヌ、民業モ反對トハ言ハヌ、斯ウ云フ點ニ付テハ卽時ニ目的ヲ定メテ直ニヤレト云フコトハ少シク早急ニ失シヤセヌカト思フノデアリマス、殊ニ御承知ノ通リ此枝光ノ如キハ唯一ノ財源トシテ支那ニアル、我帝國議會ガ必ズ賴ンデ居ルトコロノ鑛石——此鑛石ハ諸君ノ知ラルヽ如ク主トシテ此枝光ヲ民業ニ移スベキモノナリト萬一決議ヲシタトキニハ、ソレデナクトモ困難ナル所ノ鑛石ノ權利竝ニ將來ニ於ケル漢冶萍ノ合辦、是等ノ點ニ付テ或ハ彼ニ口實ヲ與ヘ或ハ遲延ニナルヤウニナルト云フコトハ吾ヽ忍ブコトガ出來ヌ是等ノ點ニ付テモ事外交ニ渉ルモノハ少シモ阻碍ノナキヤウニ注意ヲシテ事ヲ決スルノガ當リ前若シ一阻碍トナッテ事ガ遲レルトスレバ一大障碍ヲ此ニ來サナケレバナラヌト云フ樣ナコトモ無イトモ限ラヌ、又此製鐵所ノ問題ニ付テ軍器獨立ト云フ問題ガアル、唯今ノ所デ軍器ガ悉ク獨立シテ居ルトハ言ヘヌ、或ハ非常ニ危殆ニ瀕スルカモ知ラヌ、是ガ研究ヲ終リ十分ナ仕事ヲスル上ニ付テハ、必シモ急ニ民營ニ移サナケレバナラヌト云フ決議ヲスルノモ、或ハ或程度ノ阻碍ヲ來スカモ知ラヌ、ソレ等是等ヲ考ヘテ見マスルト決シテ反對スル意味デハナイガ、先ヅ斯ノ如キ急激ナル決議ヲ避ケテ吾ヽハ目下政府ガ官業調査委員會ヲ開キ、是ガ調査委員長トシテ現大藏大臣タル武富時敏君ガ熱心ニ執掌セラレテ居ル、故ニ此調査ノ結果ヲ待チ而シテ吾ヽモ亦其間十分調査ヲ進メテ、以テ相對應シテ事ヲ決セントスル次第デアルカラ、此點ニ付テ吾ヽヽ留保スル意味ハ決シテ政略問題ニアラズシテ、寧ロ沈思熟考ヲ欲セントスル點デア

ルノデアリマス、更ニ吉植君ハ賛成演説ヲ以テ頻リニ痛烈ナル政府攻撃ヲナサッタノデアリマス、成程吉植君ノ御説ノ如ク吾々モ全然此案ヲ全科玉條トシテ大満足ヲ表スルモノデハナイ、併シ事ハ理想ト實行トハ行キ方ガ違フノデアル、實行ヲ先ヅ以テ進メナケレバナラヌ、理想ハ如何ヤウデモ論ゼラレルモノデアル、鐵ノ不足ヲ即時ニ滿タセト云フ御話デアルガ、成程百二十萬噸カラ百三十萬噸ノ輸入ガアリマシテサウシテ、製鐵所デ出來ルモノハ僅ニ三十萬噸乃至三十五萬噸デアルカラ、百萬噸或ハソレ以上ノ不足ガアルニ違ヒナイ、併シ吉植君ノ言フガ如ク新粉細工ヤ飴細工デハナイカラ、直グ拵ヘロト云テモサウハ出來ルモノデハナイ、ソレニハ機械ノ設備モアレバ又最モ必要ナル鑛石ノ問題カラ先キニ解決シナケレバ出來ルモノデハナイ、鐵ハ欲シイモノデアルケレドモ出來ナイコトヲ何デモヤレ、ソレヲヤラナイカラ政府ハ甚ダ不忠實デアルト云フガ如キハ殆ド聞クニ足ラナイ、政府ガ此ニ第三期擴張ヲ行ッタノハ四十年間ニ千五百萬噸ノ鑛石ト、又四十年間ニ八百萬噸ノ銑鐵ヲ大冶ト漢冶萍トノ契約ニ依テ、之ガ基礎トナッテ擴張ガ出來タ、其契約ハ二年以前ニナサレタ、是ハ即チ政府ノ達觀デアル、或ハ前々政府ガヤラレタノデアルカモ知レヌ、兎ニ角達觀ヲ以テ鐵ノ前途ヲ見タカラ此契約ヲシテアッタ、是ガアラズンバ今日何ト言ハレテモ更ニ擴張ハ出來ナイ位デアル、然ルニ何ゾヤ第二擴張ハ一箇年間延期ヲセラレタノデアル、何ノ目的カ知レヌ、行政整理ノ目的カ、財政整理ノ目的カ、何カノ理由ニ依テ第二期擴張ハ一箇年延期ヲセラレタノハソモ何レノ政府デアッタカト云フト、政友會ノ諸君ガ所謂我黨内閣ト稱セラレタル所ノ内閣ニ依テ延期サレタノデハナイカ、此第二期擴張ガ一箇年遲レズニ進ンダナラバ、今日鐵ノ供給ハ殆ド十萬噸位ハ殖エテ居ル筈デアル、然ルニ延期ヲサレタ、自カラ延期ヲシタル理由ニ付テ顧ミズニ、唯無暗ニ今日之ヲ直グ鐵ヲ拵ヘロト云ッテモ是ニハ鑛石ノ問題ト設備即チ機械ヲ拵ヘネケレバナラヌ、此機械モ亦即時ニ拵ヘルコトハ出來ナイカラサウ急ニハ出來ナイ最善ノコトヲシテ吉植君ヨリ鐵價ノ調節ヲシロト云フ、是亦迚モ出來ルコトデハナイ、製鐵所デ事實安ク賣ッテモ鐵ソレ自身ガ缺乏シテ居ルカラ安ク賣ッタ所デ安ク賣ル理由ガナイ、恐ラク何人ト雖モ斯ノ如キコトハ言ハズシテ分ッテ居ルト思フ、所謂需要供給ノ關係ニ依テ定マルモノデアル、殊ニ況ヤ分配ニ至ッテハ寧ロ滑稽デアル、橋桁ヲ一部造ッテモ宜イ或ハ船ヲ半分造ッテモ海ニ浮ベナケレバナラヌト云フ如キデ分配ノ調節ハ出來ルモノデハナイ、斯ノ如キ問題ハ私ハ强イテ抗辯ハ致シマセヌ、唯最後ニ私ハ農商務大臣ニ特ニ御注意申上ゲタイノハ、此議會ガ警告シタル四箇條ノ警告デアル、是ハ最モ重要ナル意味ヲ以テ警告ヲ申上ゲタノデゴザイマス、是ガ一致ヲ以テ賛成ヲ致シタ上ノ警告デアッテ、極メテ權威アル警告ト御承知ヲ願ヒタイ、唯吾々ハ現農商務大臣ハ立憲政治家ノ農商務大臣タル人ハ、必ズヤ言行一致スル人、及ビ此鐵ノ前途ニ就テハ最モ熱心ニ又最モ親切ニ、今ヤ鐵ノ製造ニ付テ御研究ニナッテ居ル農商務大臣政黨出身ノ此立憲的大臣デアルカラ、定メシ此警告ハ極メテ權威アルモノトシテ信ズルノデアリマス、故ニ此警告ニ付テハ何卒最モ來ナケレバモウ總テ人事ヲ盡シテ出來ナイモノト注意ヲ御拂ヒアラムコトヲ切望シテ已マヌノデアリマス

討論終局ニ際シ河野農商務大臣ハ右演説ニ對シ辯明スルヤ古谷久綱君質疑ヲ爲シ河野農商務大臣之ニ應答ス

河野農商務大臣ノ辯明

本案ニ對シテ段々吉植君ヲ先頭ト致シテ贊成ノ意味ヲ以テカ、反對ノ意味ヲ以テカ、能ク分リマセヌガ、贊成ノ意ヲ以テト云フコトデ段々ト述ベラレマシタガ、獨リ此鐵ノ法案ノミナラズ各省ニ亙ッテノ攻撃ト申シマセウカ、種々ノ御説ヲ拜聽致シマシタ、其宜シカラザルモノハ更ニ取リマセヌデアリマスル、其是ナリト信ズルモノハ何人ノ口ヨリ出マシテモ之ヲ採用致シタク私ハ平生考ヘテ居リマス、而シテ尚此鐵ノコトニ付テ戰爭勃發以來鐵ノ不足ガ眼ニ見エテ居ル、而シテ此鐵ニ對スル應急ノ途ヲ立テンケレバナラヌノニ之ヲ立テナイ、是モ宜シク立テナイ、テ是ハ宜シクナイ、又永達ノ方針モ立テナイ、是モ宜シクナイ、殊ニ段々ト御述ベニナッタ言々句々ノ間ニ於テ御經綸ノ一端トシテ伺フコトモ出來マスガ、併シ一國ノ事柄ヲ必要不足若クハ過剩ノ爲ヲ以テ之ヲ調節スベキハ政府ノ任務デアルト云フコトハ、是ハ政府萬能ノ主義カラデモ出テ來ヤヌカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、不足ノ爲ニ心配ヲスルノモ宜シウゴザイマス、無論センケレバナリマスマイ、又剩リアルトキニ當ッテ過剩ノモノガ妨ゲ

ヲナスナレバ、之ヲ測ケル途モ講ジナケレバナリマスマイガ、政府ノ力デ能ク之ヲ爲シ得ラレルモノデアルヤ否ヤハ是ハ御推察デ分ル筈デアリマス、斯ノ如キコトヲ今日ノ場合――今日ノ場合デハナイ、卽チ是ダケ時勢ノ發達シタ場合ニ於テ政府萬能ノ主義ヲ取ルコトハ到底イカヌコトト思ヒマス、ソコデ鐵ニ對シテ方針ガサッパリ無イト云フ御非難ヲナサルノハ御隨意次第デアルケレドモ、政府ノ方針トシテ今日通リニアルコトハ、委員會ニ於テモ或ハ問ニ應ジテ皆政府委員等ニ於テモ御答ヲ致シ、又私自身ニ於テモ御答ヲ致シマシタ、之ヲ繰リ言ナガラ此ニ於テ申述ベテ置カヌト云フカラ申述ベルノ必要ガアリマス、鐵ノ方針ニ對シテハ所謂此官業ノ部分ハ今回ノ第三期ヲ以テ之ヲ終リト致シ、卽チアトハ擴張ヲ致スノ趣意ハナイ、斯ノ如ク申シマシタ、是ガ所謂官業非官業ノ元ハ此處ニ生ジテ來ル、一面ニハ官營ノ處分ニ付テノ委員會ガ開ケテ居ッテ、委員會ハ未ダ此決定ヲ致シマセヌノデアリマス、然レバ官營非官營ノ點ニ付テ俄ニ決スルコトハ出來ナイ、而シテ鐵其モノニ對シテ今日窮迫ヲ告ゲテ來タ、能クダケノコトハ之ヲ爲サウト云フコトハ鐵ヲ增加スルニ付テハ、唯徒ニ出來ハセヌノデアリマス、唯出鑛量ヲ幾ラト見タ所ガ鐵ハ出來スノデ速ナルヲ要ストシテ見タトコロガ今日ノ場合直グニ之ヲ据付ケル譯ニハ往カヌノデアル、相當ナル月日ハ此ニ待タナケレバナラス、致シマスレバ唯其所ヘ既成品ヲ買入レルニシテモ急ニハ參ラヌノデアリマス、又此事業ヲ起サウトスレバ現在アル所ノ工場ニ就テ見テモ、其地形カラ直サナケレバ出來ヌヤウナコトニナッテ居ル、是ニ多少ノ月日ハ掛カルノデアル、而シテ小サナモノデアリマシテモナカ〳〵急ニ往カヌ、ソコデ此二十萬噸ノ增加ヲシヤウトスルノニ如何ニシテモ五箇年ヲ過ギズケレバ出來ヌ、ドウモ多少不十分ノ所ガアルカモ知レヌ、旁〻財政上ノ都合ガアルト云フノデ六箇年ノ繼續デ以テ此事ヲ致スト云フノデアル、ソコデ此官業ヲ以テヤッタトカヤラヌカトカ、之ヲ大層ナ――尨大ニシヤウトカシマイトカ云フコトハナカ〳〵種々ノ關係ガアッテ往カヌノデ、凡ソ鐵ヲ造ルニハ鑛石カラ考ヘナケレバナラヌ、鑛石ハ何處カラ持ッテ來テコナスカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナリマセヌ、今日此枝光製鐵所ノ鐵ハ多クハ漢冶萍ノ大冶ノ鐵ヲ以テ基礎ト致シテ居リマス、是ハ年々研究シテ卽チ契約ニ依テ此鐵ハ使用シテ往カヌケレバナラヌ、ソコデ鐵ハ四十箇年ニ千五百萬噸ト云フ銑鐵ノ方ハ八百萬噸ト云フト、契約デアリマス、之ヲ基礎

トシテ此製鐵所ハ立ッテ居ルノデアリマス、ソレデ不足ヲ告ゲル所ハ卽チ朝鮮ノ鐵ヲ使ッテ今日來ッテ居ル、是カラ二十萬噸ヲ擴張シテ往ッテ恰度此契約ノ四十箇年ニシテ千五百萬噸ト八百萬噸、斯樣ナ次第デアリマス、ソレデ是レ以上ニ擴ゲヤウトスレバ更ニ鑛石ノ元ヲ造ラナケレバナラヌ、ソレデ今日ノ計畫ハ三十萬噸ニ止メタ所ノモノハ多クハ鑛石ノ關係、是ガ大ナル原ヲ爲シテ居ル、此鑛石ノ豫算ガ基礎固カラズシテ而シテ此擴張ハ出來ナイノデアリマス、ソコデ鑛石ノ基礎ニ依テサウシテ此三十萬噸ノ擴張ヲ致シ、是ト同時ニ又製造所ハ枝光ニ於テ――枝光ノ擴張ト云フコトニナリマスレバ彼ノ地形上ヲ見ヌケレバナラス、彼ノ地形上ニ於テハ今日第三期ノ擴張ヨリ以上ノ擴張ハ出來ナイノデアル、斯樣ナ故ヲ以テ今回ノ第三期ノ擴張ト云フモノハ三十萬噸トシタノデアリマス、ソレカラ此鐵ノ――是ハ枝光ノコトデアリマスガ鐵ノ不足ナルコトニハ痛心ヲ致シテ居リマス、心配致シテ居リマス、ソレデ此方針ノ一トシテ官營ノ如キハ第三期ノ擴張ニ止メテ、アトノ不足ハ民間ノ企業ニ待タンケレバナラヌト云フ、卽チ數年來事業官營ト云フモノハ甚ダ宜シクナイト云フ說ガ往々聞ヘテ居ル、政府モ亦是ニ聞ク處ガアッテ是ガ整理委員會ヲ拵ラヘタノデ、斯樣ナ場合デアリマスルカラ縱シ大ナル事業ガ出來タニシテモ、多少ノ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌノハ官營ノ事柄デアル、ソコデ此官營ハ此ニ止メタ、卽チ此考ヲ定メタ、鐵ノ政策ノ一トシテ官營ハ是ニ止メテ足ラザル所ノモリハ民間ノ事業ヲ奬勵ヲスル、單リ奬勵ヲスルト云フト語弊ガアリマスガ、民間ノ有力ナル人或ハ一人トハ申シマセス、數人今此業ヲ起サウトシテ、ソレノミナラズ數人各種ニ考ヲ定メテ居ル、而シテ此成ラントスル場合ニ當ッテモ十分ニ此企業ヲ爲シ能ハザル所以ノモノハ何ノ點ニアルカト云ヘバ所謂此原料、鐵ノ鑛石其物ヲ得ルニ苦シムノデアル、御話ノ通リ今日ハ資本ヲ得ルコトハマダ易イデアリマセウ、併ナガラ此基ヲ爲ス所ノ原料其モノニ付テ得ル所ノ途ガナイ、是ガ無ケレバトテモ此事業ハ成立タヌノデアリマス、農商務ノ見ル所ハ卽チ製鐵ハ基礎ヲ鑛石ニ置カナケレバナラヌト斯ウ定メテ居ルノデアリマス、又枝光製鐵所モ卽チ鐵ノ鑛石ヲ基礎トシテ是ガ引取レル引取レナイガ卽チ基ヲ爲スノデアリマス、將來ニ於テ鐵ノ事業ヲ大ニ發達セシメヤウトスレバ則チ此基礎ニ付テ鐵ノ鑛石ヲ得ントスレバ、是ハ遺憾ナガラ我ガ日本ノ現狀トシテ是ハナカ〳〵內地ニ求メルコトハ出來ヌノデアリマス、ソレデハ絕對ニ無イカ

ト云フ此間ノ御尋デアリマスカラ、絶對ニ無イト云ハス、日本ニモ諸方ニ鐵山ハアル、サアアルト云フコトヲ申述ベレバ則チ採ッテ來テ直グニ是ガ今日ノ用ヲ爲スカ、如キ感ヲ起サレル、是ハ淺見ナ御考デアルト斯ウ見ンケレバナラヌ、ソコデ今日鐵ノ大事業ヲ起サウトスレバ豐カナル此基礎ノ上ニ置カンケレバナラヌ、卽チ鑛石ノ豐カナルモノヲ以テ基礎トシテ定メンケレバナラヌ、之ヲ得ル途有リヤ無シヤガ卽チ問題デアルノデアリマス、有リヤ無シヤト云フト絶對ニ無イノデハナイ、此處ガ大切、先年來鐵ノ問題ニ付テハ農商務省トシテモ日本內地ハ各地ヲ歩キ、加之朝鮮ナドニ於テモ技師ヲ派シテ——出張ヲモ致シテ——併ナガラ相當ノ原料ハ未ダ十分ニ得ナイノデアル、昨今民間デ斯ノ業ヲ起サウトシテ起ラヌノモ此鐵石不足ノタメデアル、ソコデ今日ハ此原料ヲ得ヤウトスルノ此目的トシテ頻リニ調査ヲシテ居ル上ニ、此完成ヲ速ナラシメナケレバナラヌト云フ卽チ鐵ノ調査ヲ完成シナケレバナラヌ、之ヲスル、ソレカラ續イテ來ルモノガ始メテ此基礎ニ置イテ心配ガナイト云フ所デ、是カラ安ンジテ此企業ヲ爲サンケレバナラヌト云フ斯ウ云フ順序ニナッテ參ラウト思ヒマス、併ナガラ是ハ大體ノコトヲ廣イ意味ヲ以テ申上ゲマシタノデ、所謂二百萬トカ三百萬トカ云フ鐵ノ需用アル唯今ニ際シテ、之ヲ充タスノニ如何ニスルカト云フ所以ニ亙リ方針ヲ立テヽ居ル、ソコデ卽今ノ事柄ニ付テ企業ヲ爲ス人ニ對シテハ力ノアラン限リ之ヲ奬勵モシ助力モ與ヘ、鐵ノ事業ヲ起サウトスレバ今日ニ企業ヲスレバ、單リ製鐵所デ出來タ、ソレダケデハ足ラヌノハ原料モアル、今日デモ足ラヌノデアル、是モ亦技師ノ——技師其人ヲ得ヌケレバナカ〳〵失敗ノ多イモノデアリマス、今日マデ製鐵所ガ幾遍カ損失ヲ致シテ來タケレドモ、技師及其職工ノ馴レヌノモ與ッテ力アルヤウナ次第デアル、故ニ此將來ニ今事業ヲ起サウトスレバ一二年ノ後ニアラザレバ起ラヌ、其間ニ技師ノ養成職工ノ養成ヲセンケレバナラヌ、之ニ對シテ宜シク之ヲ養フ途ヲ講ゼンケレバナラヌ、卽チ製鐵所ニ於テドウカ此企業者民間ニ業ヲ起サウトスル人ガアレバ、是等ノ便利ヲ與ヘテ行カンケレバナラヌ、是ハ勉メルヤウニシテ居ル、或ハ設計等ニ付テモ十分ナル力ヲ注ガウト云フ百般ノコトニ付テ此力ヲ盡シテ今日業ヲ起サント企テル人ニ付テハ、便利ノアラン限リハ便利ヲ與ヘ力ノ及ブダケ力ヲ與ヘヤウト云フ方針デ、卽チ此民間ノ製鐵事業ノ起ランコトヲ計ッテ參ルノデアリマス、斯樣ナ次第デ企圖アル每ニ進ミヲ付ケンケレバ宜シキ進ミハ付カヌノデアリマス、ソコデ斯樣ナ方針ヲ以テ往クノデアリマス、唯之ヲ徒ニ之ヲ早メテ行カフト見タ所デ百般ノ事柄ガ具ハランケレバ出來ナイノデアリマス、ナカ〳〵一朝一夕ニ出來ル問題デナイト思フ、斯樣ナ趣意デアリマシテ決シテフノデハ決シテナイノデ、又段々委員會ニ於テ御說ヲ伺ヒマスレバ、唯違フ所ノモノハ此ノ如キ方針ヲ以テ農商務省ハ進ンデ來タガ、其點ニ付テ見マシテモ、大略私共ハ異存ハナイト云フコトノ御答ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯非難ハ——先刻來ノ御非難ハ此末ドウスルカト云フ、卽チ斯樣ナ方法ヲ以テ進ンデ往ッテ最モ此卽今ニ於テ起業——業ヲ起サントスル人ガ屢〻力ヲ入レテヤッテ居ル、或ハ久シカラザル間ニ此事ガ成就シマセウ、卽チ是モヤハリ原料ヲ得ル、卽チ鐵山原料ヲ得ルト云フ上ニ付テ力ヲ注イデ居ル、卽チ鐵山原料其モノヲ得マシタナラバ卽刻會社ノ成立ヲ見ルコトガ出來ルダラウト思フ、左樣ナ次第デアリマスルカラ、決シテ怠ッテハ居ラヌノデ、ソコデ又今度ハ政府ガ此業ヲ大キクシヤウトスルカ、大キクスルニトハ原料ニ於テ差支ヘル、左樣ナ次第デアルノミナラズ一方ニ於テハ之ガ官營ニスルカ、民營ニスルカ、卽今委員會ヲ組織シテ攻究中ノ問題デアル、此ニ於テ之ニ對シテ御答ヲ此ノ如クシ樣トハ爲サントシテ能ハザルコトデアルノデ、其趣キハ御答ヲシテ居ルノデ、サウ云フ次第デゴザイマシテソレガ足ラナカッタカラ速ニ政府デヤレ、此不足ヲ告ゲテ來タカラ此ノ如クセンケレバナラヌトカ云フノハ、御論トシテハ誠ニ結構デゴザイマスルケレドモ、併ナガラ事實トシテハ甚ダ容易ナラザルコトデアルデアラウト思フ、御論ジ爲サイマスル其人ト雖モ、然ラバ突嗟ノ間ニ如何シヤウト云ヘバソレハ能ハザルコトガ生ジテ參ルデアリマセウ、理想トシテハ大層結構デアリマセウ、又此ノ如クシテ此ノ如クスレバ一向出來ルデナイカト云フコトノ論ジ來リ論ジ去ルハ大層宜シウゴザイマセウガ、事實ハサウ運ビマセヌ、無キモノヲ有ルト云フ譯ニ參リマセヌノデアリマス、種々ノマダ諸方面ニ對シテ、內閣ノ各省ニ向ッテノ御攻擊ガアリマシタガ、是亦伺フ所ニ依レバ大略ドウモ唯今申上ゲマシタ通リノ事デ、事實トシテナカ〳〵ムヅカシイコトガ多カッタト存ジテ居リマス、之ヲ私ガ別段此ニ於テ其論ニ對シテ申上ゲル必要モ何モナイ、此鐵ニ對シマシテハ無論無方針ト云フコトハナイ、又鐵ノ原料カラザルナレバ宜シカラズト云フコトモアリマウガ、併ナガラ無方針ト云フコトハナイ、

ヲ得ラレズシテ拵ヘル途ハアリマスマイ、ソレガ出來レバ結構デアリマスガ輒クソレガ得ラレルヤウニ私ハ信ジナイ、ソコデ御論トシテハ甚ダ論ジ易イケレドモ多クハ實行シ難イ御論ニ、歸シハセヌト考ヘマス、ヤハリ私ハ此方針ヲ以テ進ンデ參ッテ御希望ノアル所ニ對シテ、而シテ此希望ヲ充タス方針コソ最モ宜カラウト存ジテ先日來其御協議ノ結果ニ對シ御同意ノ出來ルダケハ御同意申シタイ、殊ニ年限ヲ縮メル如キモ誠ニ希望致シテ居ルノデアリマスカラ、之ガ財政上ニ關係ヲ持チマスカラ此ニ於テ確答ハ申上ゲラレマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置イタガ其通リデアリマス、併ナガラ事實ニ於テハドウカ五箇年位ノ間ニ成工致シタイト云フノハ私ノ滿腹ノ考デアリマス、左樣ナ次第デアリマス、併ナガラ又私ハ吉植君ノ御話ノ中ニ奇怪ナ念ヲ懷イタコトガアル、鐵ノ價ヲ廉クセヨ、此ノ價ヲ調節セヨト云フコトガアル、調節甚ダ宜シイ、如何ナル方法ヲ以テヤリマスカ、先ヅ私共ニ於テハ方法ガ無イ、斯樣ニスレバ斯樣々々ト云フ即チ一二ノ箇條ヲ擧ゲテ御話デアリマシタガ製鐵所ガ價ヲ廉ク賣ル、造船所ヘ賣ル、船板ヲ――所謂厚板ヲ造船所ヘ賣ル、之ガ一割二割廉ク賣リマシタラバ其船ノ價ヲ廉ク賣ルトシテモ一般ノ市價ヲ制スル力ヲ持タズシテ、又多少輸入ノアル此場合ニ方ッテ所謂需要供給ノ關係カラシテ來タノデアルカラ、專賣ヲ爲スニアラザレバドウシテモナカ〳〵ムヅカシカラウト思フ、加之或場合ニ製鐵所ガ廉ク賣ッタ所デ、其廉ク買ッタ人ガ之ガ分配ヲ宜シク一般ノ需用者ニ向ッテ平均ナラシメルコトデアルナラバ甚ダ妙デアルガ是ハ出來マスマイ、ノミナラズ又之ヲ或ル一面カラ云ヘバ製鐵所ニ價ヲ廉ク賣レト云ヘバ何人カニ金ヲ儲ケサセヨト云フ道理ニ往キハセヌカト云フ嫌ヒヲ持ッテ居ル、ソコデ唯今執ル所ノ方針ハヤハリ此通リニ往カウ、此通リヲ以テ通ンデ參ルヨリ他ニ途ハナイ、而シテ之ガ進ンデ參ッタ所デ吉植君ノ憂ヒトスル所ノモノガアルカハ知ラヌケレドモ、公平ニ寧ロ分配ガ屆クト云フ意味ヲ以テ、製鐵所ニ對シテ多年ノ間政府ガ費用ヲ投ジテ、即チ損金ヲモ埋メテ今日マデ維持シ來ッタ、漸ゝウ昨年アタリカラ金ガ儲カリ始マッテ來タ、而シテ此金ヲ儲ケルトコロノ趣旨デナシニ分配シヤウトシテモ、前段ノ如ク此分配其宜シキヲ得ナケレバ却テ弊害ヲ生ズルノデアル、其途ヲ得ズシテ國庫ニ納メテ參レバ――國庫ニ利益ヲ納メレバ多年ノ間損失ヲシ來ッタ所ノ人民ガ、此利益ヲ得ルノ場合ニ將來ノ負擔ヲ幾分カ輕クスルト云フ理ニ當ルノデアルト云フコトヲ申上ゲタ、所ガ段々ニ金ノ儲カッタノヲ以テサウシテ之ヲ減稅ノ材料ニスルト言ッタト云フコトヲカッキリト仰ッテ居ルガ、是ハ餘程間違ヒカ、サモナケレバ故意ニ仰シャッタンデハナイカトマデ疑ッテ居ル、左樣ナ考ヲ以テ藥カレタ御論デアルトスルト、洵ニ私ハ遺憾千萬ニ存ズルノデアリマス、デ私ノ茲ニ申上ゲルノハ何モ別ニ反對ヲスル理由ノ意味デハナイト云フノデ、殊更ニ又其議論ニ對シテ彼是述ベルノ必要ハアリマセヌケレドモ、餘リニ此無方針デアルトカ、之ヲ此要求ヲ救フノ途ガナイデアルトカ云フコトヲ、苟モ容易ク出來得ベキコトヲ爲サザルガ如キ御論ヲ以テ充タサレテ居ッタノデアッテ洵ニ事已ムコトヲ得ズシテ此一言ヲ申上ゲ置ク次第デアリマス

採決ニ及ヒ全會一致本案ヲ可決確定シ即日貴族院ニ送付ス同院ハ二月二十三日本案ヲ可決奏上シ同月二十六日ヲ以テ公布セラル

八（特第二號）大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案

特別會計豫算

大正五年度大藏省所管國債整理基金ノ歲入歲出追加額及其ノ款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

大藏省所管

國債整理基金

歲入

第一款　國債整理基金收入　金貳千萬圓

歲出

第一款　國債整理基金支出　金貳千萬圓

二月十日之ヲ提出ス同月十五日武富大藏大臣ハ政府提出外國債ノ整理償還ノ爲內國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ其ノ趣旨辯明ノ際本案ノ趣旨ヲ辯明ス（本款第四項第一目第三六號參看）豫算委員會ハ審査ノ末同月二十一日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

二月二十二日政府提出外國債ノ整理償還ノ爲內國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續會ノ際本案ヲ一括シテ院議ニ付シ豫算委員長片岡直溫君ハ前法律案委員長柵瀨軍之佐君ノ報告ノ後豫算委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加、本案ニ對スル豫算委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ニ對シマシテハ第一日程ニゴザイマスル法律案ノ提出ノ際、併セテ大藏大臣ヨリ說明ガアッタノデアリマス、之ニ對シテ當議場ニ於テ多クノ質問應答ガアッタノデアリマス、豫算委員會ニ於キマシテモ當議場ニ現ハレマシタ質問應答ノ盡サヾル所ニ對シ、多少變ッタ質問モゴザイマシタガ、問題ノ歸着點ハ同ジコトデアリマス、案其モノハ極メテ簡單デゴザイマスルガ、是ガ內閣ノ政策ニ關係スルトカ、或ハ貴族院ト政府トノ妥協ニ基クトカ云フガ如キ觀念ヨリシテ質問ハ多ク繼續シタノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ第三分科ニ移シマシテ分科會ニ於テ數回質問應答ノ詳細ハ此處ニ報告スル開イテ決議ヲ致シタノデアリマス、斯樣ナ次第デアリマスルカラ、質問應答ノ必要ナシト信ジマス、決議ニ際シマシテ本案ヲ否決スベシト云フ御提案ハ三土忠造君ヨリ發セラレタノデアリマス、其要點ハ本案ハ貴族院トノ妥協ニ基ク案デアル、一面カラ見レバ政府ノ屈辱案デアル、大藏大臣ガ露國國庫債券ニ應ズル其金額ノ決定ニ依リ多少ノ餘裕ヲ生ジタリト云フ說明ニ對シテハ嘘僞デアル、是ハ信ジ得ラレナイノデアル、ソレ故ニ本案ニ對シテハ否決スベキモノデアル、其否決スルノ精神ニ於テハ既ニ屈辱案デアリ、又政治道德ノ上カラ見テモ赦スベカラザルコトデアル、現內閣ハ既ニ今日マデ多クノ手疵ヲ殆ド負ヒ、尙ホ負フコト蟲毛ノ如ク氣息奄々トシテ居ルノデアッテ、之ニ鞭ツノハ忍ビナイノデアルガ、然レドモ尙ホ之ヲ否決スル、斯ウ云フ大體ノ趣旨デアリマス、今一ッ否決スベシト云フ國民黨ヲ代表シテ鈴木君ヨリ提出セラレマシタ意見ハ、本案ハ貴族院トノ妥協案デアル、一面カラ見レバ豫算案ノ修正デアル、豫算ハ衆議院ガ先議權ヲ有ッテ居ルノデアル、其先議權ヲ侵スモノト認メル、案其モノノ精神ハ贊成デアルガ、外債ハ成ベク減サナケレバナラヌト云フ趣旨ニ於テハ贊成デアル、併シナガラ形式ガ右申シタ通リデアルカラ是ハ否決スルコトハ已ムヲ得ナイト云フノガ意見デアリマス、又原案ヲ贊成スル所ノ論者ハ賴母木君ノ御發議ハ目下正貨ノ激增ノ際ニ內地——經濟界ノ緩カナ所ノモノヲ利用シ外債ヲ減ラスト云フ當面ノ問題ヲ解決スルノデアル、極メテ必要適當ナル案デアル、故ニ之ヲ贊成スル、斯ウ云フ論旨デアリマス、同志會ヨリノ代表トシテ演說サレマシタノハ岡崎久次郎君デアリマシタガ、是ハ原案贊成デアッテ、其理由ニ至ッテハ本會議ニ於テ之ヲ表明スル、斯樣ニシテ否決ト原案贊成ノ兩樣ニ別レタノデアリマスガ、採決ニ當ッテ否決スベシト云フ方ニ贊成ノ方ハ十一名、原案贊成即チ可決スベシト云フ意見ハ二十六名デアリマス、斯樣ナ差ヲ以テ本案ハ可決スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、此段御報告致シマス

次テ討論ニ入リ山本悌二郎君、野添宗三君及鵜澤總明君ハ兩案ニ反對、高木正年君、片岡直溫君及川崎安之助君ハ贊成ノ演說ヲ爲シタリ（本款第四項第一目第三六號參看）

討論終局シ院議前顯法律案ヲ可決シ引續キ多數ヲ以テ本案ヲ可決シタリ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ二月二十六日之ヲ可決奏上シ三月八日ヲ以テ公布セラル

九　（第二號）大正四年度歲入歲出總豫算追加案

豫算

第一條　大正四年度歲入追加額ヲ參百萬圓歲出追加額ヲ四百八拾七萬六千九百參拾六圓ト定ム其ノ

款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條　大正四年度歳出豫算追加中別冊丙號所揭ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌大正五年度ニ繰越使用スルコトヲ得

甲號

歳入臨時部

第十一款　借入金　金參百萬圓

歳出經常部

大藏省所管

第五款　貴族院　金參千五百五拾圓

第六款　衆議院　金貳拾六萬五千八百拾七圓

第十款　關稅　金壹萬千貳拾六圓

大藏省所管合計金貳拾八萬參百九拾參圓

遞信省所管

第二款　遞信費　金六拾四萬八千五百六拾參圓

第五款　年金及恩給金　金貳拾五萬參百參拾貳圓

遞信省所管合計金八拾九萬八千八百九拾五圓

歳出經常部合計金百拾七萬九千貳百八拾八圓

歳出臨時部

內務省所管

第十六款　災害費　金參拾四萬四千圓

大藏省所管

第十七款　公債端金　金參萬七千九百六圓

第二十三款　大正三年臨時事件豫備費　金參百參拾參萬七千九百六圓

大藏省所管合計金參百參拾參萬七千九百六圓

農商務省所管

第十六款　米價調節調査會費　金壹萬五千七百四拾貳圓

歳出臨時部合計金參百六拾九萬七千六百四拾八圓

歳出總計金四百八拾七萬六千九百參拾六圓

丙號（略）

一〇（特第二號）大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

各特別會計豫算

第一條　大正四年度內務省所管朝鮮總督府、朝鮮醫院及濟生院、臺灣總督府大藏省所管造幣局、帝國鐵道文部省所管京都帝國大學ノ各歳入歳出追加額及其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ル

第二條　大正四年度歳出豫算追加中別冊丙號所揭ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌大正五年度ニ繰越使用スルコトヲ得

甲號

內務省所管

朝鮮總督府

歳入

臨時部

第四款　前年度繰入金　金參拾壹萬貳千八百九拾六圓

歳出

經常部

第十六款　朝鮮醫院及濟生院支出金　金參萬六千四百五拾壹圓

臨時部

第十八款　災害費　金貳拾七萬六千四百四拾五圓

歳出合計金參拾壹萬貳千八百九拾六圓

朝鮮醫院及濟生院

歳入

經常部

第一款　朝鮮醫院及濟生院　金六萬千九百八拾壹圓

歳出

經常部

第一款　朝鮮醫院及濟生院　金六萬千九百八拾壹圓

臺灣總督府

歳入

臨時部

第五款　前年度繰入金　金貳拾參萬四千六百圓

歳出

臨時部

第二款　事業費　金貳拾參萬四千六百圓

大藏省所管

造幣局

歳入

第一款　造幣局作業收入　金八萬六千圓

歳出

第一款　造幣局作業費　金七萬四千八百圓

帝國鐵道
收益勘定
歲出

第一款　鐵道作業費　金貳百參拾萬圓

文部省所管
京都帝國大學
歲出

第一款　京都帝國大學　金壹萬圓

經常部

丙號（略）

兩案ハ二月十七日之ヲ提出ス豫算委員會ハ審査ノ末同月十九日兩案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ同日議事日程ヲ變更シ兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ豫算委員理事山根正次君ハ委員會ノ結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

豫算總會ノ結果ヲ報告致シマス、第二號大正四年度總豫算追加案及特第二號大正四年度各特別會計豫算追加案ヲ議題ニ供シ審査ヲ致シマシタ、豫算追加トシテ計上スル所ノ歲出總額ハ四百八十七萬餘圓ニシテ、其内重ナルモノハ經常部ニ於テ臨時第三十六回帝國議會開會ノ爲メ、議員諸費ニ不足ヲ生ジタルモ

ノ是レガ二十六萬五千餘圓、海外電報增加ニ伴フ海外信支拂金ノ不足額金六十四萬八千餘圓、年金及恩給增加ガ二十五萬餘圓臨時部ニ於テ栃木縣ニ於ケル昨年八月以降十月ニ至ル間、暴風雨出水ノ爲メ被リタル災害土木費ノ補助金三十四万四十圓、臨時事件費豫備費ノ增加金三百三十万圓、是ハ卽チ八阪丸ノ補償デアリマス、右ノ内八阪丸ノ補償ニ關シテ、祕密會ヲ開キマシテ、海軍大臣ヨリ詳細ノ說明ガアリマシタ、特別會計トシテ計上スル重ナルモノハ、朝鮮醫院及濟生院支出金ノ增加金三万六千餘圓、朝鮮ニ於ケル昨年夏期中數回ノ豪雨ニ依リ朝鮮鐵道ノ被害復舊費二十七万六十餘圓、是レデアリマス、右二案ハ討議ノ結果全會一致ヲ以テ可決確定致シマシタ、本會ニ於テモドウカ委員會通リニ可決確定アランコトヲ希望致シマス

別ニ討論ナク兩案ハ孰レモ之ヲ可決シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ二月二十三日兩案ヲ可決奏上シ孰レモ同月二十六日ヲ以テ公布セラル

一一　（第三號）大正五年度歲入歲出總豫算追加案

豫算

第一條　大正五年度歲入歲出追加額ヲ各千貳百六拾八萬千九圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

第二條　別冊乙號所揭ノ費途ハ各其ノ規畫スル所ニ隨ヒ大正五年度以降ノ繼續費ト爲ス

第三條　大正五年度歲出豫算追加中別冊丙號所揭ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌大正六年度ニ繰越使用スルコトヲ得

甲號

歳入臨時部

第二款　雜　　收　入　金千萬圓
第十一款　前年度繰入金　金百六拾八萬千九圓
第十三款　借　　入　金　金百萬圓
　歳入臨時部合計金千貳百六拾八萬千九圓

歳出經常部

外務省所管

第一款　外　務　本　省　金貳百圓
第二款　在　外　公　館　金七萬貳千四百四拾貳圓
　外務省所管合計金七萬貳千六百四拾貳圓

大藏省所管

第一款　大　藏　本　省　金九千貳百八圓
第十五款　國債整理基金繰入　金貳拾貳萬圓
　大藏省所管合計金貳拾貳萬九千貳百八圓

文部省所管

第五款　大學及學校圖書館支出金　金參千四百八十四圓
　歳出經常部合計金參拾萬五千參百參拾四圓

歳出臨時部

外務省所管

第一款　營　繕　費　金五千圓
第四款　在外公館創立費　金貳萬圓
　外務省所管合計金貳萬五千圓

内務省所管

第四款　營　繕　費　金貳萬千六百圓
第十七款　醫藥品製造奬勵費　金壹萬千百五拾五圓
第二十三款　災　害　費　金壹萬九千四百五拾六圓
　内務省所管合計金五萬貳千貳百拾壹圓

大藏省所管

第十二款　大正三年臨時事件豫備費　金千百貳拾萬圓
第十三款　銀行設立準備費　金六萬貳千參百參拾四圓
第十四款　銀　行　補　助　金拾八萬七千五百圓
第十五款　大禮記錄編纂諸費　金參萬千九百八拾參圓
第十六款　官業整理調査費　金七千四百六拾四圓
第十七款　元歩入會社救恤金　金八萬圓

大藏省所管合計金千百五拾六萬九千貳百八拾壹圓

陸軍省所管

第二十二款　災害費　金壹萬四千貳拾七圓

第二十三款　明治三十七八年戰役被害船舶其他救恤金　金六萬圓

陸軍省所管合計金七萬四千貳拾七圓

司法省所管

第二款　營繕費　金拾壹萬貳千圓

文部省所管

第一款　營繕費　金八萬九千四百八拾四圓

第三款　大學及學校圖書館臨時支出金　金四萬千貳百貳拾圓

文部省所管合計金拾參萬七百四圓

農商務省所管

第一款　產業奬勵費　金貳拾五萬圓

第十二款　米價調節調查會費　金四萬八百六拾八圓

農商務省所管合計金貳拾九萬八百六拾八圓

遞信省所管

第二款　電信電話營繕費　金五萬九百八拾四圓

第三款　航路標識營繕費　金壹萬千四百拾七圓

第八款　電氣用器機材料受託試驗設備費　金參萬參百貳拾八圓

第九款　船用品檢查所設置費　金貳萬八千八百五拾五圓

遞信省所管合計金拾貳萬千五百八拾四圓

歲出臨時部合計金千貳百參拾七萬五千六百七拾五圓

歲出總計金千貳百六拾八萬千九圓

乙號

文部省所管

航空研究所創設費

總額　金拾八萬參千五百九拾圓

金拾八萬參千五百九拾圓

年額

大正五年度　金七萬九千六百四拾圓

大正六年度　金七萬九千六百四拾圓

款　營繕費

項　航空研究所創設費

金拾萬參千九百五拾圓
金拾萬參千九百五拾圓
說明（略）
遞信省所管
船用品檢查所設置費
總額
金八萬貳千八百五拾五圓
金八萬貳千八百五拾五圓
年額
大正五年度
金貳萬八千八百五拾五圓
金貳萬八千八百五拾五圓
大正六年度
金五萬四千圓
金五萬四千圓
說明（略）

丙號（略）

款　船用品檢查所設置費
項　船用品檢查所設置費

款　船用品檢查所設置費
項　船用品檢查所設置費

款　船用品檢查所設置費
項　船用品檢查所設置費

款　營繕費
項　航空研究所創設費

一二　（第四號）大正五年度歲入歲出總豫算追加案

豫算
大正五年度歲入歲出追加額ヲ各拾貳萬八百參拾六圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

歲入臨時部
第十一款　前年度繰入金　金拾貳萬八百參拾六圓

歲出經常部
遞信省所管
第二款　遞信費　金參拾四圓

歲出臨時部
遞信省所管
第十款　簡易生命保險特別會計繰入　金拾貳萬八百貳圓

歲出總計金拾貳萬八百參拾六圓

一三　（特第三號）大正五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

大正五年度内務省所管朝鮮總督府、臺灣總督府大藏省所管造幣局、國債整理基金文部省所管京都帝國大學、東北帝國大學、九州帝國大學、學校及圖書館ノ各歳入歳出追加額及其ノ款項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

内務省所管

朝鮮總督府

歳入

臨時部

第三款　前年度繰入金　金貳拾九萬九千八百五拾壹圓

歳出

臨時部

第十六款　災害費金　金貳拾九萬九千八百五拾壹圓

臺灣總督府

歳入

臨時部

第四款　前年度繰入金　金四萬七千六百四拾七圓

歳出

臨時部

第七款　災害費金　金四萬七千六百四拾七圓

大藏省所管

造幣局

歳入

第一款　造幣局作業收入　金拾六萬八千圓

歳出

第一款　造幣局作業費　金拾四萬五千六百圓

國債整理基金

歳入

第一款　國債整理基金收入　金貳拾貳萬圓

歳出

第一款　國債整理基金支出　金貳拾貳萬圓

文部省所管

京都帝國大學

歳入

經常部

第一款　京都帝國大學　金壹萬圓

臨時部

第一款　維持資金繰入　金貳萬八百七拾五圓

合計金參萬八百七拾五圓

歳出

經常部

第一款　京都帝國大學　金壹萬圓

臨時部

第一款　營繕費　金貳萬八百七拾五圓

合計金參萬八百七拾五圓

資金部歳出

第一款　維持資金支出　金貳萬八百七拾五圓

東北帝國大學

歳入

臨時部

第二款　臨時政府支出金受入　金參萬八千五百圓

歳出

臨時部

第一款　營繕費　金參萬八千五百圓

九州帝國大學

歳入

臨時部

第二款　臨時政府支出金受入　金貳千七百貳拾圓

歳出

臨時部

第一款　營繕費　金貳千七百貳拾圓

學校及圖書館

歳入

經常部

第一款　學校及圖書館　金四千貳百六拾四圓

歳出

經常部

第一款　學校及圖書館　金四千貳百六拾四圓

大正五年度遞信省所管簡易生命保險歲入歲出豫算額及其ノ款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

遞信省所管

簡易生命保險

歲入

第一款　簡易生命保險收入　金貳拾貳萬六千九百拾四圓

歲出

第一款　簡易生命保險費　金拾六萬五千八百七拾七圓

第二款　豫備金　金五千圓

合計金拾七萬八百七拾七圓

一五（追第二號）豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一般會計

外務省所管

地所家屋借料

在外公館ニ於ケル地所家屋借料トシテ各相當ノ年限ヲ定メ借入レ若ハ借繼キノ契約ヲ結ヒ得ヘキ年額參拾九萬千六圓ニ對シ更ニ六千圓ヲ追加ス

說明（略以下倣之）

大藏省所管

日支銀行債券保證

日支銀行ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ債券元利ノ仕拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ日支銀行カ支那ニ於テ經濟借款ノ引受又ハ事業資金ノ長期貸付ニ要スル資金ヲ調達スル爲發行スルモノナルコト

二　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年內ニ償還スルモノナルコト

三　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ割增金ヲ附セサルモノナルコト

四　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ額面貳千萬圓ヲ限度トスルコト

滿洲銀行債券保證

滿洲銀行ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ債券元利ノ仕拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ滿洲銀行カ滿洲及蒙古ニ於テ事業資金ノ長期貸付ニ要スル資金ヲ調達スル爲發行スルモノナルコト

二　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年內ニ償還スルモノナルコト

三　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ割增金ヲ附セサルモノナルコト

四　政府ニ於テ保證スヘキ債券ハ額面千萬圓ヲ限度トスルコト

一六（第五號）大正五年度歲入歲出總豫算追加案

豫算

大正五年度歲入歲出追加額ヲ各參萬貳千六百圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

歲入臨時部

第十一款　前年度繰入金　金參萬貳千六百圓

歲出臨時部

農商務省所管

第三款　營繕費　金參萬貳千六百圓

以上六案中（一一）乃至（一四）及（一五）案ハ既レモ二月二十一日、（一六）案ハ翌二十二日之ヲ提出ス豫算委員會ハ審査ノ末同月二十五日六案全部ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日記名投票ノ結果六十一名ニ對スル百二十七名ヲ以テ議事日程ヲ變更シ六案ヲ一括シテ院議ニ付シ豫算委員長片岡直溫君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

本員ハ大正五年度歲入歲出追加第三號第四號及第五號、特第三號、第四號、追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、此豫算委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、大正五年度歲入歲出總豫算追加第三號ハ二十五件程ニ分レテ居リマス、其歲入歲出合計各千二百六十八萬千九百圓、此金額デゴザリマスガ其內重ナルモノトハ軍需品ノ受託製造ニ係ル費用デアリマス、是ハ外國ヨリ注文ニ依リマシテ軍需品ノ製造ヲ致スノデアリマス、其歲入ハ其軍需品即チ注文品ノ代價ヲ受入レタモノガ收入ニ立ツノデアリマス、千二百六十八萬餘圓ノ內一千萬圓ヲ差引キマシタ殘リノ中カラ百二十萬圓程ノモノデアリマス、ソレ故ニ此二口ヲ差引キマストモ極メテ少額ナルモノ、而モ其件數ハ前申上ゲマシタ如ク多數ニ分レテ居リマス、重ナルモノヲ申シテ見マスルト瑞西ノ國ニ公使館ヲ新設ヲスル、ソレカラ航空研究所ヲ創設スル費用、銀行局ヲ設置スル費用、東京外十九縣ニ對スル災害復舊費ニ關スル費用、其他ハ日支銀行ノ設立法律案ガ通過致シマシタ結果トシテ起リマスル政府ノ補助、滿洲銀行亦同ジデアリマス、其中ニ少シク說明ヲ要スルダラウト思ヒマスル——金額ノ上デ說明ヲ要スダラウトシテ既ニ要求サレタ其殘リデアリマス、此八阪丸ノ損害ハ合計四百五十萬圓程、其內五十萬圓ハ一般會計カラ支拂ヒ、四百萬圓ハ預金部カラ借入レル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、其四百萬圓預金部カラ借入レルモノニ對スル利子ガ見積ッテアリマス、而シテ曩ニ追加豫算トシテ協贊ヲ經タトコロノ殘リノ金百二十萬圓程ノモノガ、大正五年度ノ追加トシテ要求ニナッテ居ルノデアリマス、大正五年度歲入歲出豫算追加第四號ニ屬スルモノハ十二萬八百三十六圓デアリマスガ、是ハ簡易保險ノ事業經營ニ伴フトコロノ費用デアリマス、第五號ノ方ハ米穀貯藏ノ研究ヲ致ス爲ニ倉庫ヲ拵ヘル、其倉庫ヲ研究ニ必要ナル組立ヲ以テ造ルト斯ウ云フコトノ費用デアリマス、特第三號ナルモノハ朝鮮總督府、臺灣總督府、造幣局、國債整理基金、京都帝國大學、東北帝國大學、九州帝國大學學校及圖書館、斯ウ云フ風ニ科目ガ分レテ居ルノデアリマス、特第四號ハヤハリ簡易生命保險ノ收入支出ニ關スル特別會計ニ屬スルモノデアリマス、以上ノ提案ニ付イテ豫算委員會ハ一昨日竝ニ昨日午前午後、本日先刻マデ會議ヲ開イタノデアリマスガ之ニ對シマシテハ隨分多クノ質問應答ガアッタノデアリマス、其質問應答ノ著シキモノヲ申シテ見マスルト、本豫算ニ直接ニ關係アラザル質問モゴザイマシタガ、是ハ本問題ニ必要ト存ジマセヌカラ省略ヲ致シマス、必要ト存ズル著シキモノヲ列擧致シマスレバ、總豫算ニ編入ヲ致シテ要求スベキモノト認ムル部分ガ少ナイ、又總豫算ニモドウカト思フト云フヤウナ費目ガ多イ、臨時急ヲ要シ已ムヲ得ザル費用トシテ會計法第五條ニ項ニ依ッテ要求スベキモノト認ムル部分ガ少ナイ、又總豫算ニモドウカト思フト云フヤウ

ナ點ニ於テ、最モ質問ヲ繰返サレタノデアリマス、其中總豫算ノ上ニ於テモ不必要ト云フ說ガ採決ノ時ニ起リマシタ、一事ヲ申上ゲテ見マスルト、元歩入會社、此納金ニ關スル救恤金支給ノコトデアリマス、是ハ政府ノ答辯ニ依リマスルト熊本縣ノ嘗テ藩政ノ時代ニ於テ會社事業ヲ以テ質貸、又ハ爲替ノ事業ヲ經營スル者ガアッタ、然ルニ廢藩ノ際ニ之ヲ政府ニ引繼イダノデ、其引繼イダ中ニ國有トスベカラザルモノヲモ引繼イダノデアル、此引繼ハ強制執行ニ依ッテ引繼ヲ餘儀ナクセラレタ、斯ウ云フ事實ニ依テ爾來訴訟ノ沙汰ニナッテ居ッタ、一審、二審、遂ニ大審院ニ至ッテ原告側ノ敗訴トナッタ、賠償ヲ求メルノ途ガ絶エテ居ルノデアリマス、併ナガラ本件ニ關シテハ年々請願書トナッテ衆議院ニ上リ、請願委員會ハ何時モ之ヲ採擇スベシト決定ヲ致シ、政府ハ終ニ調査ノ結果其當時ノ事情等ヲ取調ベ、法律上請求ノ途ハ絶エタリト雖モ事實ニ於テ憐レムベキモノデアル、故ニ國家トシテ之ヲ救濟シ年來ノ懸案ヲ解決スルト云フ趣旨カラ出テ居ルヤウデアリマス、同一ナ事柄ガ大分縣直入郡久住村大字久住ト云フ部落ニ於テモ同一ノモノガアッテ、是モ同樣ナ手續ニ依ッテ政府ニ引繼イダ、其引繼イダ場合ニ於テ民有ニ屬スベキ財產ヲモ共ニ取上ゲラレタ、嘗テ是ハ明治八年三月白川縣ト云ッタ時分ノ縣令ノ時代ニ於テ問題トナッタ事柄デアル、趣キデアル、而シテ是等ノ兩方ニ對シテ此際年來ノ懸案ヲ解決スルト云フノ趣旨ニアルノデアリマス、今一ツ最モ熱心ナル議論ノゴザイマシタノハ大禮ニ關スル記錄編纂ノ費用デアリマス、是レハ政府ノ說明スルトコロニ依レバ、總豫算編成ノ當時ニハ御大禮ノ記錄ヲ編纂スル組織等ガ、ドウ云フ法ニシテドレダケノモノヲ拵ヘルコトニナルト云フコトガ極マラナカッタノデアルカラ、總豫算ニハ組メナカッタノデアルガ、ソレガ極マッタノデアルカラ要求スルト云フノガ大體ノ說明デアリマス、委員ノ方ニ於キマシテハ御大禮ニ對スル費用ハ萬遺算ナキコトヲ期待シテ、一厘一毛モ削減ヲ加ヘズ要求通リニ協贊ヲ與ヘテ、御大禮ノ滯リナク萬事十分ニ行ハセラルヽコトヲ期待シタ、然ルニ聞ク所ニ依レバ金ガ少々餘ッテ——餘ッタ爲ニ非常ノ過當ノ賞與ヲ行ハレタト云フガ如キコトモ聞エル又御大禮ニ關シテハ不滿ノ點モ少ナカラヌトシテ——不滿ノ事實ハ京都ニ於ケル御召ノ際ニ於ケル混雜等ノ事情ヲ擧ゲテ非難セラレタ點モ少ナクナカッタノデアリマス、豫算ノ方ニ對シテハ金ガ餘ッタカラト云ッテ、之ヲ賞與其他ニ使ヒ、或ハ旅費等ニ對シテモヒドク增額ヲシテ渡シタ

ト云フガ如キコトモ聞エル、要スルニ大禮費ニ關シテ其費用ノ收支ノ說明ヲ得ルニ非ラザレバ、此豫算ヲ要求セラレタルト云フコトノ已ムヲ得ザルヤ否ヤガ明瞭致サナイノデアル、併シ豫算委員トシテ御大禮ニ關スル記錄ノ編纂ヲ致スト云フガ如キコトニ異議ヲ挾ムモノニ非ラズ、費用其物ニハ一切異議ヲ挾ムノデハナイガ、唯之ヲ要求スル其此ニ至ル前後ノ事柄ヲ詳カニスルニ非ラザレバ國民ヲシテ多クノ惑ヲ生ゼシムルノ虞アリ、廷イテ皇室ニ對シテ兎ヤ角ノ觀念ヲ持タシムルコトヲ遺憾トスル此意味ニ於テ或ハ材料ノ提供ヲ請ヒ、答辯ヲ求メタノデアリマスルガ、政府ノ答フル所ハ大禮費ニ關スル費用ハ今尙淸算ヲ終ラズ、既ニ支出ヲ要スルモノモアル、此際ニ於テ其收支ヲ明カニスルト云フコトハ出來ナイ斯ウ云フ答辯デアッタノデアリマス、此應答ニ對シテハ多少意思ノ徹底ヲ缺イタ所ガアル、ソレ故ニ委員長トシテハ其相互ニ徹底ヲ圖ラントシテ之ヲ要求スルニ至ッタノハ、前ニ協贊ヲ與ヘタ時ニ此記錄編纂ノ費用ガアッテ、サウシテソレガ足ラヌ故ニ追加スルノカ、若クハ前ニ要求シタ時ニ全ク漏レテ居ッテ、今日此必要ヲ感ジテ此要求ヲスルニ至ッタノカ、其要求スルト云フ事實ガ明カニナレバ、自ラ徹底スルデアラウト信ジマシテ是等ノ意味ヲ以テ政府當局者ノ間ニ交涉ヲ致シテ見マシタノデアリマス、其結果トシテ全ク大禮費ノ豫算中ニハ、大禮ニ關スル記錄編纂ノ費用ハ少シモ見積ッテナカッタ、而シテ今回ノ追加豫算ニアラズシテ、新タニ大禮ノコトニ關スル記錄ヲ編纂シテ置クト云フノガ必要上ヨリ、大禮費以外ニ於テ要求スルノデアルト云フコトガ明カニナッタノデアリマス、斯樣ナ顚末デアリマシテ結局討論ニ移リマシタル場合ニ於テ、本案ニ對シテ政友會ヲ代表シテ齋藤珪次君ヨリシテ、此追加豫算ハ全體ニ於テ多少穩當ト認ムルモノモアルノデアル、殊ニ追加豫算ヲ續々ト會期切迫ニ際シテ支出セラレタコトヲ遺憾トスル、將來ハ斯ノ如キコトノナイヤウニセラレタイト云フ希望ト、多少非難ヲ致スベキモノトモ考ヘルガ、事既ニ茲ニ進行シテ居ル以上ハ、大體ハ贊成ヲ致ス、但シ第三號中ノ銀行局設置ニ關スル經費ノ如キ、是ハ九千二百八圓デアリマスガ、是ハ確ニ總豫算ニ編製シテ來ルコトガ必要デアル、又其必要ノ追加豫算ヲ求ムルノ必要ガアレバ總豫算ニ求ムベキ時機モアリ必要モアッタト考ヘル、然ルニ之ヲ追加豫算トシテ求ムルト云フコトハ餘リニ不穩當、故ニ此費目ニ對シテハ贊成ヲ表シ難イ、且モウ一ッ官業整理調査ニ關スル經費七千四百六十四圓ハ、官業整理ハ現內閣ノ政綱トシテ標榜スル所、既ニ段々ニ其

調査ガ進ンデ居ル事實ヲ説明セラレテ居ッタニ拘ラズ、今ニ至シ經費ヲ要スルガ如キコトハ甚ダ其意ヲ得ザルモノ、既ニ政綱政策トシテ掲ゲラレタ位ノ事デアル、今日其經過ニ對シテ多少ノ成績ヲ收メテ居ル筈デアル、今此ニ費用ヲ此際カラ要スルト云フガ如キコトニ對シテハ同意シ難イ、削除スル、而シテ大禮ニ關スル記錄編纂ノ費用ニ至ッテハ、是ハ費用其物ニ對シテハ決シテ異議ヲ言フモノデハナイ、併ナガラ多クノ金ガ餘ッテソレヲ賞與トシテ分配シタト云フガ如キコトハ不當モ亦甚ダシイ、併ナガク親切鄭寧ナル説明ヲ與ヘズ、サウシテ贊成ヲ求メルトガ故ニ、誤ッテ事ノ支障ヲ生ジ或ハ誤解ヲ招クト云フガ如キコトニ陷ルコトヲ遺憾トスルガ故ニ之ヲ求メラル、手續ニ對シ説明シテハ甚ダ不滿デアルガ、其事ニ對シテハ叱リ置クト云フ意味ヲ以テ其費目ニ對シテハ贊成ヲ表スル、斯ウ云フコトガ政友會ヲ代表シテノ意見デアリマス、次デ國民黨ヲ代表シテ鈴木梅四郎君ヨリ提案サレマシタ所ハ、大體追加豫算ヲ此時期ニ至ッテ斯ク多岐ニ亙ルモノヲ求メラレタト云フコトニ對スル不滿ハ同一デアリマス、而シテ銀行局設置ニ關スル經費九千二百八圓ヲ削除スル、其削除スルト云フコトハ政友會ノ諸君トハ全ク違フノデアル、是ハ現在ニ於ケル課ヲ局ニシ、又人ヲ增スト云フガ如キハ必要ナシト思フ、唯ニ相當ナ人ヲ得サヘスレバ十分出來ルノデアル、動モスレバ政府ハ民業ニ干渉壓迫ヲ加ヘルト云フ嫌ガアル、是等ノ費用ハ決シテ協贊ヲ與フベキモノニアラズ、卽チ政友會諸君ハ總豫算ニモ追加豫算ニモ斯樣求ムベキ筈、斯ウ云フ意味ヲ加ヘラレタノデアリマスガ、國民黨諸君ハ總豫算ニ行ケルノデアル、又行カスノガ相當デアリマス、人ヲ得サヘスレバ十分ニ行ケルノデアル、而シテ政友會諸君ヲ代表サレタ官ナ費用ハ協贊ヲ與ヘベキモノニアラズ、人ヲ得サヘスレバ十分ニ行ケルノデアル、更ニ元ブイレ會社デアル、斯ウ云フ意味ニ於テ卽除論ヲ唱ヘラレタノデアリマス、而シテ政友會諸君ヲ代表サレタ官業整理調査ニ關スル經費ノ削除ニハ、國民黨諸君ハ同意ヲ表セラレナイノデアル、更ニ元ブイレ會社ト云ヒマスカブニユー會社ト讀ミマスカ、ドッチカ存ジマセヌガ、先刻申上ゲマシタ熊本ノ質貸爲替事業ヲヤッテ居ッタモノヲ政府ノ方ヘ廢藩ノ際ニ取上ゲタ、其損害ニ對スル八萬圓、大分縣ノモノモ併セタル八萬圓、是ハ決シテ救濟トシテ與フベキモノニアラズト云フ意味ヲ以テ削除スル、今一ツ第五號案ニアル米穀貯藏研究ニ關スル經費ハ是ハ全然削除スル、卽チ三萬二千六百圓デアル、米價調節ノ如キハ愚策中ノ愚策ニシテ更ニ利益ノ認ムルモノハナカッタノデアル、今又米穀ヲ貯藏スル倉ヲ建

ルト云フコトハ愚策中ノ又愚策デアル、一切效力ハナイト認メル、民間ニ於テ倉庫ハ十分ニ揃ヘテ研究スベキモノハ研究シテ居ルノデアル、斯樣ナ事ヲシテモ何ノ效ハナイト、斯タ云フ意趣ノ下ニ之ヲ削除スル、尙且ツ此追加豫算ノ總體ニ對シテ會計法第五條第二項ニ牴觸スル嫌ノアルモノガ多イノデアル、將來斯樣ナ事ハ改メラレムコトヲ望ムト云フ警告ヲ附加ヘテ、是ダケヲ削除シテ、後ハ原案ニ贊成スルト斯ウ云フノデアッタノデアリマス、ソレハ主モニ削除ニ對スル意見デアリマス、銀行局設置ニ關スル事柄ハ既ニ普通銀行竝ニ貯蓄銀行ノ取締ニ關スル法案ガ、今回ノ帝國議會ニ於テ兩院ヲ通過シテ法律トナッタノデアル、其法律ニ依テ監督ヲ十分ニシナケレバナラヌト云フコトハ、所謂臨時緊急已ムヲ得ザルモノト看做スベキモノデアル、之ニ加フルニ日支銀行滿洲銀行ノ如キハ今ハ貴議院ノ審査中デアル、不日法案ニナルデアラウ、斯クナレバ一層此銀行ノ事務ニ對シテ人ヲ增シ位地ヲ高クスルト云フ必要ハアルノデアル、故ニ是ハ削除説ニ反對、官業整理調査ニ關スル費用ヲ削ルト云フコトニ致シテハ、官業整理ニ關スル調査ハ既ニ進歩シテ今ヤ完結ヲセシメムトスル時ニ際シテ、尙十分ナ調査ヲ努メナケレバ完キヲ得ヌノデアル、其完キヲ期スル爲ニ要スル費用ノ如キハ是ハ協贊ヲ與フベキモノナリ、ソレカラ又歩入會社ノ納金ニ關スル費用、是ハ數年ノ懸案ヲ國家トシテ解決スル爲ニ八萬圓バカリ金ヲ支出シテ、此問題ヲ——此年々ニ起ル問題ヲ解決スルト云フコトハ穩當デアル、故ニ贊成スル、米穀貯藏ニ關スル事柄ハ是ハ日本ノ米ガ非常ニ上リ非常ニ下ルト云フガ如キコトハ實ニ憂フベキ問題デアル、何ト研究シテ貯藏ニ堪ヘルト云フ工風ト云フモノヲ研究シ盡サネバナラヌ、果シテ其倉庫ヲ設備其宜シキヲ得タナラバ、或ハ蟲ヲ殺ス等ノ方法ニ依テ是ガ貯藏スルコトヲ得ルト云フ場合ニ至レバ、多量ナ場合ニ於テ此ニ米價調節ノ調節委員會モ組織サレテ、ソレラノ調査進行テ多クノ農民ノ苦慮シテ居ル際デアル、殊ニ米價調節ノ調節スルニ最モ便利デアル、是ハ目下ノ問題トシテハ此ニ表明シナイ、贊成デアリマシタ、雙方ノ論旨盡キタリト認メテ之ヲ採決致シマシタトコロ、銀行局廢止ノ問題ハ理由ハ違ヒマスルガ、結果ハ同ジコトデアリマス、同ノ結果、斯ノ如キ事ヲ研究スルニ至ッタ以上ハ、之ヲ贊成シテ宜シイ、斯ウ云フ意味ニ於テ原案贊成説ヲ述ベラレタノデアリマス、ソレカラ高木君ヨリ原案贊成ノ意思ヲ述ベラレタノデアリマスガ、趣旨ハ此ニ表明シナイ、贊成デアル、已ムヲ得ヌト斯ウ云フ説デアリマシタ、雙方ノ論旨盡キタリト認メテ之ヲ採決致シマシタトコロ、銀行局廢止ノ問題ハ理由ハ違ヒマスルガ、結果ハ同ジコトデアリマス、同

一ニ合セテ問ヒマシタトコロ國民黨ト政友會ノ諸君ノミノ起立ニシテ、少數デ否決致シマシタ、其他官業整理調査ニ關スル費用ハ政友會諸君ノ起立ノミデアリマシテ少數否決ヲ致シマシタ、歩入會社ノ納金――歩入會社ニ對スル救濟金、ソレカラ米穀ノ貯藏研究ニ關スル費用ヲ削除スルト云フ國民黨ノ提案ニ對シテハ國民黨所屬ノ委員ノミニ止マッタノデアル、結局原案ニ對シテ贊否ヲ問ヒマシタトコロ、政友會諸君竝ニ國民黨諸君ノ代表ニ係ル委員諸君ノ外ノ起立デアリマス、極メテ多數ヲ以テ原案總テヲ贊成スルコトニナッタノデアリマス、卽チ此諸案ニ對シテハ可決スベシト決定ヲ致シタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

右報告ニ對シ齋藤珪次君ノ注意アリタル後討論ニ入リ鈴木梅四郎君ハ（第三號）大正五年度歳入歳出總豫算追加案ニ修正（第五號）同追加案全部ニ反對、齋藤珪次君ハ（第三號）大正五年度歳入歳出總豫算追加案ニ修正、山田珠一君ハ原案全部ニ贊成ノ演說ヲ爲シ次テ小山松壽君ハ原案贊成ノ意見ヲ述ヘタリ

鈴木梅四郎君ノ演說

私ハ唯今片岡委員長ヨリ御報告ニナリマシタ全體ニ對スル我黨ノ修正意見ヲ申上ゲテ置キマス、第一ニ銀行局設置ニ關スル費用ヲ全部削除致シマスル理由ハ斯樣ナ次第デアリマス、大藏省ノ此銀行課ニ對スル費用ハ本年度ノ豫算ニ於テモ、多少增加ヲ致シテ居ルノデアリマス、銀行條例貯蓄銀行條例ノ改正ニ依テ不良銀行ノ取締ヲスル爲メニ要スルト云フ要求デゴザイマスルガ、ソレガ抑モ謂レノナイコトデアルト吾々ガ信ズルノデアル、元來大藏省ノ此銀行ニ對スル所謂監視ノ職務ト云フモノガ頗ル疎漏千萬ナルモノデアリマス、ソレハ卽チ大藏省ノ當局者卽チ大藏大臣ヲ初メトシテ、此問題ニ付テ、此事件ニ付テ深キ注意ヲ拂ハヌノデアリマス、今日不良銀行ノ取締ヲ致シマス爲ニ態々課ヲ局ニ上セテ、サウシテ勅任ノ局長ヲ置クト云フ樣ナ高給ノ人ヲ增シ、更ニ局員ヲ增スト云フ樣ナ必要ハ少シモナイノデアル、我國ノ今日ハ此會社銀行及ビ個人ニ關シマシテモ、其信用ノ程度ヲ知ルベキ機關ハ十分ニ備ハッテ居ルノデアリマス、民間ノ銀行會社ニ於キマシテ、實際ニ金ノ借貸其他取引ノ上ニ就キマシテハ非常ニ鄭重ニ扱ッテ、是等ノ信用程度ト云フモノヲ知ルノガナカ〳〵大事デゴザイマス爲ニ、十分ニ今日デハ完備シテ居ル世ノ中デアリマス、大藏省ノ官吏諸君ガ少シク注意ヲ致シマスレバ、人ヲ增シタリ費用ヲ增シタリシマセズシテ從前ヨリモ多クノ立派ナ取締ガ出來ルコトハ明白ナコトデアリマス、少シク此點ニ注意ヲ致シマスレバ何デモナイコトデ出來ルト思フ、縱令如何ニ勅任ノ局長ヲ置キマシテモ、或ハ局員ヲ增シタト申シマシテモ、今日マデノヤリ方デゴザイマシテハ決シテ其效ヲ奏スルコトハ出來ナイノデアル、何ヲ以テ之ヲ言フカト言ヘバ、政府直轄デアルトコロノ興業銀行ニ於ケル不始末ハドウデアリマスカ又大藏大臣竝ニ其他ノ人々ノ最モ懇意ヲ結ンデ居タトコロノ頭取ヲ有シテ居ッタ北濱銀行ノ始末ハドウデアッタカ、民間ニ於キマシテハ是等ノコトニ就テハ疾ウノ昔ニ宜シクナイト云フコトハ皆知ッテ居ッタ、唯知ラヌハ大藏省バカリナリト云フ川柳ガアリマスガ、知ラヌハ大藏省ノ局長ヲ增シタリト雖モ、局員ヲ增シタリト雖モ、今日マデノ如キ御考ヲ以テヤラシマシタナラバ何ニモナラナイ、局長ヲ置カズトモ、局員ヲ增サズトモ、今日發達シタトコロノ信用程度調査機關ヲ利用致シマシテ、少シク役人タルノ本能ヲ發揮シマスレバ、今日ノ現在ノ職員デ十分ニ取締ガ出來ルト私共ハ考ヘル、此意味ニ於テ今一ッハ此勅任ノ局長ヲ置イタリ局員ヲ增スト云フ結果ハドウナルカト申シマスルト、唯今申ス樣ニ、一方ニ非常ニ不取締ヲスル位デアリマスカラ、今度ハ此增サレル所ノ役人ガ仕事ヲスルガ爲ニ善良ナル所ノ銀行ニ對シテ、無用ノ手數ヲ掛ケ無用ノ干渉ヲシテ、實業妨害ヲスル恐レガアルノデアリマス、此二ッノ意味ニ於キマシテ吾々ハ此費用全部ヲ削除致ス者デアリマス、次ニ元歩入會社納金ニ關シ救恤金ヲ與ヘルト云フ、此救恤金八萬圓ハ是モ全部削除致シマス、此元歩入會社ノ成立經過ヲ見ハ私共モ十分ニ存ジマセヌ存ジマセヌガ此事タルヤ民間ニ於キマシテハ頗ル忌ムベキ風說ヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、是ハ此席デ私ハ申スニ忍ビマセヌケレドモ、併ナガラ言ハザレバ事情ガ分リマセヌカラ申上ゲマスガ、現內閣ガ昨年ノ總選擧ニ當リマシテ――所謂總選擧前カラ議員買收其他イロ〳〵ナコトヲ致シマスニ就テ種々ナ風說ヲ流シタ、就中此歩入會社ニ對スル八萬圓ガ議員買收ノ此惡事ガ現ハレテサウシテ愈々大臣ニマデモ累ヲ及ボサントスルニ至ッテ、內相談ヲ致シテ林田書記官ガ一切此問題ハ一身ニ引受ケテ累ヲソレ以上ニ及ボサナイト云フ內約ノ下ニ此八萬圓ヲ出シテ林田君以下ニ與ヘル

ト云フ約束ガ出來テ、此取調ノ進行ヲスルコトニシタノデアリマス、勿論私共ハ左樣ナコトノアルベキモノデナイト云フコトハ信ジテ居リマスガ、併ナガラ現內閣ノヤリマシタコトニ就テハ種々非難的ノ評論ガ多イ中ニ、此問題ノ如キハ最モ甚シイモノデゴザイマスカラシテ、私ハ當席ニ於テ此風說ヲ自ラハ信ジマセヌケレドモ御紹介ヲ致スノデアリマス、若モ斯樣ナコトガ無イトハ信ジマスガ、或ハ誤ッテ左樣ナコトデモアリマスル形ガアルトシマスルト此八萬圓ノ金子ハ政府カラハ出マスガ何人ノ手ニ是ガ渡ルカ分ラヌト云フ疑モアルノデアリマス、又斯樣ナモノニ救恤金ヲ與ヘル一ノ例ヲ開キマシタナラバ、又續々トシテ古イコトヲ申立テ、政府カラ金ヲ貰ハウト云フトコロノ運動ガ盛ニ起ッテ來ルダラウト思フノデアリマス、斯樣ナ譯デゴザイマシテ、此歩入會社ニ對スル民間ノ疑ト云フモノハ最モ不祥ナルトコロノ風說ヲ來シテ居ルノデアリマス、旁、私共ハ國庫ノ現在ニ於テ此ノ如キモノヲ、殊ニ追加豫算トシテ之ヲ提出スルニ至ッタト云フコトハ、餘程此風說ニ裏書ヲスルガ如キ何カ意味ヲ添ヘルヤウニ思ハレルノデアリマスカラ、斷々乎トシテ是ハ削除致シマスノデアリマス、次ニ追加第二號案ハ全部之ヲ削除致シマス、是ハ則チ米價調節費ノ一部分デ段々說明ヲ求メマスレバ倉庫ヲ建テルトカ云フノデ、金額ハ二萬二千六百圓デゴザイマスガ、元來政府ノ種々ナル失策ノアリマス中ニ私共ヲ最モ失策ノ著シイモノヽ中ニ勘定シマスルノハ、米價調節ノ如キハ尤モ委員長ガ私ノ意見ヲ御取次ニナリマシタガ更ニ私ハ重ネテ申シマス、愚策中ノ愚策、斯樣ナル時勢後レノ政策ト云フモノハ世界何レノ方向ヲ尋ネテモゴザイマセヌトコロノ愚策デアリマス、此商工業ノ實際ヲ知ラナイトコロノ所謂殿樣的役人ガ、此米價ノ調節ニ就テハ數百年來種々ナル苦心ヲシテイロ〳〵ノ手段ヲ加フルト云フコトハ、到底今日時勢ト云フコトモ出來殺スコトモ出來、其政權ノ最モ偉大ナル舊時代ニ於キマシテサヘモ、此米價ノ調節ト云フコトハ到底出來ヌノデアルト云フコトハ、歷史的ニ證明シテ居ルノデアリマス、況ヤ今日ハ我帝國ガ世界的ニナッテ居ル、米ノ產地ト申シマスハ日本バカリデナイ、御承知ノ通リ諸方ニ澤山ヨリ多クノ米ヲ產スル處ガアル、米價ト云フモノモ世界的ノ事情ニ依ッテ騰ッタリ下ッタリスルノデゴザイマスカラシテ、ナカ〳〵此米價ノ調節ト云フコトガデストデアル、是ハ自然ノ調節ニ委セル、唯併シ自然ノ調節ヲ妨ゲルトコロノ妨害物ヲ取ルト云コトダケハ必要デゴザイマセウガ、其以外ニ人爲ヲ以テイロ〳〵ノ手段ヲ加フルト云フコトハ、到底今日時勢遲レノ最モ甚ダシイ愚策デアルト云フコトヲ斷言スルニ憚カラヌノデアリマス、現ニ昨年政府ガ實行致シマシタトコロノ實蹟ニ付テ私ハ申シマス、卽チ政府ガデス、此米價調節ヲヤルガ爲ニ此米價ヲ買フト云フコトガ極ッタト云フコトヲ聞キマシテ、其御用商人ノ一類カ命ジテ買ヘト云フ命令ヲ下シタデス、又御用商人ニモ命ジテ買ヘト云フコトヲ聞キマシト云フコトヲ聞キマシテ、其事アルヤ市場ニ向ッテドシ〳〵買ヒ出シタノデアリマス、先走ッテ卽チ儲ケヤウト云フ是ハ商買人ノ普通ノヤリ方デゴザイマスガ、盛ニ買出シタノデアリマス、ソレガ爲ニ一時米價ハ確カニ騰貴シマシタ、併シ愈〻價ガ少シ騰リマス時ニ方ッテ政府ノ買フ高ガドノ位ト云フコトガ段々分ッテ來タ、分ッテ來タモノデスカラシテ長ク持ッテ居ッチヤ損ガ行クト云フノデ、其買ッタ奴ガドシ〳〵賣ッタ、此故ニ買掛ケヤウトシタ時ハ米價ハ少シ騰ッタケレドモ、反對的ニ買ッタ奴ガ一時ニ賣リ出シタガ爲ニ非常ニ下落シタ、卽チ此政策ヲ行ッタ爲ニ非常ニ平地ニ波瀾ヲ起シテ、米價ノ激騰激落ヲ玆ニ來シタト云フ結果ニナル、此間ニ立ッテ幾多ノ損失ヲ來シタ者ガドノ位アルカト云フコトハ、私ガ申シマセヌデモ東京市中及大阪方面ニ於テ續々實例ガアルノデアリマス、米價ヲ調節セントシテ米價ヲ激騰激落セシメテ、商工業者ニ非常ナ損失ヲ與ヘタ、ソレカラ今一ッハ副產物トシテ斯樣ナ惡結果ヲ來シタ、政府ガ斯樣ナ愚策ヲ行ヒマセヌデアリマシナラバ、昨年ノ米價ノ下落シタ時ニ方ッテ南米カラ非常ナ注文ガアッテ、其注文ニ應ズル略〻約束ガ出來タ、卽チ輸出センストスル迄ニ至ッタ、然ルニ政府ガ斯カル愚策ヲ實行シヤウトスルコトヲ聞キマシタカラ、此輸出ノ商談ハ忽チ破談トナリマシテ輸出ハ止マッタ、輸出ハ止ッタノデアリマスカラシテ大體カラ申シマストト云フト、非常ニ米價ノ恢復ヲ妨ゲテ居ルト云フコトニナル、若モ斯樣ノ惡策愚策ヲ行ヒマセヌナラバ、南米ニ輸出シタ高ダケハ內地ノ米ガ減ルノデアリマスカラ、自然ニ騰テ來ルベキ筈デアッタ、トコロガ此愚策ヲ行ッテ輸出センストスルモノヲ止メタ爲ニ、却テ其禍ハ今日マデ未ダ恢復シナイ、餘響ヲ受ケテ居ル、斯樣ナコトニナッテ居ルノデ、帝國ノ米ノ產額モ少クテ六千萬石モアラウト云フノニ、世界ノ米ノ

産額ハ非常ナモノデアル、此價ノ騰リ下ルト云フコトハ世界的ノ原因事情ニ依ッテ騰リ下ルノデアリマス、日本政府ノ區々タル少額ノ金ヲ以テ此價ヲ調節シヤウトカナントカ云フコトヲ、此二十世紀ノ今日考ヘルナドト云フコトハ、非常ナ間違デアッテ、是ハ帝國ノ恥辱デアルト私ハ考ヘマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ三萬二千圓位ノ米倉ヲ建テ、何ニナリマスカ、私共ハ斯様ナ意味ニ於テモ最モ反對スルノデアリマス、更ニ附加ヘテ置キマスガ現内閣ガ當年度ニ於キマシテ此追加豫算ヲ出シマタコトノ非常ニ是ハ私ハ濫發ト申シマス、此追加豫算ノ中ニハデス、追加豫算トシテ出サナイ宜イモノモナカナカアリマス、然ルニデス、會期ガ切迫ノ今日、之ヲ出シマシテ十分ナル審議討論モスルコトガ出來ナイヤウナ時ニ、斯様ナ澤山ナルモノヲ出ストニ云フコトハ、立憲的政府トシテ爲スベカラザルコトデアル ト私ハ信ズルノデ、實ハ是迄ノ慣例ニ依リマシテ追加豫算ハ直ニ豫算委員會ヘ掛ケラレタノデスガ、是ハ私共ハ本筋デナイト思フ、此追加豫算モヤハリ議院ニ提出シテ此處デ當局大臣カラ一般ニ說明ヲ致シマシテ之ヲ豫算委員ノ手ニ付シテ審議討論ヲシナケレバナラヌ筈デアル、何セナレバ斯様ナ結果ニナル、今日ノ實際ノ御話ヲシテモ分ルノデアル、此追加豫算ハ數日間吾々ハ豫算委員會デ審議討論ヲ致シマシタガ、豫算委員デナイ諸君ハ殆ド御承知ガナイ、殊ニ今日午後ニ於テ豫算總會デ決定シタモノヲ、直グニ此處デ以テ緊急動議トシテ提出サレテ、今此處デ議論中デアリマスカラ此議員諸君ノ中ニ豫算委員ノ外ハ今日此議事ノアルト云フコトヲ知ラス人ガ多イノデアル、卽チ豫算委員ダケデ之ヲ議シテサウシテ決定シテシマフト云フ結果ニナルノデアリマス、愼重審議ヲ要スベキ豫算ト云フモノヲ斯ル不十分ナル所ノ審議ニ付シテヤルト云フコトハ甚ダ以テ怪シカラヌ、卽チ立憲政治ノ本義ニ背イタトコロノ結果ニナルノデアリマス、旁々此追加豫算ト云フモノハ法律デモ必要已ムベカラザルモノヽ外ハ出スベキモノデナイデアリマスガ、此現政府ノ出シマシタトコロノ豫算ハ左様ナ意義ノモノガ少シハアルカ知レマセヌガ、大部分ハ私ハサウデナイモノト認メテ居ル、濫發ト云ハナケレバナラヌ、此意味ニ於キマシテ政府ニ向ッテ將來此ノ如キ非立憲ナルコトハ爲スベカラズト云フノ警告ヲ與ヘル者デアリマス

齋藤珪次君ノ演說

私ハ本追加豫算ニ對シマシテ、遺憾ナガラ否決スベキ點ヲ申ゲザルヲ得ナイノデアリマス、併シソレニ付キマシテハ委員長カラ洵ニ能ク明細ニ御說明ガアリマシタカラ、敢テ私ハ多クノ蛇足ヲ添ヘナイ積リデゴザイマス唯遺憾ナノハ大禮記錄編纂費ニ對シマシテノ事柄ハ、委員長ノ御說明以外ニ言ハザルヲ得ナイ點ガアルソレハ洵ニ已ムヲ得ナイ譯デ、此點ニ付テハ國民疑惑ノナキヤウ、立派ニ此事柄ガ明瞭ニナルベク吾々ハ政府ニ向ッテ質問ヲ致シマシタラ、此質問ニ對シテ政府ハ斷然ソレ以上ハ答辯出來ヌト云フガ如キ制限ヲ付セラレテシマヒマシタガタメニ、亦委員會ニ於テモ質問打切リト云フヤウナ場合デ、吾々ノ幾多ノ疑問モ申上ゲルコトガ出來ナイ點モアリマシタノデ、是ハ吾々ガ獨リ之ヲ遺憾トスルノミナラズ、政府ニ於テモ必ズ遺憾デアラウト思フ、今日ノ豫算委員會ニ於テモ洵ニ曖昧ノ間ニ終ッタ點ガアルノデアリマス、是ハ政府御自身モ餘程遺憾デアラウト思フカラ、相當ノ時機ニ於テ是ハ政府モ明カニナサルコトガ必要デアラウト思フ、ソレニ關聯シテ私ハ自分等ノ考ヘテ居ルコトモ之ヲ明カニシナケレバ、天下ニ疑ヲ懷イテ居ル者ガ多クアル、斯様ナコトヲ憂フルノデアリマスカラ、其點ハ委員長ノ申サレタ以來少シクドウカ時間ヲ御與ヘヲ願ヒマス、其代リ委員長ノ說明セラレタ點ニ付テハ、私ハ委員長ニ讓ッテ多クヲ申サナイ、ッマリ第一ニ於テ銀行局新設ノコトノ如キハ、是ハ委員長ノ御話ハ實ニ其要ヲ盡シテ居リマシテ、私共ガ此銀行局設置ヲ全然否認スルモノデハナイ、併ナガラ此ノ如キ行政課ヲ以テ局ト改ムルガ如キコトハ、政府トシテハ豫メ斯様ナコトノ見込ハ立タナクテハナラヌ筈デアル、法律案ヲ出シテ貯蓄銀行法ヲ改正シタ、滿洲日支銀行ヲ造ッタカラ課ヲ局ニシナケレバナラヌト云フガ如キ、左様ナル淺薄ノモノデハナカラウ、苟モ内閣ニ立ッテ此國政ヲ執ル以上ハ、此ノ如キ施設ヲ爲スト云フガ如キコトハ、豫算編成ノ當時ヨリ既ニ胸中ニナケレバナラヌ筈デアル、然ラバ此ノ如キコトハ豫メ總豫算ニ於テ協贊ヲ求メルコトガ至當デアッテ、唯銀行ノ監督ト云フ法案ガ兩院ヲ通ッタ、新ナル銀行ヲ造ルモノガ議會ヲ通ッタカラシテ、課ヲ局ニセント云フガ如キハ、如何ニモ怠慢ナ仕方デアル、是ガ若シ議員諸君ヨリ提出シタ案ニシテ、兩院ヲ通過シテ玆ニ初メテ行政機關ノ擴張ヲ要スルナラバ、ソレハ一步讓ッテモ宜シイケレドモ、自ラ提案シテ此計畫ヲ爲シテ、其仕事ヲ爲スノニ急ニ課ヲ局ニシナケレバナラヌト云フガ如キハ、如何ニモ疎忽千萬デアッテ、是デ國家ノ大政ヲ料理スルコトガ出來ルカト言ヒタイ位デアリマス、故ニ私ハ此見地ヨリシテ、此

ノ如キコトハ將來ノ爲メニ經常豫算ニ出スベキモノデアッテ、決シテ追加豫算トシテ提出スベキモノデナイト云フ意見カラ、遺憾ナガラ玆ニ反對ヲ致スノデアリマス、第二ニ官業整理調査費ノコトニ關シテハ、是ハ現內閣トシテハ全ク追加豫算ナドヲ出ス顏ハナカラウト私ハ思ッテ居ル、卽チ一昨年現內閣ガ成立スルヤ、官業ヲ整理シテサウシテ民業ニ移スベキモノハ移スト天下ニ呼號シテ、而シテ之ヲ政綱ニ掲ケタノデ、恰モ或種類ノモノハ來月——明日ニモ之ヲ民業ニ移シテ、此官業ノ整理ヲ爲スト云フガ如ク標榜セラレタノデアル、隨ッテ一昨年ノ冬ノ議會卽チ三十五議會ニ於テ、幾多ノ議員ヨリシテ是ガ經過ヲ質問スルヤ、政府ハ官業整理ノコトハ大ニ進行シテ居ル、調査大ニ進ミタリト斯樣ニ申シテ居ル、越テ昨年臨時議會卽チ三十六議會ニ於テ尙此質問ヲ起スヤ、政府ハ愈〻調査ハ進ンダリ、而シテ其實施モ之ヲ民業ニ移ストカ或ハ合併スルト云フガ如キコトハ、殆ド急卒ニ爲スガ如キ態度ヲ現ハシタノデアル、爲メニ多クノ議員モ之ニ信賴シテ、敢テ追擊ヲ致サナカッタノデアル、所デ今月ニナッテ突如トシテ此整理スル費用ヲ出ストカ云フガ如キハ、如何ニモ前後撞著ノ甚シキモノデアル、斯ノ如キコトガ必要デアレバ何故總豫算ノトキニ是ガ現ハレテ居ラヌノデアル、整理進マザレバ則チ政府ノ怠慢ハ業ニ已ニ其總豫算ノ編成ノトキニ於テ現ハレテ居ルノデアル、然ルニ之ヲ總豫算ノトキニ敢テ編成セズ、今ニ至ッテ突如トシテ之ヲ提出シ、其口實ニ曰ク今日マデハ經常費ヲ以テ支辨ニ充テタルガ、最早能ハザルガ故ニ此經費ヲ要求スルト云フ、果シテ然ラバ今日マデ何モ此官業整理ト云フコトハシナカッタノデアルカ、政府ハ左樣ニ口ニハ言ウテ居ッタケレドモ、事實ニ於テハ何事モ爲ス能ハズシテ、今此ニ費用ヲ請求シテ是カラ整理ヲ爲スモノデハナイカト私ハ思フ、殊ニ事實ニ於テ幾多ノ調査ガ進ンダト仰シャルガ、官業整理ハ一トシテ現ハレテ居ラヌ、而モ言多クシテ洵ニ功ヲ誇ルニ巧ミナル現內閣デアレバ、一ツデモ是ガ整理ガ出來タナラバ、新聞ニ或ハ其他ノ方法ヲ以テ必ズ公ニスベキ筈デアル、ケレドモ今日一トシテ左樣ナコトガナイ、是ハ全ク事實ニ於テ整理ノ進ンデ居ラザルヲ證スルモノデアルト私ハ思フ、今日ニナッテ此費用ヲ要求スルガ如キコトハ、如何ニモ人ヲ欺クノ甚シキモノ、嘴著セントスルノ甚シキモノデアッテ、私ハ斯ノ如キ瞞著スル費用ハ飽マデ協贊スルコトガ出來ナイ、是ガ其趣旨デアリマス、是ダケガ反對デアリマシテ、大禮記錄ノ編纂ニ付テハ委員長ノ御報告ガアリマシタ通リ、私共ハ政府ヲ詰責シテ協贊

ヲ與ヘル、併ナガラ是ニ付テハ幾多ノ疑點ガアル、既ニ此大禮記錄編纂ニ付テハ、豫算委員會ニ於テ幾多ノ質問ガ同僚諸君ヨリ起ッタ所以ノモノハ、歸スル所此大禮費ト云フ費用ノ費途ニ付テ、幾多國民ガ疑ノ心ヲ持ッテ居ルト云フコトカラ起ッテ來タ、ソレハ去頃ニ於テ幾多ノ新聞ガ、大禮ノ費用ハ巨額ノ殘餘ヲ生ジタ、三十萬圓カラノ費用ト云フモノハ之ヲ賞與ニ與ヘタ、關係者ノ賞與ニ使用シタト云フコトガ天下ノ新聞ニ現ハレタ、此ニ於テカ總額ノ五分カラノモノガ賞與トシテ使ハレタト云フガ如キコトハ、實ニ驚クベキモノデアルト云フコトカラ國民ガ驚イタ、而シテ其大禮ニ付テハ一面カラ見レバ、果シテ國民ハ如何デアッタカ 此御大禮ノ賜饌若クハ御召ニ付テ皆滿腔ノ歡ヲ捧ゲテ居ルカト云ヘバ、勿論皆名譽ノ至リトシテ 陛下ノ思召ニ對シテ感謝ノ意ヲ表サヾル者ガナイ、實ニ子々孫々ニ至ル迄名譽トシテ之ヲ稱シテ居リマスケレドモ、其取扱ニ付テノ奉行スル人ノ行爲ニ付テハ、是ハ多少ノ缺點アルヲ認メテ居ル者ガアルノデアリマス、是レ卽チ私共ガ豫算委員會ニ於テモ政府ニ質問ヲ致シタ次第デアッテ、私共ハ決シテ不平ト云フ意味デハナイ、委員長ノ御言葉ノ中ニハ不平ト云フ語ガアリマシタガ、私ハ不平ノ語ヲ以テ政府ニ質問致シタノデハナイ、實ニ 陛下ノ渥キ思召デ彼ノ大饗宴ノ如キ御盛宴ニ御召シニ與ッタノハ身ニ餘ル光榮デアル、而シテ之ニ臨ミマシテ參列員心得書ガ授ケラレテアルガ故ニ、之ニ依ッテ恭シク吾〻ハ進退動作ヲシタモノデアル、然ルニ此參列員心得書ナルモノニ依レバ、吾〻ハ休憩所ニ依テ椅子ニアリツケサウデアル、然ルニ椅子ナシ、舞樂場ニ入ッテ舞樂ヲ拜觀セントスレバ其席ニ於テ起立シテ 陛下ニ敬禮セヨト云フケレドモ、吾〻ハ最初カラ起立デ居ッテ決シテ差圖ヲ受ケテ起立スルノデナイ、而モ其起立シテ居ル有樣ハ六重ニモ七重ニモナッテ居ルガ故ニ、畏多クモ 陛下ノ御出御サヘモ窺フ能ハザル事情ガアッタノデアル、爲ニ斯ノ如キコトハ大御心ニ對シテ實ニ畏多イコトデアルガ、是ハ何カ下僚ノ間違カラ起ッタノデアラウカラ之ヲ伺ヒタイト云フコトヲ私ハ質問シタノデ、是ハ實ニ左樣デゴザイマセウ、誤ッテ之ガ 陛下ノ御思召タル此準備ニ不十分ニ破セタナラバ畏多イコトデアラウ、併ナガラ或ル一部ノ下僚等ノ者ノ誤リカラ斯ノ如キコトヲ起シタトスレバ、私共ハ決シテソレデ否ヤハ申サヌ、爲ニ此事ヲ是ハ確カニ誤リデアラウ、心得書ニ照シテ斯クアルベキ筈ガナイカラト云フコトデ私ハ大藏大臣ニ質問致

シタ、卽チ國務大臣ニ質問シタ大禮ハ國務デアルガ故ニ國務大臣ニ質問シタトコロ、ガ、大禮使長官ニ屬スルコトデアルカラ卽答ハ出來ヌト仰セラレタ、是モ無理モナイトシテ今日迄御待ヲ致シマシタガ、此御答ハゴザイマセヌ、取調ガ出來ナカッタト申シテ御答ガナイ、其答ヲ聞キモシナイデ此演壇ニ於テ此豫算ヲ議スルト云フコトハ、私共ハ實ニ遺憾デアッテ、與黨諸君ト雖モ是ダケハ御同論ダト思フ、併ナガラ追加豫算ガ急ガレルト云フコトノ上カラ之ヲ御議シニナルトスレバ、是モ一理アリマスカラ敢テ今更申シマセヌガ、併ナガラ此點ニ付テ伺ハザルヲ遺憾トスルノデアリマス、他ノ又同僚諸君ガ此費用ニ付テ疑ヲ生ジテ來タ、又私共モ大禮記錄編纂ト云フコトハ確カニ大禮費ノ中ニ含マレテ居ルコトヲ確信致シテ居ル、此國家ノ大典　陛下御一代ノ大儀典ヲ擧ゲラレテ、此記錄ヲ作ル所ノ費用ヲ遺漏スルト云フガ如キ、左樣ナル淺慕ナコトハ國民トシテシナイ筈デアル、故ニ是ハ確カニ極メテアルト信ジテ居ル、又確カニ聞イテ居ル、此事ガ極ッテ居ッタ、而モ繪卷物ノ如キ、卽チ御儀式ヲスッカリ記載スルトコロノ繪卷物ノ如キハ二通ト云フノヲ二通ニマデ增加スルコトモ是モ極ッテ居ッタ、寫眞ハ如何ニスルカト云フコトモ極ッテ居ッタ、而シテ是等ノ記錄總テガ完全ニ出來ベク極メテ居ッタト云フコトハ私共ハ確カニ拜聽致シテ居ル、ソレヲ今日ニナッテ大禮記錄ヲ此處ニ追加豫算トシテ出ストカ云フコトハ、抑モ私共ハ此出シタト云フコトガ頗ル不敬デハナイカ、落チテ居ッタトスレバ全ク斯ノ如キ不束ナ話ハナイ、又落チザレバ是ハ何デアルカ、左樣ニ極ッテ居ッタモノヲ或ル點ニ流用シテシマッタト云フ罪ガアリハセヌカト云フコトヲ疑フノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ明カニシナケレバ國民ニ對シテ相濟マヌト信ジタ、サウシテ之ニ付テハ卽チ流用シタトカ、賞與ニ多ク使ッタトカ云フ說ガアリマスカラ、豫算委員會ニ於キマシテハ賞與ニ非常ニ使ッタト云フガソレハ幾ラ使ッタノデアルカ、斯樣ナ議論ガ出來タ、ソレデ大藏大臣ハソレハ調ベテ答ヘマスト申サレタ、本日其御答ニ依リマスレバ賞與ハ給與發令額ト云フモノガ二十四萬千百五十圓之ヲ人員ニ於テ六百六十人デアル、一人前ニスレバ四百圓未滿デアルカラ餘リ大シタモノデハナイト斯ウ云フコトデアリマス、然ラバ最高ハ如何、最低ハ如何、ソレヲ聞キタイト云フト大藏大臣ハ其以上ハ斷ジテ御答ヲシナイ、斯樣ニ言ハレタ是ニ於テ乎愈〻私共ハ疑ヲ懷カザルヲ得ナイ、既ニ公ニ斯樣ニ二十四萬千百五十圓ヲ賞與トシテ與ヘタトスレバ、此最高最低ヲ言フモ何ゾ恐ルルコトハナイデアラウ、然ルニ之ヲ言ハザルノハ其處ニ愈〻疑點ガ增スデハアリマセヌカ、爲ニ私ハ尙一步進ンデ之ヲ聞キタイト思ッタ、卽チ吾〻ガ世間カラ承知シテ居ルトコロノコトニ依ッテ見レバ、是等ノ金ハ實ニ意外ニ使ハレテ居ルト云フコトヲ承知シテ居ル、而シテ此餘タ金ハ何デ生ジタカト申シマスレバ——殘餘ノ金ハ何デ生ジタカト云ヘバ、私ノ承知シテ居ル所デハ紫宸殿ノ費用ニ於テ十五萬圓、ソレカラ二條離宮ノ大饗會ニ於テ十萬圓、悠紀殿主基殿ニ於テ五萬圓ト斯樣ニ殘餘ヲ生ジタト私ハ聞イテ居リマス、而シテ此殘餘ヲ生ジタモノヽ、賞與ハ如何ニシテ使ッタカト聞キマスルト、是モ私ノ伺フ所デハ大禮使長官ガ一萬圓、次官ガ五千圓宛、ソレカラ總理大臣ガ二萬圓、各大臣ガ八千圓宛ノ賞與ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ實ニ私共ハ斯ノ如キコトヲ此處ニ申スノハ甚ダ遺憾デアルガ、大藏大臣——國務大臣ガ之ニ答ヘザルガ故ニ此處ニ此事ヲ申シテ、サウシテ將來或ル相當ノ時機ニ於テ政府ハ之ヲ明カニシテ國民ノ疑ヲ解クヤウニシタイト思フノデアル、ソレ故ニ此處ニ私ノ聞イテ置ク、而シテ尙此ニ一ツノ驚クベキ私ハ事實ヲ聞イテ居ル、果シテ私ノ聞イタノガ誤リデアレバ結構デアルガ、彼ノ大饗トシテ各地方ノ人民——國民ニ酒饌ヲ賜ハル、此酒饌ヲ賜ッタノハ相當ナル順序デ賜ッタノデアリマスルガ、其中ノ海軍ノ兵曹長、陸軍ノ特務曹長ト云フモノガ地方賜饌ノ中ニ參列ノ光榮ヲ得タ、併シ是ハ非常ニ多數デアリマシテ、成程如何ニモ數ガ多イデアリマセウ、ソレガタメニ此所ニ一ツノ困難ガ生ジタ、ソレハ御承知ノ通リ議會ガ協贊ヲ致シマシタ、彼ノ大禮記念章ヲ造ッテサウシテ此酒饌ヲ賜ル、彼ノ大禮記念章ヲ造ッテサウシテ此酒饌ヲ賜ル、此記念章ガ私ノ承ル所ニ於テハ海軍ノ兵曹長及ビ陸軍ノ特務曹長ニハ數ノ多イト云フ理由ノ下ニ之ヲ未ダ與ヘテ居ラナイト云フコトヲ聞キマスルト、此大典ノ御大禮ニ參加シテ而シテ御賜饌ノ光榮ヲ賜ハッタニモ拘ラズ、吾〻ガ頂戴シテ居ルトコロノ記念章ヲ頂戴スルコトガ出來ナイトスレバ、是ハ實ニ氣ノ毒ノ至リニ堪ヘナイ必ズヤ政府モ之ヲ出スノデアラウト信ジマスルガ若シ果シテ吾〻ガ聞ク通リイカヌモノトスレバ是モヤハリ追加豫算デモ將來御出シニナラナケレバナラヌノデハナイカ併ナガラ一面ニ於テ大藏大臣ガ明言シテ居ル通リノ二十四萬一千百五十圓ノ賞與ヲ出スト云フガ如キ餘裕アレバ、斯ノ如キ者ニ向ッテハ一日モ早ク記念章ヲ出スガ宜シイノデアル、況ヤ私ノ承ル所ニ於テハ、最初賞與金ナドト云フモノハ極メテ

ハナカッタト云フコトヲ承ッテ居ル、是ハドウ云フ作用ニ依テ此賞與金ナルモノガ斯様ニ澤山アッタカ、蓋シ此紫宸殿若クハ二條ノ御大饗宴、悠紀殿、主基殿ノ殘餘金ガ生ジタルガタメニ斯様ナル多額ノ賞與金ガ起ッタリト言ハザルヲ得マイト私ハ思フ、然ラバ斯ノ如キコトヲ以テ爲シテ居ル、サウシテ國家ノ干城タルトコロノ兵曹長若シクハ特務曹長等ニ與フベキ此記念章ガ遲延シテ居ルト云フガ如キ事實アリトセバ、是ハ實ニ私ハ容易ナラヌコトヽ信ズルノデアリマス、殊ニ大禮記錄編纂費ト云フモノハ何程デアルカト云ヘバ、僅ニ二萬千九百八十三圓——三萬二千圓バカシノ金デアリマス、之ヲ大禮ノ濟ンダ今日ニ於テ追加トシテ來ルト云フコトハ、抑〻私ハ大禮其モノニ對シテ是ガ甚ダ穩カデナイト云フコトヲ前モ申シタ、即チ大禮費ノ内デ爲サナケレバナラヌ性質ノモノデアル、之ヲ殊更ニ求メルノハ穩カデナイ、併シ金ガナイト大藏大臣ガ仰シャル、故ニ金ガ無イト云フナラバ愈〻無イト云フナラバ、此大禮費ノ費用ハ無イカト申シマスレバ、委員長モ報告セラレタルガ如ク、大藏大臣ガ此大禮費ノ費用ハ未ダ精算ニ至ラナイト云フナラバ此ニ殘餘モアルヤウデアラウト信ズル、故ニ私ハ其殘餘ニ如何ニナッテ居ルカト聞ケバ、大藏大臣ハ殘餘ハナイ、皆支拂フベクナッテ居ルカラ殘餘ガナイ、殘餘ガナク支拂フベクナッテ居レバ精算ナカラザルモ其内容ヲ言フコトハ、大藏大臣トシテハ敢テ憚ル所ハナカラウト思フ、然ルニ之モ憚ッテ而シテ精算ニ至ラナイカラ其費用ハナイト言ウテ之ヲ遁ルヽニ至ッテハ、實ニ誠意ナキコトデアルト私共ハ信ズル、此等ノ事ニ付テハ大藏大臣——國務大臣トシテ如何ナル事情ガアルカハ私存ジマセヌガ、併ナガラ是ハ皇室ニ對スル事實デアリマスレバ國務大臣トシテ、斯ノ如キ事ヲ明カニセザルハ實ニ是ハ國務大臣ノ職責ニモ關スルコトト私ハ存ズル、故ニ願クハ私ガ唯今マデ述ベタルトコロノ事實ヲバ將來明カニシテ誤ナラバ誤デ私ハ是ガ結構デアルト申スノデアル、是非トモ是ハ明カニナルヤウナ方法ヲ取ッテ戴キタイ、而シテ大禮記錄編纂費ハ委員長ノ申サルヽガ如ク、吾々ハ此モノニ付テ反對ハナイ、之ニ付テ若シ彼是申上ゲレバ皇室ニ對シテ畏多イ、義デゴザイマスルカラ、謹ンデ是レニハ協贊ヲ致スト云フ趣意ナノデアリマス、是ダケヲ……

山田珠一君ノ演說

本員ハ原案ヲ贊成致ス者デアリマス、此追加豫算ノ案ニ對シマシテ研究スベキ要點ハ、會計法第五條ノ二項、即チ緊急已ムヲ得ザル費用デアルカ、或ハ然ラザルカ、更ニ言換ヘマスレバ此請求サレタトコロノ費用ハ總豫算ヲ編成スル時ニ於テ豫見スルコトガ出來ナカッタトコロノ費用デアルカ、或ハ又之ヲ今日ニ要求セズトモ來ルベキ豫算編成ノ時ニ讓ッテモ宜シクアリハシナイカ、ドウカ、是ガ本案ヲ決スベキ要點デアラウト考ヘルノデゴザイマス、然ルトコロガ委員會ニ於テ竝ニ本會ニ於テ御承知ノ通リニ、此豫算ノ大體ニ對シテハ吾〻モ政友會竝ニ國民黨ノ諸君モ緊急已ムヲ得ザル費用デアリ、又之ヲ來アルト認メラレテ居ルノデアリマス、大體ニ於テハ此費用デアルト云フコトハ同一考デアリマスルガ、唯ルベキ豫算編成ノ時期マデ延バスコトノ出來ナイ費用デアルト云フコトヲ其中ノ二三ノ點ニ於テ政友會竝ニ國民黨ノ諸君ハ吾〻ト意見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、即チ銀行局設置ニ關スル經費、歩入會社救恤金、米價調節調査會、此等ノ費用ニ對シテハ政友會竝ニ國民黨ノ諸君ニ於テ異議ヲ唱ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シテ本員ハ辯駁ヲ加ヘヤウト考ヘルノデアリマス、第一銀行局設置ニ關スル經費ニ對シテ此點ヲ論駁致シマシタナラバ本員等ノ本案ヲ贊成スルトコロノ理由ハ自カラ明白ニナルデアラウト考ヘルノデアリマス、國黨ノ理由トスルトコロハ多少異ッテ居ルトコロガアリマス、國民黨ノ鈴木君ノ反對サレタトコロハ、銀行局ヲ設ケルト云フコトハ必要ナイモノデアル、現在ノ人ヲ以テ之ヲ行ッテ行ケバ其事務ハ確ニ辨ズベキモノデアル、之ヲ若シ更ニ人ヲ增スト云フコトニナッタナラバ、徒ニ其仕事無キニ苦シンデ無用ノ干渉ヲスルコトニナルデアラウト云フ、斯ウ云フ論旨デアッタヤウデゴザイマス、唯今ノ人員ニ於テ果シテ現在ノ普通銀行貯蓄銀行其他ノ各銀行ノ澤山ナルモノニ對シテ監督ガ十分ニ行屆クヤ否ヤト云フコトニ付テハ、此ニ之ヲ議スルノ必要ハナク、シテ實際ニ於テ現在ノ此金融機關界ノ狀態ヲ見ラルルト、確ニ之ヲ知リ得ルコトデアラウト考ヘマス、是マデニ於テ銀行ノ追〻破綻ヲ生ジ不良銀行ノ地方ニ於テ種々ナル害毒ヲ流スト云フコトニ付テハ、是ハイロ〳〵ナ原因モアリマセウケレドモ、其一ツノ責ハ政府ニ於テ之ヲ取締ルコトノ監督スルコトノ周到ヲ缺イテ居ルト云フコトヲ算ヘナケレバナラヌト思フ、政府ニ於テモ、此點ニ就テ其缺陷ヲ感ズルコトガアッタラウトハ考ヘマスケレドモ、是マデニ於テ政費節減、行政整理ト云フコトノ聲ハ頗ル

暮シキ有樣デアリマシタノデ、此場合ニ於テ更ニ人ヲ增シ課ヲ局ニ陞セルト云フコトハ容易ナラザルノ施設デアルカラシテ、此點ニ付テハ政府モ、餘程心配サレテ居ッタラウト思フ、併ナガラ既ニ從來ニ於テモ其缺陷ヲ感ジ、更ニ今回普通ノ銀行貯蓄銀行等ニ付テノ條例ノ改正ヲ行ヒ、又日支銀行滿洲銀行等ヲ此ニ新設スルト云フコトニナリマシタナラバ、更ニ此銀行ノ監督ノ事務並ニ其他ノ業務ノ其多キヲ增スト云フコトハ、是ハ言フヲ俟タヌコトデアル、此場合ニ於テ在來ノ人ヲ以テ在來ノ當局ヲ以テ果シテ其事務ヲ辨ジ得ルコトデアルカドウカト云フコトハ吾ヾ少シク行政ノ智識ヲ持ッテ居ル者ハ確ニ其不可ナルコトヲ信ズルダラウト思フ、現在ノ人間デ足レリ更ニ之ヲ增ス必要ガナイト云フガ如キハ、恐クハ現在ノ金融機關此取締ノ周到ヲ缺イテ居ル有樣ヲ熟知スル者ノ、何人ト雖モ之ヲ否ムコトノ出來ナイコトデアラウト思フ、又人ヲ增シタ結果却テ其無事ニ苦ンデ無用ノ干渉ヲスルデアラウト云フコトハ、是ハ國民黨ノ鈴木君ノ御議論トシテ、御議論トシテハ宜シウゴザイマスケレドモ、實際ニ於テハ吾ヾハ餘リ感服スル議論デモナシ、又餘リ之ヲ辯駁スルノ價値ハ無イト考ヘルノデアリマス、政友會ノ此銀行局設置ニ關スル經費ニ對シテノ反對ハ、國民黨ノ主張サルヽ所トハ其理由ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、政友會ハ吾ヾト同ジク此銀行局設置ト云フコトハ必要デアルト云フコトヲ認メラレテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ吾ヾト同一意見ヲ持ッテ居ラルヽノデアリマリスガ唯異ナル所ハ必要ハ必要デアルケレドモ、斯ウ云フコトハ既ニ豫算編成ノ時分ニ於テ豫メ出來タコトデアリハシナイカ、之ヲ追加豫算ヲ以テ請求スルト云フガ如キハ、如何ニモ事ノ大體ニ於テ甚ダ豫メ劃策ノ無イ結果デアリハシナイカ——併ナガラ此銀行監督ノ爲ニ課ヲ陞シテ局ニスルト云フコトハ、政府ニ於テモ吾ヾハ早クカラ其必要ヲ感ジテ居ッタノデハナカラウカト思フ殊ニ最近殊ニ法律案ヲ提出シテ銀行滿洲銀行ヲ新設スルト云フコトヲ決定シテ、之ヲ議會ニ提出スルコトニナッテ其必要ヲ故ラニ感ジテ、此追加豫算ニ請求シタモノデアラウト思フ、之ヲ豫算編成ノ時分ニ豫メ見ルコトノ出來ナカッタト云フコトハ吾ヾハ此事ノ順序ノ運ビヲ餘リ審ニゼザルカ、否ラザレバ同情ノナキ議論デハアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、吾ヾノ知ル所ニ依レバ、政府ノ總豫算編成ハ昨年ノ十月ニ終リヲ告ゲタト云フコトデアリマス、此昨年ノ十月ニ終リヲ告ゲタ所ノ此總豫算編成ノ際ニ於テ、或ハ日支銀行滿洲銀行等ノ計畫ノ絕對ニ無イト云フコトモ言ハ

レマイト思フ、又銀行條例ノ改正、是等ノ事ニシテモ其必要ヲ感ジテ當局ニ於テ之ヲ調査シテ居ラナカッタト云フコトハ言ハレマイト思フ、併ナガラ其決定シテ之ヲ議會ニ提出スルマデニハ相當ノ期間ヲ要スルト云フコトハ、是亦掩フベカラザル事實デアラウト吾ヾハ信ズルノデアリマス、在來ノ事務ノ外ニ更ニ新シキ法律ノ改正、新シキ銀行ノ設立ト云フガ如キモノガ段々ト順ヲ逐フテ此ニ現ハレテ來、而シテ之ヲ決定スルマデニハ豫算編成後相當ノ時日ヲ要シテ居ルト云フコトハ、是ハ吾ヾハ掩フベカラザル事デアラウト思フ、然ルニ之ニ向ッテ豫算編成ノ時分ニ此事ハ分ッテ居ルベキ事デアルノヲ豫定シナカッタト云フコトハ、甚ダ政府ノ怠慢デアルト云フガ如キハ吾ヾハ事ノ實際ヲ審ニセザルノ議論デアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、是モ政友會諸君ノ言ハルヽ通リニ、官業整理ニ關スル經費ニ就テハ、政友會ノ諸君ヨリ反對ノ御意見ガアッタノデアリマス、是モ政友會諸君ノ言ハルヽ通リニ、官業整理ト云フコトニ就テハ、政府ガ早クカラ著手シテ居ッタニ違ヒナイ、併ナガラ此整理ト云フモノヽ調査ハ一朝一夕ニシテ結了スベキモノデハナイ、今尙進行ノ途中ニ在ルノデアリマス、而シテ豫算編成ノ時分ニ於テ既ニ政府當局ノ辯ズルガ如ク、成ルベク之ニ關スル所ノ新シキ經費ヲ要求セズシテ、經常費ノ中カラ繰合ハシテ行カウト云フ考カラシテヤッテ來タケレドモ、其事業ト云フモノガ未ダ終リヲ告ケズ、更ニ此調査ニ就テ一層ノ力ヲ籠メテ調査ヲ續ケヤウト云フ上カラシテ、已ムヲ得ズ此經費ヲ要求スルコトニナッタノデアリマス、是亦豫算編成ノ時期ニ於テ之ヲ豫見スルコトガ出來ナカッタトシテ、政府ノ怠慢若クハ政府ノ先見ノ明ニ乏シカッタコトヲ咎ムルト云フコトハ、吾ヾハ頗ル酷ナル議論デアルト信ズルノデアル、次ニ此歩入會社ノ救恤金ノコトニ付テ鈴木君カラ反對ノ御議論ガアッタノデアリマス、其反對ノ理由ハ此歩入會社ト云フモノガ第一ニモウ既ニ餘程時期ヲ經過シテ、隨分昔ニ其端ヲ發シタル所ノ事柄デ、今日斯ルモノヲ提出シタカラトテ之ニ向ッテ救恤金ヲ與フルコトニシタナラバ、是等種類ノモノガ段々現ハレテ、政府ハ之ニ對スル救恤ノ弊ニ堪ヘズデアラウト云フコトガ一ノ理由、今一ツハ此歩入會社ナルモノハ世間ニ種々ノ噂ガ傳ヘラレテ居ル、甚シキハ選擧干渉ノ時分ニ何等カノ甚ダ怪シイ所ノ費途ニ向ケラレタモノデアル若クハ其選擧ノ事ニ關係シタル所ノ或費途、若クハ或事柄ニ向ケラルヽ、金デアルト云フガ如キ頗ル怪シイモノデアルカラ、之ニ對シテハ與ヘヌガ宜シイト云フコトガ一ノ理由ニナッテ居ッタヤウデゴザイマス、併ナガラ吾ヾノ知ル所ニ依レバ、鈴木君ノ御意見ハ全

ク此歩入會社ナルモノヲ御承知ナク、又國トシテ此相當憫ムベキモノニ對シテ救恤スルト云フコトハ、國家ノ義務デアルト云フコトヲ無視セラレタル所ノ御意見デアリハセヌカト考ヘルノデアリマス、此ノ歩入會社ノコトニ付テハ吾々ノ知ルトコロノ範圍ニ於キマシテ申述ベマスレバ、是ハ元々政府カラシテ此ノ會社ニ貸下ゲラレタトコロノ金ヲ維新ノ後之ヲ引上ゲタ、其引上ゲル場合ニ於テ政府ガ貸シタトコロノ金以上ニ澤山ナル金ヲ引上ゲタ、之ヲ此關係者カラ納ムベキ金デナイノヲ政府ガ殆ド之ヲ强制的ニ取上ゲタト云フテモ宜イノデアル、此金ハ當然其關係者ニ下附スベキモノデアルト云フ理由カラシテ、既ニ先年之ヲ法廷ニ訴ヘテ第一審ニ於テハ原告ノ勝訴ニ歸シテ居ル問題デアリマス、更ニ大藏省ノ勝訴ニ歸シテ居ル、併ナガラ其後又屢〻裁判ニナッテイロ〳〵ナル曲折ヲ經テ居リマスケレドモ、其法律上ノ權利ナルモノハイロ〳〵ト其手數ヲ誤ッタカ或ハ時間ヲ經過シタトカ云フヤウナコトデ、此關係者ノ希望ヲ達スルコトハ出來ナカッタケレドモ、併ナガラ事實ハ事實トシテ藏フ可ラザル爲ニ年々此ノ議會ニ向ッテ請願ヲシテ來タノデアリマス、其請願ニ關スルトコロノ一件記錄ハ確ニ此ヲ本院ノ記錄ニ存シテ居ル、而シテ此請願ハ始終採擇セラレテ居ルノデアリマス、年々此ノ請願ハ繰返サレテ現ニ本年モヤハリ請願ニ現ハレテ、而シテ本院ノ採擇スルトコロトナッテ居ルノデアリマス、事實ノ詳細ヲ述ブルトスレバ多クノ時間ヲ要シマスカラ之ヲ略シマスルガ、兎ニ角此ノ金ト云フモノハ法律上ニ於テハ既ニ關係者ニ下附スベキ緣故ト切レテ居ッテモ、德義上ニ於テハ國家ガ當然之ヲ見捨テルコトハ出來ナイ、之ヲ看過スルコトハ出來ナイトコロノ問題デアルノデアリマス、然ルニ從來ノ政府ハ此ノ議院ノ請願ニ對シテ此ノ紛糾セル事件ニ對シマシテ、種々ノ調査ハ試ミテモ之ヲ斷ジテ處分スルトコロノ勇氣ト誠意ガ無カッタノデアリマス、然ルニ幸ニシテ現政府ニ於テ此事件ノ顚末ヲ審カニシテ、而シテ之ヲ救恤スルト云フコトニ運ンダト云フノハ、吾〻ハ事ノ當然デアルコトヲ稱スルノミナラズ、政府ノ勇斷ヲ賞シ併セテ國民ニ對スルトコロノ仁意ノアルトコロヲ吾〻ハ寧ロ賞スルノデアリマス、若シ此ノ事件ヲ非認サレマスナラバ、何故此ノ追加豫算ニ現ハレテ居ルトコロノ奈古浦丸ノ沈沒事件ニ對シテ、六萬圓ノ救恤金ヲ與ヘラレテ居リマスカ、是ニ向ッテ非認ヲ加ヘラレナイノデアルカ、此ノ奈古浦丸事件ト歩入會社救恤ト云フモノハ、事ノ性質ハ自ラ異ッテ居リマスル、內容ハ頗ル同ジカラザルモノガアルケレドモ、併ナガラ

國家ヨリ之ヲ見テ救恤スベキモノナリト斷定シマシタトコロノ其事其物ニ至ッテハ同樣デアル、若シ奈古浦丸ノ沈沒事件ニ對シテ眞ニ其關係者ノ憐ムベキコトヲ國家ガ認メ、サウシテ相當ニ救恤スルコトガ當然デアルトスレバ、其歩入會社ノコトニ對シテモ救恤スルノガ當然ノ事ト言ハナケレバナラスト思フ、又此事件ニ對シテ種々ノ風說ノアルトコロヲ言ハレタ、風說ハアリマセウガ、併ナガラ其道路ノ風說ヲ取立テヽサウシテ此議案ノ反對ノ理由トスルナラバ、或ハ恐ルヽ奈古浦丸事件ニ對シマシテモ道路ノ風說ハ絕無デハナイト云フコトニナリハシナイカト思フ、併ナラ吾〻ハ道路ノ風說ニ對シテ耳ヲ藉スベキモノデハナイ、奈古浦丸事件ハ眞ニ救恤スベキトコロノ性質ヲ待ッテ、此奈古浦丸事件ニ對シテ種々ノ風說ヲ傳ヘ、サウシテ事件其モノニ傷ヲ付ケルト云フコトハ甚ダ宜シキヲ得ヌコトデアルト同時ニ、此歩入會社ニ對シテ道路ノ風說ヲ取立テヽ反對ノ理由ニ供スルト云フコトハ、吾〻ノ鈴木君ノ爲メニ甚ダ取ラザル所デアルト思フノデアリマス、更ニ米價調節調査會デ此米價ノ調節ト云フコトハ、是ハ既往本議會ニ於テ屢〻研究サレ討論サレタル所ノ問題デアリマス、是ニ對シテ鈴木君ハ熱烈ノ反對ヲナサレテ、天下ノ愚策デアルト言ハレタノデアリマスガ、吾〻ハ此米價調節ト云フコトハ頗ル必要ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、政府ノ會テ取ッタ所ノ方法ニ付テ鈴木君ハ反對セラレタ、吾〻ハ此方法ニ對シテモ決シテ是ハ失敗デハナイト考ヘテ居ルト云フコトハ暫ク措キマシテ、此案ニ現ハレテ居ル所ノ此ノ米價調節調査會ニ關スル所ノ經費ナルモノハ、自ラ他ノ方面ヨリ之ヲ觀察シテ、サウシテ其利害得失ヲ研究スルノ價値アルト吾〻ハ考ヘルノデアリマス、デ私ハ申スマデモナク日本ノ產物中最モ大宗ヲ占メテ居ル所ノモノハ米穀デアル、米ト云フモノハ我國ノ經濟ニ至大ノ關係ヲ持ッテ居ルニ拘ラズ、從來此米ト云フモノニ對スル所ノ研究ハ吾〻ハ頗ル其幼稚ナルコトヲ慨ミトシテ居ルノデアリマス、多クノ例ヲ擧ゲズ、唯一ノ米ノ貯藏ノ方法ニ付テモ何等ノ研究ヲ爲シテ居ラヌ、鈴木君ハ米ノ研究ニ付テハイロ〳〵ヤッテ居ル、今日ニ於テ研究スル必要ハナイト云フコトヲ委員會ニ於テモサル語調ヲ用キラレタノデアリマス、ケレドモ吾〻ハ寡聞ニシテ未ダ此ノ米ノ貯藏ニ關シテ十分ニ研究ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ラヌノデアリマス、今日ハ理化學ハ進歩シテ居ル、其他種々此研究ト云フコトニ付テハ機關モアリ

便利モアリマス、之ニ相當ノ費用ヲ投ジテ研究シタナラバ、必ズ相當ノ方法ヲ得ルニ相違ナイト云フケレドモ、惜イ哉是マデ米ノ貯藏法ニ對シテ何等ノ研究ヲシテ居ルカト云フト、一モシテ居ラヌト云フコトヲ吾々ハ斷言シナケレバナラヌ、獨リ米ノ貯藏法ノミナラズ、其他米ニ對スルトコロノ研究ハ唯買フトカ賣ルトカ云フコトニ對シテハ若クハ米ヲ作ルト云フコト等ニ付テ研究ハシテ居リマスケレドモ、マダ其外米ニ對スル研究ト云フモノハ、其殘サレタルモノ頗ル多キコトハ、吾々ハ慨ミトシテ居ルノデゴザイマス、今回政府ノ提出サレタルトコロノ米價調節研究會ノ此米ノ調節法ニ對シテ研究ハ、今私ガ玆ニ改メテ申上ゲル必要モアリマセヌガ、此問題ノ起リト云フモノハ諸君ノ御承知ノ通リ米價ノ調節調査會ニ於テ、會ノ決議トシテ之ヲ理化學ノ上カラシテ、十分ニ調査ヲシテ貰ヒタイト云フ一ツノ建議ヲ出シタノデゴザイマス、ソレニ對シテ政府ハ此貯藏ト云フコトヲ十分ニ研究ヲスルト云フ考デ、或ハ農事試驗場ニ對シ、或ハ植物檢査所ニ於テ、其外種々ノ機關ヲ利用シテ、或ハ米ノ貯藏ト氣象ノ關係トカ、或ハ米ノ品質ト貯藏耐久力ノ關係トカ云フヤウナ種々ノ方面ニ付テ、貯藏上ノ研究ヲ試ミル爲ニ此計畫ヲ始メタノデアリマシタ、是ハ假令米價調節其物ノ目的ニ供スルト云フコトデナクシテ、單ニ此米ノ貯藏ト云フモノハ如何ニシテ出來ルモノデアルカ、相當ノ方法ハナイカト云フコトヲ、之ヲ學理上ヨリ實際上ヨリ研究スルコトニシテモ、我國產ノ大宗タルトコロノ米ト云フモノニ、經濟上非常ノ關係ヲ持ツモノデアラウト考ヘル、之ニ對シテ反對ヲ表セラルヽト云フコトハ、吾々ハ頗ル此米ニ對シテ不親切デアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、尙鈴木君ハ此議案ニ現ハレタル所ノモノハ、卽チ米倉ヲ拵ヘル米倉ヲ造ッテサウシテ米ノ貯藏ノ研究ヲスルト云フコトハ、甚ガ可笑シナコトデアルト云フガ如キコトヲ言ハレル、政府ノ今玆ニ計畫シテ居ルトコロノ其委シイコトヲ聞キマスルト、此倉ヲ拵ヘルト云フコトハ唯單ニ所謂營繕費デアッテ、貯藏ノ研究ヲスル爲ニ其一ツノ機關ヲ拵ヘル、是ヨリシテ來ルベキ豫算編製ノ場合ニハ尙研究ニ要スル費用ヲ要求シテ、更ニ完全ナル其貯藏ノ實際方法ニ著手スルト云フ運ビニナッテ居ルト云フコトハ、政府當局ノ親シク辯明致シテ居ルトコロデアリマス、單ニ倉ヲ拵ヘテ、サウシテ其貯藏研究ノ目的達セリト考ヘラレテ、此案ニ反對スルト云フコトハ是ハ吾々ハ事實ヲ御知リニナラヌト云フカ若クハ事實ヲ誣ユルコトデアルト申サナケレバナラヌト考ヘル、以上ノ點ニ付キマシテハ、吾々ハ政友會並ニ國民黨諸君ノ御意見ニハ總テ同意ヲ表スルコトガ出來ヌノデゴザイマス、是等ノ點ハ總テ原案ハ當然ノ要求デアル、而シテ必要止ムヲ得ザル所ノ支出デアルト云フコトヲ認メルノデゴザイマス、依ッテ總テニ對シテ原案ニ反對ハサレナカッタケレドモ、此經費ハ削除スルト云フ齋藤君ハ、大禮記錄編纂ノコトニ付テ原案ニ反對シテ御意見デハナイケレドモ、多少此問題ニ御小言ガアッタヨウデゴザイマス、多少デナクシテ頗ル此問題ニ付テハ——此問題トハ關係ハナイケレドモ、大禮御執行ノ前後ニ於ケル大禮使ノ取扱ノ事ニ付テ、若クハ此大禮ニ關スル費用ニ對シテ、世間ノ種々ノ取沙汰ヲ玆ニ羅列サレテ、サウシテ此問題ニ對スルトコロノ一種ノ非難ノ材料ニ供セラレマシタケレドモ、是ハ吾々ハ贊成スルコトガ出來スノデアリマス、此大禮使ニ對シテノ非難若クハ取沙汰ト云フコトハ、是ハイロ〳〵アリマセウケレドモ、此大禮ノ記錄ノ編纂ト云フモノハ、ツマリ大禮費ノ中ニ金ガ無イカラ、政府ハ玆ニ新タニ要求シテ、サウシテ大典ヲ將來ニ傳ヘヤウト云フ趣意カラ出タノデゴザイマス、ツマリ此事ハ此大禮ノ大事ノ終リヲ完フシヤウト云フ政府ノ考カラ出テ來タ、吾々ハ此事ハ寧ロ當然ノ事デアルノミナラズ、此大禮ノコトニ對シテ最モ愼重ナル施設デアルト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ種々ノ世間ノ取沙汰、若クハ大禮使其施行當時ノ待遇ノコトニ對シテ世間ノ耳目ヲ聳動シテ此問題ニ非難ヲ付ケヤウト云フコトハ、吾々ハ敬愛スル所ノ齋藤君ノ爲ニ甚ダ取ラザル所デアルノデアリマス、以上ノ理由ニ依ッテ本員ハ全部原案ヲ贊成スル者デアリマス

小山松壽君ノ意見

本豫算ヲ審議スルニ當リマシテ、本員ハ先キニ聲明致シテ居リマシタ、卽チ名古屋監獄ノ火災ニ關スル質問及之ニ對シテノ善後策ニ對シテ政府ニ質問ヲ試ミタコトガアルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハ理想トシテハ不適當デアルガ現在トシテハ其意思ヲ有ッテ居ラナイト云フコトノ答辯デアリマシタ、私ノ考ハ此機會ニ於テ其理想トシテ不適當ナルモノヲ解決セラルヽコトガ最モ適當デアルト考ヘタノデアリマスガ、然ル所此追加豫算ノ費目ノ中ニ司法省所管トシテ十一萬二千圓ノ同監獄燒失ニ關スル復舊費ヲ計上サレテアルノデアリマスカラ、故ニ私ノ聲明致シタ所ノ成行ヨリ致シマスレバ、此費

目ヲ削除シ一ツノ修正案ヲ提出スベキ立場ニアルノデアリマスガ、併ナガラ焦眉ノ問題ヲ救フニ於テ――當局者ニ其意思ナシト致シマスレバ、此當面ノ問題ヲ救濟スル意味ニ於テ、止ムヲ得ズ之ヲ認ムルノ外ナイト考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ當局者ニ對シテ將來此理想ノ實現ヲ速カナラシメンコトノ希望ヲ付シ、委員長ノ報告ニ贊成ヲ致シマス

質疑、應答ノ後武富大藏大臣ハ齋藤珪次君ノ演說ニ對シ辯明ヲ爲シ伊東知也君、相島勘次郎君、高木益太郎君相次テ質疑シ武富大藏大臣之ニ應答セリ

武富大藏大臣ノ辯明

齋藤君ノ御說ニ對シテ一言辯ジテ置キタイコトガアリマス、豫算委員會ニ於テ大禮費ノ旅費ノ支給額ノコトヲ、齋藤君ガ大藏大臣ニ質問サレタトコロガ、總額ハ言明シタガ、此以上ハ斷ジテ說明ヲシナイト、斯樣ニ申シタト云フコトヲ言ハレマシタガ斷ジテ說明ヲシナイト云フコトデハアリマセヌ、大禮費ノ豫算ハ假令殘餘ヲ生ジテ其殘餘ヲ賞與ニ使ッタト云フヤウナ意味ノ御尋デアリマシタカラ、大禮費豫算中ノ賞與ノ金額ハ豫算ノ通リ二十幾萬圓支給シテアリマス、豫算ト少シノ過不足ハアリマセウガ、先ヅ大禮ニ於テ豫算通リニ支給シテアル、其金額ガ二十幾萬圓何ガシト云フモノデアルト云フコトヲ說明ヲシタノデアリマス、ソレカラ其以上ノ細目ニ立入ッテノ御尋デアリマシタカラ、細目ニ入ッテ說明スルノ機會ニ到達シテ居ラヌト云フコトヲ申シタノデアリマス、且又大禮ノ記錄編纂ニ關スル經費ハ、大禮費ノ豫算ニ餘リガアレバ、ソレデ支辨スベキモノガ、是ハサウデハアリマヌ、大禮費ノ豫算ニハ此度政府ノ計畫ニ屬スル記錄編纂ノ經費ニ支拂シ得ベキモノハアリマセヌ、左樣ナ目的ヲ以テ豫算ヲ編製シテハゴザイマセヌ、豫算主査會デ齋藤君ノ御說ニサウ云フモノガアルカノ樣ナ御話デゴザイマシタガ、成程寫眞帖ヲ拵ヘルト云フ樣ナ經費ハ大禮費ノ豫算中ニアルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ決シテ此度ノ記錄ノ編纂トハ全ク別モノデアリマス、ソレデ大禮ノ經費ハ支拂未濟ニ屬シテ清算未了デゴザイマスカラ、多少剩餘ガ生ズルカドウカ、今日ハ分リマセヌケレドモ、縱シヤ剩餘アリト致シマシテモ、此記錄編纂ノ如キ費途ニ支辨スベキモノデハアリマセヌ、豫算ノ目的ガ最初カラ違ッテ居ルノデアリマス、ソレデ此度ノハ大禮使ノ仕事デハナイ、政府ノ仕事トシテ大禮ニ關スル記錄ノ編纂ヲ致スノデアリマスカラ、新タニ生ジタトコロノ經費デゴザイマス、新ニ生ジタトコロノ經費ヲ大正五年度ノ總豫算追加トシテ玆ニ請求スルノデアリマスカラ、大禮費ノ豫算トハ何等關係ハ持チマセヌ、且又大禮費ノ賞與云々ト云フコトニ付テ、官名若クハ金額等ヲ擧ゲテ言ハレマシタガ、ソレハ何處ニサウ云フ風說ガアルノデアリマスカ、事實トハ全ク相違致シテ居リマス、ソレダケハ明言致シテ置キマス

他ニ討論ナク採決ニ及ヒ副議長早速整爾君ハ六案中修正案ノ提出アル部分ヨリ順次採決スヘキ旨ヲ宣告シ先ツ(第三號)大正五年度歲入歲出總豫算追加案中甲號歲出經常部大藏省所管第一款大藏本省即チ銀行局設置ニ關スル經費全部ノ削除案(齋藤珪次君及鈴木梅四郎君各提出)、同號歲出臨時部大藏省所管第十六款官業整理調查費ノ削除案(齋藤珪次君提出)ニ付表決ヲ取リタルニ多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

次テ(第五號)大正五年度歲入歲出總豫算追加案ニ關シテハ鈴木梅四郎君ハ全部ノ削除說ナルニ依リ直ニ委員長ノ報告ニ付表決ヲ取リタルニ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シ引續キ其ノ他ノ各案全部ヲ可決シタリ

右ノ結果六案ハ全部原案ヲ可決シ即日貴族院ニ送付ス

貴族院ハ二月二十八日(一二)乃至(一五)及(一六)即チ(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中外務省所管地所家屋借料(本案中大藏省所管日支銀行債券保證及滿洲銀行債券保證

否決ヲ可決奏上シ（一一）即チ（第三號）ノ大正五年度歳入歳出總豫算追加案ハ修正議決ヲ爲シ本院ニ回付シタリ

（回付案）

（第三號）大正五年度歳入歳出總豫算追加案中貴族院回付ノ箇所左ノ如シ

（小字及――ハ貴族院　正）

豫算

第一條　大正五年度歳入歳出追加額ヲ各千貳百四拾參萬千百七拾五圓ニ改ム

歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

甲號

歳入臨時部

第十一款　前年度繰入金　金百四拾參萬千百七拾五圓

第一項　前年度繰入金　金百四拾參萬千百七拾五圓

歳入臨時部合計金千貳百四拾參萬千百七拾五圓ヲ千貳百六拾八萬千九圓ト改ム

歳出臨時部

大藏省所管

第十三款　銀行設立準備費　金六萬貳千參百參拾四圓

第一項　日支銀行設立準備費　金參萬貳千六百七拾貳圓

第二項　滿洲銀行設立準備費　金貳萬九千六百六拾貳圓

第十四款　銀行補助　金拾八萬七千五百圓

第一項　日支銀行補助　金拾貳萬五千圓

第二項　滿洲銀行補助　金六萬貳千五百圓

第十五款　大禮記錄編纂諸費　金參萬千九百八拾參圓

第一項　大禮記錄編纂諸費　金參萬千九百八拾參圓

第十六款　官業整理調査費　金七千四百六拾四圓

第一項　官業整理調査費　金七千四百六拾四圓

第十七款　元歩入會社救恤金　金八萬圓

第一項　元歩入會社救恤金　金八萬圓

大藏省所管合計金千百五拾六萬九千貳百四拾七圓ヲ千百參拾壹萬九千四百四拾七圓ニ改ム

歳出臨時部合計金千貳百參拾七萬五千百七拾五圓ヲ千貳百四拾參萬千百七拾五圓ニ改ム

歳出總計金千貳百六拾八萬千九圓

同日議事日程ニ追加シ右回付案ヲ院議ニ付スルヤ濱口雄幸君ハ貴族院ノ修正ニ同意ノ意見ヲ述フ即チ日支銀行法案及滿洲銀行法案ガ、貴族院ニ於テ否決サレマシタコトハ、國家ノ爲メニ甚ダ遺憾ニ存ジマス本院ハ支那ニ對スル帝國ノ經濟的發展ノタメニ頗ル之ヲ惜ムノデアリマス、併ナガラ法案既ニ否決サレマシタル以上ハ、豫算ノ修正ハ當然ノ結果トシテ已ムヲ得ザル所デアリマス、依テ本院ハ遺憾ナガラ貴族院ノ修正ニ同意ヲ致シマス

次テ小川平吉君亦之ニ同意シ院議貴族院ノ修正ニ同意スルニ決ス即日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知シタリ而シテ(一一)(一三)(一五)及(一八)ノ四案ハ二月八日(一二)及(一四)ノ兩案ハ四月二十八日ヲ以テ公布セラル

第二項　決算

一　大正二年度歳入歳出總決算

二　大正二年度各特別會計歳入歳出決算

大正四年十二月十六日政府ハ大正二年度決算トシテ大正二年度歳入歳出總決算、大正二年度各特別會計歳入歳出決算及大正二年度決算檢査報告ヲ提出シ參考書トシテ大正二年度歳入決算明細書、大正二年度各省決算報告書、大正二年度國債計算書、大正二年度特別會計計算書及大正二年度各特別會計決定計算書ヲ添附セリ

（決算ハ浩瀚ナルニ依リ掲載ヲ略ス）

是ヨリ先キ本院ハ大正四年十二月二日各部ニ於テ決算委員ヲ選擧ス

委員ハ同月六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ越エテ二十二日全委員ヲ分テ五科ト爲シ各分科主査及所屬員ヲ選定シ以テ決算審査ノ分擔ヲ定メタリ其ノ結果左ノ如シ

第一分科	（外務省、内務省、司法省及文部省所管）	（委員兼務）九名	主査　森田茂君
第二分科	（大藏省所管、鐵道院、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府及樺太廳ヲ除ク）	（委員兼務）九名	主査　岸本賀昌君
第三分科	（陸軍省及海軍省所管）	（委員兼務）九名	主査　宮原幸三郎君
第四分科	（農商務省及遞信省所管）	（委員兼務）八名	主査　横尾輝吉君
第五分科	（鐵道院、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府及樺太廳）	（委員兼務）九名	主査　横田孝吏君

決算委員會ハ五年二月二十五日其ノ審査ヲ結了シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

（委員會報告書）（内容浩瀚ナルヲ以テ報告書ノ前文ノミヲ掲ク）

大正二年度歳入歳出總決算及大正二年度各特別會計歳入歳出決算中不法若ハ不當ナリト議決シタル事項左ノ如シ

大正二年度歳入歳出總決算

歳入ニ於テ

租稅ノ徴收過ニ屬スルモノ七件

租稅ノ徴收不足ニ屬スルモノ十二件

價格ヲ異ニセル物品ヲ他ノ低價品中ニ混同シテ拂下ヲ爲シタルモノ一件

其ノ他不當ナルモノ三件

歳出ニ於テ

未竣功ノ工事ニ對シ竣功シタルモノノ如ク裝ヒ工費ヲ仕拂ヒタルモノ一件
經費ノ所屬年度ヲ混同シ且高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件
物件ノ購入ニ關シ其ノ數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノ三件
虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ十三件
競爭入札ニ付スヘキ工事ノ施行又ハ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ四件
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ五件
請負契約ノ協定宜シキヲ得サルモノ一件
交付地金ヲ低價ニ算定シ請負額ヨリ控除シタルカ爲國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件
事業上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件
其ノ他不當ナルモノ一件

官金ニ於テ

銀行救濟ノ爲巨額ノ支出ヲ爲スニ當リ國庫金ノ運用ト爲シ豫算決算ニ編入セサルモノ一件
大正二年度各特別會計歲入歲出決算

歲出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ三件
請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノ一件
競爭入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ三件

豫算ノ目的ニ違背シ且高價ヲ以テ物件ヲ購入シタルモノ一件
設計ニ違背シタル工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件
虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ四件
工事ノ施設不完全ニシテ開業後電車ノ運轉ヲ休止シ手直シヲ要スルニ至リタルモノ一件
物件ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノ一件
不正ノ入札ヲ行ヒ且粗造工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件
既往年度檢查未確定ニ屬セシ金額ニシテ檢查確定ノモノ

歲出ニ於テ

精算費額更訂ノ事由不明ナルモノニ對シ補助金ヲ支出シタルモノ一件
虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件
大正二年度各特別會計歲入歲出決算中警告ヲ與フヘキモノト議決シタル事項左ノ如シ

歲出ニ於テ

事業實施ノ方法宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件

決議

決算報告ハ前前年度ノ決算ニ係ルモノヲ短縮シテ前年度ノ決算ニ改ムルヲ適當ト認ム仍テ政府ハ次年度ヨリ之ヲ實行セムコトヲ望ム

二月二十八日大正二年度歳入歳出總決算及大正二年度各特別會計歳入歳出決算ヲ一括シテ院議ニ付シ決算委員長鹿島秀麿君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

諸君、大正二年度歳入歳出總決算及大正二年度各特別會計歳入歳出決算之ニ就テ御報告ヲ致シマス、決算委員會ハ十數回開會ヲ致シマシテ、大體ノ質疑ノ後各分科ニ於キマシテ詳細ナル取調ヲ致シマシタ結果ト致シマシテ、玆ニ御報告ヲ申上ゲルコトニ至リマシタ、大正二年度歳入歳出總決算中ニ於キマシテ、歳入ニ於テ不當ノ支出ナリト認メマシタモノガ二十四件、歳出ニ於テ不法ノ支出ト認メマシタモノガ八件、不當ノ支出ナリト認メマシタモノガ二十五件、官金ニ於テ不當ノ支出ナリト認メマシタモノガ一件、其他大正二年度特別會計歳入歳出決算中ニ於キマシテ、內務省所管帝國鐵道院ニ於キマシテモ、亦內務省所管臺灣總督府ニ於キマシテモ、內務省所管樺太廳ニ於キマシテモ、大藏省所管帝國鐵道院ニ於キマシテモ、陸軍省所管東京砲兵工廠ニ於キマシテモ、海軍省所管海軍工廠資金ニ於キマシテモ、文部省所管東京帝國大學ニ於キマシテモ、農商務省所管ノ製造所ニ於キマシテモ、不法又ハ不當ノ支出ナリト認メマシタモノガ一件若ハ數件アルノデアリマス、是ハ諸君ノ御手許ヘ配付ニナリマシタ、報告書ニ精ウゴイマシテ非常ナ冗長ナモノニナリマスカラ、唯今ソレダケヲ申上ゲテ詳細ナル如何ナル不當支出デアル、如何ナル不法支出デアルト云フ理由ハ、長キニ亙リマスカラシテ省略ヲ致シマス、ソレカラ明治四十五年度大正元年度ノ卽チ既往年度ニ於キマシテモ、內務省所管ノ朝鮮總督府ニ於テ不當ノ支出ナリト認メマシタモノハ是亦一件アリマス、就中著シキモノヲ一ツ二ツ取拔キシテ、特ニ諸君ニ御報告ヲ致サンケレバナラヌ件ガアリマス、又御決議ヲ願ハンナラヌ件ガアルノデアリマス、ソレハ內務省所管ノ中傳染病研究所ト云フ第五款ノ第三項、事業費ト云フ中ノ此傳染病研究所ニ要シマスル牛、馬、羊ト云フモノノ養料、飼料ト致シマシテ要スル所ノ藁、燕麥、大麥、大豆是等數十萬石買入レマス所ノ代金ガ其支拂——出入簿ト受拂簿ト合ッタノデアリマシテ、動物ノ數モ必ズ出入ノアルノニ拘ラズシテ、其飼養料ハ日々チョット モ變ッテ居ラヌノデアル、甚ダ不當ナル支出デアルノデ、會計檢査院ニ於テモ甚シク其不當ト云フコトヲ申サレテアルノデアリマス、デ分科會ニ於キマシテモ十分取調ベマシタケレドモ、愈〻其不當支出ナルコトヲ認メタンデアリマス、同ク傳染病研究所ノ支出ノ中、此血清液ヲ容レマス所ノ容器ノ代金、而シテ其血清液ヲ運搬シマス所ノ運送賃、此二ツニ於テ同ク不正ノ支出ト認メタノデアリマス、是ハ入札ニ付センケレバナラヌ規則デアルノニ、或者ト隨意契約ヲ致シマシテ、而シテソレガ非常ニ高イノデアリマス、傳染病研究所ノ支出ノ同ク馬ヲ九十三頭買入レタノデアリマスガ、此研究所ノ方ノ申スノデハ、一遍ニ買ッタト斯ウ言ウテ居ルノデアリマスガ、是ハ事實調ベヲ見マスルト、七頭若クハ八頭ヅヽ數回ニ買ヒマシタモノデアル、買フタモノデアルノニモ拘ハラズ、一遍ニ買入レタモノト致シマシテ、其値段ノ如キモ甚ダ不當ニ高イノデアル、而シテ是等ノモノハヤハリ公入札デ買入レンナラヌ規則デアルノニモ拘ハラズ、隨意契約ニ致シテ非常ナ高キ代價ヲ以テ、而モ數度ニ買入レタモノヲ一遍ニ買ッタヤウナコトニ裝ウテ、甚ダ不都合ナル支出デアリマスト云フコトヲ認メタノデアリマス、尙同ジク傳染病研究所ノ支出ニ係ル牛乳獸肉肉類ヲ要シマス、ソレカラ蕪トカ大根ト云フ如キ物モ要スルノデアリマシテ、是ハ小サキ動物ヲ養フ飼料デアリマス、此買入ナレドモ公入札ニ致サズシテ、或者ト特約ヲシテ非常ナ高キ値ヲ以テ買入レテ居ル、是モ不當ナル支出ト認メマス、又尙傳染病研究所ノ支出ニ係ル試驗用ノ——試驗ニ使ヒマストコロノ兎、鼠、「モルモット」ト云フ獸ノ名デアリマスガ、是等ノ物ヲ一萬七千餘買入レマシタ代金モ、是モ傳票ト云フモノヲイロ〳〵直シテアッテ、檢査ヲ致シマスルト甚ダ正當支出ヲ缺イテ居ルノデ、之ヲ質シマスト云フト數萬圓ノ不正支出タルヲ免レマセヌ、是ハ最モ著シキトコロノ一箇條デアリマス、今一箇條ハ諸君ガ疾ク御承知ノ世間デモヤカマシクナッテ居リマストコロノ、此興業銀行ヘ政府ガ殆ド六百萬圓ニ近キトコロノ金ヲ興業銀行ノ困難ヲ救フト云フ名ノ下ニ、年二朱ノ廉キ金利ヲ以テ貸付ケタトコロノ事デアリマス、是ハドウ云フ形式ニ貸シテアルカト申シマスト、正金銀行ヨリ二百五十萬圓、日本銀行ヨリ三百萬圓、而シテ二朱ト云フ金利ヲ以テ貸シマシテ、九十日ノ期限デ貸付タルトコトニナッテ居ル、併ナガラ其年限ヲ聞キマスト大正十二年中マデハ貸スノデアリマシテ、サウスルト其二朱ノ金利ト六朱若クハ七朱ニ貸付スルトコロノ金利トノ差金ヲ以テ、其興業銀行ガ金山ニ無謀ノ金ヲ貸付ケタリ其ノ他ノ點ニ於キマシテ損ヲ致シマシタ、其趣向デアリマス、興業銀行ガ金山ニ無謀ノ金ヲ貸付ケタリ其ノ他ノ點ニ於キマシテ損ヲ致シマシタ、其

興業銀行ヲ救フト云フタメニ政府ガ今申上ゲルヨウニ九十日ノ期限デ以テ、六百萬圓ニ近キ所ノ金ヲ貸付マシテ、二朱デ貸付ケテ興業銀行ガソレ以上ノ即チ倍三倍ノ利息ニ貸シマシテ、其利鞘ト云フモノヲ以テ、其六百萬圓ノ金ヲ濟崩ス樣ニシヤウト云フタメニハ大正十三年中掛ルノデアリマス、其約束デ貸シタノデアル、是ハ最モ不都合ナルトコロノ遣リ方デアリマシテ、最モ此官金ヲ不都合ニ支出シタル所ノ著大ナルモノデアリマス、ソレ故ニ貴族院ニ於キマシテモ大ニ其不當ヲ咎メテ、不當決議ヲセラレテ居ルコトヲ承ッテ居リマスガ、當決算委員會ニ於キマシテモ政府ハイロ〳〵其間ノ事情ヲ述ベテ陳辯ヲ――陳情セラレマシタケレドモ、決シテ容ルヽニ足ラヌノデアリマス、甚ダ以テ不都合ナルモノデアリマス、故ニ之ニ對シマシテ決議ヲ爲サウト存ジテ、決算委員會ハ決議ヲ致シマシタ、之ヲ唯今申上ゲマス「決議、政府ハ明治二十三年法律第二十一號ニ依リ預金局預金ヲ以テ更ニ充當スルヲ辭柄トナシ明治二十七年法律第十六號ヲ適用シ國庫金ヲ以テ興業銀行ニ貸付セシハ明ニ不當ノ甚シキモノナリト認ム」尙ソレデ滿足ガ出來マセヌカラ附帶條件ト云フモノヲモ決議致シマシタ「政府ハ興業銀行ニ貸付セル金五百八十五萬四千八百三十三圓二十五錢四厘ヲ同行ヨシテ返還セシムベシ若シ事情不可能トスレバ政府ハ豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ルト同時ニ利子ノ歩合ヲ相當ニ改正スルハ勿論可成速ニ同行ヨシテ整理ノ實ヲ擧ゲシメ返還年限ヲ短縮スベシ」尙其外ニ諸君ニ特ニ御同意ヲ得タイ點ハ、由來此決算ニ對シマシテハ、ドウモ其豫算案ニ比シテハ輕視スルト云フ譯モゴザイマスマイガ、何トナク氣拔ケノシタ樣ナ事ガ免レス、英國ノ如キハ此豫算ト決算ノ必要ハ同ジ分量デアッテ、殆ド車ノ兩輪ノ如キモノデ、之ニ甲乙ノ輕重ノナキヲ認メテ居ルト云フコトガナクシテ、決算委員ヨシタモノガ――決算委員ト豫算委員トマルデ離レテ居ルト云フコト豫算委員ヨリ兼務ヲスルト云フコトニ相成ッテ居ル、是ハ即チ決算ト云フモノヲモノヲ見テ、決算ヲ程好ク正當ニヤラヌノデアッタナラバ、豫算ヲ何ボヤカマシク云フテ與ヘタ所ガ駄目デル、故ニ此決算ヲ正シク、即チ此ノ支出ヲ正シクヤルカヤラナイカト云フコトヲ見ルニハ、決算ニアリマスカラ、決算ヲ能ク見テ而シテ豫算ニ協贊ヲ與ヘルト云フコトニナラネバ、何程ヤカマシク云ウテ置イテモ、決算ハ其儘ニ看過シテ置クト云フ制ヲ作ッテ置キマシタナラバ、笊ニ水ヲ入レル樣ナモノデアリマス、豆ヲ入レル樣ナモノデ脫ケテシマッテ、チヨットモ何ノ效モ爲サヌト思ヒマス、故ニ是非

共モウ少シク決算ニ對シテ重キヲ措クヤウニシタイト云フノガ一ツ、ソレカラソレニ近ヅク爲ニ斯樣ナ決議ヲ致シマシタ、今日迄ハ決算ナルモノハ前々年度ノ即チ歲計ヲ正當ナリヤ否ヤヲ調ベルノデアリマス、即チ今此壇ニ上ッテ御報告申上ゲテ居リマスルトコロノモノハ、何時ノ年度ノモノカト云フト、申上ゲル迄モナク前々年度、即チ大正二年度ニ出來タコトヲ申上ゲルノデ、唯今申上ゲタル興業銀行ノ不都合ノ如キ、又傳染病研究所ノ不都合ノ如キ、ドウモ二年モ前ノ事デアリマスカラドウ攻メルニ困ル「隔靴ノ嘆ナキヲ得マセヌカラ、ソレ故ニ吾〳〵ハ斯樣ニ決議ヲ致シマシタ、前年度ノ決算ヲ提出スルヤウニシタイト云フ、是ニ付キマシテハ伴フトコロノ經費モ幾ラカ要ルヤウデアリマス、容易ナラヌ事トモ存ゼヌデハナイノデアリマスケレドモ、是非前年度ノ決算ヲ提出スルヤウニシタイ」「決算報告ハ前々年度ノ決算ニ係ルモ、之ヲ短縮シテ前年度ノ決算ニ改ムルヲ適當ト認ム、依テ政府ハ次年度ヨリ之ヲ實行セムコトヲ望ム」是ハ希望決議デゴザイマス、以上申上ゲルトコロノ點ニ、願クハ御贊同下サレムコトヲ望ミマス

質疑應答ノ後紫安大藏省副參政官ハ決算委員會ノ決議ニ對シ反對ノ演說ヲ爲シ鈴木萬次郎君ハ右報告ニ對シ辯明ヲ爲ス即チ左ノ如シ

紫安大藏省副參政官ノ演說

唯今御報告ニナリマシタ決算委員會ニ於テ御決議ニナリマシタ決算報告ハ、前々年度ノ決算ニ係ルモ之ヲ短縮シテ前年度ノ決算ニ改ムルヲ適當ト認ムルト云フ、此ノ御決議ニ對シマシテ政府ノ意思ヲ言明致シマス、現行ノ會計制度ニ依リマスレバ、年度終結ノ後相當ノ整理期間ヲ置キ、決算整理ヲ爲スノ方法ヲ採ッテ居リマス、然ルニ決算報告ノ時期ヲ早メ、前年度ノ決算ヲ直ニ報告スルコトトセントスレバ、整理期間ナルモノハ全ク之ヲ廢止セザルヲ得ザルガ故ニ、是ガ結果ト致シマシテ未決算ニ屬スル金額ハ、非常ニ多額ニ上ルノデゴザイマス、是等ハ結局翌年度ニ至リ決算ヲ終了スルノ外ナキヲ以テ、決議ノ御趣旨ハ到底之ヲ達スルコト能ハズト認メルノデゴザイマス、又此整理期間ヲ廢止スルトセバ、年度ノ末日ニ納期ヲ定メタル租稅ハ、其年度ノ歲入トシテ收入スルコトガ出來ナイノデアリ

マス、依テ勢ヒ納期ヲ繰上ゲザルヲ得ザル不都合ヲ生ズルノデゴザイマス、加之決算整理期間ヲ廢止シテ決算整理ノ混雜ヲ來スガ如キハ、會計上ヨリ見マシテ到底忍ブコト能ハザルトコロデゴザイマス、此理由ニ依リマシテ、政府ハ右ノ御決議ニ同意スルコトハ出來ヌノデゴザイマス

鈴木萬次郎君ノ辯明

私ハ此問題ニ付テ眞相ヲ承知シテ居リマスカラ、極ク簡單ニ是カラ申シマス、多分委員會ニ於テ詳シク御承知ニナッタコトデアラウト存ジマスガ、元來此興業銀行ニ六百餘萬圓ノ金ヲ貸シタト云フコトハ、抑〻政府ガ——多分桂內閣時代デアッタト思ヒマス、同志會ノ前身デアッタ桂內閣ノ時代デアッタト存ジマス、其時代ニ波佐見金山ガ非常ニ金ガ豐富デアルト云フコトヲ再三調査致シマシテ、政府自ラ之ヲヤルコトガ出來ヌト云フガ爲ニ、興業銀行ガ致シタト云フコトニハナッテ居リマスガ、其實政府直接ニ之ヲ營ムコトガ出來ナイガ爲ニ、興業銀行ニ時ノ政府ガ命ジテ之ヲ採掘セシメタ、然ルニ段々掘ッテ行キマスルト金ガ無クナッテ來タ、非常ナ興業銀行ハ損害ヲ蒙リマスルガ爲メニ、其後政友會內閣ノ時代高橋是清大藏大臣ニ向ッテ、此救濟方ヲ求メタノデアリマス、之ヲ救濟スル爲ニ六百萬圓ヲ低利ヲ以テ出シタノデゴザイマスガ、其善惡ハ姑ク措キマシテ經過ハ左樣ナ譯ナノデアリマス、政府ガ命ジテ牢官牢民ノ銀行ニ仕事ニ從事セシメテ損害ヲ蒙ルト云ッテ之ヲ拋擲スルニ忍ビズト云フ所カラ、高橋君ガ心配ヲセラレテ出シタノデアリマス、サウ云フ事實デアリマスカラ、私ハ實際ヲ知テ居リマスカラ、御參考ノ爲ニ此事ヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス

質疑應答ノ後他ニ討論ナク院議委員長ノ報告ヲ是認スルニ決シタリ

第三項　承諾ヲ求ムル議案

一　大正三年度豫備金支出ノ件
　大正三年度特別會計豫備金支出ノ件
　大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件
　大正三年度帝國鐵道積立金支出ノ件

（議案ハ浩瀚ナルニ依リ省略ス）

大正五年一月二十二日本院ニ提出ス、同月二十七日之ヲ院議ニ付シ（一月二十五日延會）加藤大藏省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君、今回大正三年度一般會計及各特別會計ノ豫備費支出、此四件ニ對シマシテ事後承諾ヲ求ムルガ爲ニ、茲ニ議會ニ向ッテ議案ヲ提出致シマシタニ付テ、其大要ヲ一言致シマシテ諸君ノ御協贊ヲ仰ガント欲スルノデアリマス、大正三年度ノ一般會計ノ第一豫備金ハ百萬圓ノ中造船奬勵費、此造船奬勵費ニ五十八萬圓ト云フ巨額ノ支出ヲ致シマシタ、又海外公館ノ電信料其他ニ對シマシテ避クベカラザル費用ノ支出ガゴザイマシテ、此百萬圓ノ全部ヲ充當致シマシタ次第デアリマス、次ハ大正三年度ノ第二豫備金——一般會計ニ屬スル第二豫備金デアリマス、此二百萬圓デアリマス、是ハ其金額ガ二百萬圓デアリマシテハ、歐洲ノ戰亂勃發致シマシタガタメニ、帝國ノ海軍ニ於テ臨機ノ措置ヲ要スルガタメニ、其經費ノ支出ヲ百四十九萬圓程致シマシタ、又此臨時費トシテ支出シタ外ニ各省ニ於テ避クベカラザル費用ノ支出ヲ要スルモノガアリマシテ、此金額二百萬圓ヲ全部消費致シマシタ次第デアリマス、次ハ大正三年度

ニ於キマスル帝國鐵道ノ積立金、此積立ノ補塡豫算ト云フモノ、此補塡豫算ガ三百十萬九千三百圓デアリマス、之ニ對シマシテ大正三年度ニ於ケル前後二回ノ風水害ガアリマシテ、其水害ノ爲ニ線路、橋梁其他破壞サレタモノガアリマス、是ガ應急及復舊工事ノタメニ始ド百一萬圓ヲ支出致シマシタ、ソレカラ次ハ大正三年度ニ於ケル臨時事件ノ豫備費デアリマス、此豫備費ニ對シマシテハ其金額ハ二百萬圓デアリマス、時局ノタメニ各省避クベカラザルノ支出ヲ要スルモノガゴザイマシテ、此全部ヲ消費致シマシタ次第デアリマス、其外各特別會計等ニ於キマシテ必要已ムヲ得ザルノ支出ガ多々アリマス、旁〻此豫備費ノ支出ヲ致シマシタガ故ニ、此度之ニ對シテ諸君ノ協贊ヲ求メマスガタメニ、此案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ諸君ニ於カレマシテハ綿密ニ御審査下サリマシテ、是ハ緊急避クベカラザル費用デアリマスガ故ニ、速ニ御協贊ヲ希望致シマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名(十八名)ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二十八日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末二月二十二日本件ハ全部承諾ヲ與フヘキモノト議決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同月二十四日再ヒ之ヲ院議ニ付シ二十三日延會)委員長江間俊一君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員會ノ經過ヲ報告致シマス委員會ハ五回召集致シマシタガ一回ハ委員長理事ノ互選デ終リマシタアト三回ハ定足數ニ滿チナイノデ流會ニナリマシタ、四回目ガ一昨日ノ午後三時ニ十名ノ出席デ委員會ガ成立致シマシタ、本案ニ付キマシテハ何等ノ質問モナク議論モナク、全會一致ヲ以テ原案ヲ承認致スコトニ相成ッタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

院議異議ナク委員長報告ノ通全部ニ承諾ヲ與フヘキモノト決シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ同月二十七日全部ヲ承諾スルニ決シ其ノ旨ヲ奏上セリ

第四項　法律案

第一目　政府提出法律案

一　東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本增加ニ關スル法律案

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本ハ漸次增加シ各參百五拾萬圓トス

大正四年十二月六日本院ニ之ヲ提出ス同月八日本案ノ第一讀會ヲ開キ眞鍋陸軍省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今此議題トナリマシタトコロノ東京大阪兩砲兵工廠ノ据置運轉資本增加ノ件ニ關シマスルトコロノ法律案、卽チ今諸君ノ御手許ニ廻ッテ居ルトコロノ法律案デゴザイマス、之ニ付キマシテ此增加ヲ要シマスルトコロノ理由ノ概略ハ、御手許ニアルトコロノ議案ニ添附サレテアリマスル、大要ノ所ニ於キマシテハ斯クノ通リデアリマスガ、尙之ニ付キ少シク具體的ニ此理由ヲ申上ゲテ諸君ノ御贊成ヲ得タイト考ヘマス、抑〻此兩砲兵工廠ノ据置運轉資本ト申シマスルモノハ、明治三十年法律第三號ニ依リマシテ、從前ノ額ヲ增サレマシタトコロノ額ガ、東京砲兵工廠ガ二百萬圓、大阪ノ砲兵工廠ガ百五十萬圓ダケ增サレタノデアリマス、然ルニ其後御承知ノ通リ、軍備擴張其他種々ノ之ニ伴フトコロノ兵器ニ屬スル諸種ノ製造等ノ爲ニ、此合計三百五十萬圓ノ据置運轉資本デハ、到底此作業力ニ應ジ切レナイ有樣ニナッテ居ッタノデアリマス、ソレデ此增加ノコトハ是マデ既ニ屢〻此增加ノコトヲ請求致サネバナラヌ事情ニ差迫ッテ居リマシタガ、一般ノ財政ノ狀況等ニ鑑ミテ、陸軍ニ於キマシテハ成ルベク出來得ル限リノ方法ヲ以テ、今日マデハ此增加ノ要求ヲ致シマセヌ、デソンナラ其間ドウシテ之ヲ以テ行ッテ往ッタカト申シマスルト云フト、前受ノ方法ニ依リマシテ、今日マデハドウカ斯ウカ支ヘテ行ッタ譯デアリマス、然ルニ此前受ノ方法ニ於キマシテモ、經常部ノ方ニ於キマシテ、前受ヲ以テ之ヲヤルト云フコトハ、實際出來得ナイコトデアリマシテ、其方法ハアリマシテモ、是ハ實際ニ出

來マセヌ、然ルニ幸ニモ——幸ヒデゴザイマシタカドウデゴザイマシタカ分リマセヌガ、此運轉費本ノ方ニ付テハ幸ヒデアリマシタ、丁度其間臨時軍事費ノ年割額ト云フモノヲ以テ、總テノ此支辨ノタメニヤッテ居リマシタ、卽チ臨時軍事費ト云フモノガアリマシタノデ、此年割額ヲ以テ前受ヲ致シマシテサウシテ是デ以テ今日マデ支ヘ來ッテ居ル次第デアリマス、ソレデ今本年度位ハ此今ノ臨時軍事費ノ前借デ參ラレマスガ、此臨時軍事費ノ年割額モ追々減少シマスシ、又之ニ削減モサレマシタノデ、此前借ヲ——前受ヲ致シマストコロノ金モ段々無クナリマシタ、ソレデドウシテモ今後ハ据置運轉資本ヲ增加致サセナケレバ、作業ガ出來ヌト云フコトニナリマス、ソレデ此度ノ要求ハ東京砲兵工廠竝ニ大阪砲兵工廠共ニ同額ニスルヤウニ要求ヲ致シタノデアリマセウカト考ヘマスル、デ其大要ヲチヨット申述ベマシテ、尙詳細ナル事ニ付キマシテハ、是ハ申スマデモナク、御承知ノ通リ東京砲兵工廠ニ於キマシテモ、從前ノ運轉資本デハ、平常ニアリマシテモ參リマセヌ、是ハ所謂軍隊ヲ擴張シマシタ結果、既ニ兵器ノ製造力ヲ增サネバナラヌト云フコトガアリマス、又一方大阪砲兵工廠ノ方ニ於キマシテハ、從來ハ造リマストコロノ大砲ガ小サイ大砲デアリマシテ、近頃ハ是ガ大キナ大砲ヲ造ラナケレバナラヌコトニナリマシタ、卽チ此兵器ノ製式ガ段々進歩改良シテ來ルニ從ッテ、サウ云フ風ニナリマシタ、ソレガ爲ニ大阪砲兵工廠モ以前ノ百五十萬圓ノ運轉資本デハ到底イケナイノデ、デソレガ爲ニツマリ增シマスルトコロノ大要ヲ具體的ニチヨット申シマシタ、ソレデ今此運轉資金ヲ增シマスニ付キマシテ、之ヲ國庫カラ更ニ別途ナモノヲ以テ仰ギマスカト云フト、サウデハアリマセヌ、ヤハリ國庫カラ更ニ出シテ貰ヒマセヌデヤナリマセヌガ、是ハヤハリ、此兩砲兵工廠デ製作ヲ致シマシタ其利益金ヲ、卽チ政府ノ國庫ニ入レマシテ、サウシテ更ニ其金ヲ今度出シテ貰フト云フ理窟ニナルノデアリマス、之ヲチヨット概略ヲ言ヒマスレバ、大正元年ヨリ大正三年度マデニ、二百六十萬圓ト云フモノヲ兩砲兵工廠カラ國庫ニ納メテ居リマス、ソレカラ此四年度ニ於キマシテ、是ハ大藏當局者ト、條件附デ運轉資本ヲ增ス爲ニ、條件附トシテ丁度此今ノ前ノ二百六十萬圓ノ外ニ二百萬圓バカリハ、是カラ四十年度ニ於テ漸々國庫ニ納

入ヲシテ行クコトニナッテ居リマシタ、ソレデアリマスカラ、此增シマスルトコロノ金ハ、別ニ國庫カラ殊更ニ外ノモノカラ仰グモノデハアリマセヌ、ヤハリ兩砲兵工廠ノ利益金ヲ國庫ヘ納メマシテ、ソレヲ今度更ニ國庫カラ出シテ貰ヒマストニ云フ次第ニナリマスノデアリマスデ尙此以上ノ細部ニ亙ル御質問ガアリマスレバ、是ハ委員會ニ於テドウカ十分ニ御質問ヲ願ヒマス、右ノ次第デアリマスデ本案ニ速ニ御贊成アッテ可決アラムコトヲ希望致シマス

質疑應答ノ後委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌九日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十三日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長高橋久次郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

ソレデハ私カラ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ御承知ノ如ク文章ハ誠ニ簡單デアリマシタケレドモ、其及ブトコロ頗ル重大ナモノデアリマシテ、質問應答モ非常ニ重ネマシテ、尙愼重審議ヲ凝シマシタ結果、反對ガ一ニ對シテ贊成ガ五アリマシタ、其理由ハデス、今日國家內外ノ事情ニ照シマシテハ誠ニ已ムヲ得ヌ、併ナガラ陸軍省ニ於テ成ベク此軍器卽チ砲兵工廠デ拵ヘマストコロノ器具ヲデス、民間ノ工業ニ移シテ差支ナイ限リハ成ベク民間ノ工業發達ヲ期スル上ニ於テ移シテ貰ヒタイト云フ意見ヲ附シテ贊成ヲスルト云フコトデアリマス、此段御報告ヲ申シマス

而シテ池田寅治郎君ハ左ノ如ク本案ニ反對ノ演說ヲ爲ス

小石川及大阪砲兵工廠ノ運轉資金ヲ三百五十萬圓ヲ增シテ、七百萬圓トスルト云フ此議案ニ對シマシテ唯今委員長ノ報告ハ頗ル簡單デアリマシタガ、私ハ之ニ對シテ反對ノ意見ヲ委員會ニ於キマシテモ縷々申述ベテ置キマシタ、元來此案ニ反對スル理由ハ幾ラモアリマスガ、先ヅ其中デ最モ必要ナル三箇バカリノ理由ヲ陳述シテ置キタイト思ヒマス、第一ニ此陸軍ニ要スルトコロノ軍器軍需品ハ、絕對的ニ陸軍ヲシテ獨占的製造ヲ爲サシメル必要ハナイト云フ此理由ノ一トシテ之ニ反對ヲス

ル御承知ノ通リ日本ノ國防ハ海陸兩軍ニ依ッテ完全ニ遂行セラレルノデアル、然ルニ此海軍ニ要スルトコロノ軍器軍需品ガ如何ニシテ供給セラレテ居ルカト云フコトヲ御考ヘニナルナラバ、寔ニ明白ナル話デアル何ガ故ニ此陸軍ダケ之ヲ陸軍ノ獨占的直營ニシナケレバナラヌカト云フ理由ヲ私ハ發見スルコトガ出來ナイ、陸軍當局者ハ從來屢〻軍器ノ祕密ヲ唯一ノ楯ト致シテ、此陸軍ノ獨占的直營ヲ主張シテ來マシタガ、今日ニ至ッテハ其主張モ昨日ノ委員會ニ於キマシテ陸軍大臣ノ說明ニ依リマシテモ、既ニ拋棄セラレテ居ルヤウニ思フ、成ルベク之ヲ公開シタイ、御尤モナ話デアル、祕密ト言ヘバ知ラヌ人ニ向ッテハ何カドウモ大シタ祕密ガアルヤウニ思フケレドモ、左程大シタ祕密ガ此陸軍ノ軍器軍需品ヲ製造スル上ニ於テアルベキ筈ガナイ、例セバ三十八年式ト云ヒ若クハ四十一年式ト云ヒ、知ラヌ門外漢ニ向ッテハ是ハ大イナル祕密ガ存在サルヽカノ如ク見エルケレドモガ、少シク專門ノ知識ヲ有シ、而モ其軍器ヲ取扱フトコロノ當局ノ位地ニ居ル者ハ、日本ダケデナイ、列國ノ當局者ハ皆知ッテ居ルニ違ヒナイ、之ニ反シテ日本ノ當局者モ亦列國ノ此軍器ノドノ程度マデ行ハレテ居ルカト云フ位ナコトハ、確ニ知ッテ居ラナケレバナラヌ筈デアル、若シ之ヲ知ラズ、唯祕密ノ二字ノ下ニ葬ラレテ、餘所ノ方ノコトヲ研究セヌト云フコトデハ國防ヲ遂行スル上ニ頗ル不親切ナコトヽ言ナケレバナラヌ、斯ノ如キ有樣デアリマスカラシテ、陸軍當局ニ於テモ公開主義ヲ執ルノデアル、果シテ然ラバ此際ニ是ガ而モ砲兵工廠ノ土地建物機械器具其他材料諸器購入ノ爲ニ多額ノ資金モ要求セラレテ居ルヤウナ斯ウ云フ際ニ臨ンデ、是ハ過渡ノ時デ一番工業政策ヲ將來ニ確立スル時トシテハ殆ド千載一遇デアル、此一遇ニ際シテ、政府ハ主義ニ於テモ陸軍ノ軍器軍需品ハ之ヲ公開スル主義ヲ執ッテ居ラレルト云コトノ御說明ガアッタ是ハ陸軍大臣ノ御說明ヲ待タズシテ確ニ一部ノ眞理ヲ含ンデ居ルト云フコトハ、私共モ從來承知シテ居ルトコロデアル、果シテ然ラバ此際ニ臨ンデ此軍器製造ヲ政府ガ——陸軍當局者ガ之ヲ直營シテ、單ニ軍器軍需品ダケ製造シテ居レバ經濟上確カニ資本ニ對スル收支勘定ニ於テ損ガイカナイト云フコトハ、是ハ決シテ許サヌ筈デアル、經濟上ノ大法ハ是ハ單リ歐羅巴ダケデハナイ、日本ニ於テモ正シク此實ハ行ハレルノデアル、果シテ然ラバ此際ニ是ガ而モ砲兵工廠ノ據置運轉資本ヲ增加シ、且一方ニ於テハ砲兵工廠ノ土地建物機械器具其他材料諸器購入ノ爲ニ多額ノ資金モ要求セラレテ居ルヤウナ斯ウ云フ際ニ臨ンデ、是ハ過渡ノ時デ一番工業政策ヲ將來ニ確立スル時トシテハ殆ド千載一遇デアル、此一遇ニ際シテ、政府ハ主義ニ於テモ陸軍ノ軍器軍需品ハ之ヲ公開スル主義ヲ執ッテ居ラレル、而シテ單純ナル工業政策ノ意味カラ言フテモ、斯ウ云フ千載一遇ニ際會シテ居ル時ニ臨ンデ、殊ニ從來カラ同ジ國防ノ任ニ當ルトコロノ海軍ノ方ニ於テハ單ニ之ヲ民間ニ製造サセルノミナラズ、外國ニマデ注文シテ居ルヤウナ時ニ、陸軍ニハ祕密ガアッテモ海軍ニハ祕密ガナイト云フ議論デナイ、唯其時々ノ都合デイロ〳〵ノ理窟ヲ付ケテ今日ノ歷史ヲ來シ、サウシテ其歷史ニ囚ハレテ種々ノ辯解ヲ試ミラレテ、今日ノ狀態ヲ來シテ居ル、幸ニ今日ハ各般ノ方面ニ於テ、殊ニ此工業政策ヲ將來ノ爲ニ確立スル時トシテハ一番好イ時デアルカラ、而モ陸軍當局ニ於テ據置運轉資本ノ增加ヲ要求セラレテ居ル際デアルカラ、之ヲ一面ニ擴張費ヲ要求セラレテ能ク料理鹽梅シテ日本國將來ノ爲ニ工業政策ヲ確立スル必要上、私ハ此據置運轉資本ヲ增加スル必要ヲ認メナイ、政府ノ眞意ガ果シテ此ニアルナラバ、何モ此際ニ當ッテ增ス必要ハナイ、是ハ第二ノ理由デス、第二ニハ豫算ノ編成ノ上カラ言ウテモ斯ウ云フコトヲスルノ必要ガナイ、是ガ理由トシテハ餘リ重大ナモノデナイカモ知ラヌ、御承知ノ通リニ當春特別議會ノ時ニ於テハ豫備金ヲ三百萬圓ヨリ八百萬圓ニ增スト云フ法律案ガ通過シテ居リナガラ、政府ノ今回議會ニ提出セラレタル豫算面ニ於テハ、ヤハリ舊ノ通リ三百萬圓ニナッテ居ルガ如ク、此財政上ノ遣繰リハ頗ル窮窟ナコトニナッテ居ルノデアル、此窮窟ナル豫算ヲ編成シ、而シテ之ヲ遂行セントシナガラ、一面重大ナル理由ガアッテ之

ヲ民間ニ移シテ相當ニヤラセ得ルト云フコトノ理由ガ存在シテ居ル以上ハ、イツモ軍事當局者ノ方ハ海陸共ニ理想ハ高遠ナル理想ヲ有ッテ居ルケレドモ、財政ガ許サヌカラト云フノガ始終ノ辯解ノ辭デアル、此辯解ノ辭ガ程度マデ應用セラレテ居ルケレドモ、民營ニサスコトハシナカッタ時分ニ之ニ向ッテ主義ヲ認メラレテ居ル以上ハ、此際奮ッテ折角ニ確立シタル陸軍當局者ノ方針ヲ實行セラレルノハ、又財政ノ上カラ言フテモ確ニ私ハ是ハ必要ナコトデアルト心得ル、斯ノ如ク考ヘテ來マスレバ、此三箇ノ理由ノ一ツガアッテモ、既ニ此案ニ反對スベキ理由ヲナスト思フ、況ヤ三箇共ニ併立シテ居ルニ於テハ、斷シテ此案ニ贊成スベカラズト云フ意見ヲ有ッテ居ル而シテ唯今委員長ノ報告セラレマシタル通リニ、多數ノ人ハヤハリ大體ノ意見ニ於キマシテハ、本員ト同ジコトノ意見ヲ懷抱セラレマシテ、政府ヨシテ成ルベク民營主義ヲ執ラセルト云フ方ガ多數デアル、是ハ法律案トシテ甚ダ不徹底ナ條件付ノ贊成ダラウト思フ、若シ此條件ヲ付ケテ置イテ、據置運轉資本ノ增加ダケハ時々之ヲ增加シテ行クケレドモ、民營ニサスコトハシナカッタ時分ニ之ニ向ッテ如何ナル制裁ヲ加ヘル、何等ノ効力ナイ條件デアル、スルカセヌカハ當局者ノ意中ニ在ッテ存シテ居ル更ニ効力ノナイ、唯一時體裁ヲ繕フト云フヤウナ不徹底ノ條件付ノ案デアル、大體ノ主義ニ於テハ全體ハ民營主義ヲ執ッテ居ラレル、果シテ然ラバ委員會ハ全會一致ヲ以テ此民營主義ヲ贊成スルト云ッテモ差支ナイ、唯與黨ノ諸君ガ多イ爲ニ、斯ウ云フ條件附ヲ以テ政府ノ意思ヲ逐行サレヤウナルダケデアル、此國防ノ上カラ云ウテモ、又財政上ノ都合カラ云ウテモ、此案ノ上カラ云ウテモ經濟、工業政策ノ上カラ云ッテモ通過サスノ不可ナルコトハ他ノ委員諸君ニ於テモ十分御承知デアッタラウ、私ハ然ルニ拘ラズ他ノ委員諸君ガ不徹底ナル條件附ノ此案ヲ通過セラレタト云フコトハ頗ル遺憾ニ思ヒマスルカラ、此際私共ノ意思ノアル所ヲ玆ニ陳述致シマシテ、以上述ベタル三箇ノ理由ニ付テ篤ト御熟考ノ上、ドウカ本員ノ所見ニ御贊成アランコトヲ希望スル次第デアリマス

他ニ討論ナク院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第二讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通之ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月九日可決奏上シ三月十一日法律第二十三號ヲ以テ公布セラル

二　大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案

地租條例第十二條第一項ノ規定ニ依ル田租第一期分ハ大正四年分ニ限リ大正五年六月十五日迄之ヲ延納スルコトヲ得

前項延納ニ係ル收入ハ之ヲ大正四年度所屬トス

四年十二月八日本院ニ之ヲ提出ス翌九日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ武富大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

大正四年田租第一期分ノ延納ニ關スル法律案ハ、私ガ說明ヲ申上ゲルマデモナク、諸君ガ既ニ御諒察ニナッテ居ラウト思ヒマス、此米價下落ニ際シテ農家ノ困難ヲ救フノ一法トシテ提出ヲ致シマシタノデアリマス、速ニ委員ニ付託セラレテ、速ニ本會ノ御協贊ヲ願ヒタイト存ジマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名（十八名）ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌十日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌十一日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長金尾稜嚴君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シマス、委員會ハ昨日中午前ニ開會致シマシテ、先ヅ委員長理事ノ互選ヲ致シマシテ、政府ヨリノ要求モアリマシタ、デ引續イテ會議ヲ開キマシタ、本案ニ對スル政府ノ說明ニ依リマスルト、大正四年度分田租第一期ノ納稅總額一千百十八萬圓ヲ大正五年六月十五日マデ延納ヲセシムルコトヲ得ルト云フノガ本案ノ趣意デアリマスル、其理由ハ御承知ノ如ク年末ニ際シテ地租ヲ納メルト云フコトハ、農家ノ最モ困難トスルトコロデアリマシテ、殊ニ此場合強テ之ヲ納メシムルト云フコトニナリマスルト、米價ノ調節ノ爲ニ多少ノ影響ヲ被リマシテ、其目的ヲ空ウスルト

云フコトガアリマスル、尤モ延納スルコトヲ得ルト云フノデアリマスルカラ、納税者ガ進デ一月十五日ニ矢張納期通ニ納メルト云フコトハ妨ナイ譯デアリマス、而シテ六月十五日ト極メマシタ譯ハ、國庫ノ收支決算ノ打切ガ六月ノ二十日デアリマスカラ、多少ノ猶豫ヲ見込ンデ六月十五日ト定メタト云フコトデアリマス、之ニ就テ色々ノ質疑ガアリマシタ、年末ニ際シテ地租ヲ納メルト云フコトハ、本年ノミデハナイ、常ニ納税者ノ困難ヲスル所デアカラ、永久ニ將來納租ノ期日ヲ改正ヲシテ貰ヒタイ、之ニ付テ政府ノ意見ハドウカト云ウ樣ナコトガ、最モ主ナル御質疑デアリマシタ、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、本案ハ臨機ノ處置デアル、然ルニ永久ニ納租ノ根本ヨリ納租期日ヲ變更スルト云フコトハ、今日ノ場合、財政上餘程ノ困難デアル、然ルニ永久ニ納云フ答辯デアリマシタ、而シテ高杉委員ヨリ修正ノ動議ガ出マシタ、是ハ第一期分ヲ四月三十一日トシ、第二期分ヲ六月十五日マデトシテ貰ヒタイ、大正四年度分ニ限ッテデアリマス、斯樣ナ意見ガ出マシタガ、政府ハ之ニ同意スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタ、採決ノ結果少數デ否決セラレマシタ、次ニ原案ニ付テ採決ヲ致シマシタ、其際井原委員ヨリ一ノ附帶動議ガ出マシタ、此動議ハ此度ハ急速ノ場合デアルカラ原案ノ儘ヲ贊成ヲスルガ、將來――近キ將來ニ於テ政府ハ納期ノ根本的ノ改正案ヲ出サレルコトヲ希望條件トシテ、原案ノ儘可決シタイト、斯ウ云フ意見デアリマシタ、滿場――多少ノ反對ノ御意見ノアリマシタ後、多數ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ニ及ビマス

質疑、應答ノ後院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ前川虎造君ハ委員長ノ報告ニ贊成ノ演說ヲ爲ス卽チ左ノ如シ

私ハ委員長ノ報告ニ贊成ヲスルノデアリマスガ、今ノ議長カラ報告ニナッタコトハ、チョット間違ッタノデアリマスカラ、私カラ取消ヲ致シマスソレデ私ハ此案ニ贊成スルニ付テ少シク政府ニ注文ガアルノデアリマス、三十五議會ニ於テ我ガ議會ガ政府ニ注文ヲシテ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フ注文デアルカト云フト、一體此十二月ニイロイロナ稅金ヲ取立テルト云フコトハ、大變納稅者ノ苦痛デアルガ故ニ、剩餘金ノ幸ヒ有ル時期ニ於テ此納期ヲドウカ繰下ゲテ貰ヒタイト云フ案ヲ出シテ居ルノデアリマス、單リ地租ノミデハアリマセヌ、酒稅ニ對シテモサウデアリマス、然ルニ此剩餘金ノ有ッテ、十分此計畫ノ行ハレル時期ニ於テ、政府ハ之ヲ閑却シタノデアリマス　而シテ今度出シテ來タトコロノ案ハ吾々ノ目的ノ一部ヲ達スル案デアリマスカラ、吾々ハ反對ハ致シマセヌ、併ナガラ其理由ニ至ッテハ實ニ怪シカラヌト思フノデアリマス、米價調節、今武富大藏大臣ノ說明ニ依レバ納期ヲ唯一期――本年ノ第一期ダケ十二月ニアラウ、又農業ノ苦痛ヲ救フコトガ出來ルデアルガ出來ルデハアリマセヌ、サウシテ米價調節上此案ヲ出シタト云フカ、每年々々十二月ハ來ルノデ本年バカリデハアリマセヌ、米價ハ此案ヲ出シタガ爲メニ騰貴シタノデアリマセヌ、農商務省デコトハドウ云フコトデアルカ、米價ハ此案ヲ出シタガ爲メニ騰貴シタノデアリマセヌ、農商務省デ委員會ニ於テ此案ヲ研究シテ居ル當時ハ、十二圓內外デアッタ、今日ニ至ッテハ既ニ十四圓以上ノ價格ヲ持ッテ居ルデハナイカ、スレバ是ハ米ノ需要供給ノ關係カラ自然ニ調節セラルベキモノデアッテ、或時ハ價格ガ下リ、或時ハ米ノ價格ガ上ルト云フコトハ農民ノ苦痛バカリデハアリマセヌ、一般工業家モ米價ノ亂調子ニナルコトハ困ルデアリマセウ、ケレドモ是ハ人力ヲ以テ如何トモスルコト出來ヌモノデアッテ、單リ日本バカリデハナイ、世界ノ何レノ國ニ於テモ此問題ニ付テ幾多ノ苦心ヲ重ネテ居ルケレドモ、適當ノ調節法ヲ發見シタ國ハナイ、然ルニ我政府ハ何タル態デアル、斯樣ナコトヲ以テ調節ノ一節トシテ議會ノ協贊ヲ求メルナドヽ云フコトハ、實ニ杜撰極マルノデアル、吾々ハ此案ニ反對ヲセヌト云フコトハ、吾々納期延期ノ一部ノ目的ヲ達スルノデアルカラ贊成スルノデアルガ、本年限リ此米價ヲ上ゲル爲ニ納期ヲ繰下ゲルト云フト云フノ理由ニ於テハ、絕對ニ反對シナケレバナラヌ、ソレハ何故デアルカト云フト、米價調節ノ委員會ハ、一人デアッタ其時分ニ委員會ガ研究シテ、結論ハ何處ヘ持ッテ來ルカ、結論ハ調節ト云フ譯デハナイ、根本ニ米價ガ下落シテモ農業經濟ガ立行ク樣ナ案ヲ、當然立テラルヽト云フノデアル、租稅ヲ減ジサヘスレバ、米價ガ多少安クナッテモ農業經濟ハ立行クノデアル幾多ノ租稅ヲ以テ綾リ立テルカラ、米ガ十四五圓シナケレバ農業經濟ガ立タヌト云フ結論ニナルノデアルカラ、租稅ヲ安クスレバ米ヲ安ク賣ッテモ農業經濟ハ立ツノデアリマス、結論ハ減租ト云フモノニ當然歸著スベキモノト信ズル、又此席ニ居ラル、議員ハ、昨年各縣カラ出サレタトコロノ減租ノ請願書ハ御承知ノ位アッカ、御記憶ニナテ居ルデアラウ、又請願委員ノ諸君ハ滿場一致ヲ之ニ贊成サレタコトハ

デアラウ、又本會ニ於テモ一人ノ異議者ナク之ヲ採擇シタコトヲ御承知デアラウ、斯ク租稅ハ減ズベキモノト云フ前提ヲ持タレテ居ルト云フコトハ、此米價調節ノ爲ニ僅ニ一期分ダケ來年ノ六月十五日マデ納期ヲ下ゲテヤレバ「農業家ノ苦痛ヲ救ハレルト云フガ如キコトハ杜撰極ルト思ヒマス、殊ニ大藏大臣ヨリ其御言葉ヲ承ルニ至ッテハ驚クヨリ外ハナイノデアル、唯吾々ノ目的ノ一段階ヲ是デ達スルコトガ出來ルカラ本年ハ是デ宜イガ、先程委員長ガ述ベラレタ如ク、ドウカ此希望ヲ容レラレテ、適當ノ時機ニ於テ、此納租ト云フモノヲ十二月ニ納メサセナクテモ宜イト云フ永遠ノ法律ヲ以テ、ドウカ適當ノ時機マデ繰下ゲテ行クト云フ「根本的ニ農民ノ苦痛ヲ芟除スルト云フ改正案ヲ、近キ將來ニ於テ御提出アランコトヲ望ムノデアリマス、故ニ私ハ此意味ニ於テ本案ヲ贊成シマス

院議第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ十二月十七日可決奏上シ同月二十二日法律第二十八號ヲ以テ公布セラル

三　國庫出納金端數計算法案

國庫出納金端數計算法

第一條　國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス

第二條　國稅ノ課稅標準額ノ算定ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

命令ヲ以テ指定スル國稅ノ課稅標準額ニシテ一圓未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第三條　分割シテ收入シ又ハ仕拂フ金額ニ在リテハ其ノ總額ニ付第一條ノ規定ヲ準用ス

第四條　分割シテ收入又ハ仕拂ヲ爲ス場合ニ於テ分割金額一錢未滿ナルトキ又ハ之ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ分割金額又ハ端數ハ最初ノ收入金又ハ仕拂金ニ之ヲ合算ス但シ地租ノ分納額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條　賣藥印紙稅及郵便切手ヲ以テ納ムル郵便料金ニ付テハ本法ヲ適用セス

法律ニ別段ノ定アルモノノ外本法ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　本法ハ北海道府縣郡市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ收入及仕拂ニ關シテ之ヲ準用ス

附則

第七條　本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　明治四十年法律第三十一號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前納入ノ告知ヲ爲シ又ハ仕拂ノ命令ヲ發シタルモノニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

四年十二月八日本院ニ之ヲ提出ス同月十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ武富大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

國庫金出納上厘位ノ端數ハ、大抵現行法ニ於テモ切捨ルコトニナッテ居リマスルガ、地租並ニ一錢未滿ノ國庫收入金並ニ支拂金ハ今尙厘位ヲ存シテアリマス、併ナガラ是ハ經濟ノ進歩ニ伴ヒマシテ、厘位ヲ切捨ルコトニ致シタ方ガ、事務ノ簡捷ヲ圖ルノ一端ト考ヘラレマスノデ、此厘位切捨ノ案ヲ提出シタノデアリマス、其改正ノ主タル目的ハ、卽チ官民相互ノ簡便ヲ圖ルニアルノデアリマシテ、其他ニ改正ノ必要ナル點モゴザイマスカラ、明治四十年法律第三十一號ニ代ルベキ國庫出納金端數計算法ヲ提出シタノデアリマス、御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月十三日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ

審査ノ末十二月二十一日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ
同月二十三日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長岡崎運兵衞君ハ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、委員會ニ於キマシテハ本案ニハ國庫出納金端數計算法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、委員會ニ於キマシテハ本案ニハ一ノ議論モナクシテ可決ヲ致シマシテゴザイマス、一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ申シマス、院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ即日貴族院ニ送付ス同院ハ五年一月二十一日可決奏上シ同月二十九日法律第二號ヲ以テ公布セラル

四　裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案

第一條　長崎控訴院ハ之ヲ福岡縣福岡市ニ移シ福岡控訴院ト改稱ス
第二條　北海道旭川區ニ地方裁判所ヲ置キ之ヲ旭川地方裁判所ト稱ス
第三條　根室地方裁判所ハ之ヲ北海道釧路郡釧路町ニ移シ釧路地方裁判所ト改稱ス

附　則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

五　大正二年法律第九號中改正法律案

大正二年法律第九號中左ノ通改正ス
別表裁判所管轄區域表中大津區裁判所及長濱區裁判所ノ項ヲ左ノ如ク改ム

大津	滋賀縣ノ內 大津市　滋賀郡　栗太郡　野洲郡　甲賀郡　高島郡
長濱	滋賀縣ノ內 阪田郡　東淺井郡　伊香郡

同表中控訴院ノ欄中「長崎」ヲ「福岡」ニ改ム
同表中札幌地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

札幌	北海道ノ內 札幌區　札幌郡　千歲郡　石狩郡　厚田郡　濱益郡 夕張郡 空知郡ノ內 岩見澤町　沼貝村　栗澤村　三笠山村　幌向村　北村 樺戶郡ノ內 月形村　浦臼村
	北海道ノ內 室蘭郡　有珠郡　幌別郡　白老郡

札幌		
室蘭	虻田郡ノ內	虻田村　辨邊村
	勇拂郡ノ內	苫小牧村　安平村　厚眞村　鵡川村　似灣村　累標村　穗別村　邊富內村
浦河	北海道ノ內	
	浦河郡	様似郡　幌泉郡　三石郡　靜內郡　新冠郡
	沙流郡	
小樽	北海道ノ內	
	小樽區	小樽郡　高島郡　忍路郡　余市郡　古平郡
	美國郡	積丹郡
岩內	北海道ノ內	
	岩內郡	古宇郡　磯谷郡　歌棄郡　壽都郡　島牧郡
	虻田郡ノ內	
	俱知安村	東俱知安村　眞狩村　狩太村

旭川		
旭川	北海道ノ內	
	旭川區	上川郡(石狩國)　雨龍郡　上川郡(天鹽國)　中川郡(天鹽國)
	空知郡ノ內	
	瀧川町	砂川村　歌志內村　蘆別村　江部乙村　音江村
	上富良野村	下富良野村　山部村　南富良野村
	樺戸郡ノ內	
	新十津川村	
	勇拂郡ノ內	
	占冠村	
增毛	北海道ノ內	
	增毛郡	留萌郡　苫前郡　天鹽郡
稚內	北海道ノ內	
	宗谷郡	枝幸郡　利尻縣　禮文郡

同表中地方裁判所ノ欄中「根室」ヲ「釧路」ニ改ム

同表中樺太地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

樺太	豐原	樺太ノ內 豐原郡 榮濱郡 元泊郡 大泊郡 長濱郡 富內郡 留多加郡 新問郡 敷香郡 散香郡
	眞岡	樺太ノ內 眞岡郡 本斗郡 野田寒郡 泊居郡 久春內郡 鵜城郡 名好郡

附　則

本法施行ノ期日ハ各項ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前札幌地方裁判所、長濱區裁判所又ハ豐原區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ各其ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス

六　明治三十二年法律第七十號中改正法律案

明治三十二年法律第七十號中左ノ通改正ス

第九條中「長崎地方裁判所」ヲ「福岡地方裁判所」ニ改ム

第十條中「長崎控訴院檢事」ヲ「福岡控訴院檢事」ニ、「長崎地方裁判所檢事」ヲ「福岡地方裁判所檢事」ニ改ム

第十二條中「長崎控訴院」ヲ「福岡控訴院」ニ、「長崎地方裁判所」ヲ「福岡地方裁判所」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

右三案ハ四年十二月八日本院ニ之ヲ提出ス同月十一日三案ヲ一括シテ其ノ第一讀會ヲ開キ尾崎司法大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此三ツノ議案ハ關聯シテ居リマスル箇條ガ多キ爲メニ、一括シテ說明ヲ致シマス、第一ハ長崎控訴院ヲ福岡ニ移スト云フノガ一ツ、北海道旭川ニ地方裁判所ヲ新ニ置ク、而シテ殘リノ管轄ヲシテ居ル根室地方裁判所ヲ釧路ニ移ス、此三ツガ第一案ノ趣意デアリマスルガ、詳シク說明スルマデモナク、長崎控訴院ガ管轄シテ居ルトコロノ各地方裁判所ト、其控訴院所在地タル長崎トハ如何ニモ不便デアル、殊ニ長崎ガ一隅ニ偏シテ居ッテ、甚タ控訴院ノ所在地トシテハ不便デアルト云フ聲ハ、多年聞イタトコロデアリマスガ、爾後福岡ハ各種ノ方面ニ於テ非常ニ發達ヲ致シ、コチラニ移シタ方ガ宜シイト云フ目的デ、丁度控訴院ハ改築ノ時期ニ達シテ居リマスル爲ニ、此機會ニ於テ此所在地ヲ變更シヤウト云フ趣意ニ外ナリマセヌ、又旭川ハ御承知ノ如ク近來非常ナ發達ヲ爲シテ、新ニ地方裁判所ヲ置クノ必要ヲ感ジマシタ、既ニ根室ノ管轄區域カラ其一部分ヲ割イテ、旭川ト云フモノヲ新設致シマスル以上ハ、殘リノ地方ヲ管轄スルノニハ、根室ト云フ所ハ一方ニ偏スルノ嫌ヒガアリマスル、故ニ之ヲ釧路ニ移サウト云フニ外ナリマセヌ、願クハ其趣意デ御協贊アラムコトヲ希望致シマス、第二ノ大正二年法律第九號ノ改正案モ、極メテ明白ナル事實ニ基イタ改正案デアリマシテ、長濱ノ區裁判所ノ管轄區域ニ高島郡ガ入ッテ居ルト云フコトハ、非常ニ不便デアルト云フ苦情ヲ久シク聞イテ居リマシタカラ、其民意ニスルト云フノガ第一ノ改正、第二ガ前案ノ續キトシテ長崎控訴院ヲ福岡ニ移ス以上ハ、長崎ト云フアルトコロニ依ッテ此管轄區域ヲ變更シテ、高島郡ヲバ大津ニ移シ、殘リノ三郡ヲ以テ長濱ノ管轄區域

文字ヲ福岡ト改メルト云フニ過ギマセヌ、又札幌地方裁判所ノ一部ヲ改メルニ依ッテ旭川區ヲ新設シ、殘リヲ釧路ニ移シタト云フ前案ノ自然ノ結果デアリマス、又樺太ノ地方裁判所ノ一部ニ改正ヲ加ヘマシタノハ、從來樺太ハ行政區域ニ郡ノ名稱ガナク、唯山河ノ有樣ニ依ッテ何所ヨリ以東ハ何處、以西ハ何處ト云フヤウニ管轄ガ定メテアッタノヲ、今般郡ノ名稱ガ出來マシタ、故ニ此ノ地圖ニ依テ、此區域ヲ改メテ、新タニ命ゼラルル郡名ニ依ッテ此裁判所ノ區域ヲ玆ニ揭示シタト云フニ過ギナイ、別ニ意味ノナイコトデアリマス、第三番目ノ三十二年法律第七十號中改正案ハ、是ハ長崎控訴院ニ來ルベキ海外ニアル領事廳トノ關係デ、之ヲ福岡ニ移シタ以上ハヤハリ長崎控訴院ノ檢事若クハ地方裁判所ノ檢事ガ扱ッテ居タコトヲ、福岡ノ控訴院檢事或ハ地方裁判所檢事ニ扱ハセルト云フダケノ關係デアッテ、是亦前場所移轉ニ依テ自然起ルトコロノ結果ニ外ナラヌ、故ニ三案トモ速カニ御協贊アラムコトヲ希望致シマス

次テ三案委員ノ選擧ハ議長指名（十八名ノ同一委員）ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ十二月十三日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十三日（四）及（五）ノ兩案ニ修正ヲ加ヘ（六）案ハ之ヲ否決シ報告書ヲ議長ニ提出シ委員奧村七郎君外六名ハ三案ニ對スル少數者意見書（可決）ヲ提出セリ

（小字及――ハ委員會修正）

（委員會報告書）（四）

第一條　長崎控訴院ハ之ヲ福岡縣福岡市ニ移シ福岡控訴院ト改稱ス

第二條　北海道旭川區ニ地方裁判所ヲ置キ之ヲ旭川地方裁判所ト稱ス

第三條　根室地方裁判所ハ之ハ北海道釧路郡釧路町ニ移シ釧路地方裁判所ト改稱ス

附則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（委員會報告書）（五）

大正二年法律第九號中改正法律案中左ノ通修正ス

「同表中控訴院ノ欄中「長崎」ヲ「福岡」ニ改ム」ヲ削ル

同日議事日程ヲ變更シ三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長鹿島秀麿君ハ委員會ノ經過及結果ニ付報告ヲ爲シ委員望月長夫君ハ少數者意見ノ報告ヲ爲ス左ノ如シ

鹿島秀麿君ノ報告

裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案外二件、之ニ對シマスル特別委員會ノ經過結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ノ中問題ニナッテ居リマスモノハ長崎控訴院ヲ福岡ニ移サウト云フ、此件ガ最モ討論ヲ盡シマシタ利害問題ノアル點デゴザリマシテ、其他ハ格別議論ガナイノデアリマス、ソレ故ニ此裁判所ニ設立及移轉ニ關スル法律案ナルモノヽ第一條、卽チ今申上ゲマシタル長崎控訴院ヲ福岡ニ移轉スルト云フ件ニ付キマシテ委員會ニ於テ幾多ノ議論ヲ闘ハセマシタ經過及結果ヲ申上ゲル積リデゴザイマス、デ政府ハ此說明ニアリマスル通リ土地ノ狀況交通ノ便否ト云フモノニ基イテ、是ガ移轉ノ必要ヲ認メテ本案ヲ出シマシタ譯デ、長崎ノ地タル九州ノ偏ッタル地ニ在ッテ、段々交通機關ノ發達商工業ノ進歩ニ伴ヒマシテ不便デアル、ソレ故ニ此地ヲ變ヘルノデアルト斯ウ云フノガ一點デアリマシテ、又長崎控訴院ハ目下殆ド耐ヘラレザル位ナ腐朽ニナッテ、前年ヨリ白蟻ノタメニ侵サレマシテ、殆ド危險狀態ニ居ルト云フ、是モ亦一ツノ理由ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ本年ノ豫算ニ是ガ移轉ノ經費三十六萬圓ナルモノヽ、繼續費ガ現ハレテ居リマスルガ、併シ是ハ卽チ變ヘムト致シマスル福岡縣、卽チ福岡ノ控訴院ヲ望ムトコロノ方ヨリ致シテ、其全額ヲ寄附スルノデアル故ニ豫算ニハ計上シテアリマスケレドモ、其經費全額ハ福岡ヨリ出スモノデアルト云フ、是モ亦一ノ理由ニナッテ居ル、然ルニ之ニ對シマシテ此第一條ヲ削除シヤウト云フノ論者ハ、成程長崎ノ控訴院ハ餘程老朽デハアルケレドモ、危險狀態ニ在ルト云フ程ノモノデハナカラウ、今一年二年ハ待タレヌト云フ程ノモノデハナカラウト云フ、卽チ朽廢ハ見テ居リマスケレドモ、朽廢ノ程度ニ付テ疑ヲ存シ

テ居ルノデアリマス、ソレカラ改築ト云フコトヲ縦シセヌナラヌト致シタトコロガ、其改築ニ要スル經費ハ須ク國庫ヨリ出スベキモノデアッテ、寄附ヲ以テスルト云フコトハ餘リ面白クナイ、公ノ建物モイロイロアリマスルガ、就中控訴院ノ如キ即チ裁判所ノ如キハ最モ神聖ヲ要スルモノデアルカラ、土地カラシテ其全額ノ寄附ヲ以テスルナドト云フコトハ威嚴ニモ關係シ、多少ノ弊害ヲ免レヌト云フ處ガアル、斯ウ云フコトヲ言フノガ一ツノ理由ニナッテ居ル、ソレ故ニ今日目下ノ財政ガ許サヌナラバ今少シク財政ノ整フマデ辛抱ヲシテ、而シテ國費ヲ以テ建テラレナケレバナラヌモノデアル、ソレカラ又長崎ノ控訴院ハ既ニ置カレテヨリ、今日マデ四十箇年ノ長キ間、何等格別ノ不便ト云フモノヲ感ジタコトモナクシテ存立シ來ッタモノデアル、且又長崎ノ控訴院ハ支那ニ於ケル領事裁判ノ管轄ヲモ含ンデ居ル譯デアルカラ、内外ノ上カラ見テモ決シテ左程不便ヲ感ジテ居ラザルトコロノモノニシテ、四十箇年ノ長キニ亙タッテ大ニ利害ニ關スルモノデアッテ、考ヘナケレバナラヌモノヲ有シテ居ルモノニ對シテハ、之ヲ動カサムトスルニハ特別ノ――特殊ノ明カナル事情ガアラズンバ爲スベカラザルモノデアル、斯ウ云フ點デアリマス、ソレカラ此寄附三十六萬五千圓ノ中十萬圓ト云フモノヽ如キハ、福岡縣ヨリ出スト云フコトデアルガ、縣ヨリ十萬圓ト云フ金ヲ出スナドト云フコトハ、少シク法律ニ觸レルヤウナコトハナイカト斯ウ云フ點モアル、又此一條削除ト云フ說ニ贊成ノ中ニハ區々アリマシテ、兎ニ角前ニ申スヤウナ事情デアルカラ、モウ少シ愼重ニ時日ヲ與ヘテ調ベタラ宜カラウ、何レガ果シテ適當ナル置クベキトコロノ場所デアルカト云フコトヲ幾重ニモ十分調ベルノガ宜カラウ、全體輕擧デハナイカ、前年區裁判所ノ廢止ノ如キ廢シテ置イテ、又此頃ハ復活ヲ頻リニ努メテ居ルト云フヤウナコトガアッテ、事ハ違ヒマスケレドモ兎ニ角控訴院ノ位置ヲ變ヘルト云フコトハ、モウ少シク時ヲ與ヘテ而シテ調ベタラバ、果シテ何レニ置クノガ宜イト云フコトガ分ルデアラウ、ソコデ地圖ノ上カラ即チ地圖ノ上デハアリマセヌガ、兎ニ角九州全體ヨリ見テ熊本ガ全ク中心デアルト云フコトヲ信ズル、殆ド九州九百萬人ノ中ガ五百萬人マデハ贊成ヲスルハ熊本デアル、熊本ニ置クベシト云フコトヲ望ム者デアルト、又鐵道ト云フモノハ兎ニ角交通ノ第一ノ機關デアルカラシテ此便宜ヲ見ルノニハ鐵道統計ニ依ルニ限ル、果シテサウスレバ佐賀ガ最モ中心デアッテ移轉スルノナラバ佐賀ニ動カサナケレバナラヌモノデアル、斯

ウ云フ說モアルノデアリマス、兎ニ角全部寄附ニ依ルナドト云フコトハ弊害ヲ釀シ、或ハ俗ニ言フ運動ト云フモノヲ奬勵スル虞モアルカラ、兎ニ角餘リ好マザル點デハナイカ、以上申シマスルヤウナコトガ即チ此第一條削除ニ付テノ理由デアリマス、之ニ對シ即チ此原案ヲ贊成スル方ノ御說ハ長崎ハ兎ニ角最早時代ハ去ッテ居ル、長崎ハ控訴院ヲ置ク所ノ時代ハ最早過去ニナッテ居ル、ソレデ何ト申シテモ九州ノ諸般ノ事情、有ユルモノヽ事情ヨリシテ看來ッテ福岡ガドウシテモ中心デアル、福岡ニ移轉スルト云フコトガ適當ナルモノデアル、福岡ハ九州ノ三分ノ一ノ實力ヲ有シテ居ル、斯ウ云フコトヲ言ハレル、デ九州ノ中心論ト云フモノハ互ニ爭フテ居ルガ、兎ニ角競爭ノ勝敗即チ此中心論ノ優劣ト云フモノハ、大分縣ト云フモノヲ附ケルト附ケヌトニ在ルノデアル、大分縣ヲ附ケ得ルモノハ優勢、大分縣ヲ附ケル能ハザルモノハ劣勢ニナルト云フヤウナ御說デアル、ソレ故ニ何トシテモ福岡ガ中心デアルト云フコトヲ認メルト云フ說デアル、ソレカラ此原案贊成ノ說デハ寄附ト云フモノヲ非常ニイカヌヤウニ申スケレドモ、左程嫌フベキモノデハナイ、寄附モ適法ニヤレバ一向差支ナイト認メル、斯ウ云フ說、アルカラ寄附ガイカナイト云フ理屈ハ無イ、又先例ニ於テモ多々アルノデアッテ、裁判所デ兎ニ角此原案贊成ノ方ハ延期ヲスルト云フ意味ニ於テ、十分調査ヲ一二年シヤウト云フ說トハ反對デアリマシテ、此時期ガ即チ此移轉ヲ斷行スルノ好時機ナリト認メルト云フ說デアル、全體斯ウ云フ位置ノ爭ハ種々利害ヲ異ニシテ相爭フモノデアルガ、今日ハ最モ此政府ノ當局者中ニ九州ノ人ガ多イカラ、然ルベク協議モ出來ルダラウト云フ御說デアッテ、此事ガ即チ一番好イ時機デアルト云フ譯デ、此第一條ヲ削除スルコトニ決シマシタ、而シテ此案中ノ第二條及第三條ハ可決ニナッタノデアリマス從ッテ此外二案中ノ明治三十二年法律第七十大正二年法律第九號中ノ改正ハ以前ノ結果トシ否決ニナリマシタ、次ノ第七十號中ノ改正ハ「長崎ヲ福岡ニ改ム」斯ウアリマスル所ダケガ此決議ノ結果トシテ否決ニナリマシテ、其他ノ改正案、即チ行政區域裁判區域ノ改正變更ハ全部原案ニ可決スルコトニナリマシタ、而シテ少數意見ガ森田委員長ヨリ御申出ニナリマシテ、少數意見ガイヅレ出マセウト存ジマス――望月君カラ出マス、チヨット改メテ置キマス、右大略的ノ報告ヲ致シマス

望月長夫君ノ報告

委員會ニ於ケル少數意見ヲ御報告申上ゲマス、本案ニハ三四ノ事項ヲ含ンデ居リマスガ、少數意見ハ三案トモ全部原案ヲ贊成スルト云フノデアリマス、而シテ三案ノ中デ問題トナリマシタノハ長崎控訴院ヲ福岡ニ移スト云フ點ノミガ問題ニナリマシタノデ、卽チ少數意見ハ長崎控訴院ヲ福岡ニ移スコトヲ至當ト認メルノデアリマス、其理由ハ唯今略〻委員長ヨリ御述ベニナリマシタ通リデアリマス、長崎控訴院ヲ現在ノ儘ニ存置スルコトハ到底不當デアルト信ズルノデアリマス、長崎控訴院ハ政府者ノ說明ノ如ク、事實ニ於テ殆ド破壞ニ近キモノニナッテ居ッテ、到底其儘ニ維持スルコトハ出來ナイ狀態ニアルコトハ疑ガナイノデアリマス、實地ニ立入ッテ三日保タナイカ、一年保タナイカ、何十日保タナイカト云フヤウナコトニナリマスレバ、ソレハ程度ノ問題デゴザイマスガ、常識ニ於テ控訴院トシテ控訴裁判事務ヲ執ル官署トシテ、到底現在ノ儘デ存置スルコトノ出來ナイコトハ是ハ何人モ判斷シ得ベキ狀態ニ在ルノデアリマス、而シテ此建物ハ改築ノ時期ニ迫ッテ居リマスト同時ニ、長崎ト云フ位置ガ至當デアルカドウデアルカ、長崎ハ以前ニ於テハ九州ノ中樞デアッテ最モ適當ナ場所デアッタコトハ、其設置當時ニ遡リマスレバ誰シモ異論ノ無イ點デアリマス、殊ニ歐羅巴亞米利加何カノ各國ガ治外法權ヲ有ッテ居ル時代ニ於テハ、九州唯一ノ貿易港デアッタ、長崎ニ控訴院ヲ置カレタコトノ至當デアッタコトハ是ハ論ハナイノデアリマス、併ナガラ爾來四十有餘年ノ歲月ヲ閱シテ時勢ノ變遷ハ總テノ點ニ於テ大ナル發展ヲ來シタ場所ガアリマシテ、今日ノ長崎ハ遺憾ナガラ九州ノ中樞ト申スコトガ出來ヌコトハ、是ハ單ニ土地ガ西北ニ偏在シテ居ルト申スノミナラズ、人口、訴訟數、富ノ力、生產ノ力、有ユル取引ノ件數、總テノ點カラ見マシテ何人モ爭ヒ得ナイ點デアルノデアルカラ、長崎ニ控訴院ヲ此儘存置スルコトハ到底出來ナイ、卽チ長崎控訴院ヲドウシテモ急ニ改築シナケレバナラヌト云フノ事實ト、長崎ガ既ニ控訴院ノ所在地トシテ適當デナイト云フ事實トニ於テ、長崎ヲ他ニ移轉スルト云フコトハ當然來ルベキ必要デアル、長崎ヲ其儘ニ存置スベシトノ議論ニ對スル反對ノ理由ハ卽チ是デアルノデアリマス、次ニ長崎ヲ他ニ移轉スルトシテ原案ノ如ク之ヲ福岡ト定メルコトガ至當デアルカ、ドウデアルカ、此問題ニ對シマシテハ委員會デ反對ノ幾多ノ議論ヲ承ハリマシタガ、此議論ハ全ク統一セラレヌ議論デアリマシテ、各委員ノ所說ハ銘々個々ノ意見ニナッテ居リマシテ、或ハ熊本ヲ適當ナリト主張サレル方モゴザイマスレバ、佐賀ヲ適當ト主張サレル方モアリマシテ、何レモ地方々々ノ效能ヲ澤山ニ述ベラレタノデアリマス、ケレドモ公平ノ立場カラ考ヘテ見マスルト、政府ノ原案ハ最モ適當デアル、委員長カラ御述ベニモチヨットナリマシタガ、政府ハ政府ノ案ヲ維持スルガ爲ニ各種ノ表ヲ出シテ居リマス、熊本ノ方カラ私共ノ手ニ熊本デ御調ベニナッタラシイ參考ニ資スベキ統計ナンカヲ書イタモノモ受取リマシタ、是ハ主トシテ人口及訴訟ノ件數デ比較ガシテアリマシテ、長崎ヲ便トスルモノト——長崎ハモウ此問題ニ除キマスガ、福岡ヲ便トスルモノト、熊本ヲ便トスルモノトノ比較ガ書イテアリマシテ、政府ノ方カラ出テ居ルノト、熊本デ御調ベニナッテ出來タモノトヲ見マスルト、例ヘバ人口ニ於テ殆ド百萬程違フ、事件數ニ於キマシテモ略〻是ニ比例シタヤウナ違ヒガアリマス、是ハ專ラ大分ヲ福岡、卽チ政府ノ側デハヤハリ福岡ヲ便利トスルモノヽ中ニ算入シテ居リマスルシ、熊本ノ方デハ大分ヲ全部熊本ヲ便トスルモノトシテ算入サレテ居リマシテ、此大分ト云フモノガ果シテ全部福岡ヲ便トスルカト云フコトニ付テハ、疑ヒガゴザイマスルケレドモ、何レニシテモ大分ノ全體ニ亙ッテノ利便ハ決シテ一方ニ偏セズシテ、略〻相半バスルト見テ判斷ヲシタナラバ至當ナコトデアラウト思フ、是ハ政府ノ方ノ統計モ、熊本ノ方ノ統計モ、相匹敵スルモノトナッテシマヒマシテ、是デハ判斷ノ致シ方ハナイノデゴザイマスルガ、人口訴訟件數ヲ今ノヤウニ見タ點ヨリ見ズシテ、他ノ總テノ點例ヘバ生產額トカ、納稅額トカ、銀行ヤ會社ナンカノ資本及其取引狀況、爲替ヤ振替貯金ナンカノ口數、活動狀態及ビ鐵道港灣、道路ナンカノ現狀ナンカラ概括シテ之ヲ見マスレバ、福岡ガ熊本ヨリモ遙ニ優勝ノ地位ニ立ッテ居ルコトハ甚ダ明白ナンデアル、是等諸般ノモノヽ比較ヲ單ニ福岡ト熊本ノミデナク致シマスルト、他ノ總テノモノハ大體ニ於テ熊本ハ福岡ノ半バニ達シマセス、福岡ヲ九州ノ全部ニ比較シマスレバ殆ド大體ノモノニ於テ其半額若クハ三分ノ一ヲ占メテ居ル訴訟件數、福岡ハ確ニ熊本長崎ノ二縣ヲ合セタルモノヨリ多ク、若シ一縣毎ニ比較致シマスレバ福岡ハ殆ド三分ノ二ヲ占メテ居ルモノガ多

イ、控訴院ヲ必要トシ高等裁判所ヲ必要トスル有ユル狀態ガ、斯ノ如ク熊本ヨリモ福岡ニ多イト致シマスレバ、福岡ヲ正當ノ位置トスルコトハ多言ヲ要シナイト思フ、唯熊本ガ福岡ヨリモ重要デアラウカト思ハルヽ點ハ、沖繩カラ九州ノ西北端ニ達スル里程ノミヲ計算致シマスレバ、熊本ノ方ガ中央ニ近イコトニナリマスケレドモ、斯ノ如キ問題ヲ解決致シマスル中央ナル言葉ハ、決シテ里程ノ延長ノミニ依ルベキモノデハナクシテ、前來申シマシタヤウナ總テノ狀況ヲ考察シテ、實力ノ中樞ヲ以テ卽チ中心ナリト見ナケレバナラヌノデゴザイマスカラ、是等ノ諸點ヨリ致シテ福岡ハ優勝デアルコトハ甚ダ明白デアリマスノミナラズ、更ニ福岡ト熊本ノミヲ比較スル場合ニ於テ、熊本ハドウシテモ福岡ニ及バヌノハ、是ハ前ニ申シマシタ卽チ尙長崎ヲ主張サルヽ人ノ論據ニナリマスル領事裁判ノ上訴デアリマス、領事裁判ノ上訴ト云フモノハ今日其必要ガ非常ニ少クナッテハ居リマスケレドモ、今日是アルコトハ勿論デゴザイマスガ、福岡ニ致シマスレバ博多、若松、門司、數多ノ港ヲ控ヘテ居リマシテ、長崎ニ比較シテ餘リ讓ラズ、寧ロ或ハ今日ニ於テハ實際便利カモ知ラヌ位デアリマスガ、熊本ハ全然此便利ヲ缺イテ居ル、故ニ若モ長崎ヲ他ニ移ストシテ委員會ニ現ハレタ各地ヲ相比較シマシテ、其最モ適當ナルモノヲ選ミマスレバ、ドウシテモ福岡ガ最モ適當デアル、故ニ原案ガ福岡ニ位置ヲ取ッタコトハ甚ダ正當デアル、之ニ對シテ反對ノ理由トシテ政府ガ福岡ニ控訴院ヲ新設スル經費ヲ寄付ニ取ッタノガイケナイ、最モ公平嚴格ニ裁判事務ヲ扱フベキ控訴院ノ新設費ヲ、人民ノ私財ヲ寄付セシメテ設立スルコトハ甚ダ宜シクナイ、裁判所ノ權威ニ關スルカラ之ヲ否定シナケレバナラヌト云フ議論モゴザイマシテ、私共モ原則トシテ公ノ役所ヲ建築スル費用ハ勿論、公ノ經費ヲ以テ支出スベキモノデアッテ、此原則タル道理ニ於テ敢テ反對ヲ致スノデハゴザイマセヌ、寧ロサウアルコトヲ希望スルノデゴザイマスガ、國庫ガ充實シテ有ユル費用——有用ノ國費ヲズン〳〵出シテ行クコトノ出來ル場合ニ於キマシテハ、此正論ヲ主張スルコトハ勿論當然デゴザイマスガ、今日ノ國庫ノ狀態ハ遺憾ナガラソレ程ニ達シテ居ナイコトハ何人ニモ能ク分ルコトデアル、而シテ寄付ヲ以テ斯ウ云フ事柄ヲ補供スルコトハ決シテ此問題ノミデハナイ、他ニモ澤山アル、殊ニ省令カ何カデ公ニ極メテ人民カラ持ッテ來タ金デ公署ヲ拵ヘル規定スラ設ケテアルノモ澤山アル、而シテ控訴院ガ寄付デ出來タガ爲ニ控訴ノ裁判ニ公平ヲ缺クガ如キ疑ヲ容レルト云フコト

ハ、實ニ問題ニナラヌ話デ全ク無用ノ難癖デアル、殊ニ從來裁判所ト申セバ恰モ惡人カ何カデ無ケレバ出入リシナイ如ク思ッテ、一般人民ハ之ヲ嫌忌スル狀態モアッタノデアルノニ、今日人民ガ進ンデ私ノ財產ヲ拋ッテ其建築ヲ希望スルト云フノハ、一面ニ於テ裁判事務ノ信用ガ非常ニ高マッタ象徵ト見テモ宜イノデアルカラ、敢テ之ヲ以テ此案ヲ非難スルノ理由トナスニハ足ラヌ、若シモ是ガ絕對ニ非ナリトノ意見デアルモノナラバ、唯今一緖ニ出テ居リマスル北海道ノ旭川ノ裁判所ノ新設ノ如キモ、無論反對ヲサレナケレバナラヌ譯デアル、此方ニモ明カニ寄付ノ土地、寄付ノ金ガ新設ノ財源ニナッテ居ルコトハ明瞭デアリマスニ拘ラズ、此方ニ向ッテハ一言モ反對サレタ方ハ無イノニ、單リ福岡ニ對シテノミ之ヲ以テ口實トセラルルノハ、是ハ所謂口實デアッテ、彼ノ福岡ヨリ優越ナル道理ヲ占メナイトコロノ人ガ殊更ニ設ケタ口實ト解釋シテモ差支アルマイ、中ニハ此案ガ不調ベデアルカラ一年ヤ二年延バシテモ宜シイト云フ理由デ、反對サレタモノモアッタヤウデアリマスガ、此點ニ對シマシテモ今日ハ此問題ヲ解決スルニ最モ適當ナ時期デアッテ、且斯ノ如キ問題ハ最モ速ニ解決スルヲ公ノ幸福トスル、斯ウ云フ位置ノ問題ノヤウナ、イツ出シテモ、必ラズ爭ノアルコトハ極リ切ッテ居ル、今日ガ最モ適當デアルト申スノハ前キニ鹿島委員長カラ略、申シマシタ如ク、現ニ廢セラレル長崎ニハ田川參政官ガ居ラル、或ル一部ノ人ガ主張セラレル佐賀ニハ總理ナル大隈大臣ガ出テ居ラレル、熊本ハ現政府ヲ擁護スルトコロノ同志會ノ根據地トシテ、假令政府ニハ直接ニ關與シテ居ル人ガ無イトシテモ十分實力ノアル人ガ多イノデアル、九州ノ利害、九州ノ利害ト云ヒ、政府ニ表明セラレル時期デアル、此時期ニ於テ政府ガ特ニ福岡ヲ以テ適當ナリトシテ提案ヲサレタノデアルカラ、一面ニ於テ是ハ福岡ガ最モ適當ノ候補地デアルコトヲ表明スルコトニナルト同時ニ、又是等候補地以外ノ土地ノ方モ、十分ニ慰藉シ得ラレル餘地ガアルト信ジ得ラレルノデアル、是ガ現在ニ最モ此問題ヲ解決スルニ適當ナ時期デアルト云フ譯デアッテ、更ニ前ニ申シマシタ如ク、斯ノ如キ問題ヲ後年ニ延バシテ置ケバ、ソレダケ人心ニ波動ヲ與ヘ紛爭ノ種ヲ蒔クコトニナッテ、公益上甚ダ面白クナイコトデアルカラ速ニ決スルガ宜イ、寧ロ私共一個ノ立場カラ申シマスレバ、此位吾ミノ反對側ノ諸君ニ動搖ヲ與ヘル問題ハナイ、斯ウ云フ問題ガ長ク生キ殘ッテ居ッテ、政府與黨ニ釁隙ヲ生ジ壞ハレテ來ルコト

ハ、若シ亂ヲ好ミ勝ヲ望ム心カラ申セバ其方ガ宜イカモ知ラヌ、公益上ノ意見ト致シマシテハ決シテ左樣ナコトハ言ハレヌノデアリマスカラ、是ハ此時期ニ於テ速ニ解決スルガ相當デアルカラ、原案ヲ通過セシムルコトガ最モ適當デアル、斯ウ云フ理由デ全部原案ヲ贊成スルコトニナリマシタ、速ニ原案通リ御贊成ニナリマシテ全部原案ノ通過致シマスルヤウニ希望致シマス

質疑應答ノ後(四)及(五)兩案ハ一括シテ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ本田恆之君及川原茂輔君ハ委員長ノ報告ニ贊成、(原案修正)森田茂君及奥村七郎君ハ反對(原案可決)ノ演說ヲ爲ス

本田恆之君ノ演說

諸君、私ハ委員長ノ報告ニ贊成致シマス所ノ一人デアリマス、詳シイコトハ委員長ノ報告ニゴザイマスカラ私ハ簡單ニ贊成ノ意見ヲ申上ゲテ諸君ニ委員長報告ニ贊成セラレルヤウニ希望致シマス、長崎控訴院ハ御承知ノ通リ開廳以來既ニ四十餘年ニナリマスルガ、一體私ノ考デハ古イ歷史ヲ有ッテ居リマスル所ノ官廳ノ位置ヲ變更スル如キ事柄ハ、餘程特別ナル理由ニ依ルニアラズンバ容易ニ之ヲ斷行スベキモノデナイト考ヘマス、申上ゲル迄モナク地方ノ小サナル都市ニ於キマシテハ、一ノ官廳ヲ中心ト致シマシテ種々ナル經濟上ノ關係其他社會的ノ社會上ノ一ノ關係ヲ惹起シテ居リマスル、之ヲ甲ノ地カラ乙ノ地ニ移スト云フコトニ至リマシテハ、モト在リマシタ所ノ地方ノ社會事情ニ一大變化ヲ惹起スルコトハ言フマデモナク、其影響ガ其關係ヲ有シテ居リマスル所ノ市民ノ經濟的ニ大打擊ヲ受ケルト云フコトハ、申上ゲルマデモナイ事柄デアリマス、新ニ此處ニ役所ヲ設ケルト云フノハ別問題デアリマス、長イ歷史ヲ有シタ結果トシテ種々ナル經濟上其他ノ關係ヲ惹起ス所ノモノヲ、他ニ移轉セシムルト云フニハ、餘程特殊ノ事情ガ無ケレバナラヌ、確乎タル事情ガ無カッタナラバ是ガ爲ニ人民ノ蒙リマスル所ノ打擊ト云フモノハ少カラヌモノデアルト考ヘル、然ルニ今政府ノ計畫致シテ居ルトコロノ長崎控訴院ヲ福岡ニ移轉シヤウト云フニ付テノ理由ヲ、政府委員カラモ段々承ッテ見マシタガ、其理由ハ甚ダ薄弱、第一ハ長崎ト云フ所ハ地理上ノ中心デナイト云フノガ第一ノ理由、第二ノ理由ハ事件數ガ福岡ノ方ガ長崎ヨリモ比較的多イ、多イカラ控訴

院ノ如キモ事件ノ多イ所ヘ持ッテ行ッテ置クノガ相當デアル、此二ツノ理由ガ政府委員ガ委員會ニ於テ說明致シマシタ所ノ主ナル理由、尤モ本年八月司法省ニ於キマシテ私ハ當時長崎市民ノ委員ノ資格ヲ以テ司法次官ニ面會致シマシタトキニ司法次官ハモウ一ツノ理由ヲ加ヘタノデアル、行ク行クハ日本ノ控訴院ヲ整理スル必要上ヨリ廣島控訴院ヲ廢シテ、廣島控訴院ノ管轄ニナッテ居ルノヲ一部ハ大阪ニ移シ、一部ハ長崎ニ移スト云フ意見デアル、若シ此意見ヲ實行スル場合ニ於テ、旁〻長崎ニ置クハ長崎ハ地ハ西ニ偏シテ居ッテ不便デアルカラ、福岡ニ移ストコロノ一ノ理由デアルト云フコトヲ司法次官ハ吾〻ニ對シテ明言セラレテ居ル、今日ノ政府委員ハ長崎ヲ福岡ニ移シテ廣島控訴院ヲ廢スル考ハアリマセヌ、其他ノ控訴院ニ付キマシテモ多分ハ移シマセヌト言ハレマスケレドモ、確ニ司法次官ハ司法次官トシテ吾〻ニ公ノ資格ヲ以テ會見ヲ致シマシタル時ニ、私其ニ明言致サレタ事柄デアリマス、併ナガラ此二ノ理由其ニ殆ド私ハ理由ヲ爲サヌト思フ、第一長崎ガ西ニ偏シテ居ルト云フコトヲ言ハレマスガ、長崎ガ西ニ偏シテ居リマスコトハ、長崎控訴院ヲ設置セラレタ當時カラ西ニ偏シテ居ルノデアル、政府委員ノ言葉デハ先年マデハ長崎ガ九州ノ地理上ノ中心デアッタケレドモ、俄ニ西ニ偏シタ如キ口氣ヲ以テ其說明ヲセラレマスノハ如何ニモ不思議ニ考ヘル、長崎ハ九州トシテハ西ニ偏シテ居ルニ拘ラズ、長崎ニ控訴院ヲ置クト云フコトハ必要ナル理由ガ外ニアル、長崎控訴院ノ管轄致シマスル所ハ申上ゲルマデモナク九州ノミデハアリマセヌ、諸君御承知ノ通リ支那ニ於ケル帝國領事館ノ控訴事件ト云フモノハ、總テ長崎控訴院ガ管轄致シテ居ル、勿論現在ニ於キマシテモ支那ニ於ケル帝國領事館ノ控訴事件ト云フモノヲ、長崎控訴院デ裁判致シマスノハ僅ナ件數デアリマスケレドモ、段々ニ日支ノ關係ヲ考ヘテ見マスレバ、私ガ諸君ニ申上ゲルマデモナク、此後ニ一層種々ナル複雜ナル關係ヲ惹起シテ、移住民モ殖エマセウシ、商取引モ殖エマセウシ、其他政治上、經濟上、商業上ノ關係ガアルト云フコトハ申上ゲルマデモナイ、サウ致シマスルト此長崎控訴院ノ管轄ガ支那マデ及ンデ居ルト云フ關係ヲ以テ考ヘテ見マスナラバ、西ニ偏シテ居リマス所ノ長崎ガ、必シモ地理ニ於テ不當デアルト云フコトハ言ヘナカラウト考ヘマス、長崎ニ最初政府ガ明治初年ニ置キマシタ理由ガ、畢竟是等ヲ包含サレテ居ル理由デアル、其理由ガ俄ニ消滅シテ居ル譯デハアリマセヌ、又今日マデ四十幾年間長崎ニ控訴院ヲ置カレタト云フ爲ニ、如

何ナル不都合支障ヲ生ジタノデアル、司法當局者ハ一モ事業上ノ說明ヲ致シマセヌ、長崎ハ九州ノ西ニ寄ッテ居ルカラ不便デアルト云フノミデ、是ガ爲ニ裁判事務ノ上ニ如何ナル不都合ヲ生ジ、如何ナル支障ヲ來シタカト云フ事實ヲ擧示スルコトガ出來ナイ、申ゲルマデモナク、明治十年前後ニ置カレタ控訴院デアリマスカラ、其當時九州ニ鐵道ハ勿論アリマセヌ、海運モ甚ダ不便デアッタニ拘ラズ、何等裁判上ニ差支ハナカッタノデアル、現在ニ於キマシテハ九州ニハ縱橫ニ鐵道ガ架ッテ居ル、隅カラ隅ニ至ル鐵道ノ長距離デモ僅カニ十五時間以上掛ッテ參レマス、十五時間以上掛ッテ交通致ス所ハアリマセヌ、鐵道ノ交通ハ便利トナリ海運ノ交通モ非常ニ發達致シテ居リマス今日ニ於テ、俄ニ地ノ利ガ惡イト云フコトヲ理由ニ供セラルルノハ殆ド私ハ理由トシテ承ルコトハ出來ナカラウト考ヘマス、第二ノ理由ト致シマシテ事件ノ數ガ違フ、長崎ヨリ福岡ノ方ガ事件ガ多少多イ、斯ウ云フ辯解デアリマスガ、司法省ガ吾々ニ渡シタ所ノ表ニ依ッテ見マスレバ、事件ノ數ト云フモノハ年々ニ相違シテ居ル、或ハ控訴事件トシテ扱フ事件ノ如キハ、長崎ノ方ガ福岡ヨリモ多カッタ年モアリ、或ハ福岡ノ方ガ多イ年モアリマス、民事刑事ノ件數ニ於ケル事柄ト云フモノハ社會ノ種々ナル關係ヨリ起ッテ來マスカラ、一年事件ガ多カッタト云ッテ、必ズシモ永久ニソレガ多イト云フコトヲ斷言ハ出來ヌ、是ハ申上ゲルマデモナイ、例ヘバ長崎控訴院デ扱ヒマシタ事件ニシテ明治四十三年、四十四年ノ如キハ、確ニ福岡ノ方ガ多イ、然ルニ大正三年ニ至ッテハ長崎ノ方ガ福岡ヨリモ多イノデアル、是ハ司法省ガ提供致シマシタ表ニ明示スル所デアリマス、斯ノ如キ事件ノ多少ト云フガ如キコトハ種々ナル事情、種々ナル關係ヨリ起ッテ來ル一種ノ變態デアリマスカラ、此事件ノ數ノ多少ヲ標準ニシテ控訴院ヲ移ストカ云フコトハ容易ナラヌコト、若シ礦山ガ一ツ起リマスレバ控訴事件ノ數ガ數百件ニ上ルノハ當リ前デアル、今日福岡ノ方ガ多イノハ礦山ガ殖エテ來タ結果デアル、長崎ノ方ニ礦山ガ殖エテ來タナラバヤハリ福岡ニ負ケナイヤウニ控訴事件ガ起ッテ來ル原因ニナルノデアル、久留米ニ事件ガ多クナッタカラ置ク、熊本ニ置ク、鹿兒島ニ置クト云フヤウニ、一々特殊ノ事情ガ起ッタ爲ニ控訴院ヲ移轉シタナラバ限リガナイ、デゴザイマスカラ偶々事件數ガ多カッタト云フガ如キコトヲ以テ、控訴院ヲ移轉スル理由ニハ更ニナリマセヌ、其外人口デアルトカ云フヤウナコトヲ申サレマスケレドモ、福岡ハ縣ガ大キイカラ人口ガ多イ、人口ガ多イカラトテ人口ガ密接シタ意味デハナイ、唯今望月君ノ御議論ニ致シマシテモ、政府ノ

議論ニ致シマシテモ、甚ダ議論ノ根據ニ感服致シマセヌ、福岡ハ人間ガ多イ、裁判事件ガ多イト申シマスケレドモ、福岡縣ハ長崎縣ニ倍スル程廣イ所デアルカラ多イノデアル、ケレドモ廣イ割合ニ人間ガ多イカト申シマストサウハナイ、土地ノ面積ト人口ノ密粗ノ關係ニ付テハ長崎縣ノ方ガ餘程人間ノ數ガ多イ、富ノ程度ノ如キモ望月君ガ比較セラレマシタガ何ヲ見テ比較セラレマシタカ存ジマセヌガ、唯是ハ福岡ノ方ガ多イト云フ望月君ノ放言ニ過ギナイ、何等證據ヲ示サレナイ、吾々ノ調査ニ於キマシテハ長崎市ノ富ト福岡市ノ富ヲ今日比較シテ見ルト銀行ノ預金ニ於テモ著シク相違ガアル、著シク長崎ノ方ガ多イノデアル、唯福岡ガ縣ガ廣イカラ總テノ取引ガ多イヤウニ思セマスケレドモ、範圍ヲ廣クシテソレデ多イト云フノハ眞ニ多イノデハナイ、斯ウ云フ譯デゴザイマスカラ私ハ此司法省ガ移轉スルト云フ理由ハ、悉ク移轉スル理由ニナラヌト考ヘマス、ソレカラ第二ノ司法省ノ理由ハ長崎控訴院ガ腐朽ニ達シテ居テ、モウ一年モ保テナイカラ改築シナケレバナラヌト云フコトヲ一ツノ理由ニ供セラレテ居ル、是ハ現ニ長崎ニ住居シテ居ル吾々ハ承認スルコトハ出來ナイ、吾々毎日長崎控訴院ニ出入シテ居リマスガ、成程九州一般ニ行ハレテ居ル白蟻ノ害ヲ受ケタコトハ曾テアリマス、嘗テアリマスガ、其白蟻ノ害ヲ受ケマシタ當時ニハ、司法省ハ或ハ數千圓ノ金ヲ掛ケテ大修繕ヲ加ヘテ鐵ノ「ボート」ヲ以テ柱ヲ取替ヘル、新シイ木ヲ以テ柱ヲ取替ヘル、而シテ大修繕ヲ加ヘテ立派ナ控訴院ニナッテ居ル此儘ニ於キマシテモ吾々ノ想像デハ五年デ潰レルカ、十年デ潰レルカ、二十年三十年繼續スルカ、吾々ハ何時マデ保テルデアラウト云フコトハ想像スルコトノ出來ナイ立派ナノニナッテ居ル、司法省ハ明年ニモ今年ニモ倒レルヤウナコトヲ吾々ニ說明致シマシタガ、何ニ依ッテサウ云フ事ヲ言フカト云フコトヲ質問シタトコロガ、司法省ノ技師ガ出張シテ檢査ヲシタ結果デアルト言ハレル、然ラバ司法省ノ技師ノ檢査シタ報告書ヲ拜見シタイト言ヘバ報告書ハ無イト云フコトデ、態々司法省カラ勅任技師ヲ特派サレテサウシテ長崎控訴院ヲ審査サレテ——此調査ヲ致シマシタ結果、書面上ノ報告ガ司法省ニ無イト云フノハ諸君不思議デヤナイカ、私ハ恐ラクアルデアラウト思フ、司法當局者ノ言葉ヲ信用セヌトナレバ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、如何ナル官廳ニ於キマシテモ或事ノ調査ヲ命ジテ、調査ノ爲ニ特派サレタ者ガ其調査シタ結果ヲ書面ヲ以テ當該官廳或ハ其長官ニ報告セヌト云フコトハ、今日役所ノ取扱上アルベカラザルコトデアル、司法省ト雖モ斯ノ如

キ事ヲヤルノニ悉ク私ハ調査ガアルニ相違ナイ、報告書ガアルニ相違ナイ、然ルニ長崎控訴院ノタメニ山下ト云フ勅任技師ヲ特派シタニモ拘ラズ、其報告書ガ來テ居ナイト云フ、唯口頭ヲ以テ報告ヲ受ケタト斯ウ云フノガ政府委員ノ説明デアリマス、諸君、政府委員ガ——司法省ガ存在スル間政府委員ノ結果ヲ口頭ヲ以テ報告シテ、サウシテ其報告ヲ聞イタト云フノデ、何等調査シタ事ニ付テ一片ノ報告書ガ司法省ニ無イト云フノガ政府委員ノ説明デアル、私ハ其説明ヲ信用シナイ、必ズ報告書ガアルニ相違ナイ、報告書ガアルナラバ司法當局者ノ辯ズルガ如ク、本年一杯經テバ——明年一杯位ニハ潰レテシマフト云フコトヲ私ハ疑フ、サウ云フ風ニ多少ノ修繕ヲ加ヘレバ數年若クハ十數年保テルト云フ報告ヲシテアルカラ、政府委員ノ來年ニモ潰レルト云フ言明トハ一致セヌカラ、報告書ヲ出サナイノデアルマイカト云フ疑ヲ私ハ持ツ、此疑ヲ司法當局者ニ掛ケルノハ甚ダ失禮デゴザイマスケレドモ、疑ヲナシ得ル道理ガアルト私ハ考ヘル、ソレデ花井博士ナドハ、屢、長崎へ御出デニナッテ能ク御存知デアル、私ガ言フバカリデナク長崎ノ事情ヲ知ッテ居ル御方ガ此外ニモ澤山アリマセウ、屢、白蟻ノ害ヲ受ケタト云フコトデアルガ、其度々ニ修繕ガシテアルカラ五年十年先ニナッタカラトテモ、必シモ危險デアルト云フコトハナイ、司法省ノ一年待ツコトハ出來ナイト云フ司法省ノ言葉ヲ信用致シマセヌ、一ツ之ニ付テ委員會ノ出來事モ諸君ニ御報告シテ、其政府者ノ説明ノ信用スベカラザルコトノ材料ニ供シタイト思フ、政府委員ハ一年待ツコトガ出來ナイト云フコトヲ極力辯解シテ居ラレルノデアル、所ガ委員ノ諸君ノ中デ一體此福岡ニ移スト致シタナラバ、何時カラ移スカト云フコトヲ問ハレタ時ニ、政府ノ全體ノ原案、移スト云フ法律案ガ極マリ豫算ガ極マルト同時ニ、假廳舍ヲ設ケテ司法事務ヲ執ルノガ本則デアリマスケレドモ、諸君ガ希望サレルナラバ二三年位後ニ移スト云フコトヲ政府委員ガ吾ミニ説明シタノデアル、一面ニハ一年モ延バスコトハ危險デアルノデアル、危ブナイ覺悟ヲシテ事務ヲ執ラナケレバナラヌト言ヒナガラ、一面ニハ二三年位延期シテモ差支ナイト云フコトヲ明記シテ、其事ガ調査ニ書イテアル、ソレヲ以テ私ハ司法當局ヲ詰問致シマシタ、何故サウ云フ不都合ナ答辯ヲスルカト言ヒマシタトコロガ、其政府委員ノ説明ニハソレハ危險デアルケレドモ鐵ノ棒カ何カ突ツカイ棒デモシテ、控訴ノ事務ヲ執ルト云フ意味デアリマシタガ、諸君、控訴院ヲ——倒レカヽッテ居ル控訴院ヲ突ツカイ棒ヲシテ維持シテ居ルト云フコトヲ說明スル筈ハナイデハアリマセヌカ、鐵ノ棒ヲ以テ突ツカッテモ宜シイト云フコトヲ言ハレタノハ、私カラ突留メラレタトコロノ辯解遁辭ニ過ギヌト思ヒマス、彼ハ言フニ落チズ語ルニ落ルト云フ俗語ノ如ク委員會ノ形勢ガ怪シクナルト此法案サヘ通シテ吳レヽバ、實施ハ二三年位後ニシテモ差支ナイト云フ、卽チ司法省ハ三年五年安全ニ行ケルト云フ一ツノ證據デハナイカ、實ニ無責任極ッテ居ル、一面ニハ報告書ガ無イト言ヒ、一面ニハ今潰レルト言フカト思ヘバ、忽チ二三年延バシテモ宜イト云フコトハ、司法當局者ノ言フコトヲ信用スルコトガ出來ナイ、私ハ毎日殆ド此裁判所ニ出入シテ居リマシタノデアリマスカラ、不肖ナル私ノ此演壇ニ於テ諸君ニ申上ゲルコトヲ御信用下サレテ私ハ然ルベキコトヽ思ヒマス、サウ致シマスト今裁判所デハナイ、此建物ハマダ保テルノデアル、何ノ必要アッテ今福岡ニ移ス、全體福岡ガ適當デアルト云フ政府ノ意見デ、ドウシテモ控訴院ト云フモノヲ福岡ニ移サナカッタナラバ不都合デアル、長崎デハ控訴事務ガ執レヌト云フ考デ、ソレ程ニ政府ハ福岡ヲ重大視スルナラバ、何故ニ政府ハ此費用ヲバ國庫ニ要求シテ正々堂々ト此建築案ヲ數年前ニ出サナイカ、今日之ヲ出スト云フノハ長崎ガ腐ッテ居ルト云フノガ主モナル理由ニナッテ居ル、之ニ付テ私ハ甚ダ政府ノ遣口ニ感服致シマセヌコトハ、此法律案ヲ實行スル豫算ニ付テチヨット一言申上ゲマスガ、此裁判所控訴院ヲ移轉スルト云フコトニ付キマシテハ新築スルト云フ、新築スルニハ三十六萬五千圓ト云フノデアルナラバ、何故國庫ノ金ヲ以テ之ニ流用シナイ、國庫ノ金ヲ以テ之ヲ造ラナイカ、望月君ハ國庫ガ非常ニ貧乏シテ居ルト言ヒマスケレドモ、裁判所ト云フノハ三等郵便局デアルトカ云フヤウニ、半分商業ヲシテ居ルモノトハ違ヒマス、申上ゲルマデモナク最モ嚴正ニ事務ヲ取扱ヒ、天皇陛下ノ御名ニ於テ最モ嚴正ニ事務ヲ取扱ヒ、相當ノ威嚴ヲ保タナケレバナラヌ所デアリマス、政府ガ三十六萬五千圓ノ金ト云フモノハ國家必要ノ機關ヲ造ルナラバ出ス餘地ガアルデハナイカ、獨リ控訴院ガソレ程ニ政府ハ國家有用ノ機關ノ爲ニハ數千萬圓ノ金ヲ出ス餘地ガアルデハナイカ、

ヤカマシイモノデアルナラバ、三十六萬五千圓位ハ出スコトガ出來ル、然ルニ此點ニ付テ諸君ニ訴ヘテ、併セテ政府ノ反省ヲ求メタイノハ三十六萬五千圓ハ寄附デアル、此寄附ト云フモノモ普通ノ寄附ナラバ差支ナイ、此寄附ト云フノハ程度問題、玆ニ一ノ政府ガ十萬圓ノ事業ヲヤルカラ人民ガ喜ンデ祝セノ意味ヲ以テ其事業ヲ助ケル爲メニ、一萬圓トカ二萬圓トカヲ寄附スルト云フナラバ誠ニ是レハ結構ナ事柄デアリマス、然ルニ控訴院ノ金額ノ——費用ノ建築ノ金額ノ費用三十六萬五千圓、三十六萬五千圓デアリマスガ、其三十六萬五千圓ヲソレヂヤ寄附シマセウト申出タノカト云フトサウヂヤナイ、福岡ノ諸君モ此中ニゴザル、私ハ確カニ聞イテ居ル、最初二十萬圓ダケ寄附スル、此間ニ司法省ノ役人ト福岡ノ當局トドウ云フ相談ガアッタカ知リマセヌガ、二十萬ダケ寄附スルト云フ話デアッタ、處ガ長崎ノ方カラモ是非是レハ長崎ノ方ヘ存置シテ貰ヒタイト云フ意見書ヲ司法省ニ出シタ長崎市會議長其他市會議員ガ司法次官ニ面會致シマシタトキニ、アナタ方ノ意見書ハ確カニ拜見致シマシタ、確カニ受取ッタ、受取ッタガ何ニモ書イテアリマセヌナト謎ヲ掛ケタ、意見書ニ堂々タル意見ハアルガ寄附ノコトハ一言モ書イテナイナト云フコトヲ、長崎市會議長丸毛兼通ト云フ者ガ長崎市ニ報告ヲシテ、是ハイカヌ、又吾々ハ議論バカリデ司法省ガ通ルト思フト大間違ヒ、長崎ニ存置シナケレバナラヌト云フ意見ニ就テハ、司法次官ハ私ハ確カニ拜見シタガ寄附ノコトガ何ニモ書イテナイノデハナイカト云フ話ガアッタ、是レハ一番工夫シヤウヂヤナイカト云フコトヲ長崎市會議員ヲ寄セテ協議會ヲ開イタ、ソレデ十五萬圓出サウ二十萬圓出サウト云フタガ、先キニ福岡ガ二十萬圓出スト云ッタト云フ司法次官ノ口裏ダカラ、アノ模樣デハ二十萬圓デハイケナイ、イッソ思ヒ切ッテ二十六萬五千圓一時ニ出スコトニシヤウヂヤナイカ、是ガドウシテ金ヲ作ッタカト云フト、縣廳ニ掛合ヒ旁々イロ〳〵致シマシテ、長崎市ハ此借金ヲ五年間ニ償却スル途ヲ立テマシテ、ヤラガ何ニモ書イテナイノデハナイカト云フ話ガアッタ、是レハ一番工夫シヤウヂヤナイカト云フコトヲ長崎市會議員ヲ寄セテ協議會ヲ開イタ、ソレデ十五萬圓出サウト云フタガ、先キニ福岡ガ二十萬圓出スト云ッタト云フ司法次官ノ口裏ダカラ、アノ模樣デハ二十萬圓デハイケナイ、イッソ思ヒ切ッテ二十六萬五千圓一時ニ出スコトニシヤウヂヤナイカ、是ガドウシテ金ヲ作ッタカト云フト、縣廳ニ掛合ヒ旁々イロ〳〵致シマシテ、長崎市ハ此借金ヲ五年間ニ償却スル途ヲ立テマシテ、ヤラウト云フノデ、三十六萬五千圓ノ金ヲ長崎ガ出シマセウト云フコトヲ司法省ニ書面デ通信ヲ致シマシタ、所ガ司法省ハ其書面ヲ福岡ニ見セタモノダ、是ハドウダ、長崎ノ方ハ三十六萬五千圓ヲ拵ズル積リダト云フ、福岡ノ方デモヤリ切レナイ、苦シイガ三十六萬五千圓出サウト云フコトヲ申出タ、之ヲ聞イタ熊本ハナカ〳〵威勢ガ宜イ、熊本カラハ忽チ委員ガ司法省ニヤッテ參リマシテ談判ノ末五十萬圓デモ百萬圓デモ幾ラデモ出ス、ドウダ是レガ天皇ノ名ヲ以テ行フ國家高等ノ司法機關ヲ造ルトコロノ手段デスヨ、斯ウ云フコトヲ以テカラニ寄附ヲ受ケテモ決シテ裁判所ノ神聖威嚴ニ關係シナイト云フ理窟ガ何處ニアル、極ク卑近ナ言葉デ云ヘバ、品物ヲ一ツブラ下ゲテサア幾ラダ幾ラダト競賣ヲヤッテ居ル、極ク劣等ナ連中ハ自分ノ方カラ三圓ケテ賣ルト云フヤリ方ヲ市井ノ間デハヤッテ居リマスガ、司法省ガ此控訴院ト云フ役所ヲブラ下ゲテブラ〳〵ヤッテ居ル內ニ、到頭三十六萬五千圓ノ金額ノ寄附ノ全部ヲ出サシタ、實ニ私ハ怪シカラヌト思フ、今日ノ地方自治團體ノ財政ハドウ云フ有樣ニナッテ居ルカ、諸君、大藏大臣、內務大臣ハ地方自治體ノ財政ノ紊亂ヲ心配致シマシテ嚴重ナル監督ヲシテ居ルコトハ諸君御承知ノコトデアル、公債ヲ起スコトモ出來ナイ、何ヲスルコトモ出來ナイト云フノデ非常ニ嚴重ナ訓令ヲ與ヘ監督ヲシテ、地方自治團體ノ財政ノ鞏固及ビ發達ヲ圖ルコトヲ心配シテ居ル、大藏大臣、內務大臣皆テハ文部大臣、三名ノ連名ヲ以テ訓令ヲシタコトハ昭トシテ明カニナッテ居リマス、一方ニハ地方財政ノ鞏固ヲ圖ッテ居ルニ拘ラズ、司法省ハ物ヲブラ下ゲテサア金ヲ出ス方法ヲヤッテ居ルト云フヤリ方ヲ致シマシタナラバ、苦シイガドンナニ苦シクテモ仕方ガナイカラ出サウデヤナイカト云ッテ之レヲ出シマス、長崎デモ出サウ、福岡デモ出サウ、或ハ熊本モ出サウト云フガ、何レモ苦シイ、苦シイ間ニモ拘ラズ金ノ寄附ガナケレバ——政府デハ金ヲ出サヌ、移轉スル必要ガアルガ金ガナイト云フ話バカリシテ居ルカラ、移轉ヲ希望スル方カラ、ソレデハ私ノ方カラ幾分寄附シマス、サウ云フノハ當リ前、所ガ一方ノ方デハモット高イ寄附ガ出タ、ドウ云フモノダラウ、ソレデハ仕方ガナイ、私ノ方デハヨリ以上出シマスト云フ有樣デ此福岡ノ寄附ガ成立ッタ、是レガ福岡ニナッタ經過、是レハ嘘モ僞リモナイ、私ガ現ニ此ノ夏カラ長崎市ノ委員トナッテ直接司法當局者ニモ面會シ、或ハ福岡ノ當局者ニモ面會シ、其他有志知己ノ間ニイロ〳〵奔走致シマシテ得タトコロノ一ノ事實デアル、斯ノ如キ狀態ヲ以テ控訴院ヲ作ルニ金ノ寄附ヲシテモ差支ナイト云フ望月君ノ御議論ノ如キハ、恐ラク望月君ハ此事實ノ徑路ヲ知ラナイノデアラウト思フ、願クバ諸君控訴院ハ今潰レル譯デハナイ、長崎控訴院ハマダ五年十年ハ保チマス、一方ハ國家ノ經濟財政ハ非常ナ困難ナ場合デアル、又地方自治體ハ將ニ亂レントシテ非常ニ苦ンデ居ル場合ニ於キマシテ、之レヲ今是非造ッテ移轉シナケレバ來年ハ危ナイカラヤル

ト云フヤウナコトヲスル必要ハナイノデアル、根本正確ノ事實ニ基イタ事ナラ格別デアリマスガ、司法當局者ノ辯解ハ事實ト大ニ齟齬シテ居ルト云フコトヲ此壇上ニ於テ斷言シテ憚カラヌ、ドウゾ委員長報告通リ多數諸君ノ御贊成ヲ得テ、此移轉問題ヲ否決サレムコトヲ希望致シマス

森田茂君ノ演說

私ハ委員長ノ報告ニ反對スル意見ヲ持ッテ居リマスノデ、少數意見ト致シマシテハ既ニ望月君ヨリ詳細ナル演說ガアリシタ故ニ、敢テ多クヲ申上ゲル必要ハナイノデアリマス、唯二三私ノ氣付イテ居リマス點ヲ申上ゲマシテ、自分ノ意見ノアルトコロヲ明カニ致シテ見タイ、斯ウ云フ考デアリマス、昨日ノ委員會ニ於テハ御承知ノ如ク八ニ對スル七ノ少數ヲ以テ原案ガ敗レタノデアリマス、併ナガラ私共ハ此少數ノ方ニナッテ居リマスルト雖モ、事實ニ於テ考ヘテ居リマス、ソレハドウ云フ譯デアルカト申シマスレバ、昨日ノ委員會ノ內容ナルモノハ、唯今御演說ニナリマシタ本田君又橫山寅一郎君、此ノ方ハ長崎ノ方ニ之レヲヤハリ置クガ然ルベキモノデアルト云フ理由ニ依テ、原案ニ反對サレタ方デアリマス、又原田君ト尾越君トハ之レヲ熊本ノ方ヘ移轉ナサルノガ至當デアル、斯ウ云フ理由ニ依テ反對サレタコトニナリマス、豐增君ハ又佐賀ニ之ヲ置クノガ至當デアル斯ウ云フ理由ニ依リマシテ、結局原案ニ反對ヲサレタ、斯ウ云フコトニナリマス、其他ニ於キマシテ江間俊一君ト小河源一君、橫山金太郎君、此三名ハ明カニ其理由ハ申上ゲマセヌガ、兎モ角原案ニ反對サレマシタ、所デ初メニ申上ゲマシタ本田橫山、原田、尾越、豐增、此五君ハ全ク位置ノ爭ノ上カラ致シテ原案ニ反對スルト云フ原案ニ贊成ヲ致シタ者ハ何人デアルカト申シマスルト、望月長夫君、石田平吉君、安部能之輔君、奧村七郎君、西田庄助君、金子元三郎君、サウシテ私ト七名デアリマス、此意味カラ申シマスト福岡ノ方ニ移轉スルト云フ事柄ハ私ハ確信ヲシテ居ルノデアリマス、ソレデ此福岡ニ移轉スルト云フ原案ハ少數デアリマシテモ、實質ニ於キマシテハ多數デアルト云フコトデ、私ハ此場合申上ゲテ敢テ當ラヌコトデナイト云フ事柄ヲ申上グルノデアリマス、偖九州ニ於キマスルトコロノ繁華ノ土地或ハ長崎ト云ヒ、若クハ佐賀ト云ヒ、熊本ト云ヒ、福岡ト云ヒ、將來ニ於キマシテ果シテ九州ノ商業上及工業上、又學問上ノ中心地點ナルモノガ何處ニアルト云フコトヲ申上ゲマシタナラバ、餘リ多クヲ申上ゲル必要ハナクシテ、福岡デアルト云フコトハ是ハ私共ガ局外カラ見マシテ爭フベカラザル事實デアルト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、此移轉致シマスル理由ノ上カラ申シマスルト云フモノヲ比較致シマスガ、是モ亦一面ノ觀察ト致シマシテハ辯護士數ヲ數ヘナケレバナラヌノモ、是モ必要ナ問題ニナッテ居ルノデアリマス、所ガ現在ニ於キマシテ是等ノ諸縣ニ於テドウ云フ辯護士ノ配置ニナッテ居ルカト申シマスルト云フト、長崎ニ於テ四十三名、熊本ガ三十一名、福岡ハドウデアルカト申シマスルト、現在ニ於テ尙且是デ六十九名ノ多數ヲ有ッテ居ルノデアリマス、之レヲ控訴院所在地ノ辯護士ノ數ニ比較致シマスレバ廣島ガ三十五名、仙臺ガ四十五名、名古屋ガ六十九名、現在名古屋控訴院所在地ノ辯護士數ト福岡ノ辯護士數ト伯仲ノ間ニアルト云フ事柄ハ實際ノ事實デアリマス、左スレバ將來福岡ニ控訴院ガ移轉致シタ上ニ於テ、更ニ辯護士ノ數ガ增シテ、少ナクモ百四五十名ノ辯護士ガ福岡控訴院ノ所在地ニ於テ事務ヲ執ルコトハ、是ハ實際ニ現ハレテ來ル問題デアルト云フコトヲ考ヘマス、控訴院ニ於テノ事件數或ハ其他ノ事柄ヲ調ベル一面ニ於テ、私ノ唯今申シマシタ如ク辯護士數ナルモノヲ考ヘマシテ、如何ニ控訴院所在地トシテ適當ナル場所デアルト云フ事柄ガ、是ニ依ッテ判斷シ得ラルヽコトデアラウト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ又將來ニ於テ福岡ニ工科大學ガ設置サレルト云フ事柄ハ、是ハ見落スベカラザル必要ナル問題デアリマス、工科大學ガ設置サレルト云フコトニナリマシタナラバ、大學ハ控訴院ニ於キマシテ實地問題ヲ研究スルト云フ便利モアリ、又控訴院ハ大學ニ付キマシテ學理問題ヲ研究スルト云フ事柄ハ、是ハ洵ニ必要ナル問題デアリマシテ、兩々相待ッテ大學ト控訴院ト云フ事柄ヲ考ヘテ見マシタナラバ、將來ノ福岡ノ土地ナルモノガ如何ニ控訴院所在地ト致シマシテ必要ナモノデアルカト云フコトハ、私ハ洵ニ明瞭ナコトダト考ヘマス、其上ニ付キマシテ、實際ノ事實ト致シマシテ、ドウシテモ便宜ノ土地若クハ將來子弟ヲ敎育スルト云フ上ニ於テ、餘程其點ヲ考ヘナイト云フト良判檢事ヲ得ルコトガ實際ニ於テムヅカシイノデアル、此意味カラ申シマスレバ私共ノ見ル所ニ依リマスレバ、ヤハリ福岡ノ將來ナルモノハ良判檢事ヲ得ル上ニ於テ洵ニ適當デアルト云

フコトモ私ハ考ヘテ居ル、ソレカラ又一般ノ上カラ申シマシテ總テ裁判所ノ改築ナル事柄ハ、一般ノ輿論デアッテ、唯司法省ガ經費ノ都合ニ依リマシテ現在ヤリタイ所ガアリマシテモ、之ヲ仕遂ゲルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ實際ノ場合ニナッテ居ルノデアリマスガ、私其又他ノ地方ニ居リマスモノヽ關係カラ申シマシテモ、早ク長崎控訴院ノ問題ヲ解決シテ、順次是ガ他ニ及ンデ貰フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、長崎ガ迫ッテ居リマスカラ他ニ及ボス、斯ウ云フ實際不都合ナ事實ガアル、是ガ唯今本田君ノ御意見ヲ聞キマスト云フト未ダ急ガナイ、未ダ二三年ハ構ハナイ、斯ウ云フ御議論ガアル、是ハドウモ本田君ノ御意見ト致シマシテハ御尤デアッテ、私共御同情ニ堪ヘナイケレドモ、本田君ニ長崎控訴院移轉ト云フ問題ヲ拔キニ致シマシテ、長崎控訴院ノ改築ナルコトガ是ガ必要デアルカ否ヤト云フ事柄ヲ御考ヲ願ヒマシタナラバ、是ハドウモ私ハ本田君ト雖モ此問題ハ一日モ猶豫スルコトガ出來ナイ問題デアルト云フ事柄ヲ仰シャルニ違ヒナイト考ヘマス、デ獨リ是ハ本田君ハ改築ト云フ事柄ニ伴ッテ移轉ト云フ事柄ガアリマス故ニ、腹ガ減ッテ物ハ食ヒタイケレドモ、是ニハ毒ガアルカト云フ考カラ、腹ガ減ッテ居テモ空腹デナイト仰シャルト同一ノ御議論デナイカト私ハ考ヘル、ドウモ私ハ先日以來委員長ノ所謂報告通リ、原案ヲ否決致シマスルトコロノ說ニ付キマシテ、是等ノ諸君ノ御說ヲ拜聽致シマルノニ、是ハ望月君ノ所謂少數意見トシテ報告セラレタルモノニ比シテ、決シテソレニ優ッタル理由ハナイ、移轉ヲ拒ムト云フ事柄ノ全ク理由ノナイト云フ事柄ヲ信ジマス、故ニ私ハ委員長ノ意見ニ反對ノ意見ヲ此壇上ニ於テ述ベル次第デアリマス

川原茂輔君ノ演說

諸君、唯今問題トナッテ居リマスル卽チ第一條ノ削除、長崎控訴院ヲ福岡市ニ移轉セシムルト云フコトニ付キマシテハ、私ハ委員長ノ報告卽チ動カサナイト云フノニ贊成ヲスルノデアリマス、段々諸君ノ御議論ヲ承リマシタガ、此九州ノ地理ニ付テ餘程御間違ニナッテ居ルトコロガアリハセヌカト思フノデアル、デ私ハ九州人トシテ此長崎ガチヨット承ハリマスト大變ナ不便ナヤウナ御話ガアリマスガ、事實ニ於テ然ラズト云フ此處デ證據ヲ提供シテ、諸君ニ御參考ニ供セント思フノデアル、先ヅ鐵道ニ依ッテ計算ヲシマスレバ、門司カラ長崎ニ引張リマスト百六十五哩其中間ハ佐賀デアリマス、ソレカラ鹿

兒島カラ門司ニ達スルノ鐵道ガ二百三十八哩ノ中央ヲ取ッテ見レバ、熊本デアリマス、ソコデ鹿兒島カラ福岡ニ移シタトシテ、福岡迄參ル所ノ時間ハ何時間掛ルカト云ヘバ九時間掛ルノデアル、例ヘバ朝八時ニ出マシタ所ガ九時間掛リマスカラ、其日ニ訟廷ノ辯論ハ出來ヌノデアル、卽チ一晩泊ラナケレバナラス、長崎ニ往ケバドウデアルカ、鹿兒島カラ福岡ニ往クノト長崎ニ往クノト比較シマスト僅ニ二時三十分間程長崎ノ方ガ遠イノデアリマス、是ハ鐵道ノ時間表ニ依ッテ計算シタノデアルカラ少シモ間違ガナイ、又鹿兒島若クハ宮崎ノ方ヨリ長崎ノ方ニ向ッテモ、チヨット近路ヲ取レバ肥後ノ三角ニ往テ三角カラ島原ニ船デ渡リ、島原カラ島諫鐵道ト云フ諫早ニ往ク鐵道ガゴザイマス、ソレニ乘レバ二時間、ソレカラ諫早カラ長崎マデ約一時間之ヲ總計スレバ卽チ鐵道デグルリト廻ルヨリモ尙早イ時間デ來ルノデアル、チヨット聽ケバ長崎ハ非常ニ片一方ノ端デアルカラ大變不便ノヤウニ仰シャルケレドモ、事實ハサウデナイ鐵道デ廻ルモ船デ廻ルモ卽チ斯ノ如キモノデアッテ、長崎ハ非常ナ不便ト云フ御議論ハ乃チ之ニ依ッテ打消スコトガ出來ルト思フ、又此控訴院ノ問題ニ付テハ二十年以前デアリマシタカト記憶シマスルガ、控訴院ヲ移シテ貰ヒタイト云フコトガ九州ニ於テ段々唱ヘラレタコトガアル、ソレハ熊本ガ初メテ聲ヲ發シタノデアル、其次ガ佐賀デアリマス、福岡ニ控訴院ヲ移シテ貰ヒタイト云フコトハ一番最後ノ希望デアッタカト私ハ記憶スルノデアル、地理ノ上カラ論ズレバ斯ノ如キモノデアリマシテ、長崎ノ控訴院ニ往クニ付テハ大變ナ、不便ト云フコトハ餘リ不便デナイ便利トハ云ヘマセヌガ餘リ不便デナイト云フコトハ御諒承ヲ願フノデアル、ソレカラ今ドナタデアリマシタカ此辯護士ノ數ニ付テ福岡ノ方ガ大變多イ、長崎ハ少イト云フ御議論ガアッタト記憶シマスルガ私ノ調ベル所ニ於テハ長崎ニ辯護士ガ四十三人、福岡ハ三十七人是ハ福岡ト云ヘバ小倉ヲ御掛ケナサルカラ大變數ガ多クアリマスガ、長崎モ他ノ方ニ散在ヲシテ居ル辯護士ヲ集メテ來タラマダ多イカモ知レナイ、斯ウ云フ統計デチヤント證據ガアリマスカラ、如何トモスルコトハ出來ヌノデアル、ソレカラ今ドナタデアリマシタカ福岡ニハ大學ガアル、控訴院判事ハ學術ニ依テ研究シナケレバナラヌト云フ御議論ガアリマシタガ、福岡ニハ法律大學ハアリマセヌカラ、斯ノ如キコトハ全クノ誤解ヨリ生ジタル御議論ト思ヒガ、控訴院ニ必要ナ法科大學ハアリマセヌカラ、斯ノ如キコトハ全クノ誤解ヨリ生ジタル御議論ト思フノデアリマス、私ハ考ヘマスルニ前論者モ言ハレマシタ通リ、此役所ノ改廢ナドト云フモノハ容易

ニ是ハヤルベキモノデハナイノデアル「司法省トシテハ司法ノ當局者ハ御承知モアリマセウガ、秋田縣ノ大曲區裁判所ノ移轉ニ向ッテハ如何ナル騷動ヲ起シタノデアルカ、所謂竹槍蓆旗マデ起シタト云フヤウナコトハ御記憶デアラウト思フノデアル「司法當局者――司法部内デハアリマセヌガ「長崎縣ノ對州ニ竹敷ノ要港ト云フモノヲ海軍省ガ一時起シタコトガアル、其爲ニ是迄ハ一般僅カニ二百圓三百圓ノモノガ一坪何十圓ト云フコトニ地價ガ騰貴ヲシテ、忽チ大厦高樓ガ建築ヲサレテ非常ナ繁榮ヲ爲シマシタガ、ドウ云フモノデアッタカ此竹敷要港ヲピシット廢シタ爲ニ、非常ナ經濟上ノ大變亂ヲ起シテ、ナカ〳〵地方經濟ヲ紊亂シタト云フコトハ近イ實例デアリマシタ、同ジ海軍省デ舞鶴ノ軍港デアル、初メハ非常ナ大擴張ト云フコトデアッテ、家モ土地モ騰貴シマシタガ、年々歲々縮小ノ結果地方ノ財政ニ非常ナ攪亂ヲ與ヘタト云フコトモ亦近キ實例デアル、今委員會ニ於テ橫山金太郎君、又本會ニ於テドナタデアッタカ廣島ノ控訴院ヲ移スカ移サヌカ、將來ノ事ニ付テ非常ナ御心配ニナッタ結果ノ此發言デアリマシタガ、凡ソ斯ノ如キモノデアッテ、既設ノ役所ヲ移ス、若クハ廢スルト云フコトニ付テハ地方ニ非常ナ大關係ヲ來ス、延イテ經濟財政ノ狀態ニモ影響ガ及ブノデアリマス、長崎ニ控訴院ヲ置イタカラト云ッテ何ガ不便デアルカ、汽車ノ時間ヲ云ヘバ鹿兒島カラ鳥栖ヲ廻ッテ博多ニ往クノト、ソレカラ長崎ニ行クノト僅ニ二時且ツ早クナルト云フコトノ利便ガアル、唯氣ノ毒ナノハ大分縣、大分縣ハ是ハ併シ福岡ニ移シマシタ所ガ朝御出デナサッテ其日ニ訴廷ノ辯論ヲ濟ストデアリマスカラ先ヅ致方ガナイト御諦メニナラナケレバ仕方ガナイ、由來長崎ト云フ所ハ御承知ノ通リ「江戸長崎ト云ッテ日本ニ於テハ歷史上著明ナ處デアル、デ此日本國ノ文明若クハ技藝或ハ醫術、斯ウ云フ事ハ總テ長崎ガ發祥地ナリト言ッテモ差支ナイ、又維新ノ當時ハ如何デアルカ、現代ノ總理大臣大隈伯爵ガ八太郎時代ニハ、此長崎ニ在ッテ盛ニ此勤王論者ト氣脈ヲ通ジタ、發祥地ガ此長崎デアル、ソレガ段々此社會ノ進運ニ伴ヒ、門司ノ開港トナリ神戸ノ開港トナッテ、段々長崎ハ衰微一方ニ趨イタノデアル、ソコデ此長崎ガ一番得意トシテ居ッタノガ即チ露西亞デアリマス、長崎ノ稻佐ト云フ所ハ諸君モ御承知デアリマセウガ、日本語ハ知ラヌデモ露語ハ知ッテ居ルト云フ位デ、長崎ノ得意ハ即チ露西亞デアル、其露西亞ト日本ト戰爭ノ結果、船ガ壞ハサレル得意ハ來ナクナッタト云フコトデ、忽チ

衰微ニ陷ッタト云フコトデ、長崎ノ衰微ハ國家的ノ衰微デアル、是ハ國民トシテハ齊シク同情ヲシテヤランケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、而シテ長崎ノ港ハ御承知ノ通リ餘リ廣クハナイ、廣クハアリマセヌガ實ハ港灣ノコトデアリマスカラ、政府自ラガ此港灣事業ニ向ッテ手ヲ著ケナケレバナラヌノニ、政府ノ方ニ於テ財政ノ都合上土地ノ人ヲ段々勸誘シテ、現在ノ長崎ハ築港其他ノ費用トシテ三百三十萬圓ノ負債ヲ持ッテ居ルノデアリマス、五朱ニシテ年々十六萬何千圓ト云フ利子ヲ出シテ行カナケレバナラヌ、如何ニモ明治維新以來斯ノ如ク江戸長崎ト言ハレタ所ガ、日露戰爭ノ結果トシテ段々衰微ニ赴キ借金ハ三百萬圓アリマス、以上ハ國家トシテ長崎ニ向ッテ同情ヲスルノハ當然ナコトデアル、長崎縣ハ肥前國デアッテ、元ト佐賀ト一緒デアッテ、十六年ニ佐賀ヲ分割シタ以來面積ハ愈〻益〻狹クナッテ來タ、其時ト今日ト比シマスルト長崎ノ衰微ハ實ニドウモ同情ニ堪ヘナイ、僅ニ三菱ノ造船所ニ依ッテ長崎ハ保タレテ居ルノデアリマス、其上又控訴院ニ取ッテシマフ廣島ノ人ガ今心配セラル通リ長崎ハ今大騷ギ、何ヘ必要ガアッテ長崎ヲ廢メナケレバナラヌノデアルカ、不便々々ト云フコトハ今申上ゲル通リ餘リ不便ハナイ、而シテ福岡ハドウダ、成程高イ所ニ土ヲ持ッテ行ケバ多少益〻高クナル、福岡ハエライニ違ヒナイ、即チ一縣ニ於テ師團ガ二ツアリマス、佐賀ノ如キハ僅ニ一ツノ聯隊ナカナイ、福岡ハ師團ガ二ツアッテ大學モアリマシテ近キ將來ニ於テ二三千萬圓ノ大國費ヲ投ゼナケレバナラヌカモ知レナイ、或ハ若松ノ築港遠賀川ノ改修工事、幾多ノ國費ヲ費シタ結果ガ、即チ福岡縣ノ今日ノ發達シタ所以デアリマス、控訴院ヲ一ッ長崎ニ置イタトコロガ少シモ差支ナイ、是ガ福岡ニアラズンバ裁判上非常ナ不便ナリトスレバ忍ブコト能ハザルモ、何ト等長崎ニ控訴院ヲ置キマシタトコロガ差支ガナイト思フノデアリマス、若シ中央――中央ヲ便利ノ土地ト云フナラバ府縣ノ合併ヲナゼナサラヌカ、現在ノ縣ニ於テモ埼玉縣ノ如キハ非常ナ邊鄙デス、長崎縣亦然リ、若シ中央デアルカラ總テノ政治機關ヲ直サナケレバナラヌト云フナラバ、日本ハ多々益〻擴張シ北緯五十度南ノ臺灣マデ入レタラ中央ガ九州カモ知レナイ、然ラバ帝都ヲ九州ニ移ストカ云フ議論ヲシナケレバナラヌデアリマセヌカ、中央ダカラ之ヲ置カナケレバナラヌト云フコトハナイト私ハ思フ、長崎ノ歷史沿革、長崎ノ現狀斯ノ如シ諸君長崎ノ衰微シマシタ原因ハ日露戰爭ノ結果デアリマシテ、即チ國家的同情多大ノ同情ヲ以テ斯ノ如

キ原案ハ排斥シ、卽チ委員長報告ニ御賛成アラムコトヲ希望シマス

奥村七郎君ノ演說

私ハ議論ハ除ケマシテ、前辯者ノ事實ノ點ニ付テ間違ッテ居ル所ヲ二三訂正ヲ致シマシテ退ル考デアリマス、左樣御承知ヲ願ヒマス、長崎控訴院ノ目下ノ現狀ハ辯護士諸君モ御承知ノ如ク、斯ノ如ク大キナ公判廷ノ間ニ鐵ノ棒ガ釣ッテ天井ヲ支ヘテ居ル、是ハ御異存ゴザイマスマイト思ヒマス、ソレカラ建物ノ中ニ白蟻ガ食ヒマシテ大騷ギヲヤッタコトモ事實デアル、本田君モ又委員會デハ此事實ヲ認メテ居ルノデアル、ソレカラ政府デ——司法省デ三十七年以來大小修繕ヲ數回ヤッタコトモ事實デゴザイマス、斯ウ云フ建物デゴザイマス、是ハ辯護士以外ノ諸君ハ餘リ御承知デアルマイト思ヒマスカラ此點ヲ紹介致シマス、ソレカラ地理ノ點ニ付テ長崎市ノ點ヲ一言辯ジマスルガ長崎ノ土地タルヤ九州ノ一角カラ東北ノ方ニ突出致シテ居ルトコロノ半島デアリマス、半島デアリマスルガタメニ今日ノ鐵道ハ福岡市附近カラ長崎ニ向ッテ一線ガ出來テ居ル、一面デハ熊本鹿兒島、斯ウ云フコトニ線ガ岐レテ居ルコトニナッテ居リマスコトハ御承知ノ通リ、ソコデ此門司カラ博多熊本鹿兒島ノ線ガ今日本線ニナッテ居ルノデモゴザイマスマイ、辯護士諸君モ本線タルトコロノ福岡市カラ僅カ四十分デ行ケルトコロノ島栖ト云フ處デ乘換テ長崎ニ行カレルノデゴザイマシテ、支線デアリマスレバ汽車ノ度數時間ハ如何デゴザイマス、是ダケノコトヲ私ハ陸ノ上ニ於テ辯ジマス、ソレカラ海ノ上ノ關係ニ於テハ是モ私ガ辯ズルマデモナイ、ソレカラ委員會デカラニ司法當局カラ事件ノ件數人口、ソレカラ諸般ノ關係ガ長崎ト熊本ト福岡ト三縣ノ對照ガシテアリマス、之ニ依リマスレバ少數委員者ノ報告ノ通リ福岡縣ガ失禮ナガラ他ノ二縣ニ超越致シテ居ル、超越致シテ居ル事實ハ爭ヘナイト考ヘマス、然ラバ九州內ニ於テモ多數ノ事件ヲ有スル福岡縣ノ縣民ハ、控訴ヲ致シマスルタメニ無用ノ費用ヲ使ヒ、權利ノ擁護ハ如何デゴザイマスカ控訴院ニハ遠イガタメニ事件ガ減ッテ居ルト云フコトハ司法當局ノ辯明ノアリマシタノハ尤ノコトデアル、今日ノ長崎ノ控訴件數ト福岡ノ地方裁判所ヲ比較スレバ、福岡地方裁判所ガ無論多イケレド

モ事件ノ澤山アリマス、福岡市ニ置キマシタナラバ、ヨリ以上又事件ガ殖エルコトハ當然デアル、此點カラ言ヒマスレバ福岡縣ノ人民ハ權利ノ伸張ヲ侵サレテ居ルト考ヘマス、是ハ尤ノコトヽ考ヘマスソレカラ尙一言熊本ノ關係ヲ述ベマスルガ、是ハ地理ノ上ニ於テハ熊本ガ幾分福岡ヨリカモ宜シイト云フコトハ是ハ私モ爭ヒマセヌ、爭ヒマセヌガ第一ニ犯罪數ノ關係交通ノ關係ニ於テハ、是ハ熊本ヨリカモ福岡縣ノ方ガ宜イト云フコトハ皆サン御承知デアラウト考ヘマス、ソレカラ尙ホシマイニ私ハ是デ事實ノ關係ハ終リマスガ、一言私ハ此控訴院ノ移轉問題ハ今日ニ始ッタ問題デナイコトハ、此控訴院ノ移轉問題ハ、建物ノ改築毎ニ起ッテ居ル問題デアリマス、是ハ十數年以前カラ三回モ四回モ長崎控訴院ノ移轉問題ハ、建物ノ改築毎ニ起ッテ居ル問題デアリマス、而シテ本田君ノ言ハレマスル如ク司法當局ガ果シテ面白カラザル寄附金ニ依ッテ之ヲ纏メタリトスルナラバ、サウ云フヤウナコトガ果シテ有ルト致シマスルナラバ、此長崎控訴院ナルモノヽ移轉ガ確然ト極マリマセナイ限リハ、今後幾回トナク此問題ガ繰返サレルノデアリマセウカラ、私ハ何レナリトモ此際ニ決定スルノガ當然デアル、此ニ至ッテ見マスレバ委員會デ森田君ガ言ハレマスル如ク、此本案ニ對スル反對ノ理由ハ、佐賀ヲ以テ適當ト致シマスルシ、長崎ハ無論熊本ハ熊本ト主張致シテ居ル、ソレナラバ熊本ノ人モナゼ熊本ガ適當デアルト云フコトヲ原案ニ向ッテ修正ヲ出シマセヌカ、佐賀ハナゼ修正ヲ出シマセヌカ、而シテ佐賀ト長崎ト熊本ト、福岡ト之ヲ竝ベテ見タナラバ、最後ノ解決ガ出來ルデハアリマセヌカ、而シテ結論ニ於テハ——結論ニ於テハ原案不贊成ト仰シャルナラバ、此問題ハ相寄ッテ政府案ガ倒レルデアリマセウ、而シテカラニ他日熊本ノ案ガ出マシタナラバ、今度ハ長崎ト福岡ト佐賀ガ相組ンデ同樣ナコトヲスル、何時此問題ノ解決ガ出來マスカ、ドウカ此點ハ諸君御考慮ヲ願ッテ正當ノ御判斷ヲ請ヒタイト思ヒマス、隨テ私ハ委員長說ニ反對致シマス

次テ質疑、應答ノ後豐島司法省法務局長ハ原案維持ノ演說ヲ爲ス左ノ如シ

特別委員會ノ御決議中、長崎控訴院移轉ノ條ヲ削除ニナルト云フ點ニ付テ政府ノ原案ノ通リ——提出ノ通リニ御協贊ヲ願ヒタイタメニ一言致シテ置キタイト思マヒス、此問題ハ司法省ニ於キマシテ

十數年前ヨリゴザイマスル問題デ、唯今ノ内閣ノ下ニ於テ生ジタ問題デハゴザイマセヌ、隨ヒマシテ大臣ヨリ此事ヲ御願ヒスルト云フノデナク、古ク司法省ニ居リマスル私ヨリ御願ヒヲ致シタノデゴザイマス、此問題ハ卽ニ屢〻研究サレテ居リマス所デ、寄附ノ問題ニ付テモ前カラ話ガアッタノデゴザイマシテ、福岡ガ寄附ノコトヲ申出タト云フノハ熊本ノ方デ先ニ寄附ヲ申出マシタ爲ニ、其競爭ト云フモノヲスルニ付テドウシテモ寄附ヲシナケレバ福岡ノ移轉ガ貫徹シナイト云フノデ申出テ來タノデゴザイマシテ、其事ハ福岡縣知事ノ報告ニ於テモ現ハレテ居リマス、決シテ司法省ノ方デ寄附ヲ強イタト云フコトハゴザイマセヌ、サウシテ今日ニ至ッテ此問題ヲ解決シヤウト云フノハ、既ニ九州全體ガ長崎ハ一方ニ偏シテ居ッテ到底移轉ヲ免レヌノデアル、何處カニ移サナケレバナラヌト云フ意向ニナッテ來テ居ルノデゴザイマス、サウシテ政府ハ何レニ移スカト云フ點ニ付キマシテハ、福岡ヲ以テ至當ナ地位ト認メタノデゴザイマス、又長崎ノ建物ニ付テモ此建物其レ自身ニ於テ蟻ニ侵サレテ、全部ガ侵害サレテ空虛ニナッテ居ルト云フコトヲ認メラルルノデ、別ニ書面上ノ報告ハ要ラナイ、建物其モノ事實ガ證明シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ技師ノ調査ノ結果ニ依ッテ相當ノ報告ヲ受ケテ、ソレデ事ヲ決シタ譯デアル、尙ホ御疑ガアルカラ委員會ニ於キマシテ技師ノ出席ヲスル樣ニシテ說明サセタイ希望ヲ述ベテ置キマシタ所ガ之ヲ容レラレヌナカッタノハ甚ダ遺憾ニ存ジルトコロデゴザイマス、尙附加ヘテ申上ゲテ置キタイノハ廣島控訴院ノ移轉ナドト云フコトニ付テハ、少シモ今日考ヘテ居リマセヌ、此段ハドウカ御心配ナク政府ノ提出案通リニ御協贊ヲ願ヒタイ次第デゴザイマス

討論終局シ表決ニ及ヒ無名投票ヲ行ヒタルニ百三十七名ニ對スル百六十四名ノ多數ヲ以テ兩案ニ對シ孰レモ委員長ノ報告（修正）ヲ採用スルニ決シ引續キ第三讀會ヲ開キ第二讀會決議ノ通修正議決ヲ爲シ之ヲ確定セリ次テ（六）案ニ對シ前兩案議決ノ結果院議委員長ノ報告ヲ採用シ第二讀會ヲ開クヘカラストノ決シタリ

卽日（四）及（五）兩案ヲ貴族院ニ送付シ（六）案ニ付テハ否決ノ旨同院ニ通知ス貴族院ハ五年二月一日兩案ヲ可決奏上シ三月七日法律第十一號及第十二號ヲ以テ公布セラル

七　帝國大學特別會計法中改正法律案

帝國大學特別會計法中左ノ通改正ス

第二條中「百三十三萬圓」ヲ「百三十六萬圓」ニ改ム

附　則

本法ハ大正五年度ヨリ之ヲ施行ス

四年十二月十日本院ニ之ヲ提出ス同月十六日（十四日延會）本案ノ第一讀會ヲ開キ高田文部大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今カラ帝國大學特別會計法中改正法律案ノ說明ヲ致シマス、此案ハ東京帝國大學ニ對スル政府ノ支出金百三十三萬圓ヲ三萬圓增加シテ百三十六萬圓トシタイト云フ譯デアリマス、其理由ハ明年度カラ傳染病研究所ノ事業ヲ東京帝國大學特別會計ノ經營ニ移ス爲ニ、收入ノ不足補充トシテ支出金三萬圓ヲ增加スル必要ガアル爲デアリマス、傳染病研究所ハ之ヲ東京帝國大學ノ附屬ト致シマシテ、醫科大學ト互ニ相援ケテ其事業ノ發達ヲ圖ラウト云フ計畫デアリマスガ、丁度昨年ノ議會ニ豫算ヲ提出シマシタガ、議會解散ノ爲ニ豫算ガ不成立ニナリマシタカラ、今日ニ至リマシタガ、元來此ノ傳染病研究所ハ血清ノ賣下金ノ收入ガアリマシテ、當初ノ趣旨ヲ貫徹シタイト云フ考デアリマシタガ、議會解散ノ爲ニ豫算ガ不成立ニナリマシタノデアリマスガ、ソレデアリマスル實行シテ、是デ以テ大體經常支出ヲ今日マデ支辯シ來タッタノデアリマスカラ之ヲ帝國大學ニ移スト云フコトニナリマシテモ、支出金ノ——餘程支出金ノ增加ト云フコトヲ

別段ニ要サヌ筈デアルノデアリマス、然ルニ血清ノ中デ、殊ニ「ヂフテリヤ」ノ血清ト云フガ如キモノハ、大分多量ノ免疫單位ヲ注射シナケレバナラヌト云フコトガ近來ノ臨床上ノ實驗ニ徵シテ必要ト云フコトニナッテ參リマシタ、場合ニ依リマスト一萬單位位ヲ要スルト云フコトデアリマス、ソコデ今日ノ如キ價デアリマスルト云フト、非常ニ高イモノニナリマシテ、場合ニ依ルト一回十圓ト云フヤウナコトニナリマスノデ、國民ノ衞生上遺憾少ナカラザル點ガアルノデアリマス、ソコデ今年九月カラ血清類ノ値下ゲ、殊ニ「ヂフテリヤ」ノ血清ヲ値下ゲヲ致シマシタ、其結果トシテ丁度八萬圓バカリ收入ガ減少スル譯デアリマスルガ、併ナガラ傳染病研究所ノ整理ヲ行ヒマシテ、成ルベク節約ヲ施シマシテ、都合三萬圓バカリ收入不足ト云フコトニナルノデアリマス、此收入不足ガアリマスルカラ、之ヲ支出ヲ願イタイト云フノガ本案ノ趣旨デ、卽チ政府支出金ノ百三十三萬圓トアルノヲ三萬圓增加シテ、百三十六萬圓トシタイ、是ガ本案ノ趣意デアリマス、ドウゾ御審議ノ上協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望シマス

質疑、應答ノ後委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌十七日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十一日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

帝國大學特別會計法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、此委員會ハ十七日ニ委員長理事ノ選擧ヲ行ヒマシテ、不肖委員長ニ金澤仁作君ガ理事ニ當選ニナリマシタ、ソレカラ二十一日ノ午前十時ヨリ委員會ヲ開キマシテ引續イテ午後モ開會シマシタ、此當日一日ニ委員會ヲ終了致シタ譯デアリマス、委員會ニ於テ質問ヲナサレタル方ハ殆ド杉山君御一人ト言ッテモ可ナルコトデアリマシテ、本問題ハ曩キノ本會議ニ於キマシテモ同君ヨリ詳細ナル御質問政府當局者ノ答辯等モアリマシテ、略ゞ其要領ガ盡キテ居リマシタガ、尙委員會ニ於テ詳細ナ質問及政府ノ答辯ガアッタ次第デアリマス、所デ此問題ハ一面カラ見マスルト此傳染病研究所ノ移管ニ關係ヲ致スモノノ如クニモ見エルデアリマス、ケレドモ其內容ハサウデハナイノデアリマシテ、要スルニ此「ヂフテリヤ」血清ノ政府ガ値下ヲスルト云フコトガ此經費ノ上ニ於テ二萬圓足ラナイ結果ヲ見ルコトニナリマシテ此政府支出金卽チ傳染病研究所ガ內務省ヨリ文部省ニ移サレ、文部省ニ於テハ之ヲ大學ノ中ニ收メマシタガ故ニ、此東京帝國大學ニ向ッテ政府ノ支出金三萬圓ヲ增加スル、斯ウ云フコトニ案ハ歸著致シテ居ルノデアリマス、サウシテ反對ノ御意見モ出マシタ、次第デアリマシタ、反對ノ贊成者ハ意見ヲ提出サレタ人外一名デアリマシテ、當日ノ委員ハ七名ノ出席デ反對ノ御意見ハ三分ノ一ノ數ニ充チマセナンダガ故ニ、少數意見ト云フコトヲ御持チ出シニナル便宜ヲ失ハレタ次第デアリス、ソレ故ニ私ノ聽取リマシタ反對御意見ノ主要ナル點ダケヲ此處デ御紹介ヲシマスルナラバ、先ヅ第一ニ於テ反對御意見ハ內務省ヨリ文部省ニ所管ヲ移シタト云フ此移管ノ問題ハ寔ニ無意義デアル、ソレカラモウ一ツニハ政府當局者ハ學制統一ノ趣意デアル、斯ウ言ハレルケレドモ此血清ヲ拵ヘルト云フガ如キコトハ、一面カラ見レバ殆ド藥劑ノ製造ニモ近イ性質ノモノデアル、之ヲ學問研究ノ大學ニ入レタト云フコトハ商賣ト學問ノ研究トヲ混同スル嫌ガアル、斯ウ云フヤウナ御意見ガアリマシタ、モウ一ツハ政府ノ此血清ノ價ヲ安クスルト云フノハ、一面ニ於テ今回ノ此研究所ニ於テ造ルトコロノ血清ガ——品物ガ惡イガ故ニ其賣先キガ狹カラウ、所謂賣レナカラウト云フコトヲ按ジテ値下ヲスル嫌ガアル、斯ウ云フヤウナ御意見ガアリマシタ、今一ツハ公衆衞生上ノ關係ノ問題デアリマス、是ハ傳染病研究所ガ衞生事業ト直接間接ノ關係ヲ有ッテ居ルト云フコトハ無論ノコトデアリマスガ、此衞生ノコトヲ掌リマストコロハ內務省デアル、之マデハ內務省ノ方ニ此研究所ガ所屬サレテ居ッタデアルカラ、甚ダ便宜デ且又研究所ノ衞生事業ニ向ッテ貢獻スル所モ尠ナカラナンダ事實デアルノデアル、然ルヲ之ヲ文部省ノ方ニ移シ、而モ其文部省ノ中デモ更ニ大學ノ中ヘ之ヲ入レタト云フコトニナッタ結果ハ、內務省トノ距離ガ甚ダ遠クナッタデアラウ是ガ此衞生事業ノ上ニ於テ不便ガアルデアラウト云フヤウナ御意見ノヤウニ伺ハレタノデゴザイマス、所デ——大層聲ガカスレマシテ御聽取リ惡イカ知リマセヌガ——ソコデ此政府案ニ同意ヲ致シマシタトコロノ意見ハ、要スルニ此反對ノ御意見トシテ所謂杉山君カラ御出シニナッタトコロノ御意見ハ、大イニ吾ゝガ傾聽スベキ價値ハ無論アルノデアル、併ナガラ本問題ハ既ニ是ハ「ヂフテリヤ」血清ノ値下ノ問題ニ係ッテ居ルノデアッテ、前々議會ニ於テ隨分ヤカマシク此議場

ニ於テ花ノ唉タトコロノ移管問題トハ、甚ダ關係ガ遠イノデアル、此移管問題ハ御承知ノ如ク政府ノ行政處分ニ依ッテ既ニ是ハ決定サレタ問題デアッテ、ソコデ一歩ヲ讓ッテ此反對ノ御議論ノ御方ノ言ハレル如ク、此所管ヲ働カシタノヲモトヘ〳〵ニスルコトノ出來ル……私ノハ政府案ニ贊成シマシタトコロノ意見ヲ御紹介致シテ居ルノデアル、攻撃デナイノデス所ガ此所管ヲモトヘ〳〵ニシタトコロデ、所謂問題トナッタ前ノ研究所ト、サウシテ北里博士ト云フ如キ德望ノ高イ人等ノ關係カラ因ッテ來ッタトコロノ問題ノ解決ニハナラナイノデアル、サウシテ見レバ此研究所ハ今日ノ處ニ於テハ、是ガ內務省ニ移ラウガ、文部省ニ在ラウガ、縱シ大學ニ在ラウガ、研究所ノ問題ト云フモノハ別段何等ノ意味ヲナサナイ、而シテ此研究所ノ事業中ノ最モ國民ノ多數ニ關係アルトコロノ「ヂフテリヤ」血清ノ値下ヲセラレルト云フコトハ、甚ダ此方面ノ患者ノ便宜トスルトコロデアラウ、當局ノ說明ニ依リマスト、此「ヂフテリヤ」血清ト云フモノヽ臨牀上ノ實驗ノ結果ハ、生活程度ノ高イ人ハ少ク用井テ宜シイガ、生活程度ノ低イ人ハ中ニハ一萬單位ヲモ要スルト云フトコロノ結果ヲ見タ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、サウスルト是マデノ値段ニシテ置キマスルト、一萬單位使ヘバ丁度十圓ト云フコトニナル、斯ノ如キ多額ナルモノヲ今四割減ジテ、サウシテ之ヲ安クスルト云フコトハ、政府ニ於テハ三萬圓國庫カラ金ヲ餘計出スコトニナルケレドモ、十萬ノ「ヂフテリヤ」患者ニ向ッテ便益ヲ與ヘルト云フ大イナル效果ヲ及ボストコロノモノデアル、デアルカラ此政府案ニ對シテ贊成ヲスル、斯ウ云フ意味ニ歸著スルノデアル、右ノ結果ニ依リマシテ二名ニ對スル四名ヲ以テ、政府案ニ同意ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

次テ討論ニ入リ杉山四五郎君ハ本案ニ反對、鈴木萬次郎君ハ贊成ノ演說ヲ爲セリ

杉山四五郎君ノ演說

諸君、本員ハ本案ニ對シ絕對的反對ノ意見ヲ表明スルモノデアリマス、此法律案ノ要旨ハ申上ゲルマデモナク、傳染病研究所ヲ東京帝國大學ノ所屬ニ移シマシテ、而シテ一方ニ於テハ「ヂフテリヤ」ノ血清收入ニ減少ガアリマスカラ、同大學ノ特別會計ノ經理上、政府支出金ヲ二萬圓增スト云フ案デアリマスルガ、其血清ノ減收ヲ來ス所以ハ、本會議ニ於テ先日高田文部大臣ノ言明ノ通リ「ヂフテリヤ」血清ノ所謂臨牀上ノ使用量ガ多量ニナッテ居ル故ニ、此多量ニ亙ルトコロノ血清ヲ使ヘバ勢ヒ貧民ニ向ッテモ一種ノ苦痛ヲ與フルガ故ニ、政府ハ去ル九月ヲ以テ同血清ノ價格ノ値下ヲ決行シタ、卽チ臨牀上「ヂフテリア」ノ血清ヲ多量ニ用ユルニ至ッタト云フコトヲ說明シテ居ラルヽノデアル、又大津參政官ハ本議會ノ——本會議ノ議場ニ於テ本員ノ質問ニ對シ、又二十一日ノ委員會ノ席上ニ於テ、同參政官竝ニ松浦政府委員ノ答辯ニ依リマシテ、高田文部大臣ノ說明ノ足ラザルトコロヲ補足スルト云フ意味ニ於テ、モトハサウハ要ラナカッタノデアルガ、臨牀上ノ實驗ニ依ッテ一萬單位ノ「ヂフテリヤ」血清ヲ要スルニ至ッタト云フ、假ニ一千單位ヲ一圓ト見レバ十圓ト云フヤウナ大變高イトコロノモノヲ要スルカラ、ソコデ四割減收スル、八萬圓ノ減收ヲ見ルノ結果デアルト云フコトヲ言ウテ居ラレル、諸君斯ル說明ト云フモノハ專門家以外、若クハ醫務ノ實際ニ當ッテ居ル以外ノ者ニ向ッテハ宜シイカモ知レヌガ、苟モ神聖ナル議場ニ於テ一國ノ法律案ヲ提出スル際シテ、果シテ斯ル理由ヲ以テ此提案ノ理由トスルニ足リマセウカ、實際上ノ醫務ノ事實ニ當ッテ居ルトコロノ鈴木萬次郎君ハ、既ニ委員會ノ席上ニ於テ委員ノ一人トシテ、是ハ寔ニ荒唐無稽ノ話デアル、ソンナコトガ實際ニアッタマルモノカト喝破シテ居リマシタガ、無論至當ノ言デアルト思フ、吾ミノ調ベルトコロニ依ルト、普通ノ「ヂフテリヤ」ハ先ヅ二千單位ヲ注射シマスレバ治ルノデアル、重キモノガアリマシテモ、大抵先ヅ四千單位位デ宜イノデアル、成程長イ間ノ實驗上、徐ミト臨牀上ニ用キマスル血清ノ量ハ增シテハ來テ居リマス、併ナガラ四千單位カラ直ニ一萬單位ニ上ルト云フ說明ハ、此議場ヲ何ト思ッテ居ラルヽカ、實ニ本案提出ノ理由ニナラヌ、卽チ頗ル無責任ナル何等根據ナキトコロノ理由ト信ジマス故ニ、斯ル簡單ナル而モ僞ッテ居ルトコロノ理由ヲ以テ、本案ヲ提出セラレテ居ルノデアリマスカラ、吾ミハ先ヅ其第一點ニ於テ本案ノ提出ノ理由ハ根據ヲ失ッテ居ルモノト存ジマス、次ニ政府ハ曩ニ文部省ヘ所管換ヲシマシタルコトノ理由、竝ニ今回ノ東京大學ニ移シマシタルトコロノ此理由トシテハ、所謂文敎ノ統一、學制ノ整理ト云フコトヲ以テセラルヽガ、併ナガラ諸君、凡ソ一國ノ制度ハ自カラ其由テ來ルトコロノ原因ガアルノデアル、成程文部省ノ所管デアリマスルトコロノ東京帝國大學ノ醫科大學ニ於テハ、或ハ藥物學上ヨリ、或ハ病理ヨリ、或ハ衞生生理ノ方面ヨリ、一般ノ疾病ニ關スルトコロノ病源ノ檢索、或ハ一般疾病ノ豫防治療方

法ノ攻究、或ハ一般疾病ノ豫防治療材料ノ檢査、斯ウ云フコトハ、致シテ居リマスル、卽チ其中ノ一部分トシテ成程傳染病理ノ研究モシテ居リマスルケレドモ、併ナガラ申上ゲルマデモナク此細菌學ト云フモノハ實ニ僅々數十年來ノ所謂文化ニ係リマシテ、特ニ各種ノ醫術醫學ニ關スルトコロノモノカラ分科致シマシタコトハ寔ニ日ガ淺イノデアル、然ルニモ拘ラズ、一面ニ於テハ人口ノ增加交通ノ頻繁ニ伴ヒマシテ、傳染病ノ發生ハ多岐ニ亙リマシテ、其病毒傳播ノ著シキ、或ハ多數ノ人命ヲ失ハシメ、或ハ幾千萬ノ財產ヲ蕩盡シ、實ニ社會上由々シキトコロノ問題デアリマスルガ故ニ、隨ッテ此傳染病ノ病源ノ檢索及豫防治療方法ノ研究及豫防治療ノ材料ノ檢查等ハ急務中ノ急務デアル、故ニ歐米各國ニ於テモ大學ノ外ニ、特ニ此調查研究ニ關スルトコロノ施設ガ出來テ來タノデアル、我傳染病研究所モ等シク其人文ノ進步及社會ノ必要ニ伴ウテ、三十年程以前ニ其芽ヲ出シテ、遂ニ官立ノ傳染病研究所ガ出來テ、昨年十月移管ヲ決行セラルヽマデ段々ノ發達ヲ遂ゲ來ッタノデアル、卽チ特種ノ必要ニ依ッテ此傳染病研究所ナルモノガ出來テ居ルノデアリマス、然ルニ之ヲ大學ノ醫科大學ニ附屬セシメタナラバ、何デアラウカ、文部大臣ハ互ニ相援ケテ發達ヲ計ルト云フ、斯ウ云フ御答デアリマシタガ、吾吾ハ其言ノ甚ダ失當タルヲ斷言セント欲スル者デアル、何トナレバ昨年十月此移管ヲ決行シテカラドウ云フ狀態デアルカト申シマスト、卽チ林博士、是ハ大學ノ藥物學ノ講座ヲ擔任シテ居ラレル林博士ヲ以テ、傳染病研究所ノ技師ヲ兼任セシメ、又長與博士ヲ持ッテ來テ、此人ハ現ニ病理學ノ講座ヲ擔任シテ居ル其博士ヲ持ッテ來テ、片手間ニヤハリ傳染病研究所ノ技師ヲ兼ネシメ、又曩ニハ又曩ニハ橫手博士、今ハ石原博士卽チ衞生生理ノ講座ヲ擔任セル所ノ石原博士ヲ持ッテ來テ、矢張傳染病研究所ノ兼任技師トシテ居ルノデアル、斯ノ如クシテ辛ウジテ辻褄ヲ合セテ居ル樣ナ次第デアル、一昨日鈴木萬次郎君ガ此有樣ヲ形容シテ、殆ド住職無キ伽藍堂デアルカ否ヤヲ知リマセヌケレドモ、是ハ形容的ノ所謂鈴木萬次郎君ノ評言デアリマスルガ、兎ニ角斯ノ如クシテ住職デナキ坊サンガ來タヤウナ形ニナッテ居ルノデアル、鈴木萬次郎君ノ言ハレル如ク伽藍堂ト云フコトデナイカモ知レヌケレドモ、兎ニ角專任ニアラズシテ片手間ニ講座ニ敎鞭ヲ執リツヽアル片手間ニ於テ此特殊ノ施設ニ來ッテカラニイロ〳〵重要ナル傳染病檢查器デアルカ、傳染病治療方法及傳染病治療材料ノ研究ヲスルト云フコトガ、果シテ十分ニ出來ルデアラウカ否ヤ、是ハ始ド十目ノ視ル所十指ノ指ス所常識ヲ以テ判斷致シマシテ、甚ダ行政制度ノ寧ロ混亂デアリマシテ、何等行政整理デハナイノデアル、況ヤ先程大橋委員長カラ御話ガアリマシタノデアリマスルガ、此傳染病研究所ハ單リ病理ノ研究ヤ豫備治療材料ノ檢查ヲシテ居ルノデハナイ、卽チ痘苗ヤ血淸ヤ其他細菌學的豫防治療材料ノ檢查バカリデナイノデアル、卽チ痘苗ヤ血淸ヤ其ノデアリマスルガ、此傳染病研究所ヲ大學ニ移シマスト云フト、大學ハ一面ニ於テハ文敎ノ府デアル、其文敎ノ府ト致シマシテ此血淸類ナドノ製造ヲ致シ、又販賣ヲスルト云フコトハ、卽チ文敎ノ府デアル、是ガ果シテ行政ノ整理デアリマセウカ、是ハ寧ロ行政制度ノヤハリ混亂デアル、故ニ政府者ガ此事ヲ以テ行政整理デアルト云フコトヲ言フノハ、確ニ其立論ノ根本ヲ誤ッテ居ルノデアリマス、殊ニ一言申サンケレバナラヌノハ此林長與、石原ノ如キ各博士諸君ガ、一面ニ講座ヲ持ッテ居ッテ、而シテ同時ニ於キマシテ「ラボラトリユーム」研究室ニ於テ、傳染病ノ檢查ヤ、病源ノ檢查ヤ、傳染病豫防治療方法ノ研究ヤナドヲ致シテ居ラレナガラ、又一面ニ於テ傳染病研究所ノ「ラボラトリユーム」研究室ニ於テ同ジコトヲスルト云フコトハ、同一ノ人ニ依ッテ同一ノコトヲスルト結果ニ歸スルノデアル、スルト若シ大學ニ於テ十分ヤリ得ナイカラ、此所ニ於テヤルト云フナラバマダ理由ガ立ツカ知ラヌケレドモ、事實同ジ人間ガヤルカラ如何ニ言ヲ巧ニ飾ッテモ、結局片方ハ存立ノ所以ヲ失ッテ居ルノデアル、故ニ政府者ハ寧ロ傳染病研究所ヲ廢スルト云フ方ガ宜イカモ知レナイ、故ニ此行政整理ヲ爲ス爲ニ、此移管ト云フコトヲ說明セラレテモ、吾ゝハ首肯スルコトガ出來ナイ所デアリマス、次ニ是ハ最モ重要ナル案件デアリマスルガ、本員ハ本議場ニ於テ又委員會ノ席上ニ於キマシテモ政府當局者ニ質問ヲ致シマシタ、其質問ハ元來傳染病研究所ハ傳染病ノ流行甚ダシク、地方官憲及中央ノ當局ガ活動スル場合ニ於テ、此傳染病ノ發生シテ激烈デアル、又傳播ガ猛烈デアル、而シテ或ル場合ニ於キマシテハ今マデ分ラヌヤウナ傳染病ノ發生ヲ見ル、サウ云フ時ニハ勢ヒ專門的ナル所ノ此傳染病研究所ノ所長ヲ初メ技術員ト云フモノヽ力ヲ借リマシテ、卽チ中央ニ於テハ內務大臣ガ其衞生行政ヲ遂行スル所ノ手段方法ト致シマシテ、是ガ補助機關ヲ活動セシメテ居ッタノデアル、所ガ文部省ニ移スト云フト、內務大臣ガ左右ノ手足ノ如ク之ヲ運用スルニ甚ダ不便デアル、尙一步進ンデ今度ハ之ヲ大學ノ方ノ所屬ニ移シマシタナラバ如何デアラウカ、其距離ハ頗ル遠ザ

カッテ來ルノデアル、其衞生行政ノ目的ヲ遂行スル上ニ於テ、必ズヤ隔靴搔痒ノ感ガアルデアラウト思フ、卽チ不十分ナル結果ヲ來シハシナイカト云フコトヲ氣遣ッテ質問致シマシタ、所ガ斷ジテ其憂ナシト云フコトヲ答辯セラレタノデアル、併ナガラ諸君、先程モ申シマス通リ一方ニハ大學ノ講座ヲ持ッテ居ル所ノ敎授デアル、其敎授ガ片手間ニ傳染病研究所ニ於テカラニヤッテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ若シ十分ノ活動ヲセシメント欲スルナラバ、必ズ其本務タル所ノ敎授ノ任務ニ支障ヲ來スノデアル、此支障アルニモ拘ラズ、尙且之ヲ使ハント欲シマスレバ、文部大臣ノ責任ヲ如何ニスルノデアル、內務大臣ハ大ニ衞生行政上ノ必要ニ使ハント欲シ、而シテ文部大臣ハ之ニ對シ自己監督ノ責任上、其講座ヲ漫リニ休マスコトハ出來ナイトナッタナラバ、玆ニ於テソマリ權限ノ牴觸ヲ惹起シテ、伴レテ行ク、イヤイヤラレナイト云フ間ニ於テ傳染病ハ構ハズドン〳〵流行ヲ激シクシツヽアル、斯ノ如クシテ尙且ルノデアル、卽チ衞生行政ヲ遂行スル上ニ於テ頗ル不十分デアルト考ヘマス、斯クノ如ク論ジ來リマスト云フト、政府ガ曩ニ內務省カラ致シマシテ文部省ニ移管ヲシタコトハ無論失當デアル、而モ尙其失當ニ一步ヲ進メテ東京帝國大學ノ所屬ニ移スト云フコトハ、失當ノ尙一層甚シキヲ加フル所以デアリマス、而モ其失當ナル移管ヲ無責任ニモ無定見ニモ輕々ニ實行シタ結果、「血淸收入ノ減收ハ文部大臣ノ說明ニ依リマスルト、單ニ其價格ノ引下ト云フコトヲ申シマスケレドモ、是ハ價格ノ引下ノミデナイ、價格ノ引下ノミデナイ證據ハ、二十一日ノ委員會ノ席上ニ於テ、本員ノ質問ニ對スル松浦政府委員ノ答辯ヲ聞キマスルト思半ニ過グルモノガアル、卽チ責行ノ實績ト云フモノハ過去三年ニ對比シテ段々減少ヲシテ來テ居ルノミナラズ、「ヂフテリヤ」血淸ニ於テ第二號ノ千單位ノモノガ減リマシテ、第三號ノ千五百單位ノモノガ著シク增シテ居ル、是等ハデス、ドウシテモ血淸ノ効力ノ薄弱ヲ來シテ居ルト云フコトヲ示シテ居ル、是ハ政府ガ無責任ナル移管ヲ斷行致シマシテ、サウシテ惹起シタルトコロノ血淸ノ收入減ナルモノヲ補ハンガ爲ニ、「本年三萬圓ヲ增ス案ヲ提出シテ居ルノデアルガ、此景況ヲ以テ進ミマシタナラバ、來年又何萬圓ヲ增スノデアルカ、殆ド朝令暮改ノ法律案ノ提出ヲ見ルノデアル、故ニ根本ニ於テ無責任ナル所謂無定見ナル所ノ此移管ノ結果ヨリ來シタ所ノ此本案ニ對シマシテ、吾ヽハ絕對的ニ反對ノ意見ヲ表明シ、直ニ此案ナルモノヲ否決シ去ラントスルト云フ意見ヲ提出致シマス

鈴木萬次郎君ノ演說

唯今杉山君カラ御反對ノ御意見ヲ御述ベニナリマシテ、誠ニ再三私ヲ御引合ニ御出シ下サイマシテ名譽ノ至リデアリマス、不幸ニシテ御熱心ナル御演說ニ贊成ヲ致スコトガ出來マセヌノデ、私ハ聊カ私ノ今日ノ場合之ニ贊成スルノ相當ナルコトヲ認メマス、杉山君ノ御論ジニナリマシタコトニ付テ、高田文相ガ當議場ニ於テ本案提出ノ砌「ヂフテリヤ」病ニ近頃此血淸ヲ多量ニ用キル云々ト云フコトハ、杉山君ノ御說ノ如ク何カ是ハ素人ナル高田文相ハ御承知ナイノデ、御間違ニナッタ御說明デアッタラウト思ヒマス、傳染病即チ「ヂフテリヤ」ノ病毒ガ近頃流行ル「ヂフテリヤ」ガ多量ノ血淸ヲ用キナケレバ其効ガナイト云フコトハ絕對ニアルベキモノデナイ「ヂフテリヤ」血淸ハ比較的此價ノ高イモノデアリマス、併シ段々此効用ノ著シイコトヲ知リマシテ、中以下ノ貧民ト雖モ之ニ信賴シテ用キタイト云フ傾向ガ餘程多クナッタノデ、以前ハ高イモノデアリマスカラ、此馬脾風ト稱ヘテ「ヂフテリヤ」ニ罹ッテモ貧民ハ之ヲ用キルニ由ナカッタノデアル、此頃ハ其効力ヲ知ルト同時ニ貧シイ者デゴザイマシテモ、此「ヂフテリヤ」血淸ヲ用キルト云フコトニナリマシタノデ、貧民ニモ之ヲ用キルヤウニナッタカラ、成ルベク其望ニ應ジテ「ヂフテリヤ」血淸ノ價ヲ廉クサセタイ、斯ウ云フ說明ノ御間違デアッタラウト思ヒマス、委員會ニ於テ私ガ尋ネマスルト、曩キノ說明ハ少シ違ッテ居ルト云フヤウナコトデゴザイマシタカラ、是ハ非常ニ力ヲ用キテ御攻擊デゴザイマスケレドモ、今日流行致シマスル「ヂフテリヤ」ガ多量ヲ用キンケレバ治ラヌカラト云フガ如キコトハ荒唐無稽ノ言デアリマス、是ハ杉山君ノ御意見ニ私ハ同感デアリマス、ソレナルガ故ニ是ガ何モ理由ニハナリハセヌ——反對ノ理由ニナリハセヌカラ是ハ是デ措キマス、ソレカラ今日是ヲ大學ニ移シテ大學ノ林或ハ石原其他ノ諸博士ガ之ヲヤッテ居ルニ對シテ、杉山君ハ餘程御心配ノヤウニ血淸製造ノ未熟ノヤウニ御論難デゴザイマシタガ、是ハ反對ノ側ニ立ッタ勢デ斯ノ如ク御論ジニナッタコトデアラウト思ヒマス、我帝國大學ノ「バクテリヤ」學者ガ血淸位今日拵ヘ得ヌヤウナ阿呆ナ學者ハ居ラナイ、サウ云フ未熟ナ學者ハ——帝國大學ノ名譽トシテ相當ヤハリ腕モアリ能力モ有ッテ居リマ

ス、此點ニ付テハ杉山君ナド御承知ニナッテ居ルコトデアラウト思フカラ、決シテ大學ニ移シテ大學ノ諸博士連中ガ、此血清製造ニ從事致シマシタト云フテモ、マサカ痂氣ノ藥ヲ頭痛ノ藥ニ拵ヘ間違フヤウナコトハナイ、又利クベキ或一程度ノ効力ヲ有シ得テ居ルカ、得テ居ラヌカ分ラヌヤウナ血清ヲ造ル氣遣ハナイ、日本帝國大學ニ於テ專門デ修得セラレタ名譽アル是等ノ諸博士ガ從事致シマシテモ、今日ハ立派ナ血清ヲ拵ヘル力ハ綽々トシテ餘裕ガゴザイマスカラ、此點ニ付テハ深ク御心配ガ要リマスマイト存ジマス、ソレカラ元來私ハ此傳染病研究所ヲ彼ノ名譽アル北里博士ノ手カラ之ヲ離スニ至ッタト云フコトニ付テハ、私ハ遺憾ニ存ジテ居ル、甚ダ宜シカラザルコトデアッタト、ハ杉山君ト感ヲ同ジウ致シテ居リマス、併シモト〳〵此北里博士ヲシテ傳染病研究所ヲ大學ト別ニ獨立サセタ所以ハ何處ニアル、其原因ハ何處ニアル、成ルベク學問ハ競爭的ニ攻究的ニ、互ニ甲ト云ヒ乙ト云ヒ競爭的ニヤラセルト云フコトガ學問研究學理研究ノ一ツノ要デアル、故ニ大學ノ別科ノ——大學ノ別科ニ初ハ私立デ北里博士ガ研究所ト云フモノヲ置クト云フコトニ贊成シテ尊敬スベキ故長谷川泰氏等ト吾〻トガ此研究所ヲ置イタノデアル、斯ウ云フ歷史ヲ有ッテ居ルカラ私ハ杉山君ト同感デアッタガ、今日ハ既ニ離レテ、離レルト同時ニ世ノ中ハ北里博士ノ手腕此高遠ナル學術ヲ尊崇シテ別ニ私立デモハヤ堂々タル私立研究所ガ出來タ、出來ルト同時ニ大學ノ方ニモ出來タ、大學ニ於テハ學生養成ノ上ニ於テ、敎授ノ上ニ於テ今日マデノ有樣ハ傳染病研究ニ關スル血清製造、其他病毒研究治療ニ付テノ設備十分ナラズ、其敎授ニモ多少憾ガアッタノデアル、然ルニ一方ハ大學ニ於テ之ヲ研究シ、一方ニハ北里博士ガ私立研究所ヲ置イテ之ヲ研究スル、今日マデノ偶然ノ行懸リデモアリマセウガ、例ヘバ肺結核ノ治療ニ付テモ、大學ハ「ツベルクリン」ハ利カヌ、斯ウ云フト北里博士ハ大ニ「ツベルクリン」ノ利ク材料證據ヲ擧ゲテ之ヲ論スル、大學ガ甲ト言ヘバ北里博士ガ乙ト言フ、北里博士ガ乙ト言ヘバ今度大學ニ於テハ反對ノ例ヲ持ッテ來テ甲ト言ハレテ居ル、此間ノ論難此間ノ爭ガ餘程進歩ニ進歩ヲ重ヌルト云フヤウニ、餘程學術上ノ進歩ヲナシテ居ルノデアル、此學者連ガ御殿女中ノヤウニ野卑ナ根性ヲ持ッテ居ッテ、唯分立シテ居ルカラ彼ガ是ト言フカラ我ガ非ト言フノデハナイノデ學術上ノ研究カラ兩々相對シテ大ニ進歩ヲ促シタト云フコトニナッテ居ル、然ルニ今回ハ遺憾ナガラ——偶然ニモ大學ニモ研究所ガ出來ル、北里博士モヤッテ居ル、求メズシテ兩々相對シテ禍ヲ轉ジテ一大幸福ヲ競爭學術ノ上ニ

來タスト云フ結果ニナリマスコトハ、定メテ杉山君ニ於テモ御喜ビデアラウト考ヘマス、私共北里博士ノ技術ヲ尊崇シ、私立ニヤッタ所以ヲ一歩進メテ今日ノ現況ニ相成ッタノデアルカラ、是ニ對シテ御反對ヲナサルト云フコトハドウモ意味ガ分ラヌカラ、私ハ之ヲ別ツ時ニ於テハ甚ダ愚擧デアルト思ヒマシタガ、今日ニナッテ見マスト勿怪ノ幸デ、寧ロ是ハ兩々相對シテ競爭的ニ研究ヲスルト云フ形ガ備ッタカラ、我日本帝國ノ學界ノタメニ喜ブベキ現象デアルト考ヘル、ソレカラ血清ヲ文部省ニ於テ拵ヘテ販賣ヲスルト云フコトハ、ドウモ文敎ノ府トシテ面白カラヌト云フコトデゴザイマスガ、是モ御同感——御同感ダガ物ハ比較的デアリマスカラ、成ルベク先ヅ害ヲ除カント欲スレバ大ナルモノヨリ之ヲ除カナケレバナラヌ、大學ハ御承知ノ通リ今日ハ貧民病院的ニナッテ居ラヌ、市中ニ開業シテ居ル醫者ト相竝ンデ藥賣リヲシテ居ル、此點ハドウダ、是ハ私ガ明治二十三年ニ議院ニ出タ、二三十年前ニヤカマシク言ッタガ、ヤハリヤッテ居ルデナイカ、市中ノ開業醫ト同ジク純粹ニ貧民ヲ扱ッテ居リハシナイ、御客樣同然ニ持ッテ來タモノヲ研究ノ具ニ供シテ居ル、先ヅ大學文敎ノ府ヲ文部省ニ之ヲ云々ト云フナラバ、拵ヘタ血清ヲ賣ルト云フコトガ商人ノスルヤウナコトデ、文敎ノ府ノヤルベキコトデナイト云フナラバ、先ヅ大學ガ普通ノ患者ヲドン〳〵集メテ、サウシテ藥ヲ賣ッテ居ル、是カラ先ニ止メテ貰ハナケレバナルマイ、是ハ私ハ贊成スルノデハナイ、販賣ナドト云フコトガ出來ナケレバソレハ洵ニ結構デハアリマスケレドモ、併シ文部省ニ於テ管轄ヲ致シテ大學デ血清ガ出來テ、切メテハ今マデ儲ケテ居ッタヤウナモノヲ自カラ廉クシテ、之ヲ一般ノ需要者ニ販賣スル、斯ウ云フコトハ少シモ文敎ノ府ガ之ヲヤッタカラトテ、官紀ニ觸レル譯デモナケレバ風敎ノ上ニモ觸ハルコトデモナカラウト思ヒマス、是ハ餘リ力ヲ入レテ議論スベキ程ノコトデモナカラウ、最後ニ杉山君ハ衞生局長ヲヤッテ居ラレタガ、成程傳染病流行ナドノ時ニハ、餘程北里博士ノ研究所時代ニハ杉山君ノ御命令ノ下ニ、各博士モ國家ノタメニ此傳染病防遏ノ場合ニハ手足トナッテ働カレマシテ、眞ニ之ハ多謝スベキコトデアリマス、併シ是ガ文部省ニ移ッタカラ、或ハ大學デアルカラ出來ヌト云フコトハナイ、若シ時間ヲ傳染病流行防遏ノタメニ割クト云フサラバ、北里博士ノ下ニアッタ技師ガ時間ヲ割クモ、大學ノ敎授ガ割クモ、割クニ至ッテハ同ジコトデアル、人ヲ要スルコトモ五人ナラバ今日ト雖モ五人デ間ニ合フ、唯學科ヲ持ッテ居ッテ學科ノ時間ヲ捨テハシナイカト云フ多少御議論ガゴザイマスレ

ベ、敢テ私ハ強テ反對スル譯デハアリマセヌケレドモ、傳染病研究所ニ於テ研究ニ從事シテ居ルモノガ、流行時ニ方ッテ火消ノヤウニ其局面ニ當リマスト云フコトハ確カニアッタ、アッタト致シマシタトコロガ、今日デモヤハリサウ云フ場合ニハ内務大臣ノ御相談ヲ受ケテ、サウシテ是等ノ諸博士ガヤハリ其事ニ從事スルコトガ出來ルノデアル、前ニ時間ヲ割イタノガ惡イト云ヘバ、今日モ惡イノデアル、前ニヤッタコトガ善イト云フナラバ、今日從事シテ居ル研究所ノ所員ガヤハリ喜ンデ國家ノタメニ從事サレルコトデアラウト思ヒマス、是モ餘程力ヲ入レテ御論ジニナリマシタケレドモ、餘リ此問題ニ對シテ強イ御反對ノ理由ニハナル、マイト思フ、斯ク申シテ參リマスルト云フニ對シテハ、餘リ有力ナル御議論デモナイヤウニ存ジマスシ、結果ハ却テ此研究所ヲ最初獨立致サセマシタ上ニ、而モ一歩ヲ進メタモノニ相成ッタ譯デゴザイマスカラ、願クバ杉山君モ本案ニ御贊成アランコトヲ切ニ希望ノ至リニ堪ヘマセヌ

他ニ討論ナク院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ即日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月一日可決奏上シ同月二十四日法律第六號ヲ以テ公布セラル

八　假置場法中改正法律案

假置場法中左ノ通改正ス

第三條　假置場ニ於テハ外國貨物ノ改裝仕分其ノ他ノ手入ヲ爲シ若ハ之ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲スコトヲ得物品ノ混合ハ之ヲ製造ト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ内國貨物ヲ藏置スルコトヲ得

加工又ハ製造ヲ爲スコトヲ得ヘキ假置場及其ノ假置場ニ於テ加工又ハ製造ヲ爲スコトヲ得ヘキ貨物ノ種類ハ大藏大臣之ヲ定ム

第四條　加工又ハ製造ヲ爲ス假置場ニ於テハ大藏大臣ノ認許ヲ得テ内國貨物ニ加工シ、之ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ之カ爲内國貨物ヲ藏置シ又ハ其ノ製品ヲ藏置スルコトヲ得物品ノ混合ハ之ヲ製造ト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ外國貨物ヲ使用スルコトヲ得

第四條ノ二　第三條第二項ノ規定ニ依リ内國貨物ヲ使用シ又ハ第四條第二項ノ規定ニ依リ外國貨物ヲ使用シタル貨物ハ之ヲ外國貨物トス

第十二條中「輸入、」ヲ「輸入、輸出、」ニ改ム

第十三條ノ二　私設假置場ニ藏置シタル貨物紛失シタルトキハ之ヲ輸入シタルモノト看做シ假置場ノ特許ヲ受ケタル者ヨリ其ノ輸入稅ヲ徵收ス

第十四條中「前項ノ期間内」ヲ「前項ノ指定期間内」ニ改メ同條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ前假置場ノ業務ヲ引繼ク爲特許消滅後一月内ニ假置場私設ノ特許ヲ出願スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條中「第三條第一項若ハ第四條第一項、第三項」ヲ「第三條第一項、第二項若ハ第四條」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

四年十二月十日本院ニ之ヲ提出ス同月十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ（十四日延會）加藤大藏省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

現行ノ假置場法ハ、此內國貨物ノ製造ヲ同場デ許シマセヌノデアリマス、從ッテ內國貨物ト外國貨物ノ製造ヲ兼ネマスルトコロノ人々ハ、二ツノ工場ヲ起サネバナラスト云フ困難ガアリマス、ソレデ當業者カラ假置場ニ於テ內國貨物モ加工製造スルコトヲ許シテ貰ヒタイト云フ希望ガ出テ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ハ、此加工製造致シマシテ、若シソレヲ內地ニ搬出致シマスルナラバ、製造品ノ課稅ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、デ是亦原料ヲ輸入致シテ假置場デ製造致シタモノガ內地ニ搬出致シマスルト、製造品ノ稅ヲ取ラレマスル、是亦當業者ハ甚ダ困難ト致シテ居ル次第デアリマス、故ニ此二點ニ就テ現行法ニ改正ヲ加ヘマシテ、假置場ニ於テ內國貨物モ加工製造スルコトガ出來ルト云フコトニ致シマスルノガ一ツ、ソレカラ假置場ニ於テ製造——若シ內地ニ搬出スル物品ヲ製造スルナラバ、其製造スル以前ニ於テ原料ノ稅ヲ支拂ヘバソレデ製造スルコトヲ許スト云フコトノ、此ノ二ツノ便利ヲ與ヘマスル趣意ニ依リマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、就キマシテハ御審議ノ上ニ御贊成ヲ願ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月二十日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十三日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

十二月二十六日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長戶井嘉作君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

假置場法案ノ改正ニ付キマシテノ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ外國ヨリ輸入致シテ參リマスル原料ヲ、一定ノ場所ニ於テ整理製造ヲスルト云フコトハ申迄モナイ、然ルニ現行法ニ依リマスルトソレガ非常ニ不便ニナッテ居ル、ソレハドウデアルカト云フト、內地品ヲ其製造場ニ持入ッテ、其ニ加工シ若クハ整理スルコトハ禁ジテアルコトガ一ツト、ソレカラ又外國カラ輸入シタトコロノ品物ニ對シテ、ソレヲ製造シテ內地ニ入レマスルト、既製品ノ卽チ完成品トシテノ輸入稅ヲ取ラレルト云フコトデアル、然ルニ此假置場法ハサウ云フ窮窟ナモノデハ當業者ノ爲ニ非常ニ不便デアル、此二ツデアリマス、仍テ內地ニ品物ヲ其ニ入レテ製造スルコトニ付テ加工ヲシテモ、ソレヲ內地ニ持入レル時ニ於ケル程度ニ置イテアルト云フコトデアリマシテ、ツマリ當業者ノ保護竝ニ此假置場法ヲ益〻活用スルト云フコトガ、卽チ本案ノ改正ノ理由デアルト云フコトデアッテ、委員會ハ數多ノ質問ガアリ、其結果全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ニ及ビマス

院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年一月二十一日可決奏上シ同月二十九日法律第三號ヲ以テ公布セラル

九　造幣局設備擴張費ニ關スル法律案

大正五年度ニ於テ造幣局ノ設備擴張ニ要スル經費ニ充用スルカ爲造幣局資金ノ內一萬六千九百五圓ヲ限リ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

四年十二月十日本院ニ之ヲ提出ス同月十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ（十四日延會）加藤大藏省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、此造幣局ノ設備擴張ヲ要スル次第ニ至リマシタノハ、造幣局ノ設備ガ明治二十一年ニ致シタ儘、今日ニ及ンデ居リマスノデアリマス、從テ現時ニ於キマシテハ此造幣局ニ對シテ地金銀ヲ輸納致シマシテ、之ヲ吹替ヘテ貰ヒタイト云フコトノ要求ヲナスコトガ、極メテ量ガ多クナッテ居リマス、從テ今日ノ設備ニ於キマシテハ、ソレニ應ジ切レヌ程デアリマスルガ故ニ、或ハ休日ヲ廢シテ業ヲ續クル、或ハ夜業ヲ爲スト云フコトヲ以テ、辛ジテ其求メニ應ジテ居リマス次第デ

アリマス、其上ニ現在民間カラ引上ゲタ舊貨幣、此舊貨幣ノ吹分ケモ現時必要ニナッテ居リマスルガ、是モ精製スルコトガ出來ナイト云フ有樣デアリマス、從テ今日ハ此造幣局ノ設備ヲ擴張致シマシテ、新ニ機械ヲ据付ケテ、此時勢ノ要求ニ應ズルコトヲ極メテ必要ト當局者ハ認メマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザリマス、宜シク御審議ノ上御贊成ヲ請ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌十七日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十二日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十三日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長大西五一郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

極メテ簡單ナコトデゴザイマスガ故ニ、本席ヨリ報告ヲ致シマス、造幣局設備擴張費ニ關スル法律案、是ニ對シマスル委員會ハ二回開キマシテ當初ニ於キマシテ不肖五一郎委員長トナリ、理事ニ目黑孝平君ガ當選サレマシタ、二回目ハ少數ノ爲ニ開ケマセヌ、漸ク三回目ニ一回、卽チ二回目ニ速記者不足ヲ告ゲテ速記者ヲ付ケテ居リマス開キマシタ、而シテ其時ハ各委員會ガゴザイマシタタメニ、速記者不足ヲ告ゲテ速記者ヲ付ケテ居リマセヌガ故ニ、已ムナク此處デ其理由ヲ聊カ陳ズルヤウナ次第ニ相成リマシタ、造幣局精製場ハ明治二十一年ノ設備ニシテ、現時ノ狀態ニテハ其餘力極メテ僅少デ精製ノタメ該局ニ輸納致シマス金銀地金ノ高ハ明治四十一年度ニ於キマシテハ金銀ノ量ニ於テ……大正三年度ニ至リマスマデ此七年間ノ金銀ノ數量ヲ集メタモノヲ見マスレバ、二年ヨリ三年ニ至リマス間ニ於キマシテ、倍數ニ殆ド上ッテ居リマスヤウナ有樣デアリマス、然ルニ依ッテ此目下ノ機械デハ總テノ事ヲナシ得マセヌヤウナ狀態ニナッテ居リマス、トコロヘ露西亞ヨリ更ニ此金貨ノ鑄造ヲ委託シテ居ルヤウナ有樣デアリマス、之ヲ契約ヲ致シマスレバ尙更此機械力ニ於キマシテハ不足ヲ生ズルト云フノデアリマス、故ニ此問題ヲ解決スルノ點ニ於テ、ソレダケノ設備ヲシナケレバナラヌト申シマスルノデ、本案ヲ提出サレマシタト云フノ理由デアル、其事ニ付キマシテ速記者ガ居リマセヌ故ニ、協議的談話ヲ致シマシテゴザイマス、要シマスルニ原案ヲ相當ナリト認メテ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年一月二十一日可決奏上シ三月十一日法律第二十二號ヲ以テ公布セラル

一〇　明治四十四年法律第五十一號中改正法律案

明治四十四年法律第五十一號中左ノ通改正ス

第一條中「朝鮮總督府地方裁判所」ヲ「朝鮮總督府地方法院」ニ改ム

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

前條ノ規定ニ依リ被告人ヲ朝鮮ニ於ケル監獄ニ移送スル場合ニ於テ朝鮮總督ハ被告人ノ移送セラルル監獄所在地ヲ管轄スル朝鮮總督府覆審法院ノ檢事ヲシテ裁判管轄指定ノ申請ヲ其ノ覆審法院ニ爲サシムヘシ

第四條　間島ニ駐在スル帝國領事官ノ爲シタル裁判ニ對スル控訴又ハ抗告ハ朝鮮總督府覆審法院之ヲ管轄ス

四年十二月一日貴族院ニ提出ス同院ハ同月十三日之ヲ可決シ本院ニ送付ス本院ハ同月十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ石井外務大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ極メテ簡單ナル法律案デゴザイマシテ、間島ニ於ケル帝國領事ノ裁判管轄ニ屬スル事件ニシテ、其豫審ヲ經タル重罪案件、其他ノ事件ニシテ、判決ニ對スル上告等ハ何レモ朝鮮總督府ノ裁判所ノ管轄ニ所屬シテ居ル次第デアリマシタ、所ガ先般朝鮮總督府裁判令ガ改正ニナリマシテ、從來控訴院ト稱セラレタルモノハ覆審法院ト改稱セラレ、地方裁判所ト稱セラレタモノハ地方法院ト改稱セラレ

レ、又區裁判所ハ撤廢セラレタルコトニ相成リマシテ、其當然ノ結果トシテ、四十四年法律第五十一號中ニ主トシテ、名稱ノ變更ヲ必要トスルノガ本案デゴザイマス、本案ノ目的ハ主トシテ裁判所ノ名稱變更ニアル至ッテ簡單ナル法律案デゴザイマスル、宜シク御協贊ヲ願ヒマスル

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌十七日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十一日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長山宮藤吉君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

私ハ明治四十四年法律第五十一號中改正法律案ニ付テノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シマス、此法律ハ間島ニ於ケル領事裁判所ニ關スルトコロノ法律デアリマシテ、間島ニ於テ領事ニ於テ豫審ヲナシタルトコロノ重罪案件、其他ノ事件ハ朝鮮裁判所ノ管轄トナッテ居リマス、又外務大臣ノ必要ヲ認ムルトキニハ、領事裁判ヲ許サズニ被告人ヲ直ニ朝鮮ニ移送スル場合ニ於キマシテ、裁判管轄ヲ定ムルノ手續デゴザイマス、此改正ハ理由書ニモアリマス通リ、朝鮮裁判所令ノ改正ニ基イテ此改正ガ起ッタノデゴザイマス、朝鮮ノ裁判所ノ名稱ヲ變ジマシタ、總督府ノ地方裁判所ヲ地方法院ト改メタノデアリマス、又裁判所ヲ撤廢致シタノデアリマス、是ガタメニ自然促サレテ此法律ノ改正ト云フコトガ來ッタノデゴザイマシテ、此朝鮮ノ裁判所令改正ト共ニ、此法律ト云フモノハ、明治四十五年ノ三月制令第四號ニ依ッテ發布セラレタノデアリマスカラ、此朝鮮裁判所令ニナラナケレバナラヌノデゴザイマスガ、大正元年以來政變ニ政變ヲ重ネ、遂ニ國會ニ解散サレタト云フ、ヤウナ場合デ、此改正法律案ヲ提出スル機會ガ惡カッタト云フコトハ、政府委員ノ辯明セラレタトコロノ如キ簡單明瞭ナルトコロノ改正法律案デゴザイマスカラ、委員會ニ於テハ別段ノ議論モ用キズ全會一致ヲ以テ原案ニ可決一致シマシタ、此段報告致シマス

別ニ討論ナク院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シタリ

卽日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス十二月二十七日法律第二十九號ヲ以テ公布セラル

一一　郵便爲替法中改正法律案

郵便爲替法中左ノ通改正ス

第十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

郵便爲替證書ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ六十日トス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前發行シタル郵便爲替證書ノ有效期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

四年十二月十日貴族院ニ提出ス同院ハ同月十七日之ヲ可決シ本院ニ送付ス本院ハ同月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ箕浦遞信大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ郵便爲替證書ノ有效期限ヲ統一シテ、事務ノ簡捷ヲ圖ルコトヲ目的トスル改正案デアリマス、現行ノ法律ニ依リマスト、爲替證書ノ種類ニ依ッテ有效期限ガ區々ニナッテ居ルノデアリマス、普通爲替、電信爲替等ハ九十日、小爲替ハ六十日トカ云フヤウニ、爲替ノ種類ニ依ッテ有效期限ガ區々ニナッテ居リマスガ、段々ノ實驗ニ依リマスト、證書ノ種類ニ依ッテ有效期限ヲ異ニスルト云フ必要ハナイノミナラズ、ソレガ爲ニ非常ニ取扱上煩雜ナル手數ヲ要スルノデアリマス、ソレガ近年ノ如キ取扱ノ口數ガ非常ニ增加致シテ參リマスルトキニ當ッテハ、殆ド煩ニ堪ヘナイ程ノ手數ヲ要スルノデアリマス、今日デアリマスト受拂ノ口數ガ四千萬口、此金額ガ五億九百萬ト云フ高ニナッテ居リマシテ、此法律ヲ制定サレタル明治三十三年ノモノニ比ベマスト、殆ド三倍ノ高ニ上ッテ居ルノデアリマス、之ヲ整理致シマスト、計算上ニ於テモ、取扱上ニ於テモ、非常ニ手數ヲ省クコトニナリマス、モハヤ今日ノ如ク通信機關

ノ發達シ、又今日ノ經濟狀態ニ照シテ見マスレバ、之ヲ總テ六十日間ト云フコトニ統一スルト云フノガ、最モ適當デアラウト考ヘルノデアリマス、ドウゾ速ニ御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二十二日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十五日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長關野善次郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

私ハ政府提出郵便爲替法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ各種爲替證書ノ有效期間ヲ統一スルト云フ、極メテ適當ナル改正案デアリマス、委員會ハ極メテ適當ナル改正案ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ

院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シタリ卽日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス五年一月七日法律第一號ヲ以テ公布セラル

一二　電氣事業法中改正法律案

電氣事業法中左ノ通改正ス

第十四條ノ二　主務大臣ハ天災其ノ他ノ臨時事故ニ因ル電氣工作物ノ障害ヨリ生スヘキ電氣ノ供給又ハ使用ノ停止ヲ豫防セシムル爲公益上必要アリト認ムル場合ニ於テハ電氣事業者ニ對シ電氣ノ流用ヲ命スルコトヲ得

第十六條中「前三條」ヲ「前四條」ニ改ム

第二十條中「第六條」ヲ「第六條若ハ第十四條ノ二」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四年十二月一日貴族院ニ提出ス同院ハ同月十七日之ヲ可決シ本院ニ送付ス本院ハ同月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ箕浦遞信大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ理由ヲ申述ベマスルガ、近來電氣事業ガ段々ト發達致シテ參リマスニ連レテ、種々ノ障碍ガ起ッテ來ルコトガアルノデアリマス、或ハ天災其他ノ事項ニ基イテ電氣工作物ニ障碍ヲ起ス、ソレガ爲ニ電氣ノ供給又ハ使用ヲ停止シナケレバナラヌト云フ場合ガ往々生ズルノデアリマス、卽チ停電事項ガ度々生ジテ來ルト云フコトニ相成ルノデ、殊ニ水力電氣ガ段々ト發達スルニ從ッテ、電氣ヲ遠方ニ送ルト云フコトニ相成リマスルト、其障碍ノ度數ガ殖エテ來ル、ソレガ爲ニ一般公衆ノ迷惑損害ヲ被ルコトガ夥シイノデアリマスカラ、何トカシテ其害ヲ救ハナケレバナラヌ、トコロガ丁度電氣工作物ガ互ニ相接近スル位置ニ於テ設立サレルモノガ段々アルノデアリマスカラ、其間ニ相互ニ電氣ヲ共通スル、相互ニ協議ヲ致シマスレバ、經濟的ニサマデ金ヲ掛ケズシテ其目的ヲ達スルコトガ出來停電事項ヲ減ジ、公衆ノ便益ヲ保護スルコトガ出來ルノデアリマス、併ナガラ或ル場合ニ於テハ、ヤハリ多少主務大臣ニ權力ヲ與ヘラレ、電氣事業ニ對シ、電氣ノ流用ヲ命ズルコトヲ得ト云フ規定ヲ設ケテ置クコトガ最モ必要デアルト考ヘルノデアリマス、御協贊ヲ願ヒマス

質疑、應答ノ後委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二十二日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末五年一月二十四日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同月二十七日第一讀會ノ續會ヲ開キ（二十五日延會）委員長戸叶薫雄君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ

報告ヲ爲ス

私ハ電氣事業法中改正法律案ニ關シ、委員會ノ經過竝結果ヲ御報告致シマス、本案ハ貴族院ヨリ當院ニ送付セラレマシタモノデ、其改正案ノ内容ハ近來電氣事業ガ益〻盛ナルニ從ッテ其工作物ニ對スル故障モ頻々トシテ起ル、其工作物ニ對スル故障ガ頻々トシテ起ル爲ニ、一般ノ公衆ハ勿論電氣事業者電氣需要者ハ非常ニ不便不利益ヲ生ズル、斯ル場合ニ於テ當局ハ――主務大臣ハ他ノ電氣需要者ニ對シ事業者ニ對シ、他ノ會社ノ電流ノ利用ヲ――電氣ノ利用ヲナサシムルコトヲ得ト云フノガ改正案ノ要旨デアリマス、法案ノ改正ハ簡單デゴザイマスルケレドモ、此法ノ適用ノ上ニ就テ種々ノ困難ガ生ジハセヌカト云フ疑ガ起リマシタルヲ以テ、委員會ハ之ニ對シ政府當局ニ對シ幾多ノ質問應答ノ結果、原案ハ公益上最モ機宜ニ適シタルト云フヲ以テ多數決ヲ以テ可決ニナリマシタ、然レドモ之ニ對シテ委員ノ白石君カラ費用ノ點ニ就テ多少ノ杞憂ガアル、此法案ハ公益上必要デアルケレドモ、費用ノ點ニ於テ非常ニ杞憂ヲ存スル若シ當局大臣ノ命令ノミニ委シテ此規定ノ上ニ何等ノ制限モ加ヘナケレバ、會社即チ電氣事業者ハ非常ノ迷惑ヲ被ムルコトニナル疑ヲ有ッテ居ル、故ニ修正ヲシタイ、其修正案トシテハ改正案ノ次ニ但書ヲ入レタイ、其但書ハ「但シ聯絡設備ノ爲メ電氣業者ニ對シ重大ナル負擔ヲ及ボストキハ此ノ限ニアラズ」此一項ヲ入レタイト云フノデゴザイマス、之ニ對シマシテハ政府委員カラモ、成程御趣意ノホドハ諒トシマスルケレドモ、此案ハ公益ノ爲メト同時ニ、一方ニ會社ノ經濟的ノ便宜ヲ圖ッテ居ルノデアル、故ニ斯ル杞憂ハ成ベク避ケル積リデアル、ソレデ本案ノ實行即チ運用ニ就テハ成ベク電氣事業者當事者間ノ協定ニ委スルコトニシテ、萬已ムヲ得ズ――公益上已ムヲ得ヌ場合ニノミ之ヲ適用スル積リデアルト云フノデ、修正案ニハ反對ノ意見ヲ表セラレタ、且ツ他ノ委員ノ多數カラモ、此修正案ニ對シテ反對ガアリマシテ、少數ニ依テ否決サレマシタ、以上ノ次第デゴザイマスカラ、何卒御審議ノ上原案御贊成ノ程ヲ偏ニ希望致シマス

院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ白石直治君ハ同君提出修正案ニ付趣旨辯明ヲ爲シ山宮藤吉君ハ之ニ反對ノ演說ヲ爲セリ

（修正案）

電氣事業法中改正法律案中左ノ通修正ス

第十四條ノ二ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ聯絡設備ノ爲電氣事業者ニ對シ重大ナル負擔ヲ及ホストキハ此ノ限ニ在ラス

白石直治君ノ演說

唯今委員長ヨリ報告サレマシタ通リ、私ハ此改正法律案ノ委員ノ一人デアリマシテ、一箇ノ修正案ヲ提出致ス次第デアリマス、委員長カラ既ニ其文句ヲ御讀上ゲニナリマシタガ、重ネテ此處ニ申上ゲマスガ、此改正法案ノ末ニ一ツノ但書ヲ加ヘマシテ「但聯絡設備ノ爲電氣事業者ニ對シ重大ナル負擔ヲ及ホストキハ此限ニアラス」トシテ、此無限ノ命令權ニ一ツノ制限ヲ置キタイト云フ考デアリマス、天災地變ヲ豫防スルト云フコトハ目的ニ於テ宜シイコトデアリマスル、然ルニ是ニハ伴フ費用ガアリマシテ、場合ニ依テハ非常ニ巨額ノ費用ヲ要スル場合ガアリマスル、固ヨリ公益ニ供スル事業デアリマスルカラ、幾部分ノ負擔ハ當事者ニ命ジテ、此災害ノ豫防ヲ致スト云フコトハ結構ナコトデアリマス、ソレデ本案ニハ贊成致シマスルガ、ソレモ程度論デ、其負擔ガ非常ニ過重ニナリマスルト、或ハ其額ニ依テハ會社ノ存在ヲ妨ゲ、電氣事業ノ發展ヲ阻害スルト云フコトニナリマスルト是以テ甚ダ不穩當ナル結果ヲ生ズルノデアリマスル、政府委員ノ御說明ニ依リマスルト、ソレハ經濟的ノ場合ニノミ命ズルノデアッテ、當業者ニ對シテハ何等ノ迷惑ヲ懸ケナイト斯ウ云フ御說明ニナッテ居リマスルガ、其處ガ私ニハ一向徹底セス議論デアル、卽チ其天災ヲ豫防スルニ付テノ內容ニ就テ解剖シテ少シク御話ヲ致シタイト思ヒマスル、此電氣ノ流用ヲ命ズルト云ヘバ、直グ必要ナ場合ニ金錢カ米穀ヲ利用スルヤウニモ、此電氣ノ事ヲ御承知ノナイ御方ハ感ズルカモ知レマセヌガ、電氣ノ流用ヲ命ズルノニハ、其前ニ當ッテ流用シ得ルヤウナ設備ヲ要スルノデアリマス、所デ此設備ハ場合ニ依リマシテハ數十萬、極端ヲ言ヘバ數百萬ニモ上ル費用ヲ要スルノデアリマス、如何トナレバ譬ヘテ言ヘバ東京ノ市ニアル水力電氣等ヲ例ニ取ッテ言ヒマスルト、電車ガ停電ヲ致

シマス、其電車ニ電流ヲ供シテ居ル水力電氣ノ元ニ水害ガアッテ、壞レマシタトカ、或ハ落雷ガアッテ電線ガ切斷シマシタト云ッテ、此停電ヲ致ス場合ニハ、僅ニ百馬力二百馬力ノ流用デハイケナイカラ數千馬力場合ニ依テハ二萬馬力三萬馬力ト云フ流用モ必要デアルト看做サナケレバナラス、其流用ニ付テ豫メ設備ヲスルニハ政府カラ委員會ヘ提出ニナリマシタ參考書ニモ見エマシタ通リ、電氣ノ方式ノ異ッタ場合等ニ至ッテハ、一馬力ニ付テ四十圓、五十圓、六十圓ト云フヤウナ費用ガ掛ル、單價デ申セバ僅カデアリマスガ、一馬力ニ五十圓ノ費用ガ掛レバ一萬馬力ノ聯絡設備ヲ爲スト云フニ付テハ、莫大ナ費用ヲ要スルト、サウ云フヤウナ譯ニナリマスカラ、之ヲ完全ニ其設備ヲ爲スト云フニ付テハ、莫大ナ費用ヲ要スルノデアリマス、而シテ此數十萬ノ資本ヲ要スル設備ハ少シモ利益ヲ生ゼナイ、全ク公益ノ爲ニ犧牲ニ供スル所ノ資金デアッテ、其設備ニ對シテ何等ノ利益ヲ生ジナイ、斯ウ云フコトニナル、如何トナレバ天災地變デアリマスルカラ、二百六十五日晝夜間斷ナク運轉シテ居ル譯ハナイ、天災地變ハ稀ニシカアリマセヌ、其稀ニ起ッタトキニ使フ所ノ聯絡設備デアリマスカラ、巨額ノ資金ヲ投ジタ此聯絡設備ガ利用サレルノハ僅ナ時間デアル、然ラバ其他ノ時間ハ晝ハ遊ンデ居ル設備デアリマス、ソレダケデ此資金ニ對シテハ收益ヲ生ゼナイト云フコトハ明カデアリマス、政府委員ノ御說明ニナルノハサウデナイ、經濟的ノ場合ニノミ之ヲ命ズルノデアル、而シテ其例トシテ引用サレル所ノ御話ヲ承リマスト、例ヘバ甲乙ノ會社ガアル、甲ハ電流ガ足リナイ、隨ッテ故障ガ生ジ易イカラ、鄰ニ乙ノ會社ガアッテ電流ガ剩ッテ居ル、水量ガ餘ッテ居ル時分ニハ其方カラ流用セシメルヤウニスル、ソレガ聯絡設備ヲスルノニ何十萬何百萬掛ッテモ、一方ガ不斷ニ足リス分ヲ餘ッタ方カラ買ウテ居ル、ソレダカラ其所ニ普通ノ賣買ノ如ク其設備ニ對シテ收益ガアル、サウ云フ場合ヲ引用サレテ、斯樣ナル經濟的ノ場合ニノミ用ヰルノダト云フ御說明ニナッテ居リマス、斯ノ如キ場合ヲ天災地變ノ場合ニ組込ムト云フコトモ、斯ウ云フ場合モ組込ムト云ヘバ宜シウゴザイマスガ、一體私共ノ考デハ是ハ天災地變デハナイ、普通ノ商賣デアル、斯樣ナル場合ニ於テ經濟的ト申セバ雙方利益ニナルコトデアレバ、命令ヲ用ヰズシテ雙方協定シテ出來得ルコトデアリマス、尙私ハ申落シマシタガ、ソレヲ政府委員ガ經濟的ト申スノハ、水ノ足ラヌ場合ニハ火力ノ設備ヲ命ジナケバナラヌ、火力ノ設備ニ百萬圓掛ルノヲ鄰ノ餘ッタ電流ヲ買ヘバ五十萬圓デ濟ムカラ經濟的デアル、斯ウ云フ御說明デアルガ、ツマリ今申ス通リ斯樣ナ場合ニハ天災地變トハ申セナイ、元來一方ノ發電ノ設備ニ缺陷ヲ生ジテ居ルモノデアル、天災地變ト云ヘバ臨時ニ起ルコトデアリマスルカラ、平生間斷ナク一方カラ電流ヲ一方ヘ送ッテ居ル、買ッテ居ル買ウテ居ルト云フ場合トハ違フ、天災地變ト雖モ年ニ何十遍モ起ルト云フ御說明モアリマシタガ、何十遍起ッテモ其流用シテ居ル時間ハ一小部分デアル、從ッテドウシテモ斯樣ナル設備ハ利息ヲ產マナイモノデ——利益ヲ產マナイ全ク公益ノ爲ニ犧牲ニ供スル所ノ資本ト云ハネバナラヌノデアリマス、氣事業者ニ負擔セシムルナラバ、全ク災害ヲ豫防スル爲ニ寢カス所ノ資本之ヲ電斯ノ如キ巨額ノ資本利息ヲ產マス資本ヲ投ゼシムルコトヲ命令デナサルト云フコトニナッテハ、頗ル電氣事業者ニ取リテハ迷惑ナコトデ、卽チ其電氣事業ヲ阻害スルコトニナリマス、公衆ノ便ヲ圖ルト云フ方カラ此法ヲ制定スルト同時ニ、又當事者ノ權利モ重ンズル電氣事業ノ發展ヲ計ルト云フ方カラモ見ナケレバナラヌ、ソレデ私ハ此無限ノ命令權ヲ行政官ニ與ヘル、何時如何ナル巨額ノ設備ヲ命ゼラルヽカ知レヌト云フコトニ致スノハ、甚ダ不穩當ノコトデアルト考ヘルノデアリマス、此點ニ就キマシテ段々御尋ヲ致シマスト、遞信大臣ノ御說明ニ依リマスレバ、如何ニモ心配ハ尤デアルケレドモ、決シテ其法文ヲ利用シテ當業者ガ迷惑ニナルヤウナコトハ斷ジテ致サヌ、大臣ノ常識ニ依テ左樣ナコトハ致サヌ、致サヌカラ安心ヲ致スガ宜カラウト、斯樣ナ御說明ニナッテ居リマス、左樣致シマスルト、事柄ニ於テハ一向意見ノ相違ハナイコトニナリマスガ、私ノ方カラ申シマスレバ、ソレガ御趣意ナラバ當事者ノ迷惑ヲスルヤウナ事ガ常識ニ依テ致サヌト云フノガ御趣意ナラバ、其事ヲ明ニ法文ニ御認メニナッタ方ガ宜カラウ、敢テ大臣ノ常識ヲ疑フノデハアリマセヌケレドモ、尙當事者ノ人民ノ權利ヲ保障スルト云フ側カラ見マスレバ、大臣ノ宣言ヨリカ其意味ヲ法文ニ書キ加ヘテ置ク方ガ——明カニ書キ加ヘテ置ク方ガ必要デアル、卽チ提案者ノ御趣意ニモ適フ譯デ、斯樣ナル考ヲ持チマシテ、此修正案ヲ提出致ス次第デアリマス、ドウカ御熟考ノ上御贊成アランコトヲ願ヒマス

山宮藤吉君ノ演說

私ハ唯今ノ白石君ノ修正說ニ反對ヲ致スノデゴザイマスジコトデゴザイマスケレドモ、殊更ニ左樣ナ但書ヲ入レル必要ハナイト私ハ考ヘマス、白石君ハ當事

者ガ或ハ電氣事業者ヲ害スル、公衆ノ利益ノ爲メニ電氣事業者ノ利益ヲ犧牲ニスルノ虞ガアルト云フヤウナ御考デゴザイマスケレドモ、成程チヨイト考ヘマスレバ左樣ナ事ガアルトモ思ヒマスケレドモ、併ナガラ是ハ當局者ニ常識ノアル限リハ左樣ナコトハシナイ、此法案ニモ「公益上必要アリ」此公益ナルモノハ單ニ公衆ノ利益バカリデナイ、事業者ノ利益モ含ンデ居ルカラ、此法律ヲ適用スルニハ公益ノ利益ト竝事業者ノ利益ト、其ニ斟酌シテ適用シナケレバナラヌト考ヘマス、大臣ニ於テ苟モ常識ノアル限リハ、白石君ノ御心配ノヤウナコトハ斷然ナカラウト私ハ考ヘマス、而シテ此重大ナル負擔ヲ事業者ニ及ボストキ、此重大ト云フ文字ハ比較的ノ文字デアッテ、見ヤウニ依ッテハドノ點ヲ以テ重大トスルト云フコトノ標準ハナイノデアリマスカラ、縱ンバ此白石君ノ修正說ニ從ッタトシマシタ所ガ、重大ト云フコトハヤハリ當局者ニ任セテ置クト云フコトナラバ、此重大ト云フ文字ヲ置イテモ置カナイデモ同ジコトデアルカラ、此但書ハ蛇足ニ歸スルコトニ私ハ考ヘル、苟モ當事者ニシテ責任ガアッタナラバ、白石君ノ御心配ノヤウナコトハ萬々無カラウト云フ私ハ考デゴザイマス、況シテ又是ハ貴族院デハ既ニ通過シテ貴族院ノ決議ニ依テ、此方ヘ回付サレタモノデアリマスカラ、斯ノ如キ蛇足ヲ加ヘテ、サウシテ貴族院ノ決議ヲ害スル必要ハナイト私ハ考ヘマスカラ、私ハ此修正案、白石君ノ但書ハ斷然反對スルコトニ致シマス

質疑、應答ノ後表決ニ及ヲ院議修正案ヲ否決シ次テ委員長報告ノ通原案ヲ可決シ引續キ第三讀會ヲ開キ本案ヲ可決確定シタリ卽日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス五年二月八日法律第五號ヲ以テ公布セラル

一三　大正三年臨時事件ノ經費支辨ニ關スル法律案

大正三年臨時事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替使用シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四年十二月二十三日本院ニ之ヲ提出ス同日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ武富大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ大正三年臨時事件費ノ經費ヲ支辨スル財源ヲ造ルタメ、特別會計ノ資金ヲ繰替使用スルコトヲ許スト云フ法律案デゴザイマス、御審議ノ上ニ協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

十二月二十五日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長岡辰喜君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

諸君、私ハ委員會ノ經過並ニ其結果ヲ報告致シマス、本案ハ大正三年臨時事件ノ經費ヲ支出スルタメニ特別會計ノ資金ヲ繰替使用シ、又ハ借入金ヲナスコトヲ得ルト云フ案デゴザイマス、諸君ノ御承知ノ如ク從來臨時事件費ナルモノハ、剩餘金中ヨリ支出シ來リマシタ、今回ハ日露戰爭當時ニ倣ヒ、各特別會計ヨリ流用セムトスルノデアリマス、而シテ該支出金額ハ貨幣整理金額ヨリ三百五十萬圓、森林資金ヨリ二百五十萬圓ヲ融通セムトスルノデアリマス、文章ハ至極簡單デゴザイマスケレドモ、其內容ハ頗ル重大デアルノデアリマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ質疑應答ヲ重ネ、愼重審議ヲ遂ゲマシタガ、本案ハ最モ緊要適切ナルモノト認メマシテ全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、以上報告致シマス

別ニ討論ナク院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ

卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月一日可決奏上シ同月八日法律第四號ヲ以テ公布セラル

一四　朝鮮森林特別會計法廢止法律案

朝鮮森林特別會計法ハ大正四年度限リ之ヲ廢止ス

朝鮮森林特別會計ニ屬スル現金ハ朝鮮總督府特別會計ニ移スヘシ

同特別會計ニ繰入レ其ノ收入支出ノ未濟額ハ之ヲ

四年十二月二十三日本院ニ之ヲ提出ス同日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ藤澤內務省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

朝鮮森林特別會計法、本案ハ御承知ノ通リ營林廠ノ作業ニ關シマスル經理ノタメ、明治四十四年度カラ施行致シ來ッタモノデアルノデアリマス、爾來實施致シマスルコト數年、其經驗ニ依リマスレバ最早收支ノ狀態ガ明確ニナッテ居リマス、故ニ朝鮮ノ特別法ノ上ニ、又特別會計法ヲ置クト云フダケノ必要ハ最早ナイノデゴザイマス、殊ニ本來此特別會計法ハ成ダケ多クナイ方ガ利益デ、豫算ハ簡明ナルヲ尊ビマスコトハ申スマデモナイコトデゴザイマス、故ニ斯ル本案ヲ提出致シマシタガ、殊ニ曩ニ既ニ提出致シマシテ諸君ガ現ニ御調査ニナッテ居リマスル所ノ豫算案ニ、此結果ガ明カニナッテ居リマス、旁、速ニ御協贊アラムコトヲ請ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

十二月二十五日第一讀會ノ續會ヲ開キ理事織田了君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

朝鮮森林特別會計法廢止法律案ハ、昨日委員會ヲ開キマシテ委員長理事ノ互選ヲ爲シ、引續イテ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、此段御報告申シマス

別ニ討論ナク院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月九日可決奏上シ同月二十四日法律第七號ヲ以テ公布セラル

一五　鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第七條第一項第十號中「船橋ヨリ佐倉ニ至ル鐵道及」ヲ削リ同項第二十四號中「大分縣下宇佐ヨリ佐伯ニ至ル鐵道及宮崎縣下宮崎ヨリ鹿兒島縣下吉松ニ至ル鐵道」ヲ「大分縣下宇佐ヨリ宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下吉松ニ至ル鐵道」ニ改メ同項第二十二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一　四國豫定線ノ內香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道中高知縣下山田ヨリ高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月九日可決奏上シ同月二十四日法律第七號ヲ以テ公布セラル

一五　鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第七條第一項第十號中「船橋ヨリ佐倉ニ至ル鐵道及」ヲ削リ同項第二十四號中「大分縣下宇佐ヨリ佐伯ニ至ル鐵道及宮崎縣下宮崎ヨリ鹿兒島縣下吉松ニ至ル鐵道」ヲ「大分縣下宇佐ヨリ宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下吉松ニ至ル鐵道」ニ改メ同項第二十二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一　四國豫定線ノ內香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

四年十二月二十四日本院ニ之ヲ提出シ政府ハ口頭ヲ以テ緊急議決ノ要求ヲ爲ス翌二十五日本案ノ第一讀會ヲ開キ添田鐵道院總裁ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今御手許ニ廻ッテ居リマスル鐵道敷設法ノ改正案ハ、要スルニ船橋佐倉間ノ線路ハ第一期線ニハナッテ居リマスルケレドモ、現在ノ交通狀態ニ於テ急設ヲ必要ト認メマセヌガ故ニ、削除ヲ致シタイト云フ考デアリマス、之ニ反シマシテ宮崎佐伯間、竝ニ山田須崎間ハ急設ヲ必要ナリト思考致シマスルタメニ此修正案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協贊アラムコトヲ願ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名(十八名)ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月二十六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長武内作平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

鐵道敷設法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ノ内容ニハ三ツノ事項ガ規定サレテアリマス、日豐豫定線ノ中デ、大分縣ノ佐伯ト宮崎縣ノ宮崎ノ間ヲ一期線ニ繰上ゲタイ、斯ウ云フコトデアリマス、サウ致シマシテ大正五年度カラ其建設ニ著手シタイト云フコトガ第一デアリマス、第二ニハ高知縣ノ山田須崎ノ間、是ハ四國ノ豫定線ノ一部デアリマスガ、之ヲ一期線ニヤハリ繰上ゲテ大正五年度カラ建設ニ著手シタイト云フコトヲ規定シテアルノデアリマス、此二項ニ付テハ運輸交通ノ關係カラ申シマシテモ、高知縣ノ如キハ未ダ鐵道ノ恩惠ヲ受ケタコトガナイト云フヤウナ關係カラ申シマシテ、非常ニ此敷設ガ遲レテ居ル、一日モ早ク急速力ヲ以テ敷設ヲシテ貰ヒタイト云フコトガ滿場一致ノ希望デアリマシテ、可決ヲ致シマシタ、第三ニハ同敷設法「第七條第一項第十號中ニアリマスル所ノ船橋ヨリ佐倉ニ至ル鐵道及」ト書イテアリマス、ル部分ヲ削ル、斯ウ云フコトデアリマス、デ此船橋ヨリ佐倉ニ至ル鐵道ハ四十二年法律第二十二號ヲ以テ一期線ニ追加サレタノデアリマスルガ、其後ニ於キマシテ鐵道ノ完成ヲシタモノガアルノデアリマス、房總線ガ完成ヲ致シマシタカラシテ、千葉ヲ經テ參リマスニハ、左程ノ不便ヲ感ジマセヌ、僅カ五里バカリノ廻リニハナリマスルト、船橋カラ佐倉ヘ參リマスニハ、左程ノ不便ヲ費シマスレバ交通スルコトガ出來ルノデアリマス、尚其外ニ成田線ト申ス私設鐵道モ出來テ來ル、其他ニ電車モ出來テ居リマシテ、交通運輸トモ非常ニ便利ニナッテ居リマシテ、今日ニ於キマシテハ有レバ有ル程宜シイノデリアマスケレドモ、他ノ急速ヲ要スル場所ニ比較ヲ致シマシテ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、之ヲ一期線トシテ敷設スル必要ガアルノデアリマシタ、委員會ノ經過ハ右ノ通リデゴザイマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開ク、ニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ即日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月一日可決奏上シ三月十一日法律第二十五號ヲ以テ公布セラル

一六　朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス

「五千六百萬圓」ヲ「八千四百萬圓」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四年十二月二十五日本院ニ之ヲ提出ス同日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ武富大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

是ハ朝鮮事業ノ經營上、既定繼續費ノ豫算ノ金額マデニ起債ノ定額ヲ增加スルノ必要ガアルノデアリマスカラ、ソレデ此改正案ヲ提出致シマシタ、審議ノ上御協贊アラムコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二十六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ理事山道襄一君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員長ニ代リマシテ御報告申上ゲマス、朝鮮事業公債法中改正法律案ノ委員會ハ、本日午前十時ヨリ開會致シマシテ、委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマシタ、引續イテ緊急ヲ要スルト云フコトデアリマスノデ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、政府委員ノ出席ヲ求メマシテ其說明ヲ聞キマシタ、本案ハ御承知ノ通リ朝鮮事業公債法中ノ起債法定額ノ五千六百萬圓ヲ八千四百萬圓ニ增加シタイト云フ案ナンデゴ

ザイマス、種々質問モゴザイマシテ、其結果ト致シマシテ、既ニ議會ニ於テ八千三百九十萬圓ノ總督府ノ繼續事業費總額ヲ繼續致シテ居リマスルノデアリマスルカラ、此歳出ニ對スル歳入關係ノ平衡ヲ保チマス爲ニ、八千四百萬圓ノ起債法定額ノ總額ヲ致スト云フコトニ、滿場異議ナク決定致シマシテゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ五年二月九日可決奏上シ四月一日法律第三十五號ヲ以テ公布セラル

一七　貨幣法中改正法律案

貨幣法中左ノ通改正ス

第六條中「（十六「グラム」六六六五）」「（八「グラム」一二五）」「（四「グラム」〇五）」「（二「グラム」二五）」ヲ削リ第七號乃至第九號ヲ左ノ如ク改ム

七	白銅貨幣	一匁一分四厘
八	一錢青銅貨幣	一匁
九	五厘青銅貨幣	五分六厘

第十條中「（〇「グラム」〇三二四〇）」「（三「グラム」一一二五〇）」「（〇「グラム」三二五〇〇）」「（〇「グラム」〇一六二〇）」「（一「グラム」五三七五〇）」「（〇「グラム」〇八一〇）」「（四「グラム」〇五）」「（〇「グラム」〇四〇五）」「（二「グラム」一〇）」ヲ削ル

第十一條中「（十六「グラム」五七五〇）」「（八「グラム」二八七五）」「（四「グラム」一四三八）」ヲ削ル

附　則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來發行ノ白銅貨幣及青銅貨幣ハ從前ノ通リ通用スヘシ

四年十二月十日貴族院ニ提出ス同院ハ同月二十七日之ヲ可決シ本院ニ送付ス本院ハ五年一月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開キ加藤大藏省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

今日ハ大臣ガ貴族院ノ豫算委員會ニ出テ居リマス、デ私カラ說明ヲ仕リマス、貨幣法中改正法律案ヲ提出致シマシタ趣意ハ、現行ノ貨幣法中ニハ「グラム」ト「匁」ト云フ此兩方ノ量目ヲ量ル標準ヲ用キテ居リマス、所ガ是ハ甚ダ不便ヲ感ジマスノデ、日本ノ「匁」ヲ專用スルコトニ改メタイト云フコトガ一箇條デアリマス、又此二十錢ノ銀貨ト五錢ノ白銅貨ト、其形態ガ同ジデアリマシテ、雙方ノ間ニ誤ッテ使用シ易イ例ガアリマス、又此白銅貨ニ付キマシテハ贋造ノ虞モアルノデアリマス、旁〻之ヲ改鑄スルノ必要ヲ感ジテ居リマス、又一錢ノ銅貨及五厘ノ銅貨、是モ改鑄スルノ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、申シマスノハ是ハ金ガ一匁二圓五十錢ノ時代ニ此量目ヲ定メタモノデアリマス、今日ハ金ガ一匁五圓ニ上ッテ居リマス、從ッテ其權衡ヲ失シテ居ル譯デアリマス、又外國ノ補助貨ニ比ベマシテモ稍〻量目及ビ形ガ大ニ過ギテ居リマス、旁〻之ヲ改鑄スルノ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、殊ニ朝鮮ノ貨幣ヲ統一スルト云フ必要ガアッテ、朝鮮總督府トハ協定ガ出來テ居リマス、然ルニ此補助貨ヲ改鑄スルノ必要ニ迫ッテ居リマスルガ故ニ、其以前ニ於テ之ヲ朝鮮ニ使用致シマスルコトハ、却テ他日ノ憂ヲ招キマスル譯デアリマスルカラ、朝鮮總督府トノ協定ガ出來テ居ルニ拘ラズ、今日ソレヲ朝鮮ノ補助貨統一ヲ實行スルコトガ出來ヌコトニナッテ居リマス、旁〻此貨幣法ヲ今日改正致シマシテ、右申上ゲマシタル不便ヲ除去致シタイト云フノガ、本案ヲ提出致シマシタ趣意デアリマス、宜シク御審査ノ上御協贊ヲ仰ギマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末一月二十六日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十七日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長頼母木桂吉君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員會ノ經過竝結果ヲ御報告致シマス、本案ハ現在流通致シテ居リマスルトコロノ白銅、是ガ至ッテ贋造シ易ク且二十錢銀貨ト區別シ難イ、甚ダ不便デアリマスルカラ此白銅貨ノ中央ニ穴ヲ穿チマシテ、贋造シ惡ク且ツ二十錢銀貨ト區別シ易クシヤウト云フコトガ一ツ、ソレカラ一錢ノ靑銅及五錢ノ靑銅貨ハ餘リ過大デアリマシテ使用ニ甚ダ不便デアリマスカラ之ヲ小クシヤウト云フノデアリマス、是ハ今日マデ目方ガ「グラム」ノ計算ニナッテ居リマシタモノヲ匁ノ計算ニスル、此二ツデアリマス、至ッテ簡單ナルモノデアリマシテ、委員會ハ原案ヲ可決致シマシタ、併シ唯此法律案ハ大正五年度ノ豫算ト聯關致シテ居リマシテ、相當ノ手續カラ申シマスレバ先ヅ此改正案ヲ先キニ出シテ、而シテ後ニ豫算ガ決定サルベキモノデアル、此順序ガ間違ッテ居ルカラ、之ニ向ッテハ政府ニ注意ヲ與ヘテ、今後斯ノ如キ事ノナイヤウニ注意ヲ與ヘテ、本案ヲ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定セリ卽日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス二月二十四日法律第八號ヲ以テ公布セラル

一八　砂糖消費稅法中改正法律案

砂糖消費稅法中左ノ通改正ス

第一條中「、稅關又ハ保稅倉庫」ヲ「又ハ保稅倉庫」ニ改ム

第四條中「、稅關又ハ保稅倉庫」ヲ「又ハ保稅地域」ニ「殘金アルトキハ之ヲ擔保提供者ニ還付ス」ヲ「不足金アルトキハ之ヲ追徵シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス」ニ改ム

第五條　政府ノ承認ヲ受ケ外國輸出ノ目的ヲ以テ製造場又ハ保稅地域ヨリ引取ラルル砂糖、糖蜜又ハ糖水ニハ消費稅ヲ課セス

前項ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ消費稅ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第一項ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ニシテ引取後六箇月以內ニ外國ニ輸出セラレタルコトノ證明ナキモノハ內地消費ニ供セラレタルモノト看做シ直ニ其ノ消費稅ヲ徵收ス但シ天災其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ亡失シタルモノニシテ政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條第二項及第三項ノ規定ニ依ル擔保ニ之ヲ準用ス

第六條　第四條第一項但書、前條、第十一條ノ一及第十一條ノ二ノ場合ヲ除クノ外消費稅納付前ニ於テハ製造場又ハ保稅地域ヨリ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ引取ルコトヲ得ス

第七條　第四條第一項但書、第五條、第十一條ノ一及第十一條ノ二ノ場合ヲ除クノ外砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者ハ消費稅納付前ニ於テ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ他ニ引渡シ又ハ政府ノ承認ヲ受ケシテ之ヲ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ承認ヲ受ケ消費稅納付前砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造場外ニ移出シタル場合ニ於テハ移出先ヲ以テ製造場ト看做シ移出先ノ營業人ヲ以テ製造者ト看做ス

前項ニ依リ移出シタル砂糖、糖蜜又ハ糖水ニシテ其ノ移出先ニ移入セラレサルトキハ移入者ヨリ直ニ其ノ消費稅ヲ徵收ス但シ天災其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ亡失シタルモノニシテ政府

ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條ノ一中「、稅關又ハ保稅地域」ニ「、災害」ヲ「天災其ノ他已ムコトヲ得サル事由」ニ「本條ノ場合ニ之ヲ適用ス」ヲ「第二項ノ規定ニ依ル擔保ニ之ヲ準用ス」ニ改ム

第十一條ノ二　政府ノ承認ヲ受ケ飲食スヘカラサル處置ヲ施シ製造場又ハ保稅地域ヨリ引取ラルル糖蜜ニハ消費稅ヲ課セス

第十二條　政府ノ承認ヲ受ケ消費稅ヲ課セラレタル砂糖ヲ以テ製造スル糖水ニ付テハ本法ヲ適用セス

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ消費稅五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其ノ消費稅ヲ徵收ス但シ消費稅六圓未滿ナルトキハ罰金額ハ三十圓トス

一　第六條又ハ第七條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二　政府ニ申告セスシテ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造シタルトキ

三　前二號ニ該當スル場合ヲ除クノ外詐僞其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ消費稅ヲ逋脫シ又ハ逋脫ヲ圖リタルトキ

第十三條ノ二　第八條ノ二ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ三圓以上ノ科料ニ處ス但シ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ原料トスル物品ヲ製造シタルトキハ前條ノ例ニ依ル

第十四條及第十五條中「三圓以上三十圓以下ノ罰金又ハ科料」ヲ「三十圓以下ノ罰金又ハ三圓以上ノ科料」ニ改ム

第十六條　本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條第四十一條、第四十六條第二項、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヰス

第十七條ノ二　本法ニ於テ保稅地域ト稱スルハ關稅法ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五年一月二十日本院ニ之ヲ提出ス同月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開キ加藤大藏省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ趣意ヲ簡單ニ申上ゲマス、現行ノ砂糖消費稅法ニ於キマシテハ、外國ニ輸出スル目的ヲ持ッテ居リマスル砂糖ニ對シテ消費稅ヲ納ムル爲ニ擔保ヲ取ッテ置キマスル制度ニナッテ居リマス、然ルニ過去ノ實驗カラ見マスルニ、一回モ未ダ其擔保ヲ賣却シテ、サウシテ之ヲ償フガ如キコトハアリマセヌノデ、殆ド此擔保ヲ徵スル必要ガナイ、然ルニ擔保ヲ取ッテ置キマスルト云フト、當業者ハソレダケノ金ヲ始終寢カシテ置カナケレバナラヌノデアリマスカラ、當業者ニ取ッテ非常ナ苦痛デアリマス、故ニ此擔保ヲ取リマスルコトヲ能メタイト云フノガ一ノ趣旨デアリマス、又糖蜜デ飲食スベカラザル場合ニ處置ヲ施シタモノデアリマシテモ、之ニ對シテモ稅ヲ取ルト云フコトニナッテ居リマス、所ガ既ニ飲食ヲバ適當ダト云フコトニナッテ居リマスルモノハ、消費稅ヲ取ルト云フガ如キコトハ、其當ヲ缺イテ居ルコトヽ考ヘルノデアリマス、之ヲ免除致スト云フコトノ趣意ガ一ツデアリマス、又課稅濟ノ製糖ヲ以テ精製致シマシタ糖水、是ニモ稅ヲ課スルコトガ出來ルト云フヤウニナッテ居リマス、是モ甚ダ其當ヲ缺イテ居ルト考ヘマスノデ、是モ取ラヌコトニ致サウト云フコトノ精神デアリマス、此三箇ノ精神ガ此消費稅法中改正法案ヲ提出致シマシタ理由デアリマス、宜シク御審査ノ上御贊成ヲ願ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ一月二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行

ヒ審査ノ末同月二十八日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十九日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長棚瀬軍之佐君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

砂糖消費稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、本改正案ハ御承知ノ通リ三箇ノ趣旨ヨリ成立ッテ居リマス、第一ハ現行法ニ依リマスレバ外國ニ輸出スルトコロノ砂糖ニ對シマシテモ其色素相當ノ消費稅引當擔保ヲ取ッテ居ッタノデアリマスガ、是ハ從來ノ實驗ニ依リマシテ最早其必要ヲ認メナイカラ、今後ハ此引當擔保ハ取ラナイト云フコトガ一ツデアリマス、第二ハ食用ニ供セザルトコロノ糖蜜之ニ對シテハヤハリ稅ヲ取ラナイ、現行法ニ依リマスレバ其用途ノ如何ヲ問ハズ、悉ク課稅ヲ致シテ參ッタノデアリマス、第三ハ一旦課稅濟ノ砂糖ヨリ精製致シタルトコロノ糖精ニ對シテハ稅ヲ取ラナイ、此三ッデアリマスルノデ、委員會ハ愼重審議ヲ致サレマシテ大體ニ於テ政府ノ此提出サレマシタ改正案ハ、機宜ニ適シタルモノデアルト云フコトデアリマシタケレドモ、唯第五條ノ中ニ既ニ原則トシテ外國ニ輸出スルモノニ對シテハ稅ヲ取ラナイニ拘ラズ、六箇月以內ニ其輸出先ノ陸揚證明ヲ持ッ來ナイモノニ對シテヤハリ稅ヲ取ル、內地消費稅同樣ノ稅ヲ取ル、斯ウ云フコトノ規定ガアリマスルノデ、本法制定ノ當時ハ砂糖ノ供給部面ハ先ヅ遠クテ印度、大體東洋方面ダケニナッテ居リマシタガ、現今ハ販賣區域ガ極メテ擴大サレマシテ、南米各國、濠洲尙印度ヲ越ヘマシテ遠ク大陸地方ニマデモ及バントスル狀況デアリマスルノデ、六箇月以內ニ陸揚證明ヲ取ルト云フコトハ少シク短キニ失スル、故ニ之ヲモット延長スルコトガ相當デハナイカト云フ御議論ガアリマシテ、政府モ其意見ヲ尤モデアルト諒トサレテ、而シテ政府委員ヨリ此希望主張ニ對シテ一ノ聲明ヲ致サレマシタ「六箇月以內ニ陸揚證明ヲ提出シ能ハザル事情アリト認メタル場合ニ於テハ右陸揚證明ヲ提出セザルコトヲ得」ト云フコトノ意味ニ、勅令卽チ施行細則ヲ規定スルコトニ致スベシ、斯樣ナ聲明デアリマシタガ、委員會ハ政府ノ其聲明ニ確信ヲ置キマシテ、暫ク其處置ニ一任スルト云フコトヲ以テ滿足致シマシタ、ソレカラ可否ノ採決ヲ致ス前ニ於テ、委員長澤倉吉君ヨリ一ノ希望條件ガ提出ヲ致サレマシタ、其希望條件ハ砂糖消費稅ノ稅源ヲ侵害スルノ虞アル製品ニ對シテハ、相當ノ課稅方法ニ付キ考慮

セラレムコトヲ望ム、此希望條件ヲ提出セラレマス

述サレマシタ、今ヤ其餡ノ生產——各府縣ニ於ケル所ノ餡ノ生產高ハ、非常ナル勢ヲ以テ增加シテ居ル、現今豫想デハアリマスルケレドモ、想フニ一億萬斤ニ近イモノデアラウト思フ、之ヲ百斤樽入ノモノニ換算ヲ致シマスルト、百萬樽、斯樣ニ此餡ノ生產高ガ增加セムトスル傾向ニ對シテハ、卽チ一面ニ於テ砂糖ノ消費區域ヲ侵害スルノデアル、故ニ此稅源ヲ涵養シ或ハ保護シ或ハ維持スル上ニ於テ斯樣ナ製品ニ對シテハ、相當ノ課稅ヲ爲スト云フコトノ考慮ヲ政府ハ費スコトガ必要デアル、斯樣ナ意味デアリマシタ、ソレカラモウ一ツ山本悌二郎君ヨリ希望條件ガ提出致サレマシタ、ソレハ砂糖ノ消費稅引當擔保トシテ稅務署ニ提供致シ置ク所ノ此擔保ヲ、各稅務署ニ共通スルト云フコトヲシテ貰ヒタイト云フコトデアリマス、政府委員ハ總テ委員會ノ此主張意見ヲ尊重シテ、出來得ル限リ其希望ニ副フベク努メルト云フコトデアリマシテ、其結果全會一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、御報告致シマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ二月十二日可決奏上シ四月十九日法律第三十八號ヲ以テ公布セラル

一九　議院法中改正法律案

議院法中左ノ通改正ス

第十七條中「職員」ヲ「職員中判任官以下」ニ改ム

五年一月二十一日本院ニ之ヲ提出ス翌二十二日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ高橋法制局長官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、貴衆兩院ノ守衛長ノ地位ヲ高メマスルコトハ、多年ノ懸案デゴザイマシタ、去年ノ特別議會ニ於キマシテモ、衆議院ヨリ御提出ニナリマシテ、其目的ヲ達スルタメ御審議ノ結果、衆議院ヨリ通過致シマシテ貴族院ニ送付サレマシタ、所ガ惜ムラクハ會期ノ短カクゴザイマシタルガ爲ニ、其目的ヲ達セズシテ終リマシタノデゴザイマス、今回政府ヨリ此案ヲ提出致シマシテ、守衛長ノ地位ヲ高メルコトニ致シマシタノデゴサイマスルガ、ソレニ付キマシテハ此議院法ノ第十七條ニゴザイマスル所ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス、左樣致シマスルト守衛長ヲ高等官ニ致シテ、而モソレガ書記官ノ外デアルガ故ニ、書記官長之ヲ任ズルト云フコトノ解釋ガ出テ來マスルト云フト、甚ダ穩當ヲ缺クコトガゴザイマスルカラシテ、ソコデ「書記官ノ外他ノ必要ナル職員」ノ下ヘ「中判任官以下」ト云フ文字ヲ加ヘルト云フコトニ致シタト云フ案デゴザイマス、何卒御審議ノ上協贊アランコトヲ希ヒマス

質疑、應答ノ後委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス委員ハ同月二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月二十八日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出シ又委員三土忠造君外二名ハ少數者意見書ヲ提出セリ

（少數者意見書）

議院法中左ノ通改正ス

第十六條第一項中「書記官數人」ノ下ニ「及守衛長一人」ヲ加フ

同條第二項中「書記官」ノ下ニ「及守衛長」ヲ加フ

第十七條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

守衛長ハ守衛番長以下ヲ部署シ院中ノ取締ニ任ス

同條第三項中「書記官」ノ下ニ「及守衛長」ヲ加フ

翌二十九日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長米田實君ハ委員會ノ經過及結果ニ付報告ヲ爲シ質疑、應答ノ後委員三土忠造君亦少數者意見ノ報告ヲ爲セリ

米田實君ノ報告

本員ハ此ニ議院法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝結果ヲ御報告致シマス、本案ハ議院法ノ第十七條ノ三項ヲ改正致シマシテ、從來判任官ニ在ルモノヲ、此條項ニ於テ奏任官ト認メタイト云フノガ改正ノ趣旨デアリマス、サウ致シマシテ其內容ニ含マレテ居ルトコロハ、ドウ云フモノヲ奏任官ニ進メルノカ、斯ウ言ヒマスルト、守衛長ヲ奏任官ニ進メタイト云フ趣旨ニ出テ居ルノデアリマス、而シテ本案ニ付マシテハ、案ハ極ク簡單デアリマスルガ、議院法ガ憲法附屬ノ重要ナル法律デアルガ故ニ、此改正ト云フコトニ付テハ、十分ノ討議ヲ盡シタノデアリマス、ソコデ先ヅ本案ニ付テ各委員間ニ一致シテ居ル點ハ、守衛長ヲ奏任官ニスルト云フコトニ付テハ各員一致シテ居ル、ソレカラ又議院法ナルモノハ、憲法附屬ノ法律デアルガ故ニ、十分ニ審議シ尙又此附屬ノ法規タルガ故ニ餘リ手ヲ著ケナイノデ、改正ノ趣旨ヲ貫クコトニシタイト云フ點ニ於テモ、委員間ニ於テ一致致シテ居ルノデアリマス、唯問題ト相成リマシタノハ、之ヲ議院法中何レノ法條ニ入レルカ、卽チ第十六條ノ方ノ法條ニ入レルモノデアルカ、將又政府案ノ如ク第十七條ノ第三項ニ依テ、奏任官ヲ認メシムルコトノ法條ニスルカト云フ點ニ於テハ、非常ニ委員會ニ於テハ議論ガアッタノデアリマス、先ヅ政府ガ此第十七條ノ第三項ニ依テ認メタイト云フ趣旨ハ、何レニ在ルカト云フト、第一ハ職務ノ點デアリマス、其職務ハ——守衛長ノ職務ナルモノハ、第十六條ニ規定サレタ所ノ書記官ノ如ク職務ヲ重要トシテ居ラヌノデアル、デ書記官ト同一視スル重要ノ程度デハナイト云フノガ一ツ、是ガ卽チ第十六條ヲ改正シテ入レタイト云フノガ一ツノ理由デアリマス、ソレカラ第二ノ點ハ任用方法モ變ッテ居ルノデアル、卽チ第十六條ニ依ル所ノ書記官長、書記官ナルモノハ高等文官デアリ、守衛長ハサウデナクシテ特別任用デアル、一種ノ技能ヲ有スル所ノ人ヲ要スルノデアル、ガ故ニ、特別任用ノ方法ニ依ルノデアルカラ、此法文ヲ第十六條ニ入レルヨリモ寧ロ十七條ニ入レタ方ガ穩當デアル、是ガ第二、

其次ガ第十七條ト第十六條トハ法律ノ上ニ於テ保護ヲ異ニシテ居ル、是ガ理由デゴザイマス、何故カト云ヒマスト第十六條ニ於ケル所ノ書記官長書記官ト云フモノハ、裁判官ノ如ク終身官デハナイ、終身官デハゴザイマセヌガ官制ト云フ上ニ於テ認メラレテ居ルノデアル、書記官長書記官ト云フモノヲ官制ニ認メラレテ居ル、官制ニ認メラレテ法律デ認メラレテ居ルトコロガ第十七條ニ於ケル所ノ第三項ノ職員ト云フモノハ、是ハ法律ハ職員ダケヲ認メテ居ッテ、サウシテ其職員ノ中ニ含マレテ居ル所ノ守衛長トカ、速記技手トカ云フヤウナ風ノ、職員ノ某ト云フ名稱ヲ指スモノハ認メテ居ラヌノデアル、ソレデ法律ノ保護ノ程度ヲ異ニシテ居ルノデアル、乃チ官制ノ改革ト云フ上ニ於テ、第十六條ニ依ル書記官長書記官ハ廢官ナドト云フコトハ更ニ無イノデアル、法律ヲ以テ更ニ此書記官長ナリ書記官ヲ改メナイ以上ハ廢官ハナラナイノデアル、併ナガラ第十七條ニ於ケル所ノ職員ト云フコトヲ認メテ居ルニ過ギナイ、職員中ニ某某ヲ認メテ居ラヌガ故ニ、官制ニ於テ改廢スルト云フコトガ出來得ルノデアルカラ、保護ノ程度ガ違フガ故ニ此點カラ持ッテ行ッテ第十六條ニ加ヘルコトガ出來ヌト云フガ一ツノ理由、今一ツノ理由ハ、第十七條ナリ第十六條ノ議院法ニ於テ書記官長ト書記官ト云フコトヲ法律ニ認メテ、其他ノ職員ヲ勅令ニ讓ッテ認メシムルノ形式ヲ執ッテ居ル、ソレヲ故ラニ法律ヲ以テ認メルト云フ必要ハ無イノデアル、守衛長ハソコマデニ重要視シナイノデアル、斯樣ナ理由ノ下ニ政府ガ十七條ノ第三項ニ依テ入レタイト云フノガ重ナル趣旨デアリマス所ガ是ニ對シテ修正說ガ出マシタ、其修正說ハ三土忠造君カラ出マシテ、是ハ第十六條ニ入レネバナラヌト云フ譯デ、第十六條ノ第一項中「書記官數人」ノ下ニ「及守衛長一人」ヲ加フ同條第二項中「書記官」ノ下ニ「及守衛長」ヲ加フ、ソレカラ第十七條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ「守衛長ハ守衛番長以下ヲ部署シ院中ノ取締ニ任ス」ト云フコト同條第三項中「書記官」ノ下ニ「及守衛長ヲ置ク」、斯ウ云フ修正案ガ出マシタ、此修正案ノ理由ハ新タニ守衛長ヲ奏任トスルノデアル、而シテ此議院法ノ第十六條ト云フモノハ奏任ヲ規定シテ居ル法條デアル、既ニ奏任ヲ規定シテアル法條ナラバ、明カニ守衛長ヲ奏任トスルト同時ニ、此第十六條ニ加ヘタラ宜シイト云フガ一ツノ理由、ソレカラ第二ノ理由ト致シマシテハ、守衛長ト云フ者ノ地位ハ議員ヲ保護スル所ノ重大ナル職務デアル、之ヲ官制ニ讓ルト云フコトニ致シマスト主務官廳ガ勅令ヲ改正シテ勝手ニ之ヲ改廢スル

ヤウナコトガ出來得ルノデアル、左樣ナ橫暴ナコトヲ認メテハイケナイノデアル、此故ニ法律ヲ以テ明カニ規定スルノ必要ガアル、故ニ第十六條ニ加フルノガ穩當デアルト云フノガ第二ノ理由デアリマス、ソレカラ第三ノ理由ト致シテハ、憲法第十條ニ掲ゲテアル所ノ「行政各部ノ官制及文武官」ト云フ事柄ニハ、議院法ニ定メテアル官吏ハ該ラヌノデアル、是カラ取除ケラレテ居ルノデアル、ソレガ故ニドウシテモ之ヲ法律デ認メルト云フ上ハ、議院法ノ第十六條ニ規定スル方ガ穩當デアルト云フノガ、即チ修正案ノ主ナル理由デアリマス、此修正案ノ理由ニ對シマシテ更ニ委員中ノ一人織田君カラ、憲法第十條ニ依ラナイ所ノ官吏ハ一人モ無イノデアルト云フ反駁ガアリマシテ、委員會ハ十分審議ヲ致シマシタ結果、政府案ガ通過致シタ次第デゴザイマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

三土忠造君ノ報告

諸君、此議院法改正案ハ案自體ハ極メテ微々タル問題デアリマシテ、此演壇ニ於テ本員ガ少數意見ヲ述ベナケレバナラヌト云フコトヲ、甚ダ遺憾ニ思フノデゴザイマス、少數意見ノ趣旨ハ唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ通リデアリマスカラ、之ヲ反覆致シマセヌ、先達ノ本會議ニ本席ニ於キマシテ本員ハ政府委員ニ疑問ノ點ヲ御尋ヲ致シマシタ所ガ、政府委員ハ一切ノ答辯ヲ避ケテ、委員會ニ於テ之ヲ述ベルト云フコトデアリマシタ、委員會ニ於キマシテ吾々ノ納得ノ出來ルヤウナ御說明ガアルカト思ッテ豫期シテ居リマシタトコロガ、唯今政府委員ガ丁度此席ニ御出デニナリマシタ如ク、澤山書類ヲ御持チニナッテ參リマシタケレドモ、其書類ノ中カラ何モ出ナカッタノデアリマス、而シテ政府委員ノ說明及與黨諸君ノ御討論ノ趣旨ハ、唯今委員長ノ御報告デ大體盡キテ居ルト思ヒマス、卽チ唯今諸君ノ御聽キノ通リ誠ニ支離滅裂ノモノデアリマシテ、アレデハ私共誠ニ贊成ハ出來ヌノデアリマス、先般本議場ニ於キマシテモ申述ベマシタ通リ、私共ノ見解ハ政府案ノ如キ改正ニ依リマシテハ、奏任官ノ守衛長ナル者ガ此ニ生レテ來ナイト云フ議論デアリマス、素ヨリ守衛長ヲ奏任官ニスルト云フコトニ付キマシテハ、私共一致ノ意見デアルト云フコトハ再ビ申スマデモナイコトデアリマス、唯形式ニ付キマシテ立法部トシテ笑ハレヌダケノコトヲ致シ

タイト云フノガ私共ノ希望デアリマス、政府委員モ度々委員會ニ於テ御述ベニナリマシタガ、議院法ト云フモノハ憲法附屬ノ法律デアルガ故ニ、之ヲ尊重シテ置カナケレバナラヌ、是亦私共同論デアリマス、故ニ私共ハ此議院法ト云フモノヲ尊重シタイト云フ精神カラシテ、此改正ニ付キマシテハ、餘程愼重ニ考慮ヲ費サナケレバナラヌト思フノデアリマス、從ッテ守衛長一人ヲ增加スルガ如キ小問題デアリマスケレドモ、立法論ト致シマシテハ、餘程鄭重ニ扱ハナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、政府委員及與黨諸君ノ議論ニ依リマスト、唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ如ク、此議院法ニ規定シテアル所ノ書記官長及書記官ト云フ者ハ、議院ノ事務局ヲ構成スルニ必要缺クベカラザルモノデアッテ、其以外ノ者ハ勅令ニ讓ッテモ宜シイノデアル、衆議院ニ若クハ貴族院ニ置クベキ所ノ總テノ職員ヲ、此處ニ規定シテアルノデアッテ、其外ハ勅令ニ讓ッテ宜シイノデアルト云フ議論デアリマシタ、私共ハサウ見ナイノデアリマス、議院法ハ憲法附屬ノ法律デアリマシテ、會計檢査院法或ハ行政裁判法等ノ如キ此ニ必要ナルトコロノ機關ハ、此議院法ニ總テ規定シテアルト思フノデアリマス、卽チ書記官長書記官ハ此ニ名前ヲ現ハシテ置キマスシ、其外ハ判任官デアッテ、第十七條ノ末項ニ持ッテ居ッテ、書記官長ノ任命權ノ中ニ讓ッテアルノデアリマス、卽チ衆議院事務局、貴族院事務局ニ於ケルトコロノ必要ナル職員ノ種類ト云フモノハ、此議院法ガ總テ規定シテアルノデアリマス、唯其細目ニ付キマシテ、補助規則トシテ事務局官制ガ出來テ居ルノデアリマス、種類モ總テ此ニ規定セズシテ唯其書記官長ニ任命權ヲ讓ルト云フコトヲ規ハ法律ヲ以テ規定シ、判任官以下ハ此ニ規定シテ居ル、而シテ此補助トシテ勅令ヲ以テ其種類及ビ員數ヲ極メテアルノデアリマス、故ニ此處ニ定シテ居ル判任官ヲ一人增スト云フナラバ、ドウシテモ此處ニ持ッテ來テ規定シナケレバナラヌ、議守衛長ト云フ奏任官ヲ一人增スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、若シ政府院法ニソレヲ規定セズシテ唯勅令ニ依ッテソレヲ增スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、若シ政府ノ見解ノ如ク致シマスルト、斯ノ如キ改正案ヲ出サナクテモ出來ルカモ知レヌ、是マデノ現行法ノ儘ニ致シマシテモ書記官ノ外他ニ必要ナル職員ハ、書記官長之ヲ任命スト書イテアリマスカラ、書記官長ガ任命スル職員ハ判任官以下デアルト云フコトハ、此處ニ必ズシモ規定スルコトヲ俟タヌノデアリマス、他ノ行政各部ノ官制カラ見マシテモ、任命委任ノ原則通則カラ見マシテモ、書記官長ガ任命スルノハ判任官以下デアルト云フコトハ、更ニ此ニ規定ヲ要セヌノデアリマス、故ニ此ニ政府案ノ如ク改正ヲ致シマシテモ、何等新事實ハ生ジテ來ナイノデアリマス、全ク蛇足デアリマス、政府委員ハ飽迄モ此議院法ニ規定シタトコロノ書記官長書記官ト云フモノハ重要ナルモノデアッテ、其外ハ勅令ニ讓ッテ宜シイト云フ御議論デアリマスガ、而シテ尙ソレニ附加ヘマシテ書記官長及書記官ハ是ハ普通ノ任用令ニ依ルモノデアル、ソレカラ是カラ設ケテ行カウト云フ守衛長トカ、或ハ其外ニ設ケルカモ知レヌガ、ソレハ特別任用デアルカラ必要ナモノデナイ、又職責ニ於テモ違フモノデナイ、是ハ勅令ニ讓ッテ宜イノデアリマス、文官任用令ニ於テ文官高等試驗ヲ經タル一般ノ任用令ニ依ルモノト、特別任用令ニ依ルモノトコロノ者トノ間ニ、必ズシモ職責ニ於テ輕重ノ別ハナイト思フノデアリマス、唯其任用セラルヽ位地其モノヽ輕重ハアリマスケレドモ、任用ガ本令デアルカ特別任用令デアルカニ依ッテ、其間ノ輕重ハ附カヌト思フノデアリマス、若シ政府委員ノ說明スルトコロニ依レバ、唯今ノ參政官副參政官ナルモノハ、是ハ特別任用デアルカラ、有ッテモ無クテモ宜イ官職デアル、而シテ他ノ諸官省ニ於ケル書記官若クハ參事官ト云フモノハ、特別任用デナク本令ニ依ルモノデアリマスカラ、參政官及副參政官ヨリハ餘程重イモノデアル、斯ウ云フコトニナルデハアリマセヌカ、此議院法ニ規定シテアルトコロノ書記官長及書記官ハ重要ナルモノデアル、其外ニ奏任官ヲ設ケテソレハ重要ナモノデナイ、或ハ特別任用ト特別任用ニアラザルモノヽ區別ト云フモノハ、是ハ窮餘ノ說明デアッテ、決シテ本案ニ對スル說明ヲスルモノデナイト私ハ思フノデアリマス、デ若シ此官制ノ全部ヲ勅令ニ讓ルトカ、或ハ書記官長書記官ダケヲ重要ナモノト見テ、其外ハ附屬機關デアルカラシテ、勅令ニ讓ルト致シマシテモ、之ヲ勅令ニ讓ルモノト云フ一箇條ヲ加ヘナケレバ、之ヲ其處ヘ持ッテ來テ、奏任ノ職員ト云フモノハ出テ來ナイト思フノデアリマス、私共ハ斯ノ如キ問題デアリマスカラシテ、而シテ其目的ハ吾々モ共ニ一致シテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ全院一致ヲ以テ本案ノ通過ヲ計リタイト思ヒマス、私共ハ唯立法上ノ形式サヘ備ハレバ大抵一致點ヲ見出シテ通過ヲ計ラウト思ヒマシテ、段々考慮モ致シテ見マシタケレドモ、ドウシテモ政府與黨ノ諸君及政府ノ方ニ於テハ、此不條理ナル改正案ヲ飽迄モ一貫シテ動カヌ、其間ニイロ〳〵事情ハアリマセウケレドモ、其事情ハ此處デ申ス必要ハアリマセヌガ、ドウシテ

モ一貫シテ動カヌ故ニ、私共ハ已ムヲ得ズ少數意見ヲ出シタ次第デアリマスガ、寔ニ小ナル問題デアリマスケレドモ、議院ノ體面ニ關スル衆議院ノ見識ニ關スル問題デアリマスガ故ニ、私共ニ遺憾ナガラ是ハ爭ハザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ私ハ委員會ニ於ケル與黨諸君ノ態度及本案ニ對スル與黨諸君ヨリ段々私共ノ耳ニ入リマシタトコロノ御話ヲ綜合シテ見マスルト、如何ニモ諸君ガ議院ノ一面目トカ、或ハ法律上ノ正義正論ト云フモノニ重ヲ措カズ、情實ニ重ヲ措クト云フ傾向ガアリハセヌカト思フノデアリマス、一體私ハ明治四十一年以來議員ニナッテ居リマスガ、今日ノ與黨諸君ノ如キ御用振リヲ遺憾ナク發揮シテ居ル時代ハナイト思フノデアリマス、私共ノ與黨デアッタナラバ必ズ之ヲ匡正セシメマス、吾々ハ議案其モノガ出ル其前ニ、政府ニ向ッテ與黨ノ意見ヲ是マデ屢、申シマシタ、而シテ吾々ノ意見ヲ貫徹致シマシタガ、幸ニシテ吾々ノ助ケテ居ッタ政府ノ時分ニハ、斯ノ如キ失態ハ無カリタノデアリマス、與黨諸君及少數デアル諸君ハ、斯ノ如キ改正案ヲ以テ議院法ノ精神ニ牴觸セズ、而シテ是ダケデ以テ新ニ奏任官ノ守衛長ガ生ジテ居ルモノト云フ解釋ガ取レマスカ、若シ是レガ取レルト考ヘルナラバ、私ハ實ニ諸君ノ理性ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、先般來委員會ニ於テ委員ノ諸君悉クガ私共ト同意見デアッタト思フ、現ニ其委員ノ――人ハ申シマセヌガ或人ノ如キハ全ク君ト同意見デアルト言明セラレタ人ガアルノデアリマス、然ルニ其人ガ委員會ニ於テハ何時ノ間ニヤラ變ッテ居ル、其理屈ヲ新ニ發見シテ變ッタカト云フトサウデハナイ、其起立スル時分ノ有樣ヲ見マスト云フト、仕方ガナイカラ起ッ、自ラ仕方ガナイト言ッテ居タノデアリマス、固ヨリ政府與黨デアリマスカラ政府ヲ助ケンケレバナラヌケレドモ、斯ノ如キ問題ハ決シテ政策ノ問題デモ何デモナイ、僅カ守衛長一人ヲ奏任ニスルト云フコトデ、而シテ其目的ニ於テハ全然一致デアル、故ニ成ベク斯ウ云フコトハ全院一致ヲ以テ貴族院ニ廻シ、貴族院ニ於テモ全院一致ヲ以テ通シテ貰ヒタイ、而シテ其結果ヲ樞密院ニ於テモ容レラレテ、圓滿ニ之ヲヤリタイト思フノデアリマス斯ノ如キ微々タル問題ニモ政府與黨ノ忠勤振リヲ發揮シテ、而シテ條理ヲ無視シ議院ノ體面ヲ無視シテ、マルキリ情實ニ依ッテ決議スルト云フコトハ、私共議員トシテ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、私共ガ新ニ議員ニナリマシタ頃ニ、動モスルト云フト理屈ニ亙リマシテ、政界ノ事情其外内外ノ形勢等ヲ鑑ミズシテ、唯自分等ノ議論ヲ一

點張リニ突張ラウト云フ傾ガアリマシタ、得テ此新議員ト云フモノハサウ云フ傾キガアルノデアリマスガ、今度ノ新議員諸君ハ其反對ニ、何モ彼モ情實ガ政治ノ樣ニ心得テ、自分ノ主張ヲ何時ノ間ニヤラ曲ゲルト云フ人ガ澤山アルヤウニ私ハ思フノデアリマス、斯ノ如キ問題ニ付キマシテハ、ドウカ私ハ冷靜ニ條理ニ訴ヘテ、無理ヲシナイヤウニ、殊ニ議院法ノ如キ憲法附屬ノ法律デアリマスカラシテ、何處ヘ持ッテ行ッテモ恥カシクナイヤウナ改正ヲシタイト思フノデアリマス、幸ニシテ其目的ハ一致シテ、私共少數ノ意見ニ贊成セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

院議第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ織田了君及横山金太郎君ハ少數者意見ニ反對、松田源治君ハ贊成ノ演說ヲ爲ス

織田了君ノ演說

私ハ今三土君ノ言ハレル新議員デアリマス、ソレ故ニ是カラ正議公論ヲ以チマシテ、修正案ニ反對ヲシヤウト思ヒマス、三土君ノ修正意見ニ依リマスルト、兩院議院ニ設クベキ職員ノ總テト云フモノハ、議院法ニ規定ガシテアッテ、全部網羅シテアルト云フ御議論デゴザイマス、果シテ是ガ至當ナ解釋デアラウカト言ヒマスルト、決シテサウデハナイト私ハ思フデ議院法ノ十六條ニ於キマシテ書記官長書記官ト云フノ規定ハアリマスル、又十七條ニ於キマシテ、書記官長ハ――「書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス」ト斯ウアル、此規定デ以テ全部網羅サスルト云フコトガ言ヒ得ラレルカドウカ、斯ウ云フコトニナリマスルガ、私ハ此十六條ニ書記官長書記官ト云フモノヲ規定シタノハ、是ハ重要ナル機關ヲ規定シタマデデアッテ、其他ノ職員ハ卽チ官制ニ讓ッテアルノデ、卽チ事務局官制ニ見マスレバ、ヤハリ其他ノ職員ガ規定シテアル、斯ウ兩方ノ規定ヲ俟チマシテ、初メテ議院ノ職員トシテ居ルノデアル、サウ致シマスレバデスナカ、斯ウ云フモノガ完備シテ居ルト云フモノガ、是非トモ之ヲ議院法ニ設ケネバナラヌト云フ理由ガ何處カラ出テ來ヤウカ、此ニ於テハ其必要ノ理由ト云フモノハ未ダ反對者カラ

モ聞イタコトハナイノデアリマス、デツマリ此奏任デアルカラ書記官ト同等ニ規定スベキモノデアラウ、ソレガ宜カラウト斯ウ云フ問題ニナルノデアリマスルガ、私ハ此重要ナル書記官ト守衛長ノ如キデスナ、左程重要ニ非ザル所ノ機關トハ同一ニ置クベキモノデナイ、何故ト言ヒマスレバデスナ、今度守衛長ヲシテ奏任官ノ地位ニ高メルト云フコトニハシマスケレドモ、其守衛長ノ職務ト云フモノハ依然トシテ變更シナイ、元ノ通リノ職務デアリマス、而シテ其守衛長ノ職務ガデスナ、如何ニ重要デアルカト云フコトヲ見マスルト、是ハ人事ニ關係ガアルカラソレ故ニ是ハ書記官ト同等ニセネバナラヌト斯ウ云フ議論デアリマスルガ、此反對ノ議論ト云フモノハ、私ハ取ルニ足ラヌト思フ、人事ニ關係スルト云フコトハ、先般總理大臣ニ向ッテ肉薄シタヤウナ如キ場合ヲ想像サレルカト思ヒマスルガ斯ノ如キハデスナ、寧ロ議院トシテ之ヲ必要ナリト云フコトハ私ハ最モ議院トシテ不體面ナコトヲ來スト思フ、デ寧ロサウ云フ方カラ比較シマスルト、私ハ速記者ノ如キデスナ、最モ此言論ノ府ニ於キマシテ必要ナ速記ヲスル、其爭ノ起ル事實ヲ見マス場合ニハ、最モ此速記者ノ方ガ重要デアラウト思フ、然ラバ又將來ニ於キマシテモ之ヲ奏任官ニスルト云フ場合モナキニシモ非ズ、而シテ見マスレバ此議院法ヲ折々——屢々又改正スルト云フコトニナリマスデ斯ノ如キハ甚ダ宜シクナイ、元來此議院法ノ十六條ニデスナ、書記官長ハ勅任トシ、書記官ハ奏任官ト云フ規定ガアル、本來是ハ官制ニ規定スベキモノデ、議院法ニ規定スルノハ宜シクナイ、適當ナラヌト私ハ信ジマス、デ其既ニ規定サレテアルノニモ拘ラズ、尚ホ此ノ所ヘ守衛長ヲ又加ヘルト云フコトハ益々其立法上適當ナラザルノミナラズ、尚體裁モ甚ダ宜クナイ、デ是ヨリ比ベマスレバ政府案ノ如ク之ヲ官制ニ讓リマシテ——官制ニ讓ッテサウシテ守衛長ヲ奏任ニスルト云フコトノ爲ニ、此十七條ノ規定ヲ簡單ニ改正スルノガ最モ適當デアルト斯ウ信ズルノデアリマス、デ大體三土君ガ兩院ノ職員ハ總テ議院法ノ規定ニシテアル、斯ウ云フ前提ガ私ハ間違ッテ居ルト思フ、ソレカラシテ守衛長ハ議院法デ是非現ハサネバナラヌ、斯ウ云フ御議論デアリマスルガ、何故ニ守衛長ハ議院法ニ現ハサネバナラヌカト云フ私ハ其根據ヲ見出サヌ、單ニ奏任官トシ云フマデハ規定ガアルカラ、之ニ列ニ竝ベヤウト云フニ過ギナイノデ、必シモ奏任官ヲ議院法ニ載スヨリハ是ハ官制ノスベキ性質ノモノデアルカラ官制ニ載セテ宜シイ、又此立法部ニ於ケル職員ハ丁度

裁判所ノ判事、或ハ會計檢査院若クハ行政裁判所ノ如ク法律ニ規定スベキモノデアル、斯ウ云フ御議論デ引用ニナリマスガ、是ハ又違ッタ御議論デ、憲法ニ依リマスレバ五十九條ニ於テ裁判所ノ構成竝ニ職員、是ハ法律デ定メルコトニナッテ居リマス、又會計檢査院ノ組織職權ニ付キマシテモ七十二條ニ規定ガアル、行政裁判所ノ如キニ付キマシテモ憲法六十條ニ規定ガアル、斯ク法律ニ規定ノアル以外ノモノハデスナ、法律ニ於テ規定スベキモノデナイト云フコトハ明カデアル、サウシテ見マスレバデスナ、此衆議院——此議院ノ職員ハドノ部ニ當ルカ斯ウ云フコトニナリマス、憲法ノ十條ノ但書ニ依リマシテ、此議院法ト云フモノハ生ジタモノデアル、憲法ニ揭ゲテアルモノハ各〻其條項ニ依ル」、此憲法ニ揭ゲテアルモノハ、即チ此議院法ニ揭ゲタ所ノ職員ヲ揭ゲタモノト云フノハ、即チ此議院法ニ揭ゲタ所ノ書記官長若クハ書記官ノコトヲ指シタモノデアル、サウシマスレバデスナ、サウスレバ此以外ニデス、法律ヲ以テ定メルト云フモノハナイノデアル、然レバ此官制ニ定メル所ノモノハ、即チ第十條ノ本文ニ依ッタモノデアルト私ハ思フ、デ從ッテデスナ、若シ之ヲデスナ修正說ノ如ク致シマスルト、却テ憲法ノ十條ノ本文ニ違反シ、憲法違反デアルト云フ結論ヲ生ズルト思フ、ソレカラシテ今又議院ノ職員ハ、議院ガ任命スベキモノデアリマスガ、議院ノ職員ヲ議院ガ任命スルト云フコトハ、外國ニ於テハイザ知ラズ此日本ノ憲法ニ於テハ決シテ出來ナイコトダト私ハ思フ、憲法ノ十條ハ「天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ヲ任免ス」ト云フコトデアル、此衆議院ノ職員ハ、純然タル行政官デアル、ソレ故ニ之ヲ官制ニ規定スベキハ是ハ通則デアルノデアル、此通則デアル中カラ議院法ニ規定スベキハ是ハ通云フニ止マルノデアリマスカラシテ、之ヲ以テ修正案反對ヲ表スル所以デアリマス、デ是ハデスナ、是ハ勿論政黨問題デモ何デモナイ單純ナ法律問題デアリマス、餘リ其三土君ノヤウナ御議論ニ贊成サレナイヤウニ私ハ希望ヲ表シマス

松田源治君ノ演說

本問題ハ憲法附屬法ノ議院法ノ改正ニ係ルノデアリマス、餘程事大ナル議案デアリマス、而シテ政府

ノ今回改正サレントスル所ノ規定ハデス、今マデノ議院法ノ立法例ニ變更ヲ加ヘントスル立法デアリマスカラ、餘程此問題ハ重大ナコトト考ヘルノデアリマス、本員ハ之ヲ一言セザルヲ得ヌノデアリマス、御承知ノ通リ行政各部ノ官制ヲ定メルコトハ　天皇ノ大權デアリマシテ、是ハ私ノ申スマデモナイノデアリマス、憲法第十條ニモ之ヲ規定シテアリマス、而シテ憲法第十條ノ但書ニ「但シ此ノ憲法又ハ他ノ法律ニ特例ヲ掲ゲタルモノハ各〻其ノ條項ニ依ル」卽チ　天皇ノ大權トシテ勅令ヲ以テ官制ヲ規定スベキモノデアルガ、其例外トシテ第一憲法ニ特例ヲ定メタル場合、第二法律ノ定メタル場合ハ法律ニ依レ、其規定ニ依レト云フコトハ明カニナッテ居ルノデアリマス、此規定ニ依リマシテ憲法ヲ見マスルト、憲法ノ第五十七條ニハ「裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」裁判所ノ構成ハ勅令ヲ以テ規定ハ出來ナイ、卽チ法律ヲ以テ之ヲ定メルト云フコトガ規定シテアリマス、是ガ特別ノ一ツデアリマス、又憲法六十一條ニ依リマシテ行政裁判所ハ法律ヲ以テ定メルト云フコトガ憲法ニ規定シテアリマス、第三ハ、憲法七十二條デアリマス、ソレハ「會計檢査院ノ組織及職權ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」ト書イテアリマス、是ガ此憲法ニ規定シテアル所ノ特例ノ第三デアリマス、議院法ハ如何デアルカト申シマスレバ「兩議院ハ此ノ憲法及議院法ニ掲クルモノヽ外」ト云ッテ、議院法ヲ憲法ハ認メテ居ルノデアリマスカラシテ、此法律ニ特例ヲ掲ゲタ所ノ一デアリマシテ、議院法ニ於テ法律ニ依ッテ總テノ職員ヲ定メナケレバナラヌノデアリマス、卽チ原則トシテ普通ノ裁判所、行政裁判所、會計檢査院及此議院ト云フモノハ、議院ノ職員ノ總テヲ法律ヲ以テ規定スルコトヲ原則トスルコトハ今私ノ朗讀シタル所ノ憲法ノ明文ニ於テ明ナルモノナリト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ議院法ノ第十六條第十七條ニ依リマスレバ、總テ此中ニ規定シテアリマス、卽チ書記官長書記官長之ヲ任ス」卽チ必要ナル職員ト云フ中ニ入ッテ居ルノデアル、此職員ハ若シ官制ノ補充規定ガナケレバ書記官長ガ名ヲ附ケテ宜イノデアル、書記官長ガ細則ヲ定メテ守衞トシテモ宜シケレバシナクテモ宜シイ、守衞長トシテモ宜イ、他ノ名ヲ附ケテモ宜シイノデアル、是ハ明治二十三年議院ノ出來ヌ前、開ケナイ前書記官長ガ任命ニナラナイ前ニ、衆議院事務局官制ト云フモノガ勅令デ發布サレタノデアリマスカラ、書記官長ハ其名ヲ附ケルコトガ出來ナカッタノデアル、卽チ末項ニ依ッテ、書記官長ト書記官以外ノ職員ハ其名ヲ官制ニ於テ補充シタノデアッテ決シテ法律ニ依ッテ定メヨト云フ所ノ原則ヲ破ッタモノデナイト云フコトヲ私ハ斷言致スノデアリマス、サウ致シマスレバ此議院法ノ守衞長ヲ今度奏任ニスルト云フコトデアリマスカラ、奏任ニスルト云フコトハ、其人ヲ奏任ニスルノデハナイ、守衞長ト云フ官職ヲ奏任ニスルノデアリマス、多年ノ功勞ガアルカラ今ノ守衞長ヲ奏任ニスルト云フノデハナイ、是ハ念ノ爲ニ政府ニ尋ネマシタトコロガ、政府ハヤハリ人ニ依ッテデハナイ、官ガ重職デアルカラ其官職ナル守衞長ヲ奏任ニスルノデアルト云フコトヲ答ヘタ以上ハ、此議院法ノ今マデノ立法例ニ依リマスレバ、奏任ナルモノハ非常ナ主要ナル役人ト致シテ居リマシテ、其官名ト官等ガ定メテアリマス、卽チ十六條ニ書記官長ガ一名書記官數名ヲ置クトシテ、書記官長ハ勅任トシ書記官ハ奏任トスト云フコトガ書イテアルカラ、奏任ノ守衞長ヲ置クナラバ、此立法例ニ則ッテ卽チ議院ノ職員ヲ法律ヲ以テ規定スルト云フ主義ニ則ッテ、守衞長一人ヲ置ク、守衞長ハ奏任デアルト云フコトヲ規定シナケレバ、奏任ノ守衞長ハ生レ出デナイモノデアルト云フコトハ明カデアル、決シテ之ニ反對スルコトハ出來ナイモノト考ヘルノデアリマス、且ツ政府ノヤウニ十七條ノ末項ヲ改正シテ、必要ナル職員中判任以下ハドウスルトイフ今マデト同ジ事デアル、論ジ詰メレバヤハリ書記官ニ依テ之ヲ任用スルコトハ當然デアル、之ニ唯蛇足ヲ加ヘタニ過ギナイノデアッテ、政府ノヤウナ原案デハ、如何ニシテモ議院ノ守衞長ノ主要ナルコトハ、單ニ此事ヲ詳シク規定スルニ過ギナイ今マデト同ジ事デアル、論ジ詰メレバヤハリ書記官長ハ書記官以下ノ必要ナル職員ハ任命ノ原則ニ依テ之ヲ任用スルコトハ當然デアル、之ニ唯蛇足ヲ加ヘタニ過ギナイノデアッテ、政府ノヤウナ原案デハ、如何ニシテモ議院ノ守衞長ノ主要ナルコトハ、人ハ今ノ立法方法デハ決シテ出ナイト云フコトヲ私ハ斷定シテモ差支ナイト思ヒマス、是ガ第一ノ理由第二ノ理由ハ今少シ主要ナル理由デアル、議院ニ隷屬シテ居ルトコロノ議院事務局デアリマス、是ハ廣義ノ意味ニ於テ言ヒマスレバ行政部デアリマス、會計檢査院モ行政部デアリマス、行政裁判所モ行政部デアリマス、故ニ衆議院ノ事務局モ廣義ニ云ヘバ行政部ノ一ツデアリマスガ、內閣ニハ隷屬シテ居リマセヌ、豫算ノ關係デ大藏省カラ豫算案ハ出シマスケレドモ、內閣ニ隷屬シテハ居ナイ、衆議院事務局ノ官制ニ致シマシテモ、議長ガ指揮シテ立法部ニ隷屬シテ居ルトコロノ行政官ヲ以テ組織シテ居ルノデアリマスカラ、此重要ナル立法部ニ屬シテ居ルト

ノ衆議院事務局ノ職員ハ、奏任ニスルト判任ニスルト云フコトヲ決定スル時分ニハ、議院ノ意思ヲ尊重シナケレバナラヌ、行政權ヲ以テ干渉シテ、行政權ヲ專ラ委シテサウシテ議院ノ意思ハ顧ミナイ、議院ノ協贊權ハ其範圍ヲ縮少シテ之ヲ無視スルト云フコトハ、議院ノ面目ニ關スル重大ナル事ト私ハ斷定スルノデアリマス、諸君、私ハ先程高木君ガ申シタヤウニ、ヤハリ是ハ議院ノ事務局ト云フモノハ獨立ヲ致シテ、指揮權ノミヲ議長ガ有ッテ居ル、身分ニ關スルコトハ內閣總理大臣ガ有ッテ居ル、政府デ有テ居ル、ソレデ書記官長書記官ハ非常ニ迷フノデアル、議長ニ忠實ナラムカ、立法部ニ忠實ナラムカ行政部ニ忠實ナルコトガ出來ナイト云フノデアル、今日マデイロ〳〵ナ弊害ガ生ジテ居ル、是ハ高木君ノ言フガ如ク理想トシテハ改正スルコトガ必要デアルト私ハ思フ、議院ガ——議長ガ書記官長以下ノ職員ヲ任命スルコトノ權ヲ有ツコトガ出來ナケレバ、議長カラ上奏シテ 天皇之ヲ任命スルト云フコトニシテ差支ナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、是ハ總テノ法規ヲ餘程改正シナケレバナラヌカラ、理想トシテハ贊成デアルガ、直チニ此法文ニ現ハスト云フコトハ出來ナイノデアリマス、是マデ進歩シナケレバナラヌ、是マデ進歩シナイ、獨立スル議院ノ事務局ト云フモノハ獨立スルコトハ出來ナイ、獨立スルコトガ出來ナイカラ種々ノ弊害ガ今日マデ生ジテ居ルノデアル、身分モ議長ガ掌リ任免黜陟權モ議長ガ掌リ、指揮權モアレバ身分ノ任免黜陟ノ權モ議長ガ有ッテ、奏任以上ハ議長ノ上奏ニ依ッテ極メル、判任官以下ハ議長ガ極メルト云フコトニナッテ、初メテ衆議院事務局ノ獨立ト云フモノガ全ク取レルモノデアラウト思フノデアリマス、然ルニ今日改正スル政府ノ爲ストコロニ依リマスレバ、今日爲シタル守衞長ヲ明日ヨリ——朝令暮改ト云ファデハアリマセヌガ、此政府ハ朝令暮改ノコトガ多イガ、明日直ニ之ヲ判任ニスルコトモ出來ル、又守衞長ヨリ外ノモノヲ拵ヘテ、外ノモノヲ奏任ニスルコトモ出來ル、行政部ガ絕對ノ權利ヲ有ッテ立法院ハ之ニ參與スルコトガ出來ヌ、政府ノ專權ヲ以テ判任官ヲ奏任官ニシ、奏任官ヲ判任官ニスルト云フコトハ、議院自ラ政府ヨリ侮辱サレタルモノト言ッテ差支ナイト思フ、斯ウ云フ重要ナルコトガ含マレテ居ル、之ニドウシテ與黨ハ贊成スルノデアル、卽チ議院ノ面目ハ缺ケテ議院ノ立法權ヲ縮小スルノデハアリマセヌカ、卽チ奏任官ニスルト云フコトハ議院自ラ協贊シナケレバ、今日マデ衆議院貴族院ニ奏任官ヲ拵ヘルコトガ出來ナイ、此權利ヲ自ラ拋棄シテ行政權ヲ以テ干涉サシテ——行政權ヲ排斥スルノガ衆議院ノ努ムルトコロデアルガ、行政權ヲシテ今日以後益〻衆議院ノ事務局ニ干涉サセテ立法權ノ範圍ヲ縮小スルト云フコトハ、議院ノ權利、議院ノ面目ニ於テ本員斷ジテ贊成スルコトハ出來ナイノデアリマス、此二ツノ理由ニ依リマシテ、吾〻ノ同僚ノ三土君カラ提出致シマシタトコロノ少贊意見ニ贊成致シマスガ、與黨ノ諸君モ此問題ハ憲法議院法デアッテ、政黨ニ超越シテ居ル問題デアリマスカラ、議院ノ面目ヲ尊ビ、議院ノ立法權ヲ擴張シ、又議院ノ事務局ニ政府ノ干涉權ヲ入ラセナイト云フ爲ニハ、滿場一致ヲ以テ吾〻ノ修正說ニ贊成セラレムコトヲ希望スルノデアリマス

横山金太郎君ノ演說

唯今松田君ノ申サレマシタ如ク、私ハ單リ憲法問題ト言ハズ、總テノ法理問題ハ何時デモ感情ト黨派ト云フコトニ超越シタ問題デアルト信ジテ居リマス、此事ハ議院ノ守衞長ガ判任デアルノヲ陞シテ奏任ニスルト云フコトヨリ改正ノ必要ガ起ッタノデアリマス、卽チ之ヲ奏任ニスルト云フコトニ付キマシテハ、是マデ此演壇ニ御立チニナリマシタ議員諸君ノ御說ヲ聽イテ見テモ、委員會ノ經過ニ徵シマシテモ、未ダ曾テ異論ガナイノデ、堅苦シク言ヒマスレバ上下共ニ熱望ヲ致シテ居ルトコロノ問題デアッテ、大キク言ヘバ國論ト言ッテモ差支ナイノデアル、又強メテ言ヘバ國論既ニ是ガ改正ノ必要ヲ認メテ居ル爛頭焦眉ノ急ニ迫ッテ居ルト申シテモ妨ゲナイノデアル、素ヨリ凡ソ立法ニ體裁ヲ重ンジナケレバナラストト云フコトハ、吾〻モ同感デアリマス、殊ニ此二土君ガ御提出ニナリマシタ修正案ハ、此體裁ノ點ニ重キヲ置カレテアルノデアリマスカラ、一應道理ノアルモノヽ如ク見ラレルノデアリマス、併シ此立法事業ヲ企テルト云フ場合ニハ、少クトモ其主腦目的ガ含ンデ居ルノデアッテ、徒ニ形式ヲ顧ミルト云フコトニ急ニシテ、目的タル事業ヲ顧ミナカッタナラバ、到底之ヲ遂行スルコトハ出來ナイ、ソレ故ニ吾〻ハ形式卽チ體裁ニ屈シテ精神卽チ目的ヲ伸ブルト云フ考ヲ以テ、政府案ニ與スルニ至ッタノデアリマス、二土君ハ論ヲ結バルヽニ當ッテ在野黨ノ議員以外ノ人ハ甚ダ腑甲斐ガナイ、情實ノタメニ云爲左右スルコトニ至ッテハ怪シカラヌ話デアルト云フヤウナコトヲ御出シニナリマシタガ、私ガ是カラ申上ゲマスコトハ恐ラク二土君ノ御叱リヲ蒙ルコトデアラウト思ヒマス、幸ヒ其說ヲ述ベテシマフテ然ル後其批評ヲ下シテ貰ヒタイト聞ク所ニ依リマスレバ三土君ノ御出シニナリマシタ修正案ニ酷似

シタ案ハ、曩ニ此議院ヲ通過シテ衆議院ニ移送サレタト云フコトデアリマス、否是ハ間違ヒマシタ、貴族院ニ移送サレタト云フコトデアリマス、貴族院ノ委員會ノ形勢其他ニ徴シマスト、恐ラク今回ノ此修正案ヲ貴族院ニ廻シマシタナラバ、否決ノ運命ニ接スベキコトハ鏡ニ懸ケテ見ルヨリ明カニナッテ居ルト云フコトデアル、是ガ即チ三土君ガ如何ニモ貴族院ノ色眼鏡ヲ見テ、然ル後進退去就ヲ決スルトカ云フ議員ハ甚ダ宜シクナイ、斯ウ云フコトヲ仰シャルノデアリマスガ、私ハ之ニ對シテ一言辯解致シテ見タイト思フノデアリマス、苟モ守衞長ノ判任デアル以上ハ、一日モ速ニ之ヲ實現セシムルコトガ當然デシテ且相當デアルト云フ事柄ガ認メラレテアッテ、吾々員ニ立法府ニ具ハル者ノ職責デアルト考ヘルノデアリマス、徒ニ此面目論ニ聽イテ體裁論ヲ固持致スト云フコトニナリマスレバ、其必要ナル事柄ヲ遂行スルト云フコトガ出來ヌノデ目論ノ見地ヨリ考ヘテモ、決シテ退讓屈辱デハナイ、議院法ニハ協議會ノ規定ガアルコトハ御承知デアリマセウ、一タビ甲ノ議院ガ可決シテ乙ノ議院ニ廻ハシタ場合ニ、之ニ修正ヲ加ヘテ送付致シタ時分ニハ、一體議院ハ如何ナル態度ヲ執ルノデアリマスカ、多クノ場合ニ於テハ院議尊重スベシトシテ、其乙議院ノ院議ヲ排斥シタコトモアルノデゴザイマセウケレドモ、場合ニ依レバ、其議ニ應ジテ所謂妥協ナルモノガ行ハレタルト云フ事柄ハ幾ラモアルノデアリマス、現ニ……吾々ガ此民事訴訟法ノ改正案ヲ提ゲテ議場ニ立チマシテ時ニ、一タビ上告ヲ致シテ破棄ニナッタ場合ニ、差戻スベキ裁判所ノコトニ就テ度々其案ヲ出シマシタガ、イツモ貴族院ノ意嚮ヲ察知シテ、是ガ本統ニ議員ト致シテスベキ態度デアルト考ヘル、イツ迄モ此玉ノ場合ニ於テ貴族院ノ意嚮ヲ確メ政府ノ同意ヲ得テ、或ル點ニマデ修正ヲ加ヘテ、辛ウジテ兩院ノ通過ニ力メタコトガアルノデアル、是ガ本統ニ議員ト致シテスベキ態度デアルト考ヘル、イツ迄モ此玉トナッテ碎クルモ瓦トナテ全キヲ恥ヅルト云フ如キコトハ、イツデモ行フベキ所作デナイ、唯名義論ニ勝ッテ、死スベキ秋ニ死ナナカッタナラバ死ニ優ル辱ガアルト云ッテ早ク死デシマッテハ、決シテ幾多ノ機會ヲ作ルコトモ出來ナケレバ、其機會ハイツデモ敗衂者ノ地位ニ立タナケレバナラヌ、即チ此問題ニ就テモ恰モ甲議院ノ多數ガ乙議院ノ或ル意嚮ヲ察知シテ、是ナラバ成程吾々ガ滿腔ノ熱誠ヲ以テ希望ヲ致シテ居ル所ノ案ノ通過ガ出來テ、此改正ニ依テ企テラレテ居ル所ノ或ル事業ノ完成ガ求メラレルト云フ場合ニ於テ、此態度ニ出ルト云フコトハ、寧ロ議員トシテハ先見ノ明アリト誇ルコトハ當リ

前デゴザイマセヌカ、何モ或人ノ言ハレル如ク衆議院ハ衆議院トシテノ權威ヲ保タナケレバナラヌ、此ノ如キハ甚ダ不見識ノ譏リガアルト云フ如キコトニ至ッテハ斷ジテ私ハ與ミスルコトガ出來ヌノデアリマス、殊ニ此憲法ニ御精通ニナリマシタ松田君ヨリ憲法ヲ齧シテ御議論ニナリマシタ、其點ニ付テ吾々ガ即チ此改正案ニ贊成スル理由ノ主タルモノヲチョット申上ゲテ置キタイ、松田君ノ仰ッシャルノハ憲法ノ十條ノ規定ニハ行政各部ノ官制ハ專ラ勅令ヲ以テ定メルコトガ出來ルケレドモ、其他ノ部分ニ至ッテハ少クトモ法律ニ特例ガナケレバナラヌ、喩ヘテ見レバ裁判所構成法ノ如キ、會計檢査院法ノ如キ、行政裁判所法ノ如キ皆是デアル、衆議院ノ如キモ一ノ立法部ト致シテ獨立ヲシテ居ル以上ハ、決シテ此勅令ト云フ如キ行政命令ヲ以テ云爲スベキモノデナイ、併シ此點ニ付テハ議院法ノ十七條ノ三項ニ規定ガアルカラ、此規定ト相俟ッテ衆議院ノ事務局官制ト云フモノガ實際ニ於テ活躍スルコトニナルノデアル、斯樣ナ御趣意ニ私ハ聽取ッタノデアル、若シ果シテソレデゴザイマシタナラバ、今回ノ改正モ亦此趣旨ニ則ッテ、其改正ノ事業ガ企テラレテアルト云フコトヲ斷言スルニ憚ラヌノデアリマス、即チ此十六條ニハ書記官長ト書記官ガ置クコトガ定メテアッテ、其他ノ規定ハ十七條ノ三項ノ規定ノ働ニ依ッテ始メテ出テ來ルノデアル、事務局官制ニハ如何ナルコトガ書イテアルカト見マスルト、書記官長、書記官、屬、速記技手、守衞長、守衞、番長、是ダケノ職員ガ定メテアルノデアリマス、此屬以下ノ人々ト云フモノハ即チ總テ官制ニ依ッテ極メラレテアルノデアリマスカラ、此官制ヲ改廢ヲスルト云フコトハ、必シモ議員ノ協贊ヲ得ナケレバ改正ガ出來ナイト云フ譯デハナイノデアル、守衞長ヲ判任トスルト云フ規定ヲ、今回假ニ政府ガ奏任ニスルト云フ規定ニ變ヘマスニ當ッテモ、是ハ即チ勅令ノ働ニ依ッテ改廢スルコトガ出來ルノデアッテ、斷ジテ是レ自體ガ議院法ニ影響ヲ及スモノデナイノデアリマス、此ノ如クニシテ奏任官ノ守衞長ガ出來マシタ結果ガ——結果ガ議院法ノ十七條ノ三項ニ依リマスルト、恰モ此書記官長ニ於テ任命スルノ權限ガアルモノヽ如ク認メラルヽ嫌ガアル、ソレ故ニ此條文ヲ改正ヲ致シテ、判任以下ノ職員ト云フコトニ此文字ヲ入レマスト同時ニ、十六條、十七條、竝ニ事務局官制ヲ照合サセテ見テ、成程是ハヤハリ此書記官ト書記官長ト云フモノハ議院法ニ定メラレテアッテ從來ヨリ官制ニ讓ッテアル守衞長ト云フモノガ、今度始メテ奏任ニナッタガ此奏任ニナッ

タコトハ、既ニ或高等官官等俸給令ト云フモノデアリマシテ、此高等官官等俸給令ノ規定ニ依ルト、奏任官任命ノ方法ト云フモノガ一般的ニ定メラレテアルノデアリマスカラ、是ニ依ッテ政府ガ任命ヲスレバ事ハ足リルノデアッテ、政府ノ事業トシテ唯々十七條ノ三項ニ於テ、恰モ書記官長ガ奏任官ヲ任命スルト云フ觀ヲ備ヘテ居ル、此條文ノ撤去ヲ圖レバソレデ宜シイノデアリマス、卽チ此意味ニ於テ今回ノ改正ト云フモノガ企テラレテアルノデアリマスカラ、松田君ノ仰シャル所ハ一應御尤ノ如クアリマスケレドモ、苟モデスナ、官制ニ於テ守衛長ト云フトカ判任ニスルトカ云フコトハ、必ズシモ議院法ニ於テ豫メ制限ガ加ヘラレテアルモノトハ斷ジテ見ラレナイノデアリマスカラ、ソレ故ニ此官制ヲ改正ヲスルト云フコトハ、政府ノ私ハ自由デアルト考ヘテ居ル、要スルニ約メテ申シマスルト、此ノ如クニ改正ヲスルト云フヤウナ言葉ガアリマシタガ、勿論是モ議院法方デアリマシタカ、或奏任官ヲ拵ヘルコトガ云々ト云フノ十七條ニ於テ書記官長竝書記官以外ノ必要ナル職員ハ、此議院法ガ認メテ居ルト云フコトニ前提ガ定メラレテアレバ、幾人殖ヤシマセウガ減ジラレマセウガソレハ勝手デアリマス、若シ果シテ是ガ此ニ劃然タル區別ヲ置イテ、此改正ヲシナケレバナラヌト云フノデゴザイマスレバ、高木君ノ仰シャッタ如ク、此議院法ト云フモノヲ銛削リニシテサウシテ總テ此立法部ト云フモノハ獨立シナケレバナラヌカラ、此官制ノ規定ヲ止メルト云フ其意味ニ於ケル改正案ヲ、此處ニ出シテ參リマセヌケレバ、斷ジテ主義方針ニ於テ私ハ一貫ヲシナイト思フ、斯樣ナ譯柄デアリマスカラ、松田君ノ言ハレル所ヲ考ヘマスト、成ルベクダケ法制ヲ統一スルト云フ意味ニ於テ、コチラノ方面ニ近寄ラシメタイト云フ御希望ハ御尤デアリマスケレドモ、其御議論ハ所謂體裁論ト相俟ッテ今日ノ場合ニ於テ形ノミヲ食ッテハ生キテ居ラレヌ、ドウシテモ其精神ヲ取ラナケレバ吾々ノ企テヽ居ル、否此議院全體ガ希望ヲ致シテ居ルトコロノ改正事業ノ遂行ガ出來ナイト云フ場合ニ到著致シテ居ルノデアリマスカラ、多少此點ニ於テ犧牲ヲ拂ッテ——所謂松田君ノ議論ハ五十歩百歩デアリマスガ、犧牲ヲ拂ッテモヨリ多クノ改善ヲ施スト云フコトハ、國務ニ參與シテ居ル者ノ心得トシテ常ニ服膺スベキコトヽ信ズルノデアリマス、是ダケヲ以テ贊成ノ理由ト致シマス

討論終局シ表決ニ及ヒ院議少數者意見（修正）ヲ否決シ次テ本案ヲ可決シ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ可決確定セリ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ二月九日可決奏上シ五月八日法律第四十號ヲ以テ公布セラル

二〇　會計檢査院法中改正法律案

會計檢査院法中左ノ通改正ス

第二條中「副檢査官專任十六員」ヲ「副檢査官專任十四員」ニ改ム

第三條中「院長及部長ハ勅任」ヲ「院長ハ親任、部長ハ勅任」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二一　行政裁判法中改正法律案

行政裁判法中左ノ通改正ス

第三條中「長官ハ勅任トス」ヲ「長官ハ親任トス」ニ改メ「內閣總理大臣ノ上奏ニ依リ」ヲ削ル

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

右兩案ハ五年一月二十一日本院ニ之ヲ提出ス翌二十二日議事日程ヲ變更シ兩案ヲ一括シテ其ノ第一讀會ヲ開キ高橋法制局長官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

會計檢査院法中改正法律案ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、會計檢査院長竝ニ行政裁判所長官ハ、國務大臣ト對等ノ地位ヲ有シテ居リマスルトコロノ重要ナ職デゴザイマス、從來ハ大審院長ト同ジ地位ニ立ッタモノデゴザイマスル、然トコロ大審院長ハ裁判所構成法ノ改正ノ結果トシ親任官トナリマシタ、サウ致シマスルト云フト、是ト權衡ヲ取リマス上カラ致シテ、此行政裁判所長、會計檢査院長ノ地位ヲ親任官ノ待遇ニ上ゲテ、親任官トスルコトヲ、適當ト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シマシタル次第デゴザイマスル、何卒御審議ノ上御協贊アランコトヲ請ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名(同一委員)ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日兩案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

一月二十七日兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ(二十五日延會)委員長橫山金太郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員會ノ顚末ヲ御報告致シマス、此改正案ハ最モ簡單デゴザイマスガ、改正セラルベキ事項ガ含マレテ三ツニナッテ居リマス、會計檢査院法中ノ第二條ノ改正ハ、從來副檢査官ガ專任十六人アッタノヲ十四人ニ改ムルト云フノデ、要スルニ二名ヲ減ズルト云フコトニナルノデゴザイマス、是ハ行政整理ノ結果、國費ヲ節約スルト云フ意味ニ於テ二名ノ職員ヲ少クスルノデゴザイマス、是ガ爲ニ、所謂此減少ノ爲ニ、執務上何等差支ノ生ゼナイト云フコトヽ、是マデ能ク見受ケマスル他ノ官吏ヲシテ此職務ヲ兼任ヲセシムルト云フガ如キコトハ、先ヅ今日ノ所デハヤラナイト云フ政府委員ノ答辯デゴザイマシテ、尤モト認メマシテ此條文ノ改正ヲ認メマシタ、第三條ハ卽チ會計檢査院法第三條ハ今一案ノ行政裁判法中第三條ノ改正ト趣意ハ同ジデゴザイマスル、卽チ會計檢査院法ノ方デハ檢査院長ノ勅任トアルノヲ親任ニ陞スト云フノニアルノデアリマス、行政裁判所ノ方モ長官ノ勅任トアルノヲ親任ニ陞スト云フコトニ歸著スルノデアリマス、從ッテ其改正ノ理由モ共通ニナッテ居リマスカラ併セテ申上ゲマス、此改正ノ理由ハ大正三年ニ裁判所構成法ノ六十八條ヲ改正ヲセラレマシテ、大審院長ハ親任官トセラレテアルノデゴザイマス、政府者ノ說明スル所ニ依リマスルト、是レトノ權衡ヲ保ッテ且會計檢査院法中改正法律案ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、會計檢査院長竝ニ行政裁判所長官ハ、國務大臣ト對等ノ地位ヲ有シテ居リマスルトコロノ重要ナ職デゴザイマス、從來ハ大審院長ト同ジ地位ニ立ッタモノデゴザイマスル、然トコロ大審院長ハ裁判所構成法ノ改正ノ結果トシ親任官トナリマシタ、サウ致シマスルト云フト、是ト權衡ヲ取リマス上カラ致シテ、此行政裁判所長、會計檢査院長ノ地位ヲ親任官ノ待遇ニ上ゲテ、親任官トスルコトヲ、適當ト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シマシタル次第デゴザイマスル、何卒御審議ノ上御協贊アランコトヲ請ヒマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名(同一委員)ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月二十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末同日兩案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

一月二十七日兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ(二十五日延會)委員長橫山金太郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員會ノ顚末ヲ御報告致シマス、此改正案ハ最モ簡單デゴザイマスガ、改正セラルベキ事項ガ含マレテ三ツニナッテ居リマス、會計檢査院法中ノ第二條ノ改正ハ、從來副檢査官ガ專任十六人アッタノヲ十四人ニ改ムルト云フノデ、要スルニ二名ヲ減ズルト云フコトニナルノデゴザイマス、是ハ行政整理ノ結果、國費ヲ節約スルト云フ意味ニ於テ二名ノ職員ヲ少クスルノデゴザイマス、是ガ爲ニ、所謂此減少ノ爲ニ、執務上何等差支ノ生ゼナイト云フコトヽ、是マデ能ク見受ケマスル他ノ官吏ヲシテ此職務ヲ兼任ヲセシムルト云フガ如キコトハ、先ヅ今日ノ所デハヤラナイト云フ政府委員ノ答辯デゴザイマシテ、尤モト認メマシテ此條文ノ改正ヲ認メマシタ、第三條ハ卽チ會計檢査院法第三條ハ今一案ノ行政裁判法中第三條ノ改正ト趣意ハ同ジデゴザイマスル、卽チ會計檢査院法ノ方デハ檢査院長ノ勅任トアルノヲ親任ニ陞スト云フノニアルノデアリマス、行政裁判所ノ方モ長官ノ勅任トアルノヲ親任ニ陞スト云フコトニ歸著スルノデアリマス、從ッテ其改正ノ理由モ共通ニナッテ居リマスカラ併セテ申上ゲマス、此改正ノ理由ハ大正三年ニ裁判所構成法ノ六十八條ヲ改正ヲセラレマシテ、大審院長ハ親任官トセラレテアルノデゴザイマス、政府者ノ說明スル所ニ依リマスルト、是レトノ權衡ヲ保ッテ且會計檢査院長竝行政裁判所長官ノ地位ヲ高ムル意味ニ於テ、此改正ノ必要ヲ感ズト云フノデゴザイマシテ、最モ至當ノ案トシテ此改正ヲモ認メタノデアリマス、今一箇條ハ行政裁判法ノ第三條ニ「內閣總理大臣ノ上奏ニ依リ云々」ト云フ此文字ヲ削ルト云フノデゴザイマスルガ、是レハ要スルニ勅任官奏任官ト云フモノヲ任命シマスル方法ハ、勅任ノ方ハ何等法文ニ揭ゲラレシモノナク、又奏任ノ方ハ高等官俸給令ニ規定セラレテアルノデゴザイマシテ、特ニ此行政裁判法ノ上ニ之ヲ置キマスルト云フコトハ、二重ニナッテ居ルノデゴザイマス、約メテ申シマスレバ法制ヲ統一スルノ必要ヨリ、是ダケノ文字ヲ削ルト云フニナルノデゴザイマシテ、是亦至極ト認メマス、故ニ委員會ハ全部政府案ヲ是認スルト云フコトニ決定致シマシテゴザイマス

別ニ討論ナク院議執レモ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ兩案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ二月九日執レモ可決奏上シ四月四日法律第三十六號及第三十七號ヲ以テ公布セラル

二二　商業會議所法中改正法律案

商業會議所法中左ノ通改正ス

第九條第一項中「主タル」ヲ削リ「取引所稅」ヲ「取引所營業稅」ニ「「鑛業稅」ヲ「鑛產稅」ニ改メ同項ニ左ノ一號ヲ加フ

五　賣藥營業稅ヲ納ムル賣藥營業者

同條第二項中「納稅ノ額」ヲ「地區內ニ於ケル納稅ノ額」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

商業會議所ノ地區ノ內外ニ於テ營業所又ハ事務所ヲ有シ營業稅又ハ鑛產稅ヲ分別シテ納メサル者

ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ヲ以テ其ノ地區内ニ於ケル納稅額ト看做ス

第十條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

家督相續ヲ爲シタル者ニ付テハ第九條第一項ノ規定ニ依ル議員ノ選擧權ニ關スル要件ニシテ被相續人ノ具備シタルモノハ之ヲ其ノ者ノ具備シタルモノト看做ス

第十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

商業會議所ノ地區内ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有セサル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得

第二十四條　議員ノ任期ハ四箇年トス

第二十六條中「半數」ヲ削ル

第三十三條第一項ヲ左ノ如ク改メ第三項ヲ削ル

經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ商業會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商業會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

第四十八條中「、市參事會、町村長」ヲ削ル

附　則

本法ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

本法施行ノ際現ニ議員タル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

第三十三條ノ規定ハ本法施行ノ日ノ屬スル會計年度ニ於テ賦課シタル經費ヨリ之ヲ適用ス

五年一月二十一日本院ニ之ヲ提出ス二月一日本案ノ第一讀會ヲ開キ河野農商務大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君、唯今提出ヲ致シマシタ商業會議所改正法律案ハ、諸君ノ御承知ノ如ク商工業ノ改善發達ニ付キマシテハ、重要ナル任務ヲ有スル機關デゴザイマスル、然ルニ會議所ハ其經費ノ徵收ニ付キマシテハ、去ル明治四十三年法律ノ改正ニ依リマシテ、強制徵收ヲ爲スコトガ出來ヌト云フコトニナリマシタ結果、選擧者中ニシテ其賦課セラレタル經費ヲ滯納スル者ガ漸次增加ヲ致シマシテ、會議所ノ收入ガ豫定ノ額ニ達スルコトガ到底出來マセヌノデアリマス、此狀況ノ推移スル所ニ委セマシタナラバ、遂ニ此商業會議所ノ效用ヲ發揮スルコトノ上ニ於テ、甚ダ遺憾ヲ感ズルヤウニ至リマス、想フニ此商業會議所ノ事業ニ付キマシテハ、將來ハ大ニ此活動振作セシメネバナラヌト存ジテ居リマス、斯ノ如ク大ニ將來ニ期待スル所ガゴザイマスレバ、是ガ爲ニハ先以テ會議所ノ經費ノ資源ニ付テ、卽チ財源ニ付テ確保スル所ノ必要ヲ感ジマスルノデス、之ニ因リマシテ此會議所ノ經費ヲ徵收スルコトニ付キマシテ、其制度ヲ舊ニ復シ、國稅滯納處分ノ例ニ依リマシテ、强制徵收ヲ爲スノ途ヲ開カンケレバナラヌ、之ヲ開クヲ相

當ナリト存ジマシテ、是ガ改正案ヲ提出スル所以デアリマスル、其他同法ノ規定中ニ於キマシテハ、時勢ノ必要ニ伴ハザル所ノモノモ生ジテ參リマシタノデ、是モ改正ヲ多少加ヘテアリマス、又其他ノ法律上ノ關係ニ付キマシテ、當然改正ヲ爲サネバナラヌ所モゴザイマス、故ニ是等ノ改正ヲ致シマシテ茲ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、庶幾クハドウカ愼重審議ノ上御協贊アラムコトヲ、偏ニ希望ヲ致シマス

質疑(應答)ノ後委員ノ選擧ハ議長指名(十八名)ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ翌二日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末同月九日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌十日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長坂口仁一郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

諸君、委員會ノ經過ハ速記錄ニ依ッテ御承知ヲ願フコト、致シマシテ、私ハ唯結果ダケヲ御報告申上ゲタイト思ヒマス、委員會ハ審査ノ末滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマス、併シ原案ヲ可決致シマスルニ付キマシテハ、政友會ヲ代表セラレマシテ堀切善兵衞君カラ「一ノ――一デハゴザイマセヌ、三項ノ希望ヲ提出サレマシタ、ソレニハ國民黨ヲ代表サレテ渡邊昭君ノ贊成ガゴザイマシタ、其希望條件ハ筆記ニナッテ居リマスカラ朗讀致シマス「一商業會議所ノ適法ナル活動ハ將來必要ナリト認ム然レトモ徒ラニ財源ヲ增大ニスルノミヲ以テ其目的ヲ達シ得ヘシト信セス却テ之カ爲ニ費用ヲ濫出シテ不適法ナル行動ヲ助長スル怖ナシトセス故ニ政府ハ今後特ニ其指導監督ヲ嚴ニセンコトヲ望ム、一賦課徵收ニ對シ農商務大臣之ヲ認可スル場合ニハ負擔ノ均衡ヲ失ハサル樣特ニ注意スヘシ、一本法改正ノ精神ハ之ヲ農會法ニモ及サンコトヲ望ム」斯ウ云フノデゴザイマス、之ニ付キマシテハ公友俱樂部、中正會同志會ノ諸君ハ議案ノ一項二項ニハ異議ハナイ、第三項卽チ本法改正ノ精神ヲ農會法ニモ及ボシタイト云フコトニ付キマシテハ、必ズシモ反對デハナイ、併シ農會法ト商業會議所法ト云フモノハ自カラ別箇ノモノデアル、性質ヲ異ニシテ居ルモノデアル、ソレ故ニ商業會議所法ノ改正ヲ議スルニ當ッテ農會法ニマデ言及ヲシテ希望條件ヲ提出スルガ如キコトハ其當ヲ得ナイ、ソレ故ニ二ツニ引離シテ議スルヤウニシタイト云フ御說ガ出マシタ、然ルニ堀切君等ノ御意見デハ、「委員會ノ決議ヲ要求スルノデハナイ、唯斯ノ如キ意思ヲ以テ原案ヲ可決シタト云フ、其意思ヲ表明シタイダケノコトデアルカラ、本會ノ議場ニ於テ報告シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御希望デアル、衆議院規則ノ第二十五條ニハ「委員ノ審査ハ議院ノ付託シタル事件ノ外ニ涉ルコトヲ得ス」斯ウ云フ現定モアル、萬一之ヲ決議ト致スコトデゴザイマスレバ、或ハ此二十五條ニ牴觸スル虞ガナイトモ申サレナイケレドモ、堀切君等ノ御意見ハサウデハナイ、決議ヲ要求ハシナイ、唯一部ノ意思ヲ表明スルタメニ議場ニ報告スル、斯ウ云フダケノコトデアリマスカラ、或ハ異例カモ知レマセス、異例ト致シマシテモ法規ニ觸レル虞ハナイト信ジマス、政黨兩黨ノ意思ヲ尊重致シマシテ、特ニ此事ヲ御報告申上ゲテ置キマス、本案ハ既ニ前ニ申上ゲマシタ如ク滿場一致デ委員會ヲ通過アラムコトヲ希望致シマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第三讀會ヲ省略シテ本案ヲ可決確定シ卽日貴族院ニ送付ス同院ハ同月二十八日修正議決ヲ爲シ本院ニ回付シタリ

(回付案)

商業會議所法中改正法律案中貴族院回付ノ箇所左ノ如シ

「第二十六條中「半數」ヲ削ル」ヲ次ニ左ノ二行ヲ加フ

第三十條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本院ハ同日議事日程ヲ變更シテ右回付案ヲ院議ニ付ス院議異議ナク貴族院ノ修正ニ同意スルニ決シ卽日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス四月二十八日法律第三十九號ヲ以テ公布セラル

北海道會法中左ノ通改正ス

第二條　北海道會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選擧ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第五條中第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

三　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第七條中「北海道廳ノ官吏」ノ下ニ「及北海道地方費ノ有給吏員」ヲ加ヘ同條第四項ヲ左ノ如ク改ム

北海道廳ノ爲請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人ハ北海道會議員ノ被選擧權ヲ有セス

第八條中「其ノ職ヲ失フ」ノ下ニ「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除ク外」ヲ加フ

第十條中「第二次ノ通常會」ヲ「次ノ通常會」ニ改ム

附則

第二條ノ規定ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

大正三年度北海道地方費決算ハ大正五年ノ通常會ニ報告スヘシ

五年一月二十七日本院ニ之ヲ提出ス同月二十九日本案ノ第一讀會ヲ開キ藤澤內務省參政官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

現行北海道會法ニ於キマシテハ、御承知ノ通リ議員ノ任期ハ三箇年トナッテ居ルノデゴザリマス、然ルニ今日ニ至リマシテハ、ヤハリ此府縣會議員ト均シク四年ト致シマスル方ガ適當デアルト考ヘマシテ、其如クニ改正シタイト云フノガ一箇條デゴザリマスルニ、ソレカラ現行ノ道會法ニ於キマシテハ、任期ノ起算點ノ規定ガ缺如致シテ居リマスカラシテ、其規定ヲ設ケタイト云フノガ一箇條デゴザリマス、ソレカラ又地方費ニ對スル決算デアリマスルガ、是ハ政府ノ規定ヲ準用致シマシテ、地方費ノ出納ニ關スル事務ハ、本案ニ於テ政府ト同ジク年度經過後四箇月以內ニ之ヲ完成スルコトニナッテ居ルノデゴザイマスガ、今日ノ如ク交通通信ノ機關ガ漸次發達致シテ參リマシタ以上ハ、府縣ヨリモ尙一箇年遲レサセナケレバナラヌト云フ必要ガナイト存ジマスルカラシテ、府縣ト同樣ニ是ハヤハリ其制度ニ改メタイト存ズルノデアリマス、ソレカラ道會議員ノ選擧權被選擧權ニ付キマシテモ、御承知ノ通リ刑法ノ改正モアリマスルシ、ソレカラ又昨年府縣制ノ改正モアッタノデアリマスルカラシテ、之ニ則ッテ改正シタイト云フノモ亦其一箇條デゴザイマス、殊ニ本年ノ八月ハ道會議員ノ總選擧ニ當ルノ

デアリマスカラ、此機會ヲ適當ノ機會ト存ジマシテ本案ヲ提出致シタノデアリマスルカラ、御審査ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ議長ハ卽日之ヲ指名ス委員ハ同月三十一日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末二月四日原案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

二月八日第一讀會ノ續會ヲ開キ（五日延會）委員長金子元三郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

北海道會法中改正法律案ノ委員會ノ經過結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ議員ノ任期ヲ延長致シマスコトト、決算報告ヲ一年繰上ゲマスト云フコトデ、其他ハ府縣制ト條文ヲ同ジクスルト云フコトノ改正デアルノデアリマス、總テ其任期延長ノコトナドモ、府縣制ニアリマスコトト同樣ナコトデアリマシテ大體ニ於テ多クノ異議ナイノデアリマスガ、唯此八條中「禁錮以上ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除クノ外」斯樣ナ條文ガゴザイマシテ、此事柄ニ付キマシテハ、唯今此處デ御決議ニナリマシタ府縣制市町村制等ニアリマスカラ、若シ此二案ニシテ本院ガ確定スルト云フヤウナコトガアリマスレバ、此原案ト相違ヲ來スヤウナコトニナリマス、又是ガ果シテ其以前ノ三案ガ本院ヲ通過致シマスカドウカハ、是ハ別ノ問題トシテ、確定主義ノ立法例ガ出來タトキハ、之ヲ改正スルモノヲ、所謂宣告ヲ受ケタト云フ宣告主義デナシニ、確定シマシタトコロガ政府ハ左樣ナ場合ニ於テハ此條文ヲ改メルコトニ付テモ咨ナラヌ、斯樣ナ答辯ヲ得テ居リマス、故ニ唯今府縣制ノ改正案ガ通過致シマシタニ付テハ、此原案其儘デアリマシテハ院議ガ二ニナリマスカラ、定メシ是ハ議場ニ於テ修正意見ノ出ルコトデアラウト信ジマスケレドモ、委員會ニ於テハ既ニソレ等ノコトヲ考慮シテ意見ヲ述ベ、且ツ政府ノ答辯等モ得テ置キマシタヤウナ次第デアリマスカラシテ、此條文ガ改マルコトニナリマシテモ、委員會ノ意見ハソレニ相反シテ居ラヌト云フコトヲ此處ニ附加ヘテ申シテ置キマス、又本法改正ヲスルニ當ッテハ豫テ北海道會ニ於テハ種々改正ノ希望ヲ以テ屢〻決議ヲシタ事ガアリマスルデ、ソレ等ニ付テハ此改正ヲ致スニ當ッテ何故ニ政府ハソレ等ノ事ニ付テ改正ヲスル意志ガナカッタカ、斯樣ナコトヲ委員會デ尋ネマシタトコロガ、政府ハ此他ニ於テモマダ府縣制ト同一ナラシメル意味合ノ上ニ於テ改正ヲスベキコトガアラウト思フ、ケレドモソレハ十分ニ研究ヲシナケレバナラヌト思ウテ居ルシ、兎モ角モ此本法ノ任期延長ノコトハ、本年八月道會議員ノ選擧ニ當ッテ居リマスカラシテ、之ヲ總テ研究スル爲メニ時日ヲ長クシテ置クコトガ出來ナイ、故ニ先ヅ取敢ヘズ此差掛ッタ必要ノ事柄ダケヲ提出シタノデアル、斯樣ナコトデ、併シ其又道會デ決議ヲ致シマシタ事ノ中ノ最モ重大ナル一ノ事柄ハ、水產稅納入者ハ同道有權者デナイ、北海道會法ノ上ニ於テハ資格ヲ與ヘテ居ラレナカッタ、故ニ此本法ノ改正ヲスル場合ニ當ッテ、必ズ水產稅納入者ニ向ッテモ權利ヲ與ヘルト云フコトヲ此法文ノ中ニ加ヘテ貰ヒタイ、必ズ加ヘラレンコトヲ希望スル斯樣ナ希望ヲ全會一致ヲ以テ述ベテ置キマシタ次第デ、右申上ゲマスヤウナ次第ヲ以テマシテ、本案ハ總ベテ原案ノ通リニ全會一致可決致シマシタ次第デゴザイマス、此段御報告致シマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ齋藤隆夫君ハ修正案ヲ提出シ左ノ如ク其ノ趣旨ヲ辯明セリ

（修正案）

第五條中「第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク」ヲ「第二號、第三號及第四號ヲ左ノ如ク改ム」ニ改ム

第八條中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者」ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ニ改ム

齋藤隆夫君ノ演說

原案ニ對シテ簡單ナル二箇ノ修正ヲ提議致シマス、第一ハ「第五條中第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク」ヲ「第二號、第三號及第四號ヲ左ノ如ク改ム」斯

様ニ修正ヲ致シマス、此修正ハ如何ナルコトデアルカト云フト、第五條ハ道會議員ノ選擧權及被選擧權ノ無資格者ヲ列記シタ條文デアリマス、其第四號ニ於キマシテ「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定ニ至ル迄ノ者」ト云フ條項ガアルノデアリマス、之ヲ削除スルト云フノガ修正デアリマス、第二ハ第八條中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者」斯樣ニアリマスルノヲバ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト斯樣ニ改ムルノデアリマス、是ハ第五條ノ修正ノ結果トシテ當然起ルベキ所ノ修正デアリマス、修正ノ理由ハ申上ゲルマデモゴザイマセヌ、先程可決セラレマシタル所ノ市制、町村制、府縣制ノ改正理由ト同一デゴザイマスルカラシテ、願クハ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ、此修正案ノ成立スルコトヲ希望致シマス

表決ニ及ヒ院議異議ナク修正案ヲ採用シタリ次テ第三讀會ヲ開キ第二讀會決議ノ通修正議決シ即日貴族院ニ送付ス同院ハ同月二十六日修正議決ヲ爲シ本院ニ回付シタリ

（小字及ビ――ハ貴族院修正）

（回付案）

北海道會法中改正法律案中貴族院回付ノ箇所左ノ如シ

第五條中第二號、及第三號及第四號ヲ左ノ如ク改ム（メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク）

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

三　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者（宣告ヲ受ケ）

四　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ヲ除ク外」ヲ加フ

第八條中「其ノ職ヲ失フ」ノ下ニ「禁錮以上ニ刑ニ處セラレタル者」ヲ除ク外」ヲ加フ

本院ハ翌二十七日回付案ヲ院議ニ付ス院議多數ヲ以テ貴族院ノ修正ニ同意スルニ決シ即日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス三月十八日法律第二十九號ヲ以テ公布セラル

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第七條第一項ニ左ノ二號ヲ加ヘ同條第三項及第四項ヲ削ル

七　信託ノ業務

八　他銀行ノ業務代理

第八條ノ二中「手形ノ割引又ハ」及但書ヲ削ル

第八條ノ三　第七條第一項第三號第四號第六號、同條第二項及前條ノ事業ニ使用スヘキ金額ハ第七條第一項第一號第二號及第八條ニ依ル貸付金總額ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得ス

第九條ノ二ヲ削ル

第二十一條ノ二　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ北海道拓殖銀行ニ對シ支店代理店ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第二十七條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一　第八條ノ三ノ規定ニ違反シタルトキ

五年一月二十七日本院ニ之ヲ提出ス二月一日本案ノ第一讀會ヲ開キ武富大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君、近年北海道ニ於ケル原產地方ノ發達ハ誠ニ著シイモノデゴザイマスガ、ソレニモ拘ラズ有力ナ